FMPRシリーズ

B5WY-1251-04 Z0

FMPRシリーズ

オンラインマニュアル

漢字プリンタ-15（FMPR3000G）/漢字プリンタ-10（FMPR2000G）

FUJITSU

製品を安全に使用していただくために

● 本書の取り扱いについて

本書には、お買い上げいただいた製品を安全に正しく使用するための重要なことがらが記載されています。製品を使用する前に本書をよくお読みください。
特に、本書に記載されている「安全上のご注意」は必ずお読みいただき、内容をよく理解したうえで製品を使用してください。
本書はお読みになった後も製品の使用中いつでも参照できるように、大切に保管してください。富士通は、お客様の生命、身体や財産に被害を及ぼすことなく安全に使っていただくために細心の注意を払っています。当製品を使用する際は、本書の説明に従ってください。

● VCCI 適合基準について

この装置は、クラスＢ情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

ＶＣＣＩ－Ｂ

● 本製品およびオプション品のハイセイフティ用途について

本製品およびオプション品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

・原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

●本製品の廃棄について

製品（付属品を含む）を廃棄する場合は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規制を受けます。

法人、企業のお客様へ

本製品の廃棄については、弊社ホームページ「IT 製品の処分・リサイクル」（http://jp.fujitsu.com/about/csr/eco/products/recycle/recycleindex.html）をご覧ください。

● 漏えい電流自主規制について

本製品は、日本工業規格（JIS C 6950）の漏えい電流基準に適合しております。

● 電源高調波について

本製品は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品です。

● 矩形波が出力される機器について

矩形波が出力される機器に接続すると、故障する場合があります。

● 突入電流について

本製品は、突入電流がありますので、UPS に接続しないでください。

はじめに

このたびは、漢字プリンタ-15（FMPR3000G）/漢字プリンタ-10（FMPR2000G）をお買い求めいただきまして、ありがとうございます。
ご使用前にマニュアルをよくお読みいただき、プリンタが十分に機能を発揮できますよう正しい取り扱いをお願いいたします。

2010 年 8 月

● 本文中の略語について

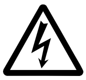
表：製品名称の表記

製品名称	本マニュアルでの表記	
Windows® 7 Ultimate (32 ビット版/64 ビット版)	Windows	7
Windows® 7 Enterprise (32 ビット版/64 ビット版)		
Windows® 7 Professional (32 ビット版/64 ビット版)		
Windows® 7 Home Premium (32 ビット版/64 ビット版)		
Windows® 7 Starter		
Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Standard		2008 R2
Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Enterprise		
Microsoft® Windows Server® 2008 Standard (32-bit/64-bit)		2008
Microsoft® Windows Server® 2008 Enterprise (32-bit/64-bit)		
Windows Vista® Ultimate (32 ビット版/64 ビット版)		Vista
Windows Vista® Enterprise (32 ビット版/64 ビット版)		
Windows Vista® Business (32 ビット版/64 ビット版)		
Windows Vista® Home Premium (32 ビット版/64 ビット版)		
Windows Vista® Home Basic (32 ビット版/64 ビット版)		
Microsoft® Windows Server® 2003 R2, Standard Edition		2003
Microsoft® Windows Server® 2003 R2, Enterprise Edition		
Microsoft® Windows Server® 2003 R2, Standard x64 Edition		
Microsoft® Windows Server® 2003 R2, Enterprise x64 Edition		
Microsoft® Windows Server® 2003, Standard Edition		
Microsoft® Windows Server® 2003, Enterprise Edition		
Microsoft® Windows Server® 2003, Standard x64 Edition		
Microsoft® Windows Server® 2003, Enterprise x64 Edition		
Microsoft® Windows® XP Professional Edition		XP
Microsoft® Windows® XP Professional x64 Edition		
Microsoft® Windows® XP Home Edition		
Microsoft® Windows® 2000 Professional		2000
Microsoft® Windows® 2000 Server		
Microsoft® Windows NT® Workstation Version 4.0		NT 4.0
Microsoft® Windows NT® Server Version 4.0		
Microsoft® Windows® Millennium Edition		Me
Microsoft® Windows® 98		98
Microsoft® Windows® 95		95
Adobe® Reader®	Adobe Reader	

● 安全にお使いいただくための絵記号について

このマニュアルでは、いろいろな絵表示を使用しています。これは本製品を安全に正しく使用していただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を、未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ、お読みください。

⚠ 警告	⚠ 注意
この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみが想定される内容を示しています。

絵記号の例とその意味	
	△で示した記号は、警告、注意を促す事項があることを告げるものです。記号の中には、具体的な警告内容を表す絵（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	⃠で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中には、具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントか抜いてください）が描かれています。
 高温注意	高温による傷害の危険性について記述していることを示します。
 発火注意	発火する危険性について記述していることを示します。
 接触禁止	触れることによって傷害が起こる可能性について記述していることを示します。
 分解禁止	機器を分解することにより、感電などの傷害が起こる可能性について記述していることを示します。
 一般的禁止	一般的な禁止事項を記述していることを示します。
 一般的注意	一般的な注意事項を記述していることを示します。

安全上のご注意

■　プリンタ設置および移動時のご注意

⚠ 警告

プリンタの上にまたは近くに「花びん・植木鉢・コップ」などの水の入った容器、金属物を置かないでください。

感電・火災の原因となります。

湿気・ほこり・油煙の多い場所、通気性の悪い場所、火気のある場所におかないでください。

感電・火災の原因となります。

電源プラグは、交流 100V、10A 未満の専用コンセントには差しこまないでください。また、タコ足配線をしないでください。

感電・火災の原因となります。

同梱の電源コードセットは当装置以外の電気機器への使用を禁止します。

添付の電源コード以外は使用しないでください。

感電・火災の原因となります。

電源を接続する前に必ず以下のいずれかにアース接続してください。

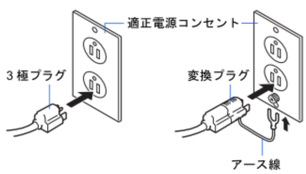
・電源コンセントのアース線

・銅片などを 650㎜ 以上地中に埋めたもの

・D 種（旧：第３種）接地工事を行っている接地端子

アース接続しないで使用すると、万一漏電した場合に、感電・火災の原因となります。

"必ずアース接続を行って下さい。アース接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行って下さい。又、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行って下さい。"



風呂場、シャワー室など、水のかかる場所で使用しないでください。

火災や感電の原因となります。

⚠ 警告

オプション機器の取り付けや取り外しを行う場合は、プリンタ本体およびパソコン本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いたあとに行ってください。

感電の原因となります。

オプション機器を接続する場合には、当社推奨品以外の機器は接続しないでください。

感電・火災または故障の原因となります。

⚠ 注意



プリンタの開口部（通風口など）をふさがないでください。

通風口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

プリンタの上に重いものを置かないでください。また、衝撃を与えないでください。

バランスが崩れて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

振動の激しい場所や傾いた場所など、不安定な場所に置かないでください。

落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

直射日光の当たる場所や炎天下の車内など、高温になる場所に長時間放置しないでください。

高温によってカバーなどが加熱・変形・溶解する原因となったり、プリンタ内部が高温になり、火災の原因となることがあります。



プリンタを移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。接続ケーブルなどもはずしてください。作業は足元に十分注意して行ってください。

電源コードが傷つき、感電・火災の原因となったり、本プリンタが落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

プリンタケーブルの抜き差しは、必ずパソコンとプリンタの電源を切ってから行ってください。

電源を切らずに行うと、パソコンやプリンタが故障する原因となることがあります。

■ プリンタ使用時のご注意

⚠ 警告

異常音がするなどの故障状態で使用しないでください。故障の修理はお買い求めの販売店またはハードウェア修理相談センター（138 ページ参照）にご依頼ください。

そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。

表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。また、タコ足配線をしないでください。

火災・感電の原因となります。

プリンタに水をかけたり、濡らしたりしないでください。

感電・火災の原因となります。

電源コードを傷つけたり、加工したりしないでください。

重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったり、加熱したりすると電源コードを傷め、感電・火災の原因となります。

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込み口がゆるいときは使用しないでください。

そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。

カバーを外した状態でコンセントを差したり、電源を入れたりしないでください

感電・火災の原因となります。

開口部（通風口など）から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。

感電・火災の原因となります。

プリンタ本体のカバーや差し込み口についているカバーは、必要な場合を除いて取り外さないでください。内部の点検、修理はお買い求めの販売店またはハードウェア修理相談センター（138 ページ参照）にご依頼ください。

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。

プリンタをお客様自身で改造しないでください。

感電・火災の原因となります。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。

感電の原因となります。

警告

万一、プリンタから発熱や煙、異臭や音がするなどの異常が発生した場合は、ただちにプリンタ本体の電源スイッチを切り、その後、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
煙が消えるのを確認してお買い求めの販売店またはハードウェア修理相談センター（138 ページ参照）にご依頼ください。お客様自身による修理は危険ですから絶対におやめください。

異常状態のまま使用すると、感電・火災の原因となります。

異物（水・金属片・液体など）がプリンタの内部に入った場合は、ただちにプリンタ本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、お買い求めの販売店またはハードウェア修理相談センター（138 ページ参照）にご連絡ください。

そのまま使用すると感電・火災の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

プリンタを落としたり、カバーなどを破損した場合は、プリンタ本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、お買い求めの販売店またはハードウェア修理相談センター（138 ページ参照）にご連絡ください。

そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。

電源プラグの金属部分、およびその周辺にほこりが付着している場合は、乾いた布でよく拭いてください。

そのまま使用すると、火災の原因となります。

移動中に落下させたり、ぶつけるなどの衝撃を与えないでください。

そのまま使用すると、故障の原因となります。

⚠注意

電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込んでください。

火災・故障の原因となることがあります。

プリンタが動作しているとき、給紙口や排紙口に髪やネクタイなどが巻き込まれないように注意してください。

けがの原因となることがあります。

電源プラグをコンセントから抜くときは、電源コードを引っ張らず、必ず電源プラグを持って抜いてください。

電源コードを引っ張ると、コードの芯線が露出したり断線して、火災・感電の原因となることがあります。

使用中のプリンタは布などでおおったり、包んだりしないでください。

熱がこもり、火災の原因となることがあります。

電源コードを束ねて使用しないでください。

発熱して、火災の原因となることがあります。

長期間プリンタを使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

感電・火災の原因となることがあります。

近くで雷が起きたときは、電源コードのプラグを電源コンセントから抜いてください。

入れたままにしておくと、プリンタを破壊し、お客様の財産に損害を及ぼす原因となることがあります。

使用中や使用直後は、印字ヘッドが高温になります。温度が下がるまで触らないでください。

やけど・けがの原因となることがあります。

⚠ 注意

プリンタが動作しているとき、給紙口や排紙口に手を触れないでください。

けがの原因となることがあります。

プリンタケーブルコネクタや印字ヘッドの金属部には触らないでください。

けがやプリンタの破壊の原因となることがあります。

印字ヘッドが動いているときは、印字ヘッドに触れないでください。

やけど・けがの原因となることがあります。

連帳用紙は、連続して逆送りをさせると用紙送りトラクタから外れることがありますので注意してください。

用紙厚に対して用紙厚調整レバーのセットを適正状態で取り扱ってください。

リボンカセットは、指定の純正品を使用してください。

リボンカセットはインク補給機構を内蔵し、濃い印字を長く持続します。
インクを使い切ると印字が薄くなり、そのまま使い続けるとリボンの布地がケバ立ち、繊維クズが発生することがあります。この様な現象が見られたら早目にリボンカセットを交換してください。
なお、プリンタの内部やローラ部に繊維クズがたまっている場合は、定期的に清掃してください。

リボン巻取りノブは、反時計方向に回さないでください。リボンがロックして回転できなくなります

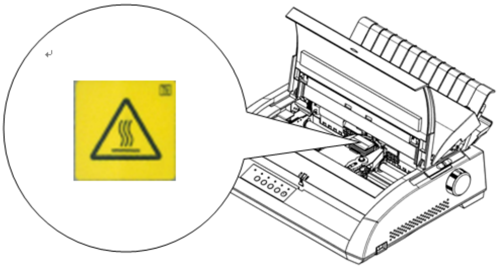
リボンがたるんだまま印字を開始すると、リボンがからまったり、リボンの巻取りがロックすることがあります。

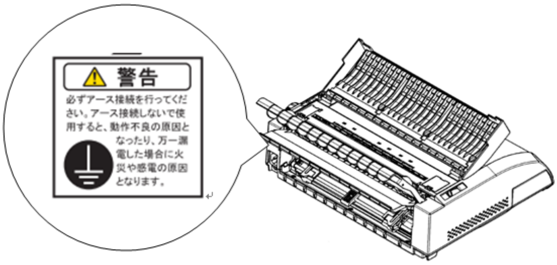
使用済のリボンカセットは、不燃物として地方自治体の条例または規則に従って処理してください。

印字した直後は、印字ヘッドが高温になります。リボン交換時は温度が下がったことを確かめてから、印字ヘッドをリボン交換位置に移動してください。

■ 警告ラベル／注意ラベル

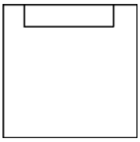
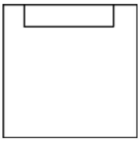
本製品には、警告ラベルおよび注意ラベルが貼ってあります。指示内容をご覧になり、安全にご利用ください。なお、警告ラベルや注意ラベルは、絶対にはがしたり、汚したりしないでください。





マニュアルの種類

本プリンタでは、次のマニュアルを用意しています。目的に応じて参照してください。

	**取扱説明書** プリンタの設置と運用について、基本的なことを説明した印刷物です。
	**オンラインマニュアル（PDF）** 添付の CD-ROM 内に PDF ファイルとして収められています。本製品の設置・運用に必要な手順および本プリンタの持つすべての機能について説明しています。
	**はじめにお読みください（PDF）** 添付の CD-ROM 内に PDF ファイルとして収められています。本製品を Windows 7/2008 R2 上で使用する方法について説明しています。

マニュアルの構成

本プリンタのマニュアルの構成を以下に示します。

◆ 取扱説明書

目次		内容
第 1 章	お使いになる前に	お使いになる前に知っておいていただきたいこと、設置のしかた、リボンカセットの取付けかた、電源の投入／切断について説明します。
第 2 章	プリンタの機能とその使いかた	操作パネルの機能や機能設定の変えかたなど、プリンタのもつ機能と、その使いかたについて説明します。
第 3 章	用紙のセット	連続帳票用紙、単票用紙のセットのしかた、用紙厚の調整のしかた、印刷開始位置、行間ズレの直しかた、および用紙の吸入量の調整のしかたを説明します。
第 4 章	用紙について	このプリンタで使用できる用紙と取り扱い上の注意点について説明します。
第 5 章	保守と点検	リボンカセットの交換や、用紙づまりなどトラブルの対処のしかた、テスト印字のしかた、およびアフターサービスなどについて説明します。
第 6 章	オプション	オプションの取付け、取外しおよび使用方法について説明します。
付録		このプリンタの仕様などの技術情報、プリンタの持つ自動検出機能について説明します。 * コマンド一覧表およびコード一覧表はオンラインマニュアルを参照してください。

◆ オンラインマニュアル

目次		内容
プリンタ編		
第１章	お使いになる前に	お使いになる前に知っておいていただきたいこと、設置のしかた、リボンカセットの取付けかた、電源の投入／切断について説明します。
第２章	プリンタの機能と使い方	操作パネルの機能や機能設定の変えかたなど、プリンタのもつ機能と、その使いかたについて説明します。
第３章	用紙のセット	連続帳票用紙、単票用紙のセットのしかた、用紙厚の調整のしかた、印刷開始位置、行間ズレの直しかた、および用紙の吸入量の調整のしかたを説明します。
第４章	用紙について	このプリンタで使用できる用紙と取り扱い上の注意点について説明します。
第５章	保守と点検	リボンカセットの交換や、用紙づまりなどトラブルの対処のしかた、テスト印字のしかた、およびアフターサービスなどについて説明します。
第６章	オプション	オプションの取付け、取外しおよび使用方法について説明します。
付録		プリンタの仕様、プリンタの持つ自動検出機能、コマンド一覧表および文字コード一覧表など、プリンタを使用する上で補助的に必要になることがらについて説明します。
ソフトウェア編		
第１章	ソフトウェアの概要	プリンタに添付されているソフトウェアの基本的なことがらやインストール方法について説明します。
第２章	プリンタドライバの設定	プリンタドライバのインストールと設定方法について説明します。
第３章	FMPR ステータスモニタ	FMPR ステータスモニタの機能について説明します。
第４章	FMPR リモートパネル	FMPR リモートパネルの機能について説明します。
第５章	こんなときは	ソフトウェアに関するトラブルシューティングや留意事項について説明します。
付録		FMPR ステータスモニタ状態表示一覧表を記載します。

オンラインマニュアルの見かた

オンラインマニュアルは、本プリンタに添付されている CD-ROM に、PDF ファイルとして収録されています。
PDF ファイルの内容を参照するには、「Adobe Reader」というソフトウェアが必要です。
お使いのパソコンに「Adobe Reader」がインストールされていない場合は、 アドビシステムズ社ホームページからダウンロードしてください。

ガイド

- Adobe Reader は PDF（Portable Document Format）形式のファイルを閲覧・印刷するソフトウェアです。
- 最新版の Adobe Reader の入手方法およびその他情報につきましては、アドビシステムズ社にお問い合わせください。

アドビシステムズ社：http://www.adobe.com/jp/

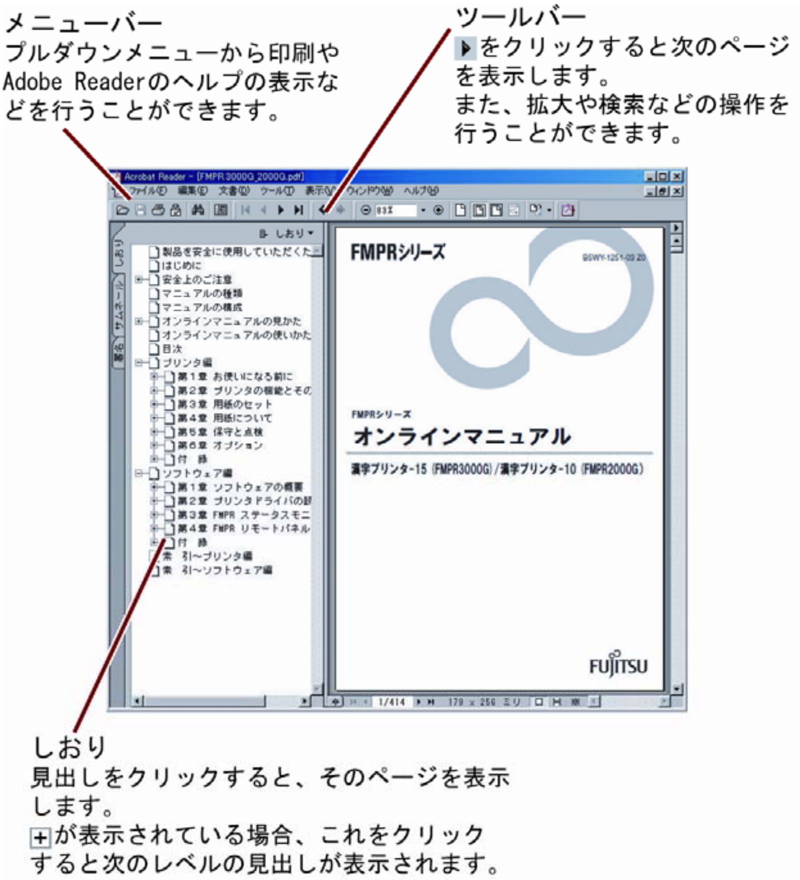
■ オンラインマニュアルの使いかた

オンラインマニュアルは、Adobe Reader がインストールされたパソコンから次の手順で表示します。

1 添付の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットする

2 エクスプローラで CD-ROM の「Manual」フォルダにある「INDEX.pdf」をダブルクリックする

Adobe Reader が起動し、オンラインマニュアルが表示されます。



目 次

プリンタ編

第1章

お使いになる前に

この章では、プリンタの主な特長や製品の内容、使用上の注意事項、各部の名称とはたらき、設置のしかた、リボンカセットの取付け、電源の投入／切断について説明します。

主な特長

◆ 優れた印字品質

・ピン径 0.2㎜ の 24 ピン印字ヘッドは、日本語の表現に適した見やすく優れた印字品質を実現します。

◆ 印字処理時間の短縮

・同一行内に漢字、ANK が混在したときは、自動的に速度を切り替えて高速度で印字します。

・自動的に正逆方向の最短距離を判別して印字します。

・印字中に新しいデータを受信するダブルバッファ方式を採用し、印字処理時間の短縮をはかっています。

・ドットの間引き印字（高速印字モード）により、さらに高速度で印字できます。

◆ 専用 Windows プリンタドライバ添付

・Windows 98/Me/NT 4.0/2000/XP/2003/Vista/2008/7/2008 R2 対応の専用プリンタドライバ（ESC/P モード用）を添付しています。

お願い

・最新情報は富士通製品情報ページ
(http://www.fmworld.net/biz/)でご確認ください。

◆ ユーティリティソフトの添付

・Windows 98/Me/NT 4.0/2000/XP/2003/Vista/2008/7/2008 R2 対応の専用ユーティリティソフトを添付しています。
専用ユーティリティソフトによりプリンタの状態監視、セットアップの設定が可能です。

◆ 多彩な印字機能

・JIS 第一水準および第二水準漢字を印字できます。

・漢字、ANK の標準文字のほかに拡大文字、縮小文字なども印字できます。

・グラフィック印字が可能です。

◆ 優れた操作性

・用紙の自動吸入機能（オートローディング）で単票用紙を簡単にセットできます。

・連続帳票用紙をスイッチ操作で後退できるので、連続帳票用紙をセットしたまま、単票用紙に印字できます。

◆ プリンタＬＡＮカード（オプション）（FMPR3000G のみ）

・オプションのプリンタ LAN カードを搭載することにより、100BASE-TX/10BASE-T のネットワーク環境でのプリンタ共有が可能になります。LAN カード搭載時はパラレルインターフェースおよび USB インターフェースとの同時接続はできません。

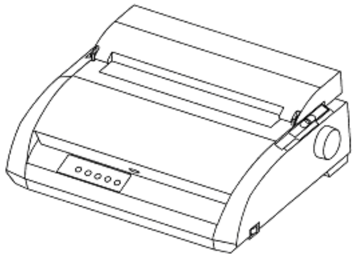
◆ SVF 帳票基盤ソリューションと連携（FMPR3000G のみ）

・ウイングアークテクノロジーズ株式会社製「Report Director Enterprise」、「SVF for Java Print」使用時は、プリンタのエミュレーション設定を「ESC/P」にすることで、本製品への印刷が可能です。

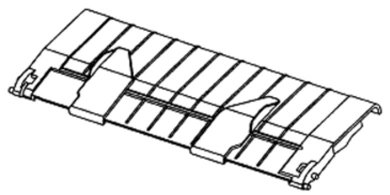
製品の内容

お使いになる前に、以下の物が揃っていることを確認してください。

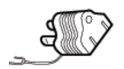
なお、プリンタが入っていた箱は、プリンタの保管・輸送の際に必要になりますので捨てないでください。



プリンタ本体

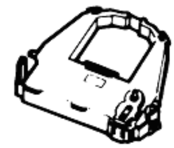


リアカバー

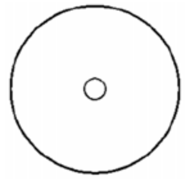




変換プラグ　電源コード（1本）



リボンカセット（黒、1個）



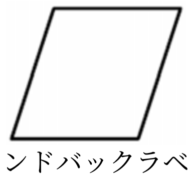
FMPR
セットアップディスク



FMPR3000G/FMPR2000G プリンタ
取扱説明書



保証書（梱包箱に貼付）



センドバックラベル

お願い

- 本プリンタにプリンタケーブルは含まれていません。プリンタケーブルは、「オプション品のご紹介」（26ページ）を参照してください。
- 保証書に必要な事項が書かれていることを確認してください。
  お買い求めのときに、正しい記載のなかった保証書は無効となり、無償保証を受けられないことがあります。
- 保証書は大切に保管してください。

使用上のご注意

このプリンタを使用する際には、以下の点に十分留意されるようお願いします。不明な点については、お買い上げの販売店、またはハードウェア修理相談センター(138 ページ参照)にご相談ください。

■　設置場所について

⚠注意



- **長時間直射日光の当たる場所や、エアコンの前など極端に温度や湿度が変わる場所には設置しないでください。**
  直射日光によって用紙を検知するセンサに異常が発生し、誤作動する原因になります。
  温度と湿度が、以下の範囲内の場所に設置してください。
  - **周囲温度：5℃～35℃**
  - **周囲湿度：30%～80%**
    （結露しないこと）
- **水平で安定した平面に設置してください。**
- **通風口をふさがないでください。**
- **振動のある場所には設置しないでください。**
- **落としたり、ぶつけたりして衝撃を与えないでください。**
- **ほこり、腐食性ガス、潮風にさらされる場所は避けてください。**
- **磁石はもちろん、テレビやスピーカなど磁気の強いものの近くに設置しないでください。**

⚠注意



プリンタを設置するときには、用紙や、リボンカセットの交換などが容易にできるようなスペースを確保してください。

本プリンタの外形寸法については、付録の外観図を参考にして下さい。

■　電源について

次の電圧、周波数の範囲の電源を利用してください。

・電源電圧：AC100V±10%

・電源周波数：50/60 ±1Hz ＋2%, -4%
（安定した正弦波であること）

注）短形波が出力される機器（交流無停電電源装置、UPS など）には
接続しないでください。
故障するおそれがあります。

▲警告


発火注意

万一、発煙、異臭、異常音などがある場合には、電源を切ってください。
感電や火災のおそれがあります。

■　使用方法について

▲注意


一般的禁止

・プリンタの上に物を置かないでください。
・長時間プリンタを使用しないときは、電源コードのプラグを電源コンセントから抜いてください。
・万が一、近くで雷が起きたときは、電源コードのプラグを電源コンセントから抜いてください。
入れたままにしておきますと、機器を破壊し、お客様の財産に損害をおよぼす可能性があります。
・用紙およびリボンカセットをセットしていない状態で、印字しないでください。
印字ヘッドやプラテンが傷みます。

▲注意


高温注意

印字ヘッドは高温になります。温度が下がるまで触らないでください。
火傷、けがのおそれがあります。

▲注意


接触禁止

・プリンタケーブルコネクタ、印字ヘッドの金属部には触らないでください。
・印字ヘッドが動いているときは、印字ヘッドに触れたり、電源を切ったりしないでください。

■　パソコンの BIOS 設定について（対象：FMV シリーズおよび各社 DOS/V 互換機）

本プリンタを接続するパソコンのパラレルポート設定は、必ず「Bidirectional（双方向）」にしてご使用ください。
確認および設定の方法については、パソコンのマニュアルを参照してください。

■　Windows 環境とプリンタドライバについて

以下のプリンタドライバで印刷することができます。

<table>
<tr><th>ホスト</th><th colspan="2">FMV/AT 互換機</th></tr>
<tr><td>モード設定 / Windows 環境</td><td>FM モード</td><td>ESC/P モード</td></tr>
<tr><td>Windows 98</td><td rowspan="3">FMPR-373
（注 1）</td><td rowspan="10">FMPR2000
FMPR3000
注 2）
注 3）</td></tr>
<tr><td>Windows Me</td></tr>
<tr><td>Windows NT 4.0</td></tr>
<tr><td>Windows 2000</td><td>—</td></tr>
<tr><td>Windows XP</td><td>—</td></tr>
<tr><td>Windows Server 2003</td><td>—</td></tr>
<tr><td>Windows Vista</td><td>—</td></tr>
<tr><td>Windows Server 2008</td><td>—</td></tr>
<tr><td>Windows 7</td><td>—</td></tr>
<tr><td>Windows Server 2008 R2</td><td>—</td></tr>
</table>

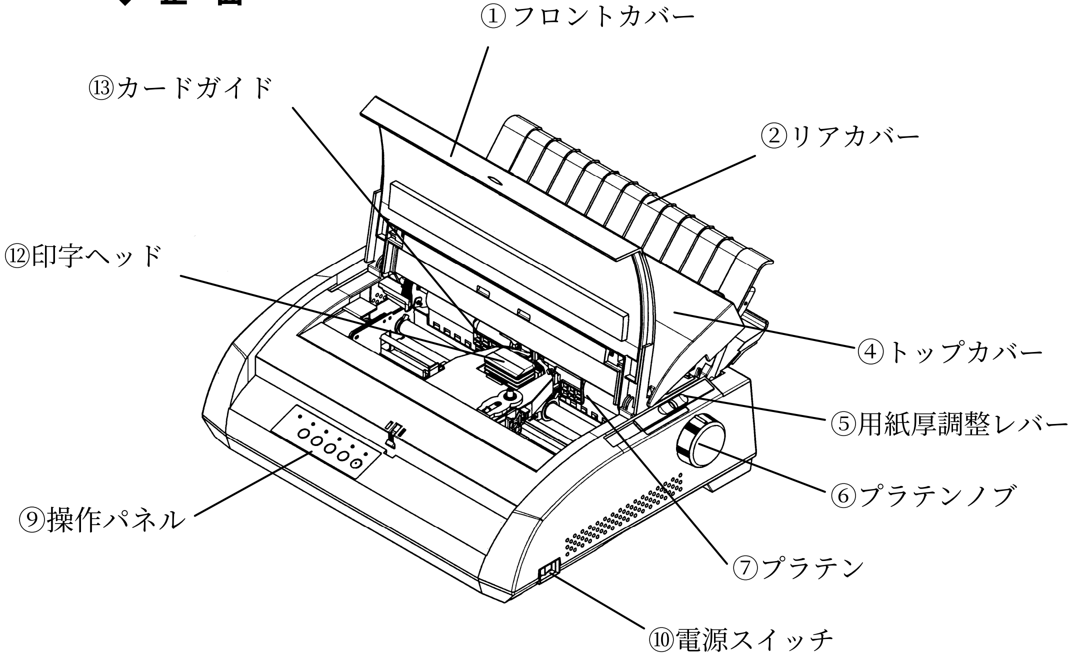
—　：印刷できるドライバはありません。

注 1）OS 添付ドライバ
注 2）プリンタ装置添付ドライバ
注 3）最新版のプリンタドライバは、「富士通製品情報ページ」からダウンロードすることができます。（「プリンタドライバの入手方法」137 ページ参照）

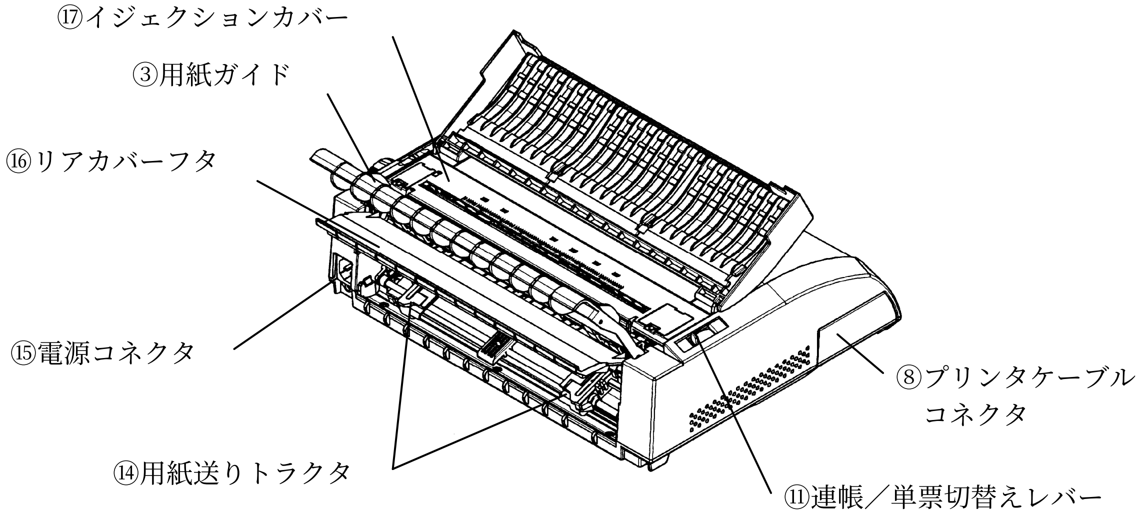
各部の名称と働き

■ 各部の名称

◆ 正　面



◆ 背　面



■ 各部の働き

各部の名称	はたらき
①フロントカバー	印字ヘッドをほこりやちりから守ります。 印字動作中にフロントカバーを開けると、印字動作が一時停止します。（詳細については、「自動検出機能」の「カバーオープン検出」（47 ページ）を参照）。
②リアカバー	単票用紙の送りを支えます。
③用紙ガイド	印字する用紙の幅に合わせてセットします。
④トップカバー	１Ｐ連続用紙印字時に本カバーを倒すことにより印字音および動作音を抑えます。
⑤用紙厚調整レバー	使用する用紙の厚さおよび枚数に応じて印字ヘッドとプラテンの間隔を変えます。
⑥プラテンノブ	プラテンをまわすノブです。
⑦プラテン	用紙を支えたり、送ったりします。
⑧プリンタケーブルコネクタ	プリンタケーブルをここに接続して、プリンタとパソコンをつなぎます。 ※FMPR3000G では、オプションのプリンタ LAN カードを接続する場合は、オプションインターフェースカバーを外して挿入します。
⑨操作パネル	プリンタの状態を示すランプ、プリンタを操作するための各種スイッチがあります。（詳細については、『第 2 章　プリンタの機能とその使いかた』の「操作パネルの機能」（30 ページ）を参照。）
⑩電源スイッチ	「｜」側を押すと電源が入り、「◯」側を押すと電源が切れます。
⑪連帳／単票切替えレバー	連続帳票用紙か単票用紙かを選択します。
⑫印字ヘッド	用紙に印字する部分です。
⑬カードガイド	用紙を送るときの案内板です。また、カードガイド上のリブは、行方向の印字位置を合わせるための目安です。
⑭用紙送りトラクタ	連続帳票用紙をプリンタ内部へ送ります。
⑮電源コネクタ	電源コードを接続します。
⑯リアカバーフタ	印字音および動作音を抑えます。 連続帳票用紙を使うときは、閉じて使います。
⑰イジェクションカバー	用紙の送りを支え、用紙の排出をガイドします。 刻印されている目盛りは、印字できる範囲を表しています。

お願い

・印字ヘッドが動いているときは、印字ヘッドに触れたり、無理な力を加えたりしないでください。

・印字中は、フロントカバーを開けないでください。

プリンタを設置する

■　設置手順

プリンタは次の手順で設置してください。

1　製品が全てそろっていることを確認する

梱包されている製品は「製品の内容」（7ページ）を参照してください。

2　カバー部品を固定しているテーピングを外す

3　フロントカバーを開けて輸送用固定材を外す

輸送用固定材の取り外しについては「輸送用固定材の取り外し」（14ページ）を参照してください。

4　リアカバーを取り付ける

リアカバーの取り付けについては「リアカバーの取り付け・取り外し」（15ページ）を参照してください。

5　電源コードを接続する

電源コードの接続については「電源コードの接続」（20ページ）を参照してください。

6　リボンカセットを取り付ける

リボンカセットの取り付けについては「リボンカセットを取り付ける」（21ページ）を参照してください。

7　必要に応じて機能設定を変更する

機能設定の変更方法については「第２章 プリンタの機能と使い方」（29 ページ）を参照してください。

8　パソコンと接続する

プリンタケーブル（別売）を準備します。パソコンとの接続にいては「パソコンとの接続」（16ページ）を参照してください。

お願い

・Windows 7/2008 R2 の場合は、プリンタとパソコンを接続する前に、プラグアンドプレイの準備が必要ですので、『ソフトウェア編』を参照してください

9　ドライバをインストールする

ドライバのインストールについては『ソフトウェア編』を参照してください。

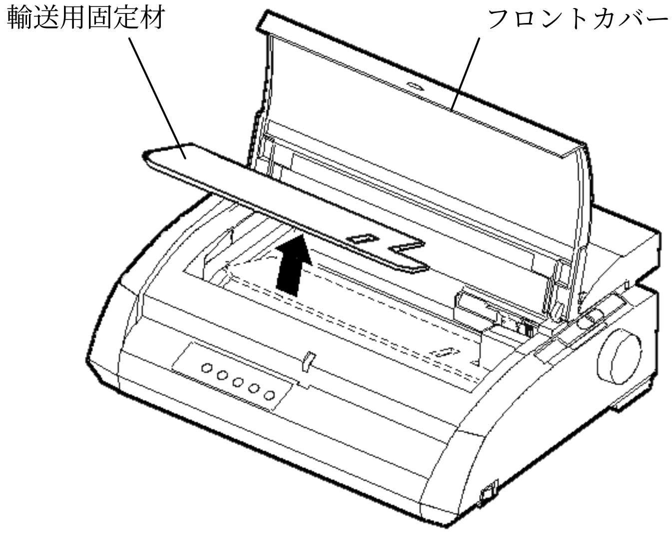
■　輸送用固定材の取り外し

輸送中の振動などから印字ヘッドを保護するため、輸送用固定材が取り付けられています。プリンタを使用する前に、必ず取り外してください。

お願い

取り外した輸送用固定材は、箱と一緒に保管しておき、再びプリンタを輸送する場合や保管する場合に使用してください。

フロントカバーを開けて、印字ヘッドを固定している輸送用固定材を上に抜き取ります。

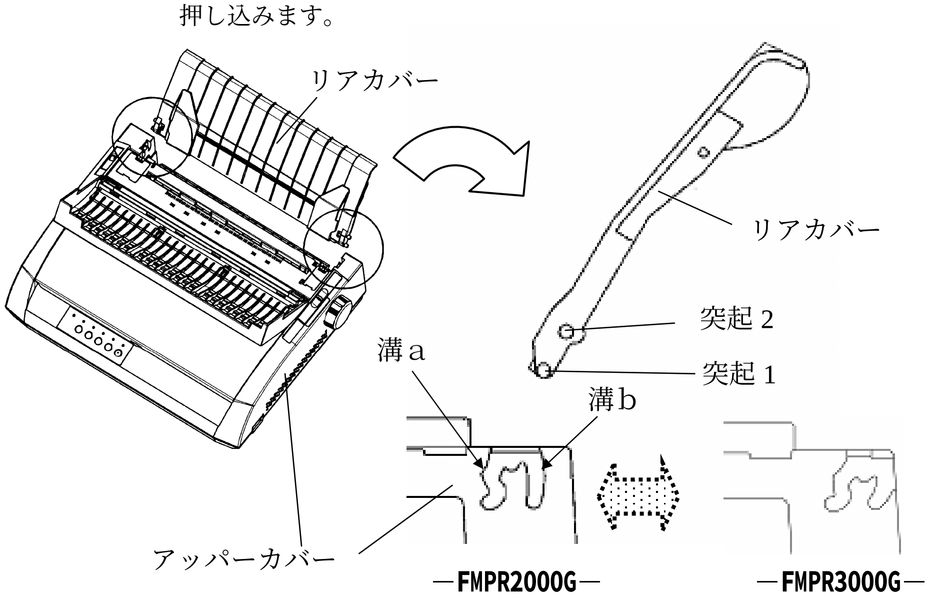


■　カバーの取扱いについて

◆　リアカバーの取り付け・取り外し

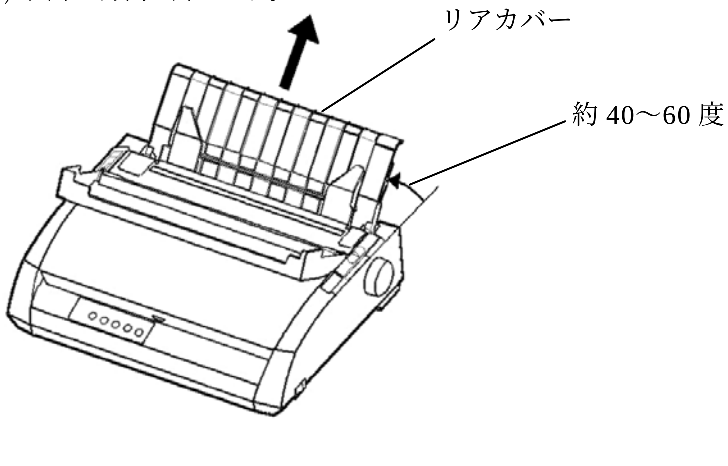
【取り付け方】

1) リアカバーを約 60 度に傾けた状態で、リアカバーの突起１をアッパーカバーの溝ａに入れます。
2) リアカバーの突起 2 がアッパーカバーの溝 b に完全に落ちるまで、軽く押し込みます。



【取外し方】

1) リアカバーを手前側に起こします。
2) 矢印の方向に外します。



■ パソコンとの接続

プリンタケーブルは接続するパソコンによって異なります。パソコンや使用目的に応じた適切なケーブルをご使用ください。

⚠警告

感電

プリンタケーブルを抜き差しするときは、必ずパソコンと本プリンタの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いたあとに行なってください。

感電の原因となります。

⚠注意

感電

プリンタケーブルの接続は間違いがないようにしてください。

誤った接続状態で使用すると、プリンタ本体およびパソコン本体が故障する原因となることがあります。

パソコンとの接続は、次の手順で行います。

お願い

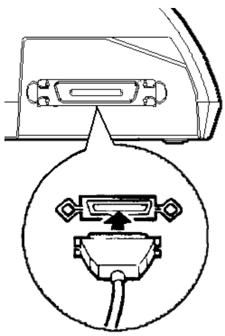
・Windows 7/2008 R2 の場合は、プリンタとパソコンを接続する前に、プラグアンドプレイの準備が必要ですので、『ソフトウェア編』を参照してください

1 プリンタとパソコンの電源を切る

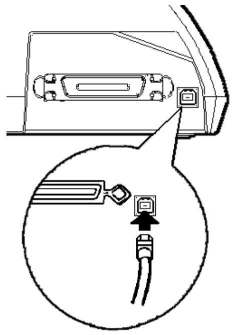
電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認します。

2 プリンタ左側のシャッターを開いて、プリンタケーブルの一方を、プリンタ側面のプリンタケーブルコネクタに差し込む

〈パラレルおよび USB インターフェースの場合（FMPR2000G/3000G）共通〉



◆ パラレル
インターフェース



◆ ＵＳＢ
インターフェース

注意

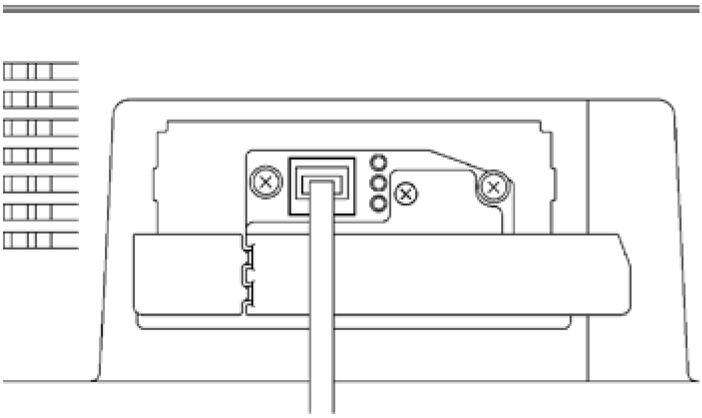
- **USB インターフェースで接続した場合、パラレルインターフェースとの同時接続はできません。**
- **USB インターフェースは全ての USB 対応機器との接続を保証するものではありません。**
- **パソコンとプリンタの接続に使用する USB ケーブルは、5m 以下のシールドケーブルをお使いください。**
- **印刷中に USB ケーブルを抜き差ししないでください。**
- **USB ハブを使用する場合は、パソコンと直接接続された USB ハブに接続してください。**
- **本プリンタと接続した USB ケーブルのもう一方は、パソコン本体の USB コネクタ、またはセルフパワータイプの USB ハブ（電源コードや AC アダプタにより電源が供給されるタイプのハブ）のコネクタに接続してください。上記以外の USB コネクタに接続すると、正常に動作しない場合があります。**
- **Windows 95 および Windows NT 4.0 では USB インターフェースをサポートしていません。**

ガイド

・USB1.1 または USB2.0 に準拠した USB ケーブルを用意してください。ただし、USB2.0 のケーブルを使用しても、本プリンタとの接続時は USB1.1 で動作します。

・別売ケーブルとしてプリンタケーブル（FMV-CBL716）、プリンタUSBケーブル（XL-CBLU2G）が用意されています。（27ページ参照）

〈LAN インターフェースの場合〉



◆ LAN インターフェース

ガイド

・オプションのプリンタ LAN カード（FMPR-LN1G）を取り付けることにより、100BASE-TX/10BASE-T のネットワーク環境でのプリンタ共有が可能になります。プリンタ LAN カードの取り付け方法については、プリンタ LAN カード添付のオンラインマニュアルを参照してください。

・LAN カード搭載時はパラレルインターフェースおよび USB インターフェースとの同時接続はできません。

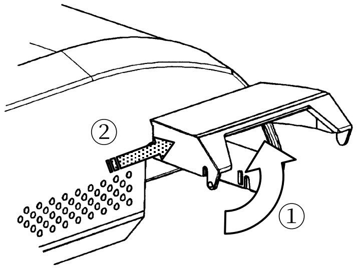
3 ケーブルのもう一方をパソコンに接続する

接続の方法は、お使いになるパソコンのマニュアルをご覧ください。

■　シャッターの取り外し・取り付け

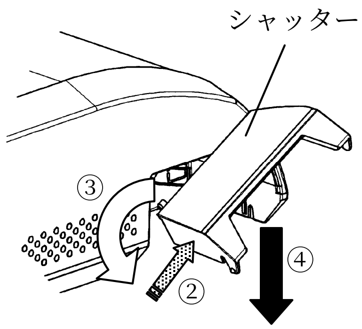
シャッターが不要な場合は、以下の手順で取り外すことが出来ます。

【取り外し方】



① シャッターを開きます。

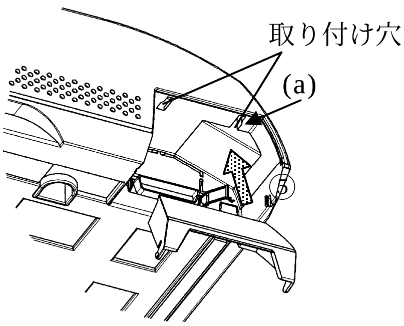
② シャッターの後側を軽く手前側へ押します。

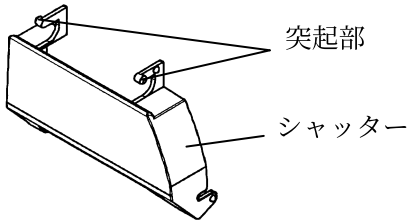


③ ②の状態を保持しながら下に回します。

④ シャッターを外します。

【取り付け方】





⑤ シャッターを傾けて片側の突起部から装置の取り付け穴（a）側に入れ、取り外し時の逆の順序で取り付けてください。

⚠注意	⚠ 一般的注意　**シャッターの後側を押す際に、強く押し過ぎないように注意してください。シャッターの突起部分が破損する場合があります。**

■　電源コードの接続

⚠警告

感電

添付の電源コード以外は使用しないでください。

プラグから出ている緑/黄色のアース線を、必ず次のいずれかに取り付けてください。

・銅片などを 650㎜ 以上地中に埋めたもの

・D 種（旧：第３種）接地工事を行なっている接地端子

アース接続しないで使用すると、万一漏電した場合に、感電・火災の原因となります。

"必ずアース接続を行って下さい。アース接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行って下さい。又、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。"

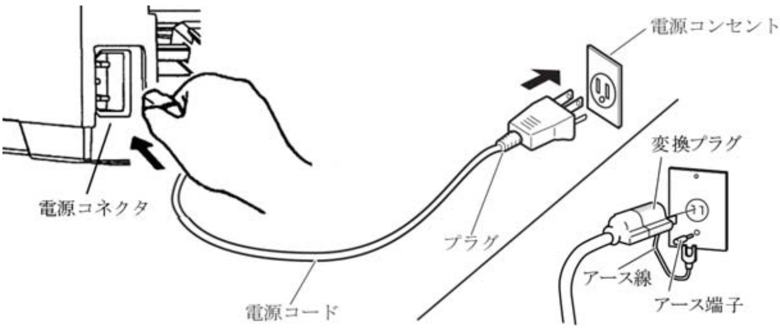
電源コードの接続は、次の手順で行います。

1　プリンタとパソコンの電源を切る

電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認します。

2　プリンタ背面の電源コネクタに電源コードを接続する

電源コードのプラグを電源コンセントへ接続し、電源コードプラグのアース線を、電源コンセントのアース端子に接続します。



お願い

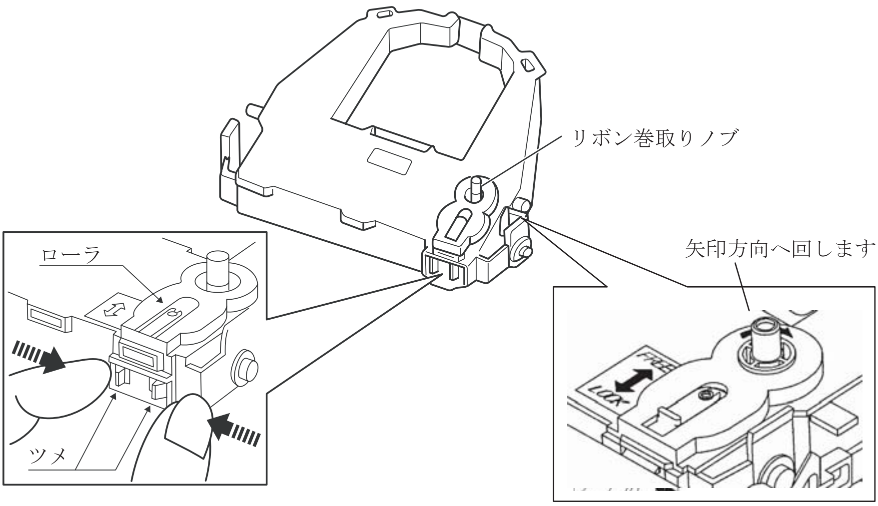
電源プラグは、根元まで確実に差し込んでください。

リボンカセットを取り付ける

リボンカセットの取り付けは、次の手順で行います。

1　以下の手順でローラのロックを外し、リボン巻取りノブを時計回りに回してリボンのたるみをとる

リボンカセット側面にロックしてある２個のグレーのツメを内側に押し外し、ローラを「FREE」側にします。

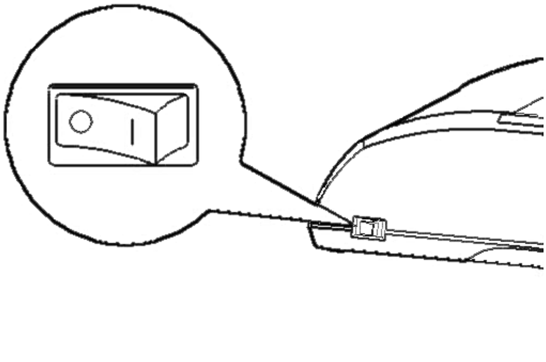


お願い

リボン巻取りノブは、反時計方向に回さないでください。

2　電源が切れていることを確認する

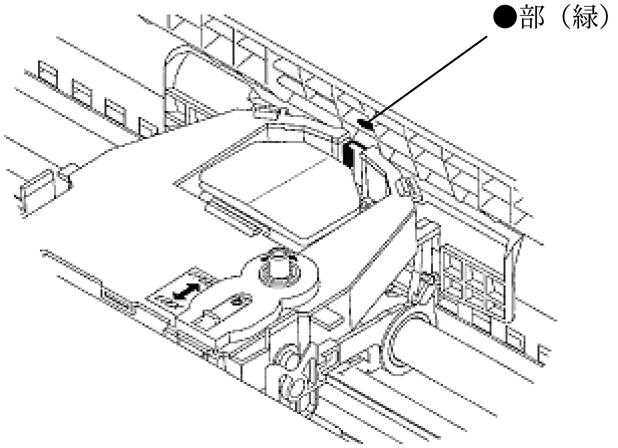
（電源スイッチが（○側）に倒れた状態です。）



3　用紙厚調整レバーを“D”の位置にセットする

4　フロントカバーを開ける

5　印字ヘッドをプリンタのイジェクションカバーの●部（緑）に移動する



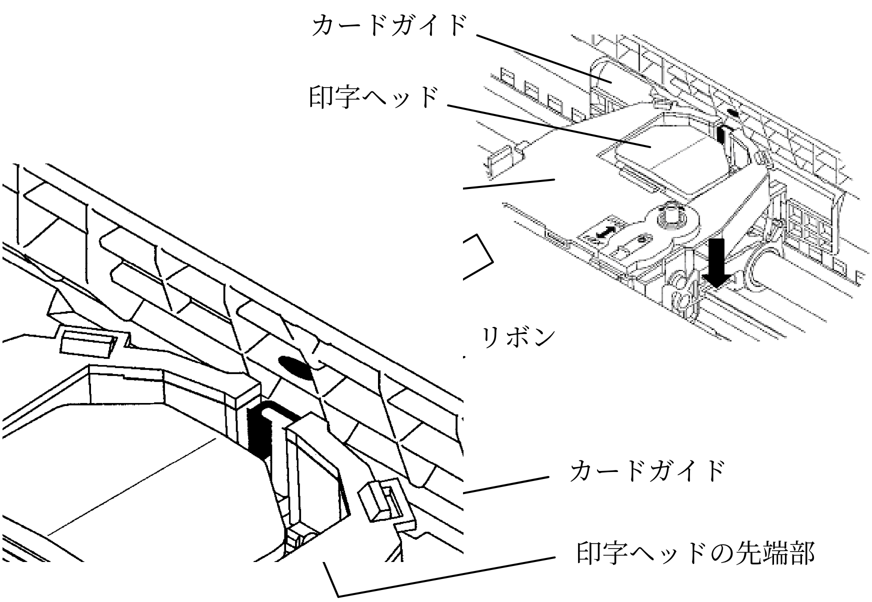
▲注意

高温注意

使用中や使用直後は、印字ヘッドが高温になります。温度が下がるまで触らないでください。

6　印字ヘッドとカードガイドの間にリボンを通し、リボンカセットを静かに押し込む

（リボン巻取りノブが上になるようにセットする）



7　リボン巻取りノブを時計回りに回して、リボンのたるみを取る

8　リボンカセットの取付け完了後、使用する用紙の厚さ、枚数に合わせて用紙厚調整レバーをセットする

用紙厚調整レバーについては「第３章 用紙のセット」（53 ページ）を参照してください。

電源の入れ方と切り方

プリンタの電源の入れかたと切りかたについて説明します。

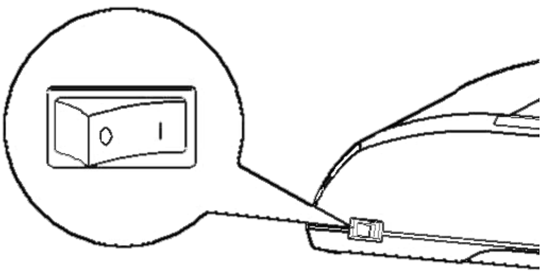
■　電源を入れる

お願い

購入後初めてプリンタに電源を入れるときは、次の点を確認してください。
- 輸送用固定材（印字ヘッド部保護用固定材）が取り外してあること
- 電源コンセントの電源電圧が 100V、電源周波数が 50 または 60Hz であること

フロントカバーが閉じていることを確認して、プリンタの側面にある電源スイッチの（｜）側を押します。

電源スイッチ　（｜）側



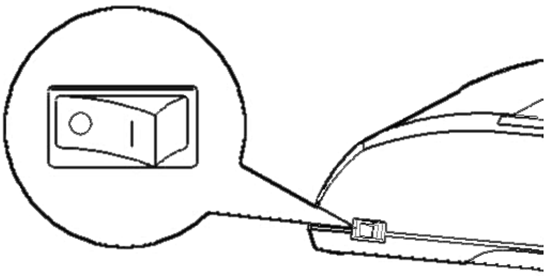
■　電源を切る

お願い

- 電源の切断は、必ず電源スイッチで行ってください。電源プラグを抜いて電源を切ると、プリンタ内の回路を傷めたりする場合があります。
- 印字ヘッドが動いているときは、電源を切らないでください。
- 電源を切った後、再び電源を入れる場合は、2 秒以上待ってください。間隔を開けずに電源を入れると、故障の原因になります。

「電源ランプ」が点灯しているときに、電源スイッチの（○）側を押します。

電源スイッチ（○）側



オプション品のご紹介

本プリンタは、次のオプション品を用意しています。必要に応じてお買い求めください。

■ カットシートフィーダ（FMPR3000G のみ）

品名	型名	内容
カットシートフィーダ	FMPR-CF8G	カットシートフィーダをプリンタに取り付けると、複数枚の単票用紙がセットできます。 さらに、ホッパーユニットをカットシートフィーダに取り付けると、2種類の単票用紙をセットできます。
ホッパーユニット	FMPR-CF81G	

■ プリンタ LAN カード（FMPR3000G のみ）

品名	型名	内容
プリンタLANカード	FMPR-LN1G	100BASE-TX/10BASE-T に対応したLANカードです。TCP/IPに対応しています。 取り付け方法については、プリンタLANカード添付のオンラインマニュアルを参照してください。 LANカード搭載時は、パラレルインターフェースおよびUSBインターフェースとの同時接続はできません。

■ プリンタケーブル

ご使用のパソコンに対応したケーブルをご使用ください。

お願い

本製品にはプリンタケーブルは添付されていません。パソコン本体に添付のケーブルか、別売ケーブルをお使いください。

別売ケーブルは以下のものが用意されています。

◆ パラレルインターフェースケーブル

品名	型名	備考
プリンタケーブル	FMV-CBL716	FMVシリーズ、各社AT互換機に接続できます。（1.5m）

◆ USB ケーブル

品名	型名	備考
プリンタ USB ケーブル	XL-CBLU2G	Windows 98/Me/2000/XP/2003/Vista/2008/7/2008 R2が動作するパソコンに接続できます。 本ケーブルはUSB2.0 に対応していますが、本プリンタとの接続時は、USB1.1で動作します。（1.5m） USB変換ケーブル（FMV-CBL722）は使用できません。

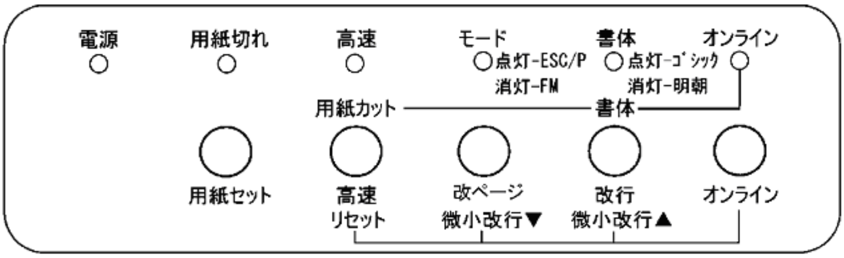
第2章

プリンタの機能と使い方

この章では、操作パネルの機能やその使いかたについて説明します。

操作パネルの機能

操作パネルには、プリンタの状態を示すランプとプリンタを操作するためのスイッチが付いています。



■ ランプ

ランプの機能は、次のとおりです。

ランプ名称	色	機　能
電　源	緑	電源が入ると点灯します。
用紙切れ	橙	用紙がなくなると点灯します。 アラームはエラー発生時に点滅します。
高　速	緑	高速印字モードで点灯します。
モード	緑	ESC/P モードのとき点灯します。 FM モードのとき消灯します。
書体	緑	漢字書体の状態を表示します。 ゴシック体設定時に点灯、明朝体設定時に消灯します。
オンライン	緑	オンライン状態で点灯、オフライン状態で消灯します。

■ スイッチ

スイッチの機能は、下表のとおりです。

スイッチ名称	機　　能
オンライン	・オンライン状態とオフライン状態を切り替えます。 ・オンライン状態のときは、「オンライン」ランプが点灯します。 本文中では、**オンライン**と表記します。
改行／書体	本スイッチはオンライン時とオフライン時で機能が異なります。 〔オンライン状態のとき：書体〕 ・全角漢字、および半角漢字の書体を切替えます。 ・「書体」ランプが消灯しているときに本スイッチを押すと、ゴシック体選択状態となります。「書体」ランプが点灯します。 ・「書体」ランプが点灯しているときに本スイッチを押すと、明朝体選択状態となります。「書体」ランプが消灯します。 ・漢字書体は、セットアップモード、または書体切替えコマンドでも切替え可能です。 ・データ受信中、または印字動作中は、本スイッチは無効です。 〔オフライン状態のとき：改行〕 ・1 回押すたびに、1／6 インチずつ改行します。 ・押し続けると、連続して改行を行います。 本文中では、**改　行**と表記します。
改ページ	〔オフライン状態のとき〕 ・用紙を 1 ページ分送ります。 本文中では、**改ページ**と表記します。 〔オンライン状態のとき〕 ・本スイッチは無効です。

スイッチ名称	機　　能
用紙カット／高速	本スイッチはオンライン時とオフライン時で機能が異なります。 〔オンライン状態のとき：用紙カット〕 ・ <u>連帳モードのとき</u> 印字ヘッドがページの先頭印字位置にあるときは、カット位置まで用紙を送ります。 FMPR3000G の場合、オプションのカットシートフィーダ(FMPR-CF8G)搭載の有無にかかわらず有効です。 もう一度押すと、用紙が元の位置に戻ります。 ・ <u>単票モードのとき</u> このスイッチは無効です。 〔オフライン状態のとき：高速〕 ・ 高速印字モードと通常印字モードを切り替えます。 ・ 高速印字モードのときは、「高速」ランプが点灯します。 (注) 高速印字モードは、通常印字モードに比べて文字構成の密度が粗くなります。用途や目的に応じて使い分けてください。 本文中では、**高　速**と表記します。
用紙セット	〔オフライン状態のとき〕 ・ <u>連帳モードのとき</u> ・ 用紙なし状態のときは、用紙を印字開始位置まで送ります。 ・ 用紙あり状態のときは、用紙が退避位置まで後退します。 ・ <u>単票モードのとき</u> ・ 用紙なし状態のときは、リアカバーにセットした用紙を印字開始位置まで送ります。 ・ 用紙あり状態のときは、用紙の排出動作をします。 本文中では、**用紙セット**と表記します。 〔オンライン状態のとき〕 ・ 本スイッチは無効です。

◆ 2 つのスイッチを使って操作するとき（微小改行）

次のスイッチの組合せで、微小改行等の操作を行うことができます。

名　称	スイッチ	機　　能
▲微小正改行	**オンライン** ＋ **改　行**	〔オフライン状態のとき〕 ・ **オンライン**を押しながら、**改　行**を押すと、1 回押すたびに 1／180 インチ単位で正方向に微小改行します。 ・ 押し続けると、連続して微小正改行します。
▼微小逆改行	**オンライン** ＋ **改ページ**	〔オフライン状態のとき〕 ・ **オンライン**を押しながら、**改ページ**を押すと、1 回押すたびに 1／180 インチ単位で逆方向に微小改行します。 ・ 押し続けると、連続して微小逆改行します。
リセット	**オンライン** ＋ **高　速**	〔オフライン状態のとき〕 ・ **オンライン**を押しながら、**高　速**を押すとブザーが鳴り、リセット動作を行い未印刷データが消去されます。
用紙の吸入量の調整	**オンライン** ＋ **用紙セット**	〔オフライン状態のとき〕 ・ **オンライン**を押しながら、**用紙セット**を押すと用紙の吸入量を調整できる状態になります。 ・ 用紙の吸入量を調整する方法は「用紙の吸入量を調整する」（45ページ）参照願います

◆ スイッチを押しながら電源を入れるとき

名　称	スイッチ	機　　能
機能設定の変更	**用紙セット**	**用紙セット**スイッチを押しながら電源を入れると機能設定が変更できる状態になります。（34ページ参照）
行間ズレを直す	**高　速** ＋ **改ページ**	**高　速**スイッチと**改ページ**スイッチ押しながら電源を入れると、行間ズレを直すための調整パターンを印刷します。（43ページ参照）
テスト印字をする	**改　行**	**改　行**スイッチを押しながら電源を入れると、テストパターンを印刷します。（129 ページ参照）

機能設定

ここでは、プリンタの各機能の設定変更の内容と、設定の変えかたについて説明します。

■ 機能設定の変更

機能設定の変更を行う場合は､まずトップカバーを開いてメニュー印字が見えるようにしてください。

機能設定の変更は、次の手順で行います。

注１）カットシートフィーダを取り付けているときは、機能設定を変更できません。

1 トップカバーを開いてプリンタにＡ４タテ以上の用紙をセットする

用紙のセットのしかたは「第３章　用紙のセット」（53 ページ）を参照してください。

2 電源を切る

（電源スイッチが（○）側に倒れた状態になります。）

3 機能設定を変更できる状態にする

用紙セットスイッチを押しながら電源を入れます。
以下のメニューを印字し、プリンタの機能設定が変更できる状態になります。

セットアップ開始			
設定	終了	設定一覧	初期化

※印字ヘッドの位置が選択する項目を示します。

メニューの内容は次のとおりです。

メニュー名	内　容
設　　定	プリンタの機能設定を変更します。
終　　了	プリンタの機能設定を終了します。
設定一覧	現在の設定内容を印字します。
初 期 化	現在の設定内容を初期設定に戻します。

4 メニューを選択する

[改ページ] スイッチを押して、選択する箇所に印字ヘッドを移動させます。

[改　行] スイッチを押すと選択した項目を実行します。

「設定」を選択したとき	機能設定を変更できる状態になります。→ *5*へ
「設定一覧」を選択したとき	設定一覧を印字します。
「初期化」を選択したとき	設定を初期化後機能設定の変更を終了します。

5 設定内容を変更する

メニューで〔設定〕を変更すると、設定項目の大項目メニューが印字されます。（下図）

装置機能設定	余白量設定	ESC/P 設定	補正量設定	その他の設定

設定変更したい大項目を選択し、[改　行] スイッチを押下すると、最初の設定項目を印字し、現在設定されている設定値にアンダーラインを付加して印字します。

- 設定値数が 6 個以上の場合、設定値は縮小文字で印字されます。
- 印字ヘッドは、アンダーラインを付加した機能の位置に停止します。
- [改ページ] スイッチを押すと、選択する箇所に印字ヘッドを移動します。
- [改　行] スイッチを押すと、選択した内容が設定され、次の設定内容が印字されます。
- [高　速] スイッチを押すと、選択した内容が設定され、一つ前の設定内容が印字されます。
- [オンライン] スイッチを押すと、大項目メニューに戻ります。

ホストインタフェース		
自動	ＦＭ	<u>AT</u>
<u>自動</u>	ＦＭ	AT
モード設定		
ＥＳＣ／Ｐ（点灯）	ＦＭ（消灯）	<u>自動</u>

6 初期メニューに戻る

[オンライン] スイッチを押すと「セットアップ開始」メニューに戻ります。

設定	終了	設定一覧	初期化

7 機能設定の変更を終了する。

改ページ スイッチを押し、印字ヘッドを「終了」の箇所に移動して、改　行 スイッチを押すと機能設定の変更が終了します。

注１）　機能設定の変更中に「用紙切れ」状態になったとき、機能設定を継続するには以下のようにしてください。
単票動作時　：　次の用紙をセットすると自動的に印字開始位置まで吸入され、機能設定を継続できます。
連帳動作時　：　用紙送りトラクタに連続帳票用紙をセットして、用紙セット スイッチを押すと用紙を印字開始位置まで吸入し、機能設定を継続できます。

注２）　機能設定を変更中に電源が切れた場合には、設定した内容は保証されません。

■　機能設定の種類

表中の初期設定とは、ご購入時の設定値です。
○印のついている設定項目が初期設定です。

◆　設定項目

【装置機能設定】

機能名	設定内容	初期設定	内　容
ホスト インタフェース （注１）	FM		パラレルインターフェース使用時にプリンタが接続されているホストを設定します。 種別 → ホストインタフェース FMV シリーズ(AT 互換機) → AT FMR シリーズ → FM
	AT	○	
モード設定	自動 (注１)		電源投入直後のエミュレーションモードを設定します。 「自動」に設定すると、ホストインタフェースの設定内容により次のようにモードが決まります。 ホストインタフェース → モード設定 FM → FM AT → ESC/P
	FM (消灯)		
	ESC/P (点灯)	○	
オート ローディング	無効		単票用紙がセットされてから用紙の吸入が開始されるまでの時間を設定します。 無効を選択した場合は、用紙を吸入しません。
	0.5 秒		
	1.0 秒	○	
	1.5 秒		
	2.0 秒		

注１）FMPR3000G では本項目は表示されません。

機能名	設定内容	初期設定	内　容
単票用紙無し検出	検出する	○	単票モード時の単票用紙無しを検出する／しないを設定します。
	検出しない		
印字方向	両方向	○	電源投入時の印字方向を設定します。
	片方向		
印字速度	標準	○	電源投入時の印字速度を設定します。
	高速		
漢字書体	明朝体	○	電源投入時の全角漢字および半角漢字の書体を設定します。
	ゴシック体		
ブザー	鳴動する	○	ブザーの鳴動する／しないを設定します。鳴動しないを選択すると、一切鳴らなくなります。
	鳴動しない		

【余白量設定】

機能名	設定内容	初期設定	内　容
上端余白量指定	ドライバ指定優先	○	用紙吸入時の上端余白量の指定方法を設定します。 「ドライバ指定優先」を選択した場合は、Windows ドライバから指定された上端余白に従います。 「セットアップ優先」を選択した場合は、機能設定の【余白量設定】で指定した上端余白量に従います。
	セットアップ優先		
単票上端余白量ＥＰ	4.2㎜		ESC/P モードにおける、単票用紙の上端から第一行印字文字の上端までの量を設定します。
	8.5㎜	○	
	22.0㎜		
連帳上端余白量ＥＰ	4.2㎜		ESC/P モードにおける、トラクタから吸入した用紙の上端から第一行印字文字の上端までの量を設定します。
	8.5㎜	○	
	22.0㎜		
単票上端余白量ＦＭ	4.2㎜		FM モードにおける、単票用紙の上端から第一行印字文字の上端までの量を設定します。
	9.1㎜		
	14.3㎜		
	22.0㎜	○	
連帳上端余白量ＦＭ	4.2㎜		FM モードにおける、トラクタから吸入した用紙の上端から第一行印字文字の上端までの量を設定します。
	22.0㎜	○	
連帳下端余白量（最終頁）	8.5㎜	○	連帳用紙の下端余白量を、印字可能最終行の文字下端から用紙下端までの量を設定します。
	80㎜（注１）		

注１）80㎜設定時に用紙なしを検出した場合は、頁内のデータが残っている可能性がありますので、ジョブをいったんキャンセルし、プリンタをリセットしてから用紙をセットし、再度用紙なし発生の頁から印刷をしてください。なお、オーバーライド機能（41ページ参照）により、用紙がある間は印字を続けることができます。

【ESC/P 設定】

機能名	設定内容	初期設定	内　容
LAN 接続	有効	○	本項目は、FMPR-LN1G 搭載時のみ印刷されます。 設定値は『有効』固定となります。
連帳ページ長	11 インチ	○	連帳用紙のページ長を設定します。 連帳用紙のみの有効な値です。 Windows から印字した場合は、ドライバからの指定値に変更されます。
	12 インチ		
連帳ミシン目スキップ	0 インチ	○	連帳用紙のミシン目を挟んでスキップする量を設定します。
	1 インチ		
文字品位	LQ	○	ANK 文字の文字品位を設定します。
	DRAFT		
縮小文字	標準印字	○	印字文字の大きさを設定します。
	縮小印字		
コードテーブル	カタカナ	○	ANK コード表を設定します。
	拡張グラフィックス		
ANK 書体	クーリエ	○	ANK 文字の書体を設定します。
	サンセリフ		
数字フォント幅	標準	○	数字フォント(0～9)のフォント幅を選択します。 本設定は、漢字全角文字（明朝体／ゴシック体）に対してのみ有効です。
	幅広		
ゼロフォント字体	スラッシュ無し	○	ANK コード(30ｈ)の印字フォントパターンを選択します。 本設定は、クーリエフォントに対してのみ有効です。
	スラッシュ有り		
国際文字	日本	○	国際文字の出力種類を設定します。
	アメリカ		
文字間	10CPI	○	ANK 文字の文字ピッチの大きさを設定します。
	12CPI		
行間	6LPI	○	改行量指定のないデータに対する改行ピッチの大きさを設定します。
	8LPI		
ＣＲコード	CR	○	CR コードの機能を、印字指令とするか、印字改行指令とするかを設定します。 *AFXT を選択したときの CR コードの機能は、電源投入、*INIT 受信時の*AUTO FEED XT 信号の状態により決定されます。*AFXT の設定は、パラレルインターフェース時に有効となります。（USB インターフェースの場合、CR コードは CR となります） N-CR を選択した場合、CR ｺｰﾄﾞでは印字起動を行わず、受信位置の復帰（レフトマージン位置に戻す）のみを行います。
	CR+LF		
	*AFXT		
	N-CR		

機能名	設定内容	初期設定	内　容
オート ティアオフ	有効（注 1）		連帳用紙のオートティアオフの有効／無効を設定します。オートティアオフとは、印刷が終了し、または印刷データを印刷し終了するごとに自動的に用紙カット位置まで用紙を送る機能です。
	無効	○	
SLCTIN	有効	○	SLCT IN 信号の有効／無効を設定します。
	無効		
DC1/DC3	有効		DC1/DC3 コマンドの有効／無効を設定します。
	無効	○	
SLCT	HIGH 固定	○	SLCT 信号を HIGH 固定とするか、プリンタの状態により可変とするかを設定します。
	可変		
用紙カット後の 用紙戻し	する	○	用紙カットによる用紙送り出し状態で、*INIT,*INPRM,リセットコマンドを受信した場合に、その後の動作(「用紙カット」スイッチ押、印字起動)で用紙の引き戻しを行うかどうかを設定します。
	しない		
受信バッファ (16KB)	有り	○	受信バッファ（16KB）の有無を設定します。本設定により、インターフェース設定状態も切り替わります。 ※FM モード時は、受信バッファ「無し」固定です。
	無し		
用紙長インチ 変換	有効	○	連帳用紙の長さをミリメートルで設定した場合に、本来のインチに変換する機能の有効／無効を設定します。
	無効		

注１）本機能を有効で運用している場合に電源を切断し再投入したときは、用紙を再セットしてから印刷をしてください。そのままの状態で印刷をすると、用紙カット位置まで用紙が送られた状態からの印刷を開始するため、用紙の上端部分が白紙になります。

【補正量設定】

補正量設定は、用紙のたわみにより生じる、累積改行ズレを補正する機能設定です。
本設定により単票手差し、連帳用紙について補正量を設定することができます。

機能名	設定内容	初期設定	内　容
単票（手差し）改行補正量	-1.5mm		単票（手差し）用紙に対する累積改行補正量（注１）を設定します。（約 254mm 改行したときの改行ズレ量を補正します。印字位置が上にズレている場合は、+方向の補正を行います。）
	-1.0mm		
	-0.5mm		
	0mm	○	
	+0.5mm		
	+1.0mm		
	+1.5mm		
CSF 改行補正量	-1.5mm		CSF 用紙に対する累積改行補正量（注１）を設定します。本項目は、FMPR3000G でのみ設定可能です。
	-1.0mm		
	-0.5mm		
	0mm	○	
	+0.5mm		
	+1.0mm		
	+1.5mm		
連帳改行補正量	-2.0mm		連帳用紙の用紙吸入後の初期の累積改行補正量（注１）を設定します。（１ページ目に対してその後のページの印字ズレ量を補正します。印字位置が上にズレている場合は、+方向の補正を行います。）
	-1.5mm		
	-1.0mm		
	-0.5mm		
	0mm	○	
	+0.5mm		
	+1.0mm		
	+1.5mm		
	+2.0mm		
連帳改行補正量（最終頁）	-1.5mm		連帳用紙の最終ページに対する累積改行補正量（注１）を設定します。（最終ページの下端から約 80mm の改行ズレ量を補正します。印字位置が上にズレている場合は、+方向の補正を行います。）
	-1.0mm		
	-0.5mm		
	0mm	○	
	+0.5mm		
	+1.0mm		
	+1.5mm		

注１）補正結果は使用する用紙の種類により変わる場合があります。

【その他の設定】

機能名	設定内容	初期設定	内　容
単票自動 オンライン	有効		単票用紙吸入後、自動的にオンラインとするかを設定します。用紙の自動吸入、スイッチによる吸入ともに行います。
	無効	○	
連帳自動 オンライン	有効		連帳用紙吸入後、自動的にオンラインとするかを設定します。
	無効	○	
単票モード時の FF コード	ページ長送り	○	単票モードでの FF コード受信、および「改ページ」スイッチの処理方法を設定しますESC/P エミュレーションにおいて、『ページ長送り』を設定した場合でも、単票ページ長が設定されていない状態では、排出動作となります。
	排出		
オーバーライド （注１）	有効	○	オーバーライド機能の有効／無効を設定します。
	無効		
ACK タイミング	標準	○	ACKNLG 信号のパルス幅を設定します。
	高速		
BUSY-ACK タイミング	A-B		BUSY 信号と*ACKNLG 信号のタイミングを設定します。 ※　FMPR2000G では「自動識別」、FMPR3000G では「A-B-A」が初期設定になります。 ※　FMPR3000G では「B-A」「自動識別」は表示されません。
	A-B-A	○	
	B-A		
	自動識別	○	
用紙外印字防止	有効	○	用紙の左右端を検出し、印字領域を超えるデータの処理方法を設定します。 「連帳印字カット量　L or R」を何れか一つでも「10.0mm」に設定異した場合に限り、選択が可能になります。
	無効		
連帳印字 カット量 L	10.0mm		トラクタにセットした連帳左端面印字カット量(余白量)を設定します。左端のデータが印字できない場合に「10.0mm」に設定しご使用ください。 ただし、10mm 付近にミシン目がある場合、データがミシン目にかかると印字ヘッドピンが引っ掛かり折れるため、データはミシン目より用紙の内側にしてください。
	14.0mm	○	
	18.0mm		
	22.0mm		
	26.0mm		
	30.0mm		
	34.0mm		
連帳印字 カット量 R	10.0mm		トラクタにセットした連帳右端面印字カット量(余白量)を設定します。左端のデータが印字できない場合に「10.0mm」に設定しご使用ください。 ただし、10mm 付近にミシン目がある場合、データがミシン目にかかると印字ヘッドピンが引っ掛かり折れるため、データはミシン目より用紙の内側にしてください。
	14.0mm	○	
	18.0mm		
	22.0mm		
	26.0mm		
	30.0mm		
	34.0mm		
単票印字 カット量	2.8mm	○	単票セットフリーオフのときの単票左端面印字カット量(余白量)を設定します。 注)右端面は、2.8mm 固定です。
	15.0mm		
逆改行	する	○	縦倍文字やマルチパス文字など、1回の印字起動により複数パスとなる文字を印字する際に生じる逆改行を、極力少なくする制御です。「しない」設定時は不要な逆改行が無くなります。
	しない		

注１）　オーバーライド機能とは、用紙なしを検出しオフライン状態になった場合に、「オンライン」スイッチを押すことにより、強制的に１ライン印字する機能です。

機能名	設定内容	初期設定	内　容
連帳改行時 リボン保護制御	有効		連帳改行時に印字ヘッドが用紙送り穴位置に停止した場合、用紙送り穴位置を避けて改行し、リボンを保護するかしないかを設定します。
	無効	○	
用紙カット 引き戻し制御	精度優先		用紙カット引き戻し時の動作方法を設定します。 「速度優先」設定時は、用紙送り出しを行った分だけ引き戻しを行い、元の位置（ページ先頭位置）に戻ります。 「精度優先」設定時は、用紙後退により用紙無しを検出した場合（用紙が切り取られた場合）に用紙再吸入動作を行います。
	速度優先	○	
スキップ印字	有効	○	1 行中の印字データ間に一定量の空白部分がある場合に、空白部分をスキップ（変速動作）するかどうかを設定します。 ただし、空白の前後にある印字データの印字速度が異なる場合（ＬＱ文字＋空白＋ＣＱ文字　等）は、本設定に関わらず、空白部分での変速動作を行います。
	無効		
エラー監視 （注２）	有効	○	ニブルモード要求により、ステータス情報を送信バッファにセットするかどうかを設定します。 本設定により、FMPR ステータスモニタやオプションのプリンタ LAN カード（FMPR-LN1G）使用時に、エラー情報が参照可能となります。 本設定は、ESC/P エミュレーションに対してのみ有効です。
	無効		

注２）　FMPR3000G のみの機能です。

行間ズレを直す

縦罫線などを正逆両方向で印字するときに生じる行間ズレを直します。
FMPR3000G では、標準印字圧と高複写モードの２つの印字圧について、通常印字、高速印字およびドラフト印字の各々のモードで行間ズレを直すことができます。（FMPR2000G については標準印字のみ）
行間ズレは、次の手順で直します。

1　10 インチ幅以上の連続用紙または A4 タテの単票用紙をセットする（FMPR3000G プリンタでは 15 ｲﾝﾁ幅以下または A4 タテの単票用紙となります）

用紙のセットのしかたは「第３章 用紙のセット」（53 ページ）を参照してください。

2　高　速スイッチと改ページスイッチを押しながら、電源を入れる

イメージ印字速度で調整用パターンを印字します。
矢印（←と→）は、印字ヘッドの移動方向を示します。



3　調整用パターンの印字が始まったら、調整を行う

・印字ヘッドの移動方向と同じ方向に印字結果を移動させるとき
　改　行スイッチを押します。
　押し続けると、印字ヘッドの移動方向が変わるたびに約 0.06㎜ ずつ、矢印と同じ方向に印字結果が移動します。

・印字ヘッドの移動方向と逆の方向に印字結果を移動させるとき
　改ページスイッチを押します。
　押し続けると、印字ヘッドの移動方向が変わるたびに約 0.06㎜ ずつ、矢印と逆の方向に印字結果が移動します。

・印字モードを切り替えるとき
　調整パターン印字中に**高　速**スイッチを押します。
　高　速スイッチを押すたびに、通常印字モード（ＬＱ速度）→高速印字モード（ＣＱ速度）→ドラフト印字モード（ＤＱ速度）の順に切り替わります。

・ 印字モードにより、「高速」ランプと「オンライン」ランプの状態が次のようになります。

モード／ランプ	標準印字モード	高速印字モード	ドラフト印字モード
「高速」ランプ	消灯	点灯	点灯
「オンライン」ランプ	消灯	消灯	点灯

・ FMPR3000Gでは、**用紙セット**スイッチを行端で押下すると「書体」ランプが点滅し、高複写モードでの正常印字ずれ補正となります。
高複写モードでも通常印字、高速印字およびドラフト印字のそれぞれについて調整を行ってください。
（カットシートフィーダ搭載時の単票モード時は、カットシートフィーダから自動的に用紙を吸入して印字を行います。）

－ 本モードでの調整パターンは、以下のように印字されます。
・ 印字圧モード（標準印字圧／高複写印字圧），印字速度（標準／高速／ドラフト）の状態が、調整パターン（｜）の前に印字されます。

```
標準印字圧／LQ 速度
→｜          ｜          ｜          ｜          ｜
←｜          ｜          ｜          ｜          ｜
                          ・
                          ・
                          ・
```

印字圧モード／印字速度	タイトル印字	備　考
標準印字圧／通常印字	標準印字圧／LQ 速度	FMPR2000G では“ 標準印字圧 ”は印字されません
標準印字圧／高速印字	標準印字圧／CQ 速度	
標準印字圧／ドラフト印字	標準印字圧／DQ 速度	
高複写／通常印字	高印字圧／LQ 速度	FMPR3000G のみ
高複写／高速印字	高印字圧／CQ 速度	〃
高複写／ドラフト印字	高印字圧／DQ 速度	〃

4　調整が終わったら、オンラインスイッチを押す

調整した内容がプリンタに記憶され、調整パターンの印字が終了し、オンライン状態になります。

注）**オンライン**スイッチを押さないと、調整した内容がプリンタに登録されず、電源を切ると元の状態に戻ります。
調整は、通常印字速度、高速印字速度、ドラフト印字速度の順で行ってください。

用紙の吸入量を調整する

用紙の自動吸入（オートロード）時の用紙吸入位置を、行方向に微調整します。工場出荷時に、用紙の吸入量（印字開始位置）は初期設定値(8.5㎜)に調整されていますが、ずれている場合は、この機能で調整してください。連続帳票用紙、単票用紙それぞれの吸入量を調整できます。用紙の吸入量は、次の手順で調整します。

1　プリンタに用紙をセットする

用紙のセットのしかたは「第３章 用紙のセット」（53 ページ）を参照してください。

2　オフライン状態で［オンライン］スイッチを押しながら［用紙セット］スイッチを押す

プリンタの用紙吸入量を調整できる状態になります。

3　用紙の吸入位置を調整する

上端余白を大きくしたいとき［改　行］スイッチを押します。一回の操作で、１／180 インチ（約 0.14mm）補正します。
上端余白を小さくしたいとき［改ページ］スイッチを押します。一回の操作で、1／180 インチ（約 0.14mm）補正します。
本モード中に［高　速］スイッチを押すと、⋈ を１行印字します。

吸入量を確認するときに使用してください。

4　調整が終わったら、［オンライン］スイッチを押す

調整した内容がプリンタに記憶され、オンライン状態になります。

注）　［オンライン］スイッチを押さないと、調整した内容がプリンタに登録されず、電源を切ると元の状態に戻ります。
調整は、単票時の補正、連帳時の補正があります。『連帳／単票切替えレバー』にて状態を切替え、それぞれの補正を行います。

5　用紙をセットして、用紙吸入量が適切かどうか確認する

◆ カット位置の補正方法

カット位置に用紙を送り出したときに、プリンタの用紙カッタ位置と用紙のミシン目がずれている場合は、次の手順で位置を補正できます。
連帳用紙の送り出し量をそれぞれ補正できます。
約９mmの補正が可能です。

1　オンライン状態で［用紙カット］スイッチを押し用紙をカット位置に送る

2　用紙送り出し後も［用紙カット］スイッチを押したまま、［改　行］または［改ページ］スイッチを押しカット位置を合わせる

3　用紙カット位置に用紙のミシン目が合ったら［用紙カット］スイッチを離す

新たな用紙カットの送り出し量として設定されます。

・正方向（用紙を送り出す方向）に補正するとき
［改 行］スイッチを押します。
１回スイッチを押すごとに用紙を正方向に1/180 インチ補正されます。

・逆方向（用紙を戻す方向）に補正するとき
［改ページ］スイッチを押します。
１回スイッチを押すごとに用紙を正方向に1/180 インチ補正されます。

注）　［用紙カット］スイッチを離した時点で送り出し量が設定されるので、途中でスイッチを離した場合は手順 1 から やり直してください。

自動検出機能

このプリンタには、以下の自動検出機能があります。

◆ 用紙無し検出

印字中に用紙がなくなると、印字動作が停止して、「用紙切れ」ランプが点灯し、ブザーが鳴ってオフライン状態になります。

◆ カバーオープン検出

フロントカバーが開いた（カバーオープン）ことを検出し、動作を一時中断させる機能です。
オンラインアイドル中にカバーオープンを検出した場合、ブザーを鳴動しオフライン状態に移行します。
印字動作の途中でカバーオープンを検出した場合、その印字動作は中断されます。
カバーオープン検出中（アイドル中、印字動作中共に）は、全てのスイッチ操作が無効となります。

◆ 用紙左右端検出

ヘッドを左から右に移動しながら、TOF センサで用紙の左右端を検出して、印字領域を制御する機能です。
本機能は、機能設定『その他の設定』で『用紙外印字防止：　有効』に設定されている時のみ行います。

◆ 印字ヘッド昇温検出

印字ヘッドの過熱状態を検出すると、1 行を 3 回に分けて印字し、印字ヘッドの劣化を防止します。この場合、印字速度が著しく低下しますが、プリンタの異常ではありません。

◆ ヘビーデューティ・パターン検出

高密度の印字（50%以上）を行うと、1 行を 3 回に分けて印字します。

◆ 異常電流検出

プリンタ内で異常電流が流れたときは、プリンタ保護のために自動的に電流を切断します。この状態で電源スイッチを“ON”にしても、約 1 分間は電源が投入出来ません。数分後、電源を再投入してください。この状態で電源が投入できないときは、プリンタの故障ですので、電源プラグを抜いてお買い求めの販売店またはハードウェア修理相談センター（138 ページ参照）に相談してください。

エラー表示機能

このプリンタには、操作パネルの各ランプの点滅でアラーム内容を識別する機能があります。

エラー発生時に点滅するランプによりアラーム内容を下表のように識別できます。対処方法については「第５章 保守と点検」の「プリンタがうまく動かないとき」の「電源投入後「用紙切れ」ランプが点滅する。」（120 ページ）を参照してください。

下記アラームが発生した場合、オペレータ・パネルの LED ランプ点滅により、アラームを通知します。

ランプ ＼ アラーム名	用紙切れ	高速	モード	書体	オンライン	発　生　条　件
LES アラーム	(b)		(b)			スペースイニシャル動作実行中に LES 検出ができなかった
オーバーロードアラーム	(a)	(a)		(a)		印字中に過負荷となり 3 分割印字となったが電源電圧が復旧しなかった
低電圧アラーム	(b)	(b)		(b)		印字中以外に電源電圧が所定のレベルより低下した
過電圧アラーム	(a)	(a)				電源電圧が所定のレベルよりも高くなった
ROM/RAM アラーム	(a)	(a)	(a)	(a)		サムチェックエラー、リード/ライトエラー、CG-ROM 未搭載

*1 (a)(b)は、ランプ点滅の周期パターンを表します。
空白は、消灯を表します。

LED ランプ点滅周期は、以下の通りです。

	長点灯数	短点灯数	点滅周期															
			1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8
（a）	0	2	━		━						━		━					
（b）	0	3	━		━		━				━		━		━			
0.16 秒　（点滅間隔） 1.28 秒（周期）			←→															

*2 ━ はランプ点灯を表します。上記周期で、点滅を繰り返します。

下記エラーが発生した場合、オペレータ・パネルの LED ランプ点滅により、エラーを通知します。

ランプ／エラー名	用紙切れ	高速	モード	書体	オンライン	発生条件	対処方法
連帳／単票切り換えレバーエラー	ー	(c)	ー	ー		用紙が吸入されている状態で、連帳／単票切り換えレバーを切り換えた	連帳／単票切り換えレバーを元の位置に戻してください。
排出ジャムエラー	ー	ー	ー	(c)		用紙の排出に失敗した	1. プリンタの電源を切ってパソコン画面の[キャンセル]ボタンをクリックして、印刷を中止してください。 注)印刷を中止しない場合、正しく印刷されないことがあります。 2. プリンタ(給紙口、内部、排出部)の用紙を取り除いてください。
吸入ジャムエラー	○	ー	ー	ー		用紙の吸入に失敗した カットシートフィーダ使用時は消灯となります。	
規定外用紙エラー			(c)			単票(CSF)モードでユーザー定義サイズのページ長が 76㎜ 未満(単票用紙の印刷範囲外)を受信した。	・帳票を印刷したかったのに、プリンタが単票モードだった場合は、連帳／単票切り替えレバーを帳票側に切り換え、連帳用紙を吸入後に「オンライン」スイッチを押してアラームを解除してください。 ・単票を印刷したかったが、ユーザー定義サイズ設定を間違えていた場合は、パソコン側の印刷データをキャンセルした後、プリンタをリセット（オフライン状態でオンライン＋高速スイッチを押します）します。再印刷時にサポート範囲のユーザー定義サイズに変更してください。

*1 (c)は、ランプ点滅の周期パターンを表します。
“ ○ ”は点灯、空白は消灯、“ ー ”は状態変化無しを表します。

LED ランプ点滅周期は、以下の通りです。

	長点灯数	短点灯数	点滅周期															
			1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8
（c）	0	1	━		━		━		━		━		━		━		━	
0.16 秒　（点滅間隔） 1.28 秒（周期）			←→ (1)															

*2 ━ はランプ点灯を表します。上記周期で、点滅を繰り返します。

⚠注意



使用中や使用直後は、印字ヘッドが高温になります。温度が下がるまで触らないでください。

第3章

用紙のセット

この章では、用紙のセットのしかた、用紙厚の調整のしかた、印刷開始位置、行間ズレの直しかた、および用紙吸入量の調整方法について説明します。

用紙をセットする

このプリンタでは、連続帳票用紙および単票用紙が使用できます。

■ 連続帳票用紙をセットする

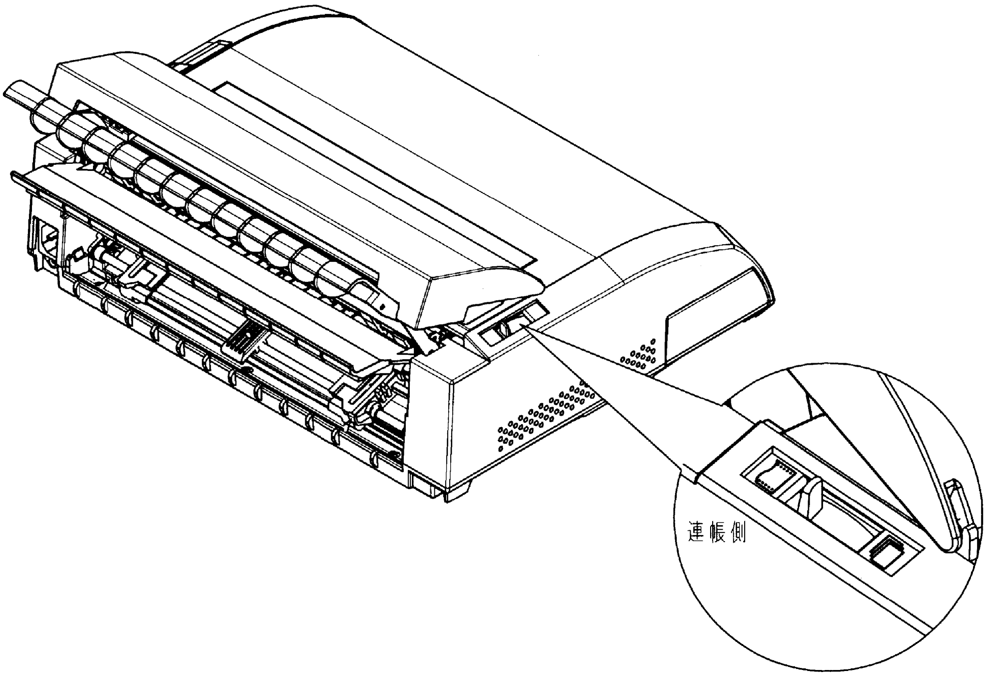
- 連続帳票用紙に印刷する場合はリアカバーを取り付けてください。
  リアカバーを取り付けない状態で印刷すると、排出した用紙が用紙送りトラクタに巻き込まれて紙づまりを発生する場合があります。
- このプリンタでは、カットシートフィーダ（オプション）を取り付けたままでも連続帳票用紙を使用できます。ただし、この場合はカットシートフィーダを取り付ける前に、連続帳票用紙をセットすることをおすすめします。

連続帳票用紙のセットは、次の手順で行います。

1 プリンタの電源を入れる

電源スイッチが「｜」側に倒れていることを確認します。

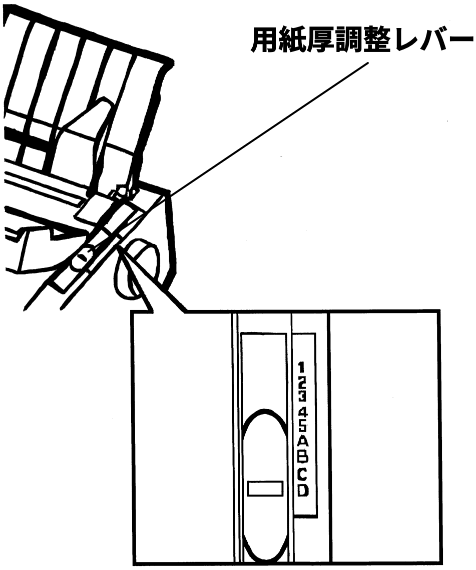
2 連帳／単票切替えレバーを「連帳」側にセットする



3 使用する用紙の厚さ、枚数に合わせて用紙厚調整レバーをセットする

下表を目安にレバーを目盛に合わせます。（詳細は、「用紙厚を調整する」（74ページ）参照

用紙枚数	用紙厚調整レバーの目盛
1枚	1 ～ 2
2～3枚	2 ～ 3
4枚	3 ～ 4
5枚	4 ～ 5



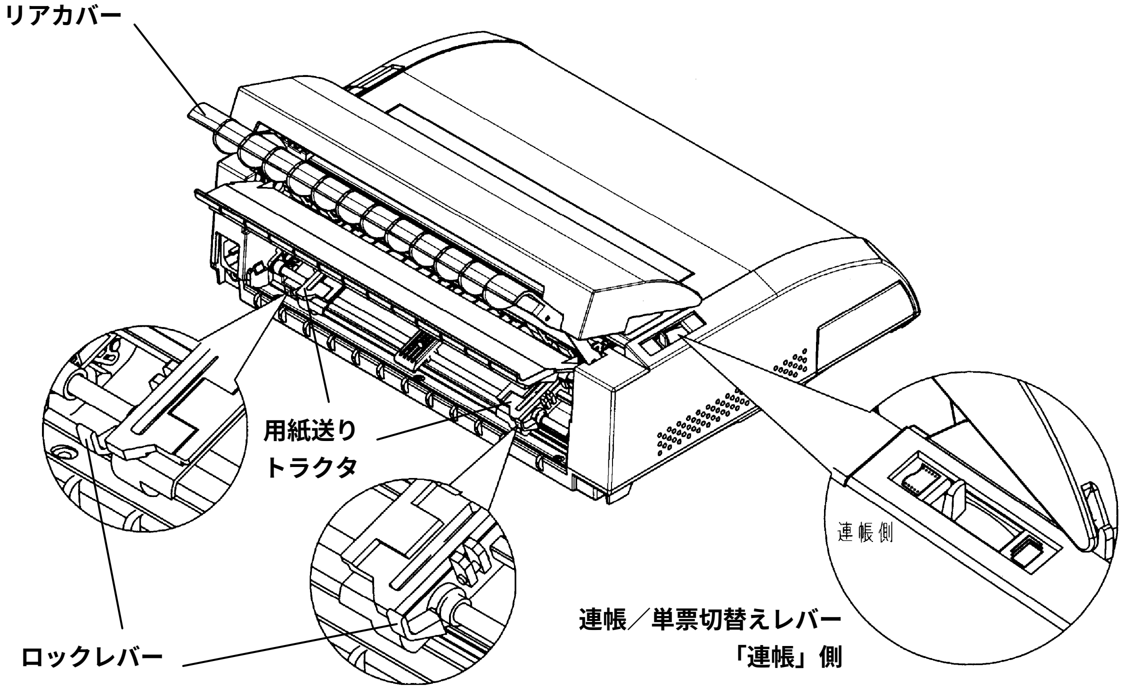
注意



用紙厚調整レバーは、正しく設定してください。用紙の厚みに対して、レバーが正しくセットされていないと、きれいに印字できないことがあります。
印字の周囲が汚れるときは目盛りを大きめに、印字がカスレるときは目盛りを小さめに設定してください。

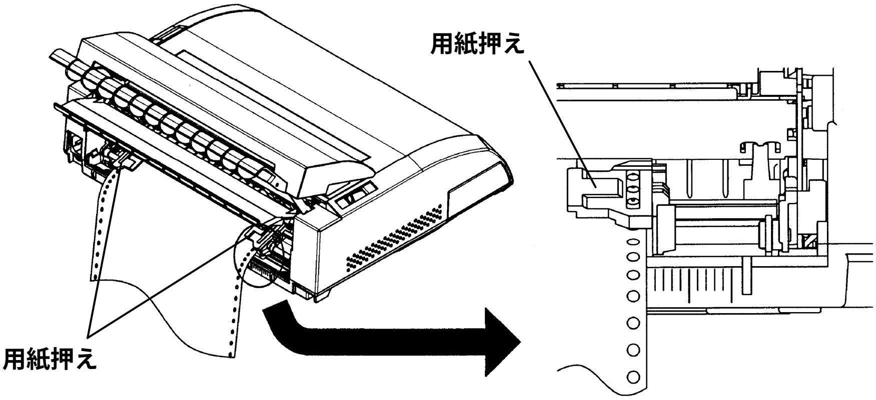
4 用紙送りトラクタのロックを外し、用紙押さえを開く

リアカバーを開け、用紙送りトラクタのロックレバーをプリンタに向かって押し上げてロックを解除し、トラクタが左右に移動できるようにします。次に用紙押えを開き、用紙をセットできる状態にします。



5 用紙送りトラクタに連続帳票用紙をセットする

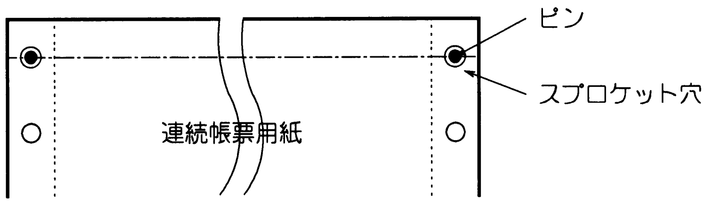
用紙送りトラクタのピンに連続帳票用紙の送り穴を通し、用紙押えを閉じます。右側の用紙送りトラクタを下図に示す位置にすると、左端余白（用紙左端からの余白）が最小値（約 11.43㎜）となりますので目安にしてください（ドライバを使用して印字する場合はこの位置に合わせます）。
用紙幅が５インチ以下の用紙をセットする場合は、必ずトラクタ位置をこの位置に合わせて用紙をセットしてください。
左側の用紙送りトラクタを用紙が軽く張るくらいに位置を調整します。



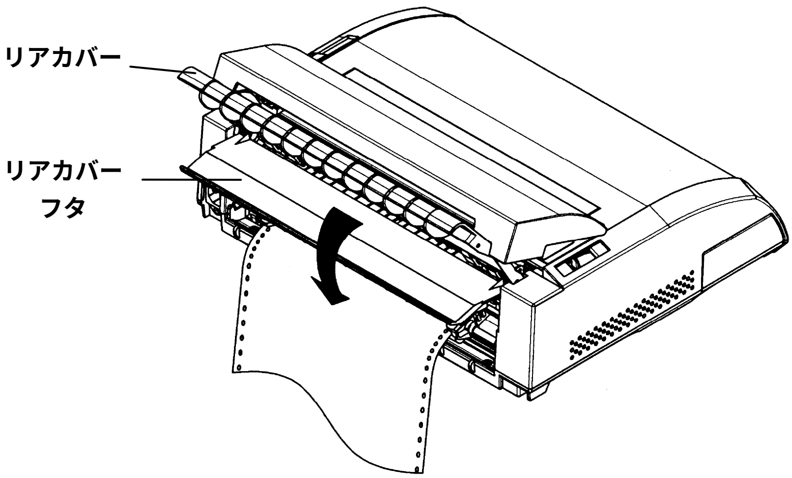
注意

一般的注意

用紙づまりを防ぐために、次の点に注意してください。
用紙を用紙送りトラクタにセットするとき、用紙を張りすぎないようにトラクタの幅を調整してください。
（用紙送りトラクタのピンと用紙のスプロケット穴の中心が一致するようにします。）



6 リアカバーから、リアカバーフタを外して倒す



⚠注意	⚠ 一般的注意　**印字音を抑えるためにリアカバーフタを閉めます。**

7 連続帳票用紙を印字開始位置まで送る

1) プリンタをオフライン状態にします。
　（「オンライン」ランプが消灯した状態です。）

2) **用紙セット**スイッチを押して、用紙を印字開始位置まで送ります。

印字開始位置の微調整については、「印字開始位置について」（76ページ）を参照してください。

⚠注意

一般的注意

連帳用紙を使用するときは､左右の用紙ガイドが紙に触れないようにしてください。
左右の用紙ガイドを両端に寄せてください。

⚠注意

一般的注意

連帳用紙を吸入後は、微小改行にて用紙を送るなどして、プラテンノブを手回しで回さないでください。

8 オンラインスイッチを押して、オンライン状態（「オンライン」ランプ点灯）にし、パソコンから印字データを送る

（注）用紙を排出するには、次の方法があります。

- 印字ヘッドがページの先頭印字位置にあるときは、オンライン状態にして**用紙カット**スイッチを押すと､用紙がカット位置まで送られます。
- オフライン状態にして**改ページ**スイッチを押します。1 回押すたびに、1 ページ分の用紙が送られます。

ガイド

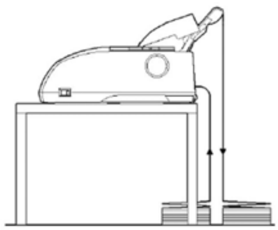
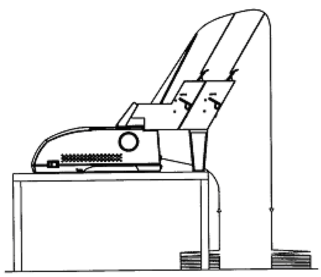
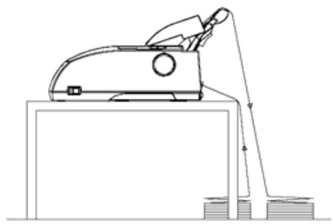
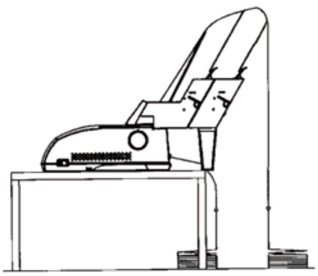
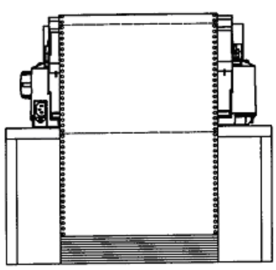
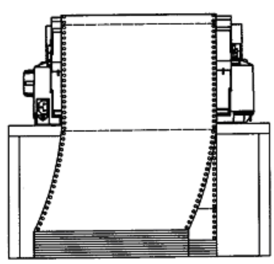
・印刷中はトップカバーを閉めてください。

◆ 連続帳票用紙の置きかた

連続帳票用紙は、下図（○印）のように置いてください。用紙の流れが机の角などに当たって妨げられると、正しく用紙が送られないので改行ズレ、斜行印字などが発生することがあります。用紙の配置に注意してください。

お願い

リアカバーを水平に倒した状態で使用すると、改行の乱れなどの原因となります。必ずリアカバーを立てた状態で使用してください。

	○	×
プリンタ側面	 カットシートフィーダとホッパーユニット取り付け時補助脚が台にのるようにします。 （FMPR3000G のみ） 	 カットシートフィーダとホッパーユニット取り付け時 （FMPR3000Gのみ） 
プリンタ背面	プリンタの用紙出口と用紙の置く位置のズレをなくしてください。 	

◆ 連続帳票用紙の後退動作

連続帳票用紙の後退動作を連続して行うと、トラクタから用紙が外れる場合がありますので、注意して下さい。

◆ 印刷済みの用紙について

印刷済みの用紙が印字ヘッド付近に残っている状態で次の用紙をセットすると、正しく用紙をセットしない場合があります。
印刷済みの用紙を取り除いてから用紙をセットしてください。

◆ 複写用紙について

複写用紙を印刷するときは、リアカバーを立てて印刷してください。リアカバーを水平にして印刷すると、1 枚目（オリジナル）と 2 枚目以降（複写）の印字位置がズレることがあります。

ガイド

プリンタの置き台には、以下のプリンタラック（プリンタデスク）を推奨します。

販　　売　：　富士通コワーコ
名　　称　：　プリンタラック RPX-51
商品番号　：　1509021

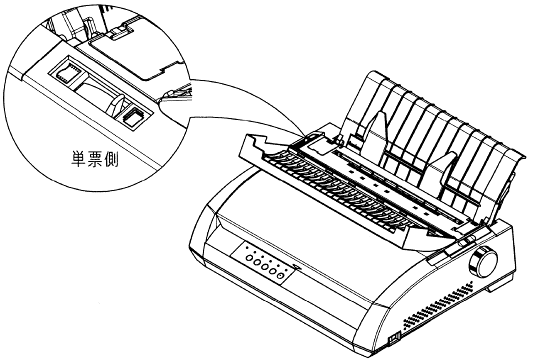
■ 単票用紙をセットする

単票用紙は１枚ずつセットしてください。

※連帳用紙がセットされている場合は、トラクタ位置まで戻してください。

単票用紙のセットは、次の手順で行います。

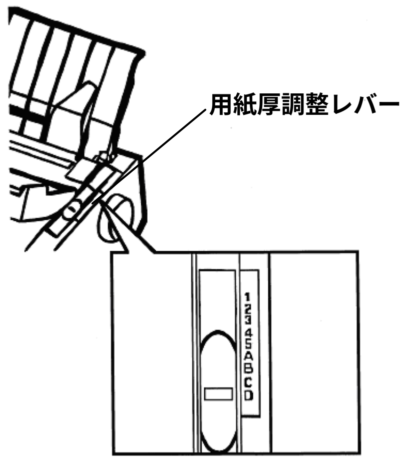
1 連帳／単票切替えレバーを「単票」側にセットする



2 使用する用紙の厚さ、枚数に合わせて用紙厚調整レバーをセットする

下表を目安にレバーを目盛に合わせます。詳細は、「用紙厚を調整する」（74ページ）参照

用紙枚数	用紙厚調整レバーの目盛
１枚	１ ～ ２
２～３枚	２ ～ ３
４枚	３ ～ ４
５枚	４ ～ ５
はがき	５ ※



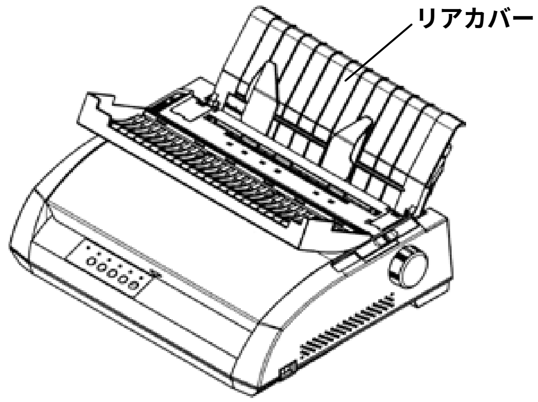
※ 行間ズレ（縦棒のつなぎの左右のズレ）が大きい場合には、用紙厚調整レバーの目盛りを **A** または **B** に設定してください。

⚠注意



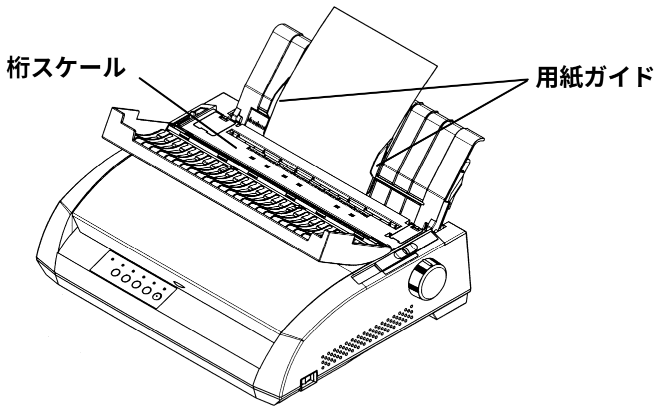
用紙厚調整レバーは、正しく設定してください。用紙の厚みに対して、レバーが正しくセットされていないと、きれいに印字できないことがあります。
印字の周囲が汚れるときは目盛りを大きめに、印字がカスレるときは目盛りを小さめに設定してください。

3　リアカバーを立てる



4　用紙ガイドの位置を調整し単票用紙をセットする

左側の用紙ガイドを突き当たるまで右側に寄せた位置にすると、左端余白（用紙左端からの余白）が最小値（約 4～6㎜）となりますので左端余白量の目安にして下さい（ドライバを使用して印字する場合はこの位置に合わせます）。用紙幅が 5 ｲﾝﾁ以下の用紙をセットする場合は、必ず用紙ガイドをこの位置に合わせて用紙をセットしてください。
リアカバーに刻印されている目盛りは、1/10 ｲﾝﾁ（約 2.54㎜）刻みです。用紙の目安にしてください。
右側の用紙ガイドを、用紙の幅に合わせて移動します。
用紙ガイドに沿って、印刷する面を下に向け、用紙をまっすぐに入れます。



⚠注意



- **複写用紙をのりづけした単票用紙は、のりづけ部分からプリンタに挿入します。**
- **封筒を使用するときは、「封筒」の「用紙サイズ」（100 ページ）および「封筒サイズおよび坪量」（101 ページ）を参照してください。**
- **はがきを使用するときは、「はがきを使用するとき」（106 ページ）を参照してください。**

5 以下の手順で、単票用紙を印字開始位置に送る

オートローディング有効（36 ページ参照）を設定しているときは、自動的に印字開始位置まで送られます。

1）プリンタをオフライン状態にします。
（「オンライン」ランプが消灯した状態です。）
2）用紙セットスイッチを押し、用紙を印字開始位置まで送ります。

印字開始位置の微調整については、「印字開始位置について」（76ページ）を参照してください。

送られた用紙がまっすぐセットされなかったときは、用紙セットスイッチを押していったん単票用紙を排出し、再度セットしてください。

6 オンラインスイッチを押して、オンライン状態（「オンライン」ランプ点灯）にし、パソコンから印字データを送る

注）用紙を排出するには、オフライン状態にして用紙セットスイッチを押します。

ガイド

- トップカバーを外す場合は、垂直に立ててから上へ持ち上げてください。また、トップカバーを取り付ける場合は、取り外しと逆の手順で行ってください。
- 印刷中はトップカバーを閉じてください。

用紙のセット(カットシートフィーダ搭載時)

FMPR3000Gプリンタでは、オプションのカットシートフィーダを搭載することによりセットした単票用紙を一枚ずつプリンタへ送り出し、印字した用紙をスタッカへ排出することができます。
カットシートフィーダを使用して印字を行う場合には,給紙ホッパにセットした単票用紙を自動的に送って連続的に印字を行う場合（自動給紙印刷）と，手差し口から手動で用紙を一枚ずつセットして印字を行う場合の二通りがあります。

■ 自動給紙印刷の用紙のセット

単票用紙をセットして自動的に紙送りを行い印字する場合は,次の手順で行います。

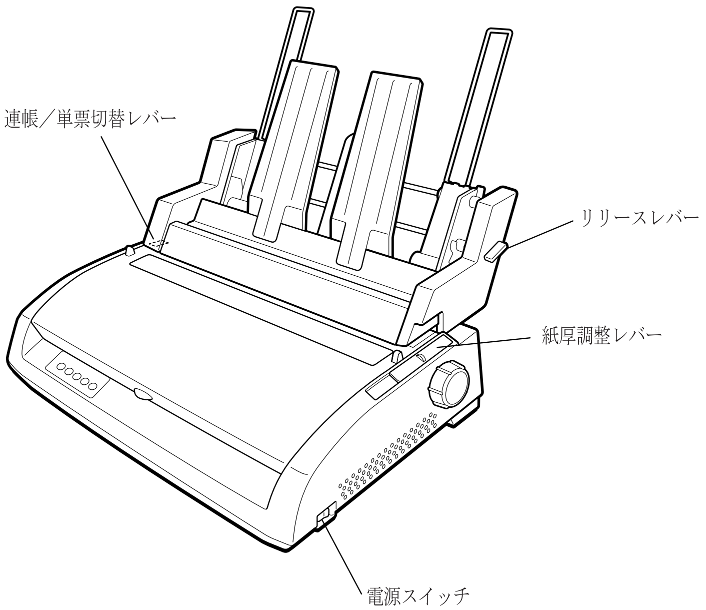
1　プリンタ装置の電源をONにする

（この時セットされている用紙は排出されます。）

2　プリンタの連帳／単票切替レバーを「単票」側にセットする

3　紙厚調整レバーをセットする用紙の紙厚に合わせてセットする

紙厚調整レバーのセット位置は「用紙厚を調整する」（74ページ）を参照してください。



4　カットシートフィーダのリリースレバーを“開”の位置にする

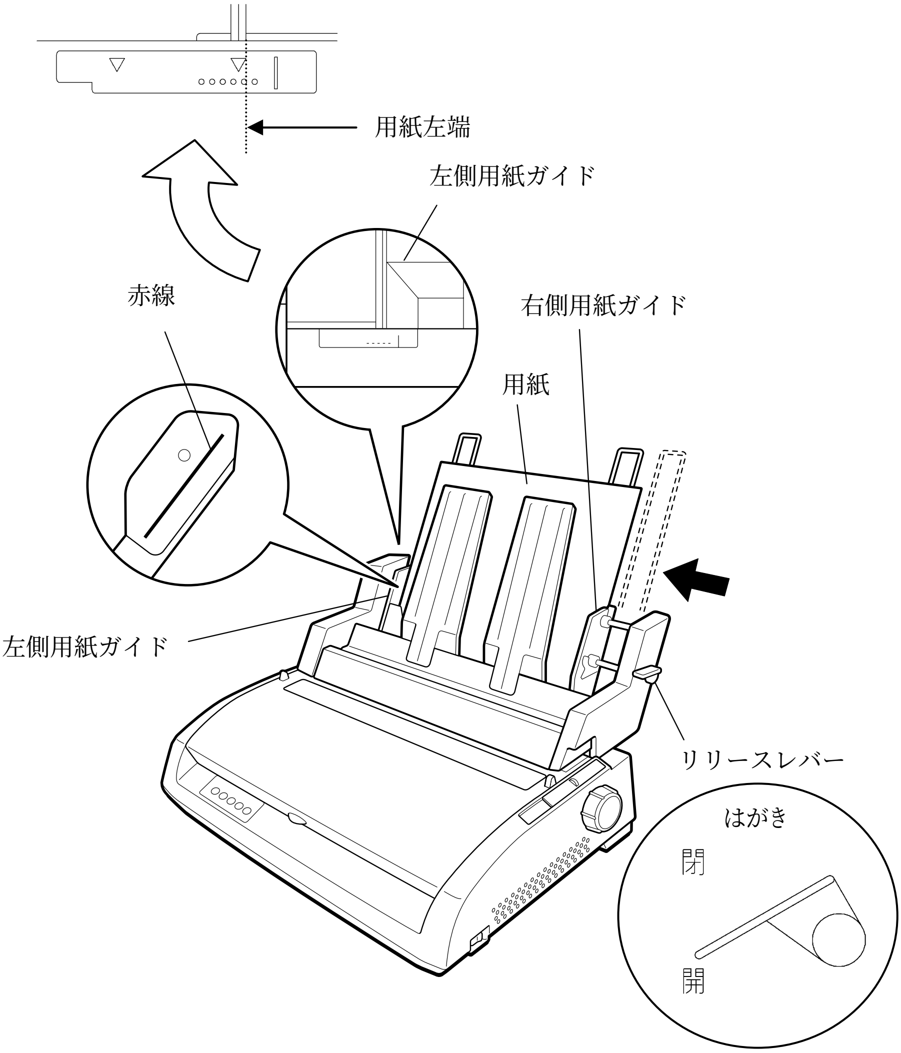
5 左側用紙ガイドの位置を決める

左側の用紙ガイドをスケールの“・”マークの最右端に合わせると、左端余白（用紙左端からの余白）が最小値（5.08㎜）となりますので目安にして下さい（ドライバを使用して印字する場合はこの位置に合わせます）。B4 横等の幅広用紙を使用する場合は、用紙の大きさに応じて移動します。

注）左側用紙ガイドを…マークを越えて移動しますと正常動作ができない場合があります。ハガキは，左側用紙ガイドを▼マークの位置でご使用ください。

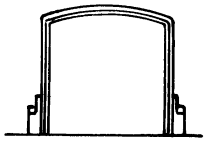
6 用紙を揃えて左右の用紙ガイドの上に載せてセットする

（一度にセットできる用紙の量は左側用紙ガイドの赤線までです。）

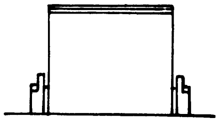


7　用紙セット後，左右の用紙ガイドと用紙の側面が軽く触れる程度に右側用紙ガイドを合わせ、左右の用紙ガイドのロックレバーを奥に倒してロックする

注）用紙と用紙ガイドとの間に隙間がある場合は，右側用紙ガイドを左へ動かして隙間をなくしてください。なお，ガイドを用紙に強く押し付けると吸入不良を起こすことがありますのでご注意ください。



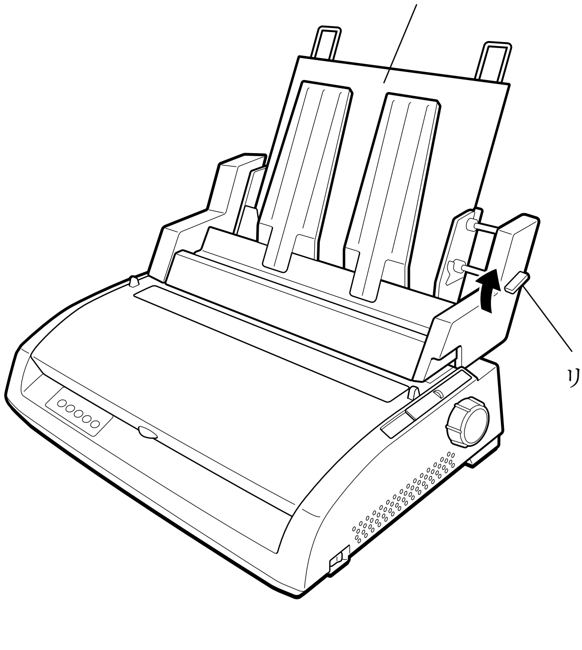
×　強く押し付けた場合



○　軽く合わせた場合

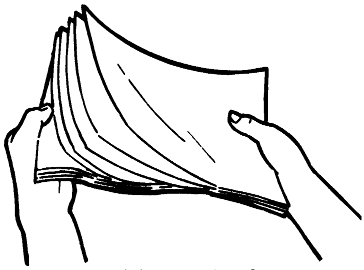
8　リリースレバーを矢印の方向へ回す

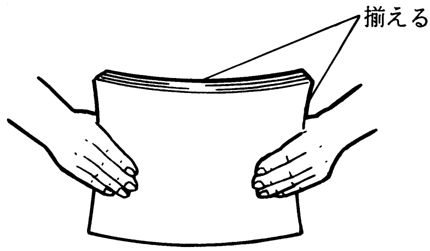
単票用紙をセットするときは“閉”，ハガキをセットするときは，“ハガキ”の位置にリリースレバーを合わせます。



9　用紙および用紙のセット時のご注意

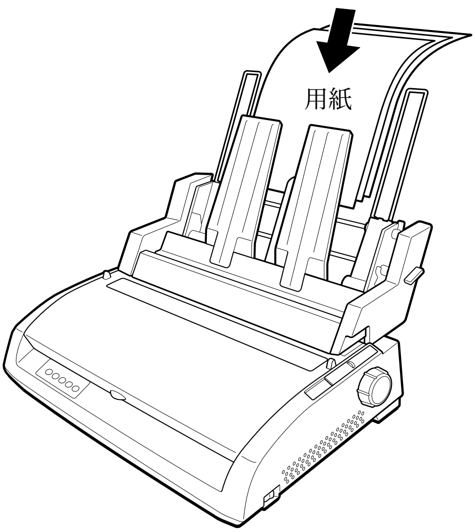
- 用紙は，直射日光の当たらない場所に保管してください。また，用紙は立て掛けないで水平に保管したものをご使用ください。
- 乾燥し過ぎた場所，また湿った場所に保管した用紙は，吸入不良を起こし易いので，湿度には十分ご注意ください。
- セットする場合は，図のように用紙さばきを行った後，机に上などで用紙の上下，左右をきれいに揃えた上でセットしてください。


用紙のさばき方



用紙の揃え方

- 用紙はカール方向を合わせてセットしてください。
  用紙は，湿度などの影響でカールしていることがありますので，補充および別梱包の用紙を合わせてセットする場合，カール方向を合わせてセットしてください
  （背中合わせにするとダブルフィードを起こす場合があります）。
  また，少しカールのある場合は，カール方向を下図のようにセットしてください。
- 用紙は同一種類のものをセットしてください。
  銘柄の異なるもの，連量（紙厚）の異なるものを混在させてセットしないでください。



■ 手差し印刷の用紙のセット

1 **プリンタ装置の電源を ON にする**

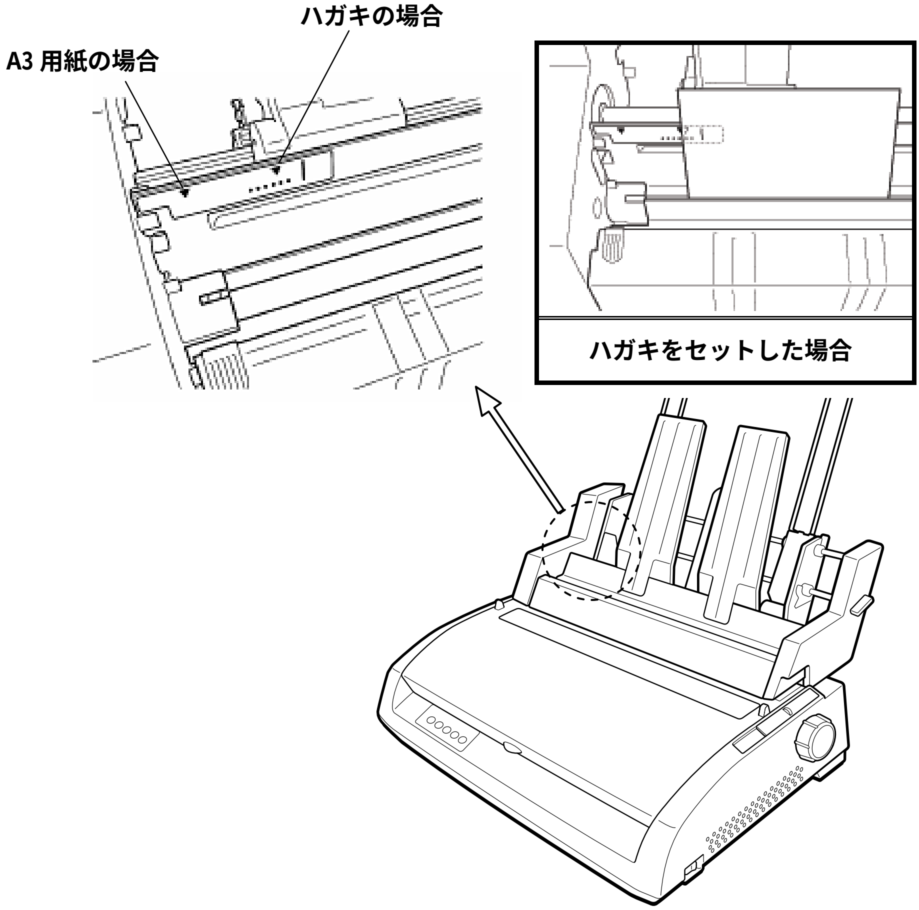
2 **紙厚調整レバーをセットする用紙の紙厚に合わせてセットする**

3 **連帳／単票切替レバーを「単票」側にセットする**

4 **用紙の左側をスケールの“・”マークの最右端に合わせて手差し口から挿入する**

（A3 用紙を横長方向で使用する場合は，左側の▼マークに合わせます。）用紙は左右を平行に，軽く突き当たる所まで挿入してください。

注）用紙の左側は，…マークの範囲内で使用してください。右端の“・”マークは左端余白が最小(5.08㎜)となる位置の目安です（ドライバ使用時はこの位置に用紙をセットして下さい。用紙の左側が…マークの範囲外で使用しますと，正常動作ができない場合があります。ハガキは，右側の▼マークの位置で使用してください。



5 操作パネルの「オンライン」スイッチを押して、「オフライン」状態に切り替える

6 「用紙セット」スイッチを押す

単票用紙が自動的に印字開始位置まで吸入されます。

7 操作パネル上の「オンライン」スイッチを押して、「オンライン」状態に切り替える

◆ 手差し用紙のご使用時の注意点

カットシートフィーダを搭載した状態で、手差しの複数ページ印刷を行う場合、２ページ目以降はカットシートフィーダから用紙を吸入します。

手差しで複数ページを印刷する場合は、カットシートフィーダを外してから印刷してください。

■ カットシートフィーダ搭載状態で連続帳票をご使用の場合

このカットシートフィーダをプリンタ装置に搭載した状態で、連続帳票を使用できます（連続帳票をプリンタへセットする方法については、「連続帳票用紙をセットする」（54ページ）を参照してください）。

1　プリンタ装置の電源を ON にする

2　操作パネルの「オンライン」スイッチを押し，プリンタ装置を「オフライン」状態（オンラインランプが消えた状態）に切り替える

3　使用する帳票の厚さ，枚数に応じて紙厚調整レバーをセットする

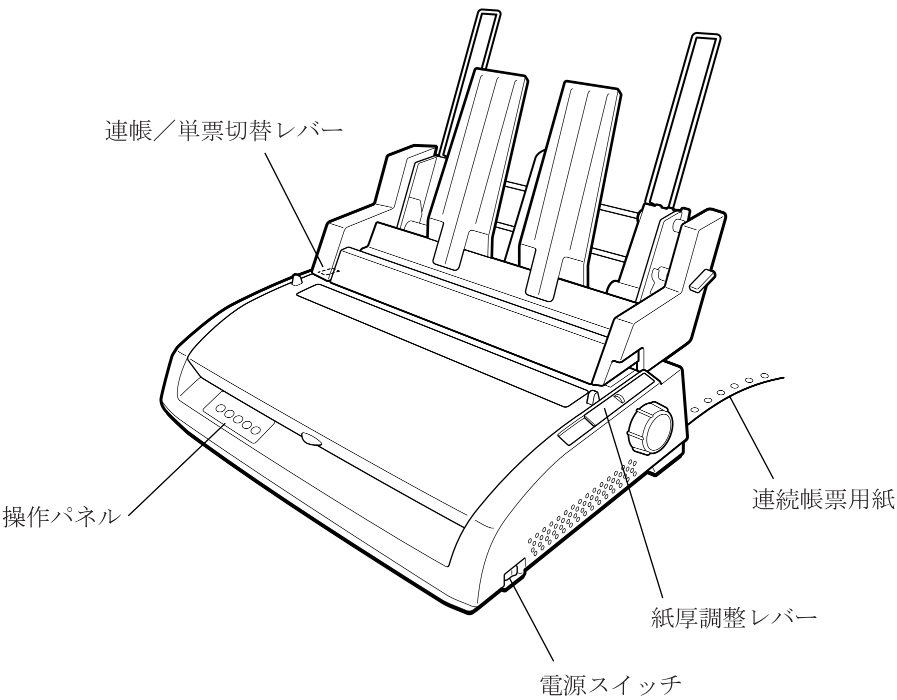
紙厚調整レバーのセット位置は、「用紙厚を調整する」（74ページ）を参照してください。

4　連帳／単票切替レバーを「連帳」側にセットする

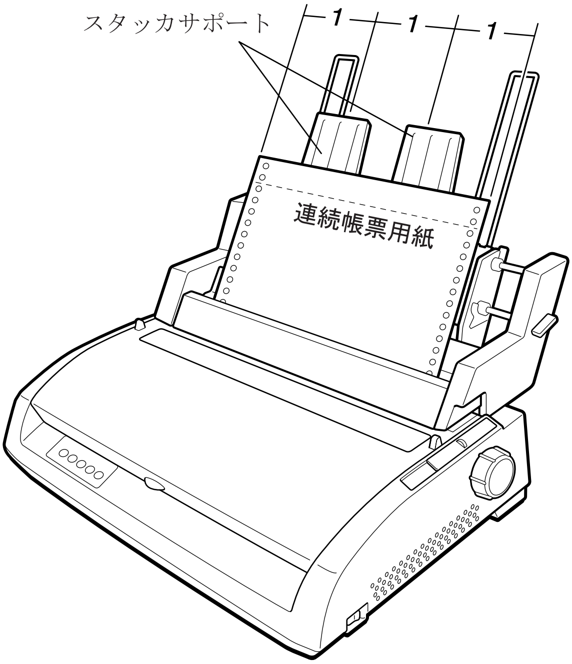
5　操作パネルの「用紙セット」スイッチを押す

連続帳票用紙は印字開始位置まで送られます。

6　操作パネルの「オンライン」スイッチを押して「オンライン」状態に切り替える



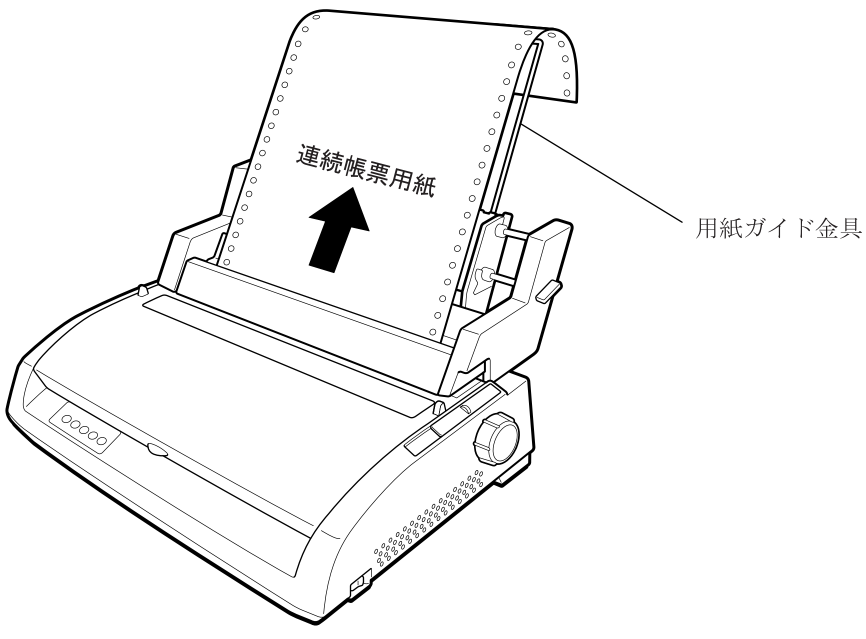
7　スタッカサポートを下図の位置（割合比）に動かす



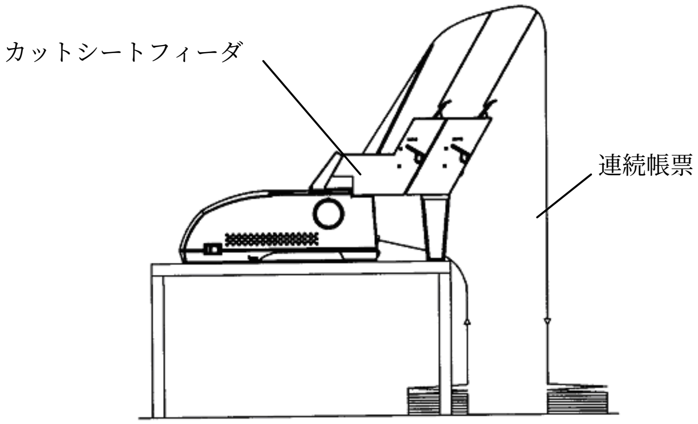
◆　連続帳票のご使用時の注意点

カットシートフィーダを搭載した状態で連続帳票を使用の場合，次の点にご注意ください。

1　連続帳票が前面に倒れる場合があるので連続帳票の繰り出しは最初のミシン目が用紙ガイド金具を乗り越える位置まで送り出す



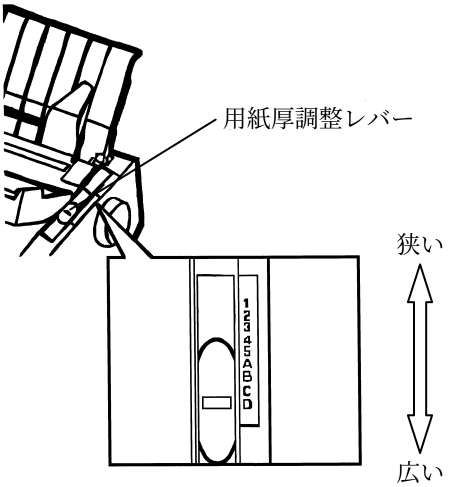
2　用紙の流れをスムーズにするため，プリンタ装置と用紙の位置は下図のように置く



3　カットシートフィーダのリリースレバーを " 開 " にする

用紙厚を調整する

適切な印字をするために、用紙の厚さや枚数に応じて印字ヘッドとプラテンの間隔を調整します。
用紙厚調整レバーが　１　の位置にあるとき、印字ヘッドとプラテンの間隔は、最も狭くなり、“Ｄ”の位置のとき最も広くなります。



用紙厚調整レバーの目盛	印字ヘッドとプラテンの間隔とセットできる用紙枚数　※1
1	１枚
2	1〜3 枚
3	2〜4 枚
4	4〜5 枚
5	5 枚、はがき１枚　※2　※3
A〜C	5 以上の広さ 5 では印字ヘッドとプラテンの間隔が狭いときに、A〜C の順に用紙厚調整レバーをセットしてみてください。
D	印字ヘッドとプラテンの間隔が最も広くなります。 リボンカセットを交換するときや、用紙づまりを取り除くときに、用紙厚調整レバーをセットします。

※1　用紙とは、連続帳票用紙または単票用紙をさします。
※2　はがきは、連量 160kg とします。
※3　行間ズレ（縦棒のつなぎの左右のズレ）が大きい場合には、用紙厚調整レバーの目盛りを A または B に設定してください。
用紙のリボンによる汚れが気になる場合は、用紙厚調整レバーの目盛り位置をひと目盛り大きく設定してください。

注意

一般的注意

使用する用紙に対して、用紙厚調整レバーのセットが適切でないときは、次のような現象が起こることがあります。

用紙厚に対して用紙厚調整レバーのセットが広すぎるとき

・印字のかすれや、印字抜けが生じることがあります。
・印字ヘッドの故障の原因になります。

用紙厚に対して用紙厚調整レバーのセットが狭すぎるとき

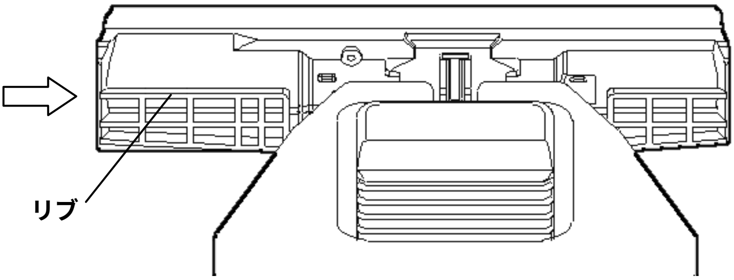
・印字中にリボンがはずれたり、たるんだりして印字ヘッドの故障の原因になることがあります。
・用紙の端面が切れたり、しわになったりすることがあります。
・リボンによって用紙が汚れることがあります。
・用紙の送りが悪くなることがあります。
・キャリアが正常に動かないことがあります。

印字開始位置について

本操作は、用紙吸入後に一時的に印字開始位置を調整する方法を説明します。

注）・用紙の再吸入を行うと、調整した位置は元に戻ります。
　　・印字開始位置を保持する場合は、機能設定の「余白量設定」（37 ページ）および「用紙の吸入量を調整する」（45 ページ）を参照してください。

印字開始位置を調整するときは、カードガイドのリブを目安にして用紙を合わせます。



■　印字開始位置（行方向）を微調整する

操作パネルのスイッチ操作で、行方向の印字位置を微調整できます。

1　プリンタをオフライン状態にする

（「オンライン」ランプ消灯。点灯しているときは、**オンライン**スイッチを押します。）

2　行方向の印字開始位置を微調整する

・正方向（用紙を送り出す方向）に微調整するとき

オンラインスイッチを押しながら、**改 行**スイッチを押します。
正方向に 1/180 インチ改行します。
押し続けると、連続して正改行します。

・逆方向（用紙を戻す方向）に微調整するとき

オンラインスイッチを押しながら、**改ページ**スイッチを押します。
逆方向に 1/180 インチ改行します。
押し続けると、連続して逆改行します。

⚠注意



用紙を引っ張ったり、プラテンノブを回しての微調整は行わないでください。
用紙の改行が乱れる原因となります。

実力値について

本装置の能力を最大に引き出してご使用いただくために、本装置の実力値を充分理解したうえでご使用ください。

印字位置精度は、媒体、環境により影響を受けます。推奨媒体を常温常湿の環境で使用した場合に、以下の各項目に示す範囲で印刷されるように設計されています。以下に示す数値はあくまでも参考値であり保証するものではありません。

■ 印字位置精度について

推奨媒体（連帳帳票）、常温常湿、印字保証領域において弊社測定値は以下のとおりです。（この数値は参考値であり保証値ではありません）

(1) 吸入斜行

連帳 **（推奨紙：1P、55kg、上質）**	**FMPR2000G：±0.5mm/203mm** **FMPR3000G：±0.5mm/345mm** **（印字の傾き）**

(2) 累積斜行(頁内)

連帳 **（推奨紙：1P、55kg、上質）**	**FMPR2000G：±0.5mm/203mm** **FMPR3000G：±0.5mm/345mm** **（印字の傾き）**

(3) 累積改行(頁越え)

連帳 **（推奨紙：1P、55kg、上質）**	**FMPR2000G：±0.8mm** **FMPR3000G：±0.8mm** **（吸入後、1 文字目を基準とした用紙送り方向の印字位置）**

ガイド

- 紙厚（複写枚数）が厚くなるほど、実力値は低下します。
- 帳票印刷の運用に際しては印刷確認の上ご使用ください。
- 印字位置に関する以下の項目については調整が可能です。用紙の種類や長期稼動などでずれが生じたときは調整してください。

上端余白(用紙吸入)	：	「用紙の吸入量を調整する」（45 ページ）を参照してください。
累積改行	：	「機能設定の種類」の「単票(手差し)改行補正量」、「CSF 改行補正量」、「連帳改行補正量」(40 ページ)を参照してください。
行間ズレ(両方向)	：	「行間ズレを直す」(43 ページ)を参照してください。

第4章

用紙について

この章では、使用できる用紙と取り扱い上の注意点について説明します。

用紙使用上のご注意

■ 連続帳票普通紙

［使用できる用紙］

本プリンタでは、PPC 用紙および普通紙を使用することができます。

しかし一般の市販品には本プリンタに適さないものもありますので、できるだけサプライ品をご使用ください。

用紙を大量にお買い求めになる前に、サンプル用紙でためし印刷をし、支障がないことを確認することをお勧めします。

詳細は「連続帳票用紙」(88ページ)を参照願います。

［使用できない用紙］

- 連量が 45kg 未満の薄い用紙
- 連量が 70kg 以上の厚い用紙
- 全体の用紙厚さが 0.33㎜ 以上の厚い用紙
- 用紙のとじ方法が線のりとじ、紙ホチキスとじ、束のりとじ、片のりとじの複写用紙
- ミシン目の入れ方が「ミシン目の入れ方」(91ページ)記載以外のミシン目を入れた用紙
- 湿っている用紙や濡れている用紙
- 一度印刷された用紙（裏紙等）
- 貼り合わせた用紙（切手など）や、糊などがついている用紙
- 印字領域内にとじ穴がある用紙
- 反り（カール）、しわ、折り目のある用紙や、破れている用紙
- ホチキス、クリップ、リボン、テープなどが付いている用紙
- ざら紙や繊維質の多い用紙など、表面がなめらかでない用紙
- 裁断部のバリが大きい用紙
- 紙粉の多い用紙

［使用できない用紙を使用したときの問題点］

- 連量が 45kg 未満の薄い用紙を使用すると、給紙ミス、紙づまりが発生するだけでなく、給紙ローラがすべってしまうことによりローラが磨耗し、本プリンタに適している用紙までも給紙できなくなり、装置故障の原因となります。
- 連量が 70kg 以上の厚い用紙や全体の用紙厚さが 0.33㎜ 以上の用紙を使用すると、給紙ミス、紙づまりが発生するだけでなく、給紙ローラがすべってしまうことによりローラが磨耗し、本プリンタに適している用紙までも給紙できなくなり、装置故障の原因となります。
- 用紙のとじ方法が線のりとじ、紙ホチキスとじ、束のりとじ、片のりとじの複写用紙を使用すると用紙づまりや印字ズレが発生し、装置故障の原因となります。
- ミシン目の入れ方が仕様外の用紙を使用すると、ミシン目から用紙が破け用紙づまりや印字ズレが発生するだけでなく破けた用紙により装置故障の原因となります。
- 連量が 45kg 未満の薄い用紙や湿っている用紙、濡れている用紙などに印刷した場合は、紙詰まりやシワなどが発生しやすくなります。
- 一度印刷された用紙(裏紙)を使用すると用紙搬送ローラなどへの用紙巻きつきなどの不具合が発生する場合があります。
- 貼りあわせた用紙や、糊のついている用紙に印刷すると糊の成分等が装置内部に付着し、印字不良や装置故障の原因となることがあります。
- 印字領域内にとじ穴がある用紙を使用すると印字ヘッドピンが折れ装置故障の原因となります。

■　連続帳票特殊紙

［使用できる用紙］

本プリンタでは、はがき用紙およびタック紙等の特殊連続帳票用紙を使用することができます。

しかし印刷品質は、普通紙より劣ることがありますので、用紙を大量にお買い求めになる前に、サンプル用紙でためし印刷をし、支障がないことを確認することをお勧めします。

詳細は、「はがき用紙」(94ページ)、「タック用紙」(95ページ)を参照願います。

◆ はがき用紙

［使用できない用紙］

- 連量が 135Kg 以上の厚い用紙
- ミシン目の入れ方が「ミシン目の入れ方」(91ページ)記載以外のミシン目を入れた用紙
- 湿っている用紙や濡れている用紙
- 一度印刷された用紙（裏紙等）
- 貼り合わせた用紙（切手など）や、糊などがついている用紙
- 印字領域内にとじ穴がある用紙
- 反り、しわ、折り目のある用紙や、破れている用紙
- カールしている用紙
- ホチキス、クリップ、リボン、テープなどが付いている用紙
- ざら紙や繊維質の多い用紙など、表面がなめらかでない用紙
- 裁断部のバリが大きい用紙
- 紙粉の多い用紙

［使用できない用紙を使用したときの問題点］

- 連量が 135Kg 以上の厚い用紙を使用すると給紙ミス、紙づまりが発生するだけでなく、給紙ローラがすべってしまうことにより、ローラが磨耗し、本プリンタに適している用紙まで給紙できなくなります。
- ミシン目の入れ方が仕様外の用紙を使用すると、ミシン目から用紙が破け用紙づまりや印字ズレが発生するだけでなく破けた用紙により装置故障の原因となります。
- 一度印刷された用紙(裏紙)を使用すると用紙搬送ローラなどへの用紙巻きつきなどの不具合が発生する場合があります。
- 貼りあわせた用紙や、糊のついている用紙に印刷すると糊の成分等が装置内部に付着し、印字不良や装置故障の原因となることがあります。
- 印字領域内にとじ穴がある用紙を使用すると印字ヘッドピンが折れ装置故障の原因となります。

◆ タック用紙

［使用できない用紙］

- 用紙(ラベル＋台紙)の厚さ 0.2㎜ 以上の厚いラベル紙
- 台紙の厚さ 0.1㎜ 以上の厚いラベル紙
- ラベルの厚さ 0.1㎜ 以上の厚いラベル紙
- 湿っている用紙や濡れている用紙
- 一度印刷された用紙
- 貼り合わせた用紙（切手など）や、糊などがラベルからはみ出してついている用紙
- 印字領域内にとじ穴がある用紙
- 反り、しわ、折り目のある用紙や、破れている用紙
- カールしている用紙
- ホチキス、クリップ、リボン、テープなどが付いている用紙
- ざら紙や繊維質の多い用紙など、表面がなめらかでない用紙
- 裁断部のバリが大きい用紙
- 紙粉の多い用紙
- ラベルの貼り付け強度の弱い用紙（「ラベルの貼り付け強度」(95ページ)参照)

［使用できない用紙を使用したときの問題点］

- 用紙の厚さ 0.2㎜ 以上の厚いラベル紙を使用すると給紙ミス、紙づまりが発生するだけでなく、ラベルが台紙から剥がれやすくなり、用紙搬送ローラへの巻きつきや、装置内部への貼りつきにより装置故障の原因となります。
- ラベルの貼り付け強度の弱い用紙を使用すると、ラベルが台紙から剥がれやすくなり、用紙搬送ローラへの巻きつきや、装置内部への貼りつきにより装置故障の原因となります。
- 一度印刷された用紙(裏紙)を使用すると用紙搬送ローラなどへの用紙巻きつきなどの不具合が発生する場合があります。
- 印字領域内にとじ穴がある用紙を使用すると印字ヘッドピンが折れ装置故障の原因となります。

■　単票普通紙

[使用できない用紙]

- 連量が 45kg 未満の薄い用紙
- 連量が 70kg 以上の厚い用紙
- 全体の用紙厚さが 0.33㎜ 以上の厚い用紙
- 用紙のとじ方法が横のりとじの複写用紙
- 湿っている用紙や濡れている用紙
- 一度印刷された用紙（裏紙等）
- 貼り合わせた用紙（切手など）や、糊などがついている用紙
- 印字領域内にとじ穴がある用紙
- 反り（カール）、しわ、折り目のある用紙や、破れている用紙
- ホチキス、クリップ、リボン、テープなどが付いている用紙
- ざら紙や繊維質の多い用紙など、表面がなめらかでない用紙
- 裁断部のバリが大きい用紙
- 紙粉の多い用紙

[使用できない用紙を使用したときの問題点]

- 連量が 45kg 未満の薄い用紙を使用すると、給紙ミス、紙づまりが発生するだけでなく、給紙ローラがすべってしまうことによりローラが磨耗し、本プリンタに適している用紙までも給紙できなくなり、装置故障の原因となります。
- 連量が 70kg 以上の厚い用紙や全体の用紙厚さが 0.33㎜ 以上の用紙を使用すると、給紙ミス、紙づまりが発生するだけでなく、給紙ローラがすべってしまうことによりローラが磨耗し、本プリンタに適している用紙までも給紙できなくなり、装置故障の原因となります。
- 用紙のとじ方法が横のりとじの複写用紙を使用すると用紙吸入不良や斜行印字が発生します。
- 連量が 45kg 未満の薄い用紙や湿っている用紙、濡れている用紙などに印刷した場合は、紙詰まりやシワなどが発生しやすくなります。
- 一度印刷された用紙(裏紙)を使用すると用紙搬送ローラなどへの用紙巻きつきなどの不具合が発生する場合があります。
- 貼りあわせた用紙や、糊のついている用紙に印刷すると糊の成分等が装置内部に付着し、印字不良や装置故障の原因となることがあります。
- 印字領域内にとじ穴がある用紙を使用すると印字ヘッドピンが折れ装置故障の原因となります。

■ 単票特殊紙

［使用できる用紙］

本プリンタでは、はがき用紙およびタック紙等の特殊単票用紙を使用することができます。

しかし印刷品質は、普通紙より劣ることがありますので、用紙を大量にお買い求めになる前に、サンプル用紙でためし印刷をし、支障がないことを確認することをお勧めします。詳細は、「はがき用紙」(94ページ)、「タック用紙」(95ページ)を参照願います。

◆ はがき

［使用できない用紙］

- 郵便はがきでないもの
- 折り目をつけた往復はがき
- 湿っている用紙や濡れている用紙
- 一度印刷された用紙（裏紙等）
- 貼り合わせた用紙（切手など）や、糊などがついている用紙
- 印字領域内にとじ穴がある用紙
- 反り、しわ、折り目のある用紙や、破れている用紙
- カールしている用紙
- ホチキス、クリップ、リボン、テープなどが付いている用紙
- ざら紙や繊維質の多い用紙など、表面がなめらかでない用紙
- 裁断部のバリが大きい用紙
- 紙粉の多い用紙

［使用できない用紙を使用したときの問題点］

- 郵便はがき以外を使用すると給紙ミス、紙づまりが発生するだけでなく、給紙ローラがすべってしまうことにより、ローラが磨耗し、本プリンタに適している用紙まで給紙できなくなります。
- 折り目をつけた往復はがきを使用すると用紙吸入不良や斜行印字が発生します。
- 一度印刷された用紙(裏紙)を使用すると用紙搬送ローラ　などへの用紙巻きつきなどの不具合が発生する場合があります。
- 貼りあわせた用紙や、糊のついている用紙に印刷すると糊の成分等が装置内部に付着し、印字不良や装置故障の原因となることがあります。
- 印字領域内にとじ穴がある用紙を使用すると印字ヘッドピンが折れ装置故障の原因となります。

◆ タック用紙

［使用できない用紙］

- 用紙(ラベル＋台紙)の厚さ 0.2㎜ 以上の厚いラベル紙
- 台紙の厚さ 0.1㎜ 以上の厚いラベル紙
- ラベルの厚さ 0.1㎜ 以上の厚いラベル紙
- 湿っている用紙や濡れている用紙
- 一度印刷された用紙
- 貼り合わせた用紙（切手など）や、糊などがラベルからはみ出してついている用紙
- 印字領域内にとじ穴がある用紙
- 反り、しわ、折り目のある用紙や、破れている用紙
- カールしている用紙
- ホチキス、クリップ、リボン、テープなどが付いている用紙
- ざら紙や繊維質の多い用紙など、表面がなめらかでない用紙
- 裁断部のバリが大きい用紙
- 紙粉の多い用紙
- ラベルの貼り付け強度の弱い用紙（「ラベルの貼り付け強度」(95ページ)参照）

［使用できない用紙を使用したときの問題点］

- 用紙の厚さ 0.2㎜ 以上の厚いラベル紙を使用すると給紙ミス、紙づまりが発生するだけでなく、ラベルが台紙から剥がれやすくなり、用紙搬送ローラへの巻きつきや、装置内部への貼りつきにより装置故障の原因となります。
- ラベルの貼り付け強度の弱い用紙を使用すると、ラベルが台紙から剥がれやすくなり、用紙搬送ローラへの巻きつきや、装置内部への貼りつきにより装置故障の原因となります。
- 一度印刷された用紙(裏紙)を使用すると用紙搬送ローラなどへの用紙巻きつきなどの不具合が発生する場合があります。
- 印字領域内にとじ穴がある用紙を使用すると印字ヘッドピンが折れ装置故障の原因となります。

◆ 封筒

［使用できない用紙］

- フラップなどがのり付け加工された用紙
- 窓付き封筒
- 二重封筒
- 湿っている用紙や濡れている用紙
- 一度印刷された用紙
- 貼り合わせた用紙（切手など）や、糊などがついている用紙
- 反り（カール）、しわ、折り目のある用紙や、破れている用紙
- ホチキス、クリップ、リボン、テープなどが付いている用紙
- ざら紙や繊維質の多い用紙など、表面がなめらかでない用紙
- 裁断部のバリが大きい用紙
- 紙粉の多い用紙

［使用できない用紙を使用したときの問題点］

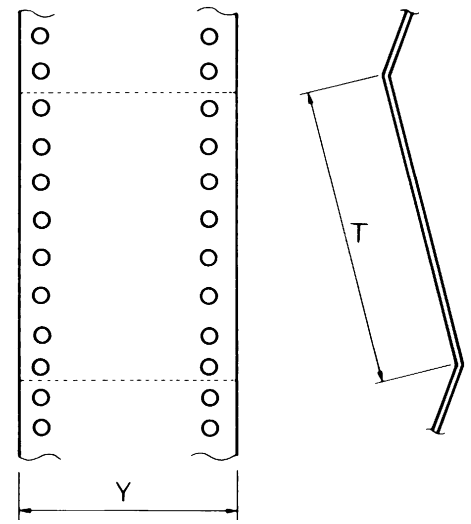
- 窓付きの用紙を使用すると給紙ミス、紙づまりが発生するだけでなく、給紙ローラがすべってしまうことによりローラが磨耗し、本プリンタに適している用紙までも給紙できなくなり、装置故障の原因となります。
- 貼りあわせた用紙や、糊のついている用紙に印刷すると糊の成分等が装置内部に付着し、印字不良や装置故障の原因となることがあります。

連続帳票用紙

このプリンタで使用できる連続帳票用紙は、次のとおりです。

◆ 用紙の寸法

連続帳票用紙の寸法を下図に示します。



記　号	寸　法	
	FMPR2000G	FMPR3000G
Y（用紙幅）	101.6 mm 〜 266.7 mm (4〜10.5 ｲﾝﾁ) 注 1)	101.6 mm 〜 406.4 mm (4〜16 ｲﾝﾁ) 注 2)
T（折り畳み長さ）	101.6 mm 以上 (4 ｲﾝﾁ以上)	101.6 mm 以上 (4 ｲﾝﾁ以上)

注 1）最大印字幅は 203.3mm（8 インチ）のため、幅の広い用紙をセットした場合、左端および右端余白は大きくなります。

注 2）最大印字幅は 345.44mm（13.6 インチ）のため、幅の広い用紙をセットした場合、左端および右端余白は大きくなります。

◆ 用紙の構成枚数

オリジナルを含む用紙の構成枚数と用紙の厚さ（連量）の組合わせは、下表のとおりです。

用紙種類	枚数	連量（kg）	備　　考
一枚用紙	1P	45,55,70	
ノンカーボン紙	2P	34,43,55,(70)	（　）内の連量の用紙は、複数つづりの一番下の用紙のみ使用可能です。
	3P	34,43,(55,70)	
	4P	34,(43,55,70)	
	5P	34,(43,55)	
裏カーボン紙	2P	34,45,55,(70)	
	3P	34,45,(55,70)	
	4P	34,(45,55,70)	
	5P	34,(45,55)	
中カーボン紙	2P	30,40,45,(55,70)	
	3P	30,40,(45,55)	
	4P	30,40,(45,55)	
	5P	30,40,(45,55)	

注 1)　連量とは、四六判(788×1091㎜）の用紙 1000 枚の重量を kg で示した値です。

注 2)　ノンカーボン紙および裏カーボン紙の連量は、用紙メーカによって多少異なる場合があります。その場合、表の数値に近いものを選んでください。なお、裏カーボン紙は、多湿環境で使用しないでください。

注 3)　中カーボン紙は、間に挿入されるカーボン紙を用紙 1 枚に相当するものとして数え、複写枚数は 5P までです。
中カーボン紙に使用するカーボン紙の厚さは、0.03㎜ 以下としてください。

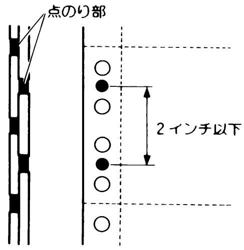
注 4)　用紙の種類および保管状況により、印字品質に差が出る場合があります。不具合が発生する用紙については、その度合いが容認できるものであるかどうか判断の上ご使用ください。

注 5)　全体の用紙厚さは、0.33㎜ 以下にしてください。

注 6)　とじられた用紙の大きさは、各層とも互いに同一になるようにしてください。

◆ 用紙のとじかた

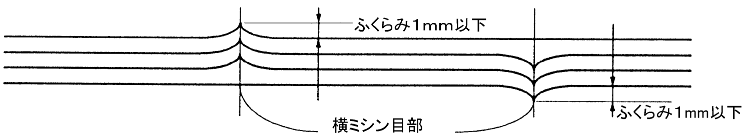
連続帳票用紙の重ね合わせのとじ方は、「点のりとじ」にしてください。片側しかとじてない用紙は正しく給紙されない場合がありますので使用しないでください（層間ズレ、改行ズレ、用紙ジャムの原因となります）。のりづけ方法はいろいろありますが、折り曲げやすいように点のりで、各層間で交互の位置にのりづけする方法をおすすめします。

とじ方法	点のりとじ
説明図	
用紙枚数	５枚まで
備考	本プリンタに最も適したとじ方です。

注 1)　上記説明図では、帳票の片側のみ示していますが、実際には両側をのりづけしてください。

注 2)　完成した用紙の折畳み部分を平らに伸ばしたときのふくらみは、下図に示すように 1mm 以下になるようにしてください。

連帳ミシン目に山折れ／谷折れ部のふくらみが大きい用紙は改行精度が乱れる場合がありますので、あらかじめ確認のうえ、使用してください。



注 3)　用紙づまりや印字ズレの原因になるので、紙ホチキスとじは使用しないでください。

注 4)　帳票のスプロケット穴の層間でのズレが 0.4mm 以下のものを使用してください。

⚠注意



金属ホチキスとじは使用しないでください。
プリンタが故障する原因となります。

◆ ミシン目の入れ方

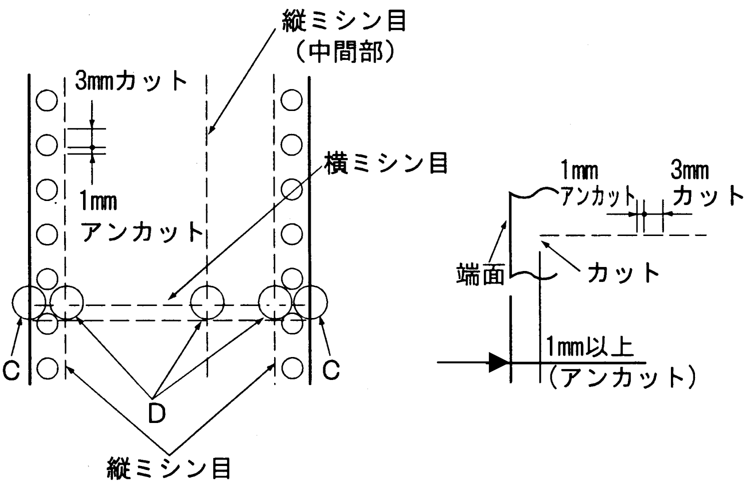
ミシン目の入れ方によっては、用紙送りに悪影響を与えることがあります。特に１枚用紙の場合、ミシン目を強く入れると、使用中にミシン目から破けることがあります。
ミシン目の入れ方は、次のようにしてください。

・１ 枚用紙のミシン目（縦、横ミシン目共）のカット（切る部分）、アンカット（切らない部分）の比率は、約３：１にしてください。

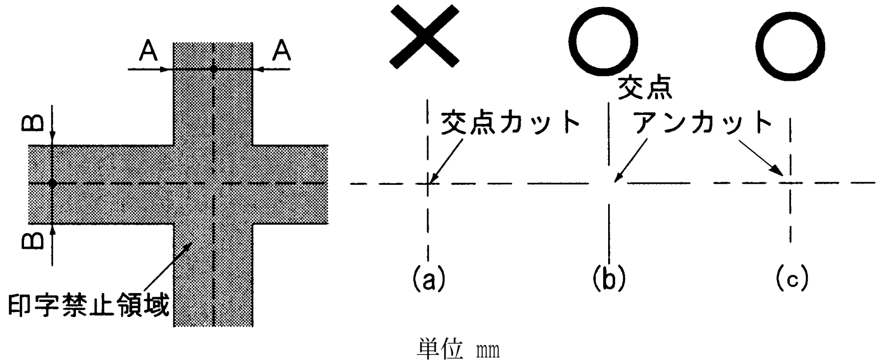
・横ミシン目のアンカット寸法(両端部C)は､1㎜以上にしてください。

・縦ミシン目と横ミシン目の交点部は､交点アンカット(b),(c)の方法にしてください。（(c)の方法を推奨します）交点カット(a)は行わないでください。

・複写用紙についても同様の注意が必要です。あらかじめ確認の上、使用してください。



注1) ミシン目上に印字すると、用紙にキズがついたりプリンタの故障となることがありますので、下の図に示す斜線部には印字しないでください。

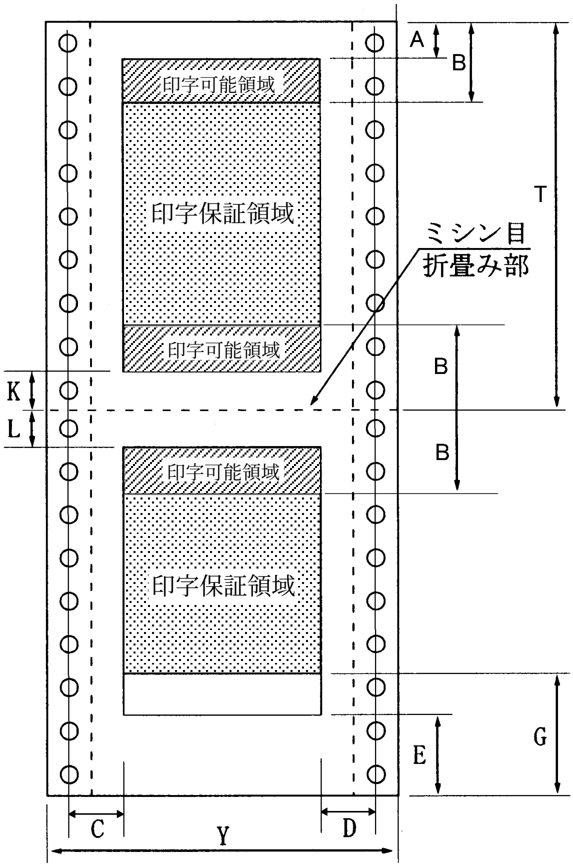


単位 mm

記号	A	B
寸法	3以上	3以上

◆ 印字領域

連続帳票用紙の印字領域を下図に示します。



項　目	寸　法	
	FMPR2000G	FMPR3000G
A(上端余白)	4.2mm　注 1)	
B(印字品質低下領域)	25.4mm　注 2)	
C(横打ち出し)	注 3)	
D(最終印字)	注 3)	
E(PE 検出)	約 8.5mm または約 80mm　　注 4)	
G(印字品質低下領域)	約 80mm　注 5)	
K(下端余白)	8.5mm 以上	
L(上端余白)	8.5mm 以上	
T(用紙長さ)	101.6mm 以上（4 ｲﾝﾁ以上）	
Y(用紙幅)	101.6～266.7mm （4～10.5 ｲﾝﾁ）　注 6)	101.6～419.1mm （4～16.5 ｲﾝﾁ）　注 7)

注 1)　A 値の出荷時の値は、8.5㎜に調整されています。「機能設定の変更」（34 ページ）で上端余白を変更できます。

注 2)　用紙上端およびミシン目の上下 1 インチの間は、改行が乱れることがあります。

注 3)　C、D 値は、用紙幅と印字桁数に左右されますが、最小 5.08㎜とします。第 2 章「機能設定を変える」で『用紙外印字防止』の設定が ” 有効 ” に設定されている場合、約 14.0㎜となります。

注 4)　オーバーライド機能（41 ページを参照）により、8.5㎜まで印字可能です。

注 5)　G の領域はトラクタから外れた領域です。改行が大きく乱れることがあります。

注 6)　最大印字幅は 203.3㎜（8 インチ）のため、幅の広い用紙をセットした場合、左端および右端余白は大きくなります。

注 7)　最大印字幅は 345.44㎜（13.6 インチ）のため、幅の広い用紙をセットした場合、左端および右端余白は大きくなります。

⚠注意

一般的注意

G 値(80㎜)～8.5㎜の間は、用紙によっては改行できないものがあります。この場合は、機能設定の「連帳下端余白量（最終頁）」設定を 80㎜に変更して、G 値以下の印字は行わないでください。

⚠注意

一般的注意

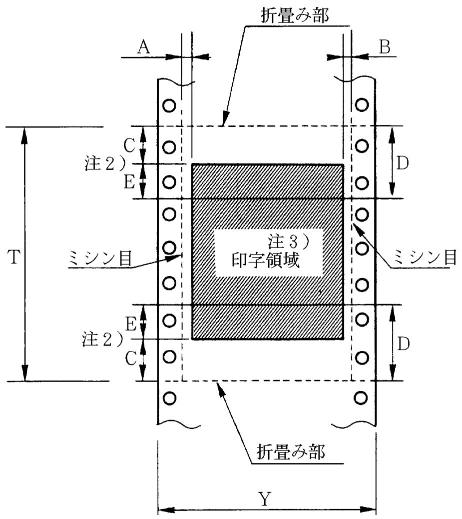
複写紙の場合、用紙をプラテンロールに巻き付けて搬送する方式であるため、用紙の層間ズレがを生じます。

層間ズレ量は、用紙の綴じ方や用紙の構成枚数及び厚さにより違いがでるため、ご使用される複写紙によっては用紙の自動吸入時の用紙吸入位置が初期設定位置に対してズレる場合があります。
その場合は、「用紙の吸入量を調整する」（45 ページ参照）にて位置を調整してご使用願います。

◆ はがき用紙

このプリンタでは連続帳票のはがき用紙を使用できます。

● 用紙サイズおよび印字領域



記号	項　目	寸　法	
		FMPR2000G	FMPR3000G
A	横打ち出し	5.08㎜以上(1/5ｲﾝﾁ)	
B	最終印字	5.08㎜以上(1/5ｲﾝﾁ)	
C	縦打ち出し　　注1)	8.46㎜以上(1/3ｲﾝﾁ)　注2)	
D	縦打ち出し（推奨値）	25.4㎜(1ｲﾝﾁ)　注2)	
Y	用紙幅	228.6～266.7㎜ (9～10.5ｲﾝﾁ)	228.6～330.2㎜ (9～13ｲﾝﾁ)
T	用紙長さ	203.2～355.6㎜ (8～14ｲﾝﾁ)	

注1)　C領域では印字ユニットの横移動はさせないでください。（用紙のふくらみなどにより、リボン汚れおよび用紙引っ掛けの原因になります。）

注2)　Eの印字領域内では、多少改行が乱れることがあります。

注3)　印字領域内にミシン目がある場合、印字はそのミシン目から5.08㎜以上離してください。ただし、折畳み部以外のミシン目は、カットおよびアンカット比を2：1にしてください。

◆ 連量紙

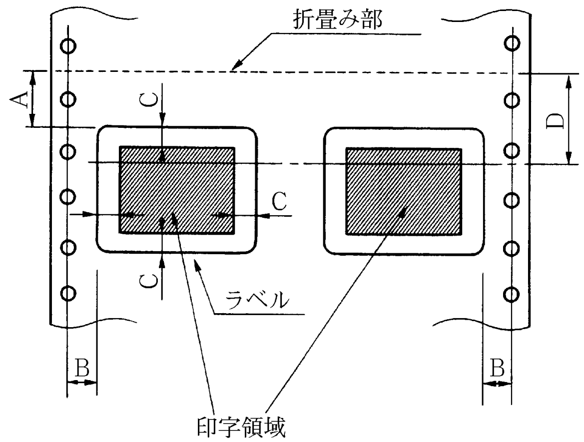
135kg以下とし、枚数は１枚のみとします。

◆ ミシン目の入れ方

一般連続帳票用紙と同様です。

■ タック用紙

◆ 用紙サイズおよび印字領域



記号	寸法（mm）
A	2.54 以上（1/10 インチ）
B	6.35 以上（1/4 インチ）
C	2.54 以上（1/10 インチ）
D	25.4（1 インチ）（注）

用紙サイズ（台紙）は、一般連続帳票用紙と同じです。

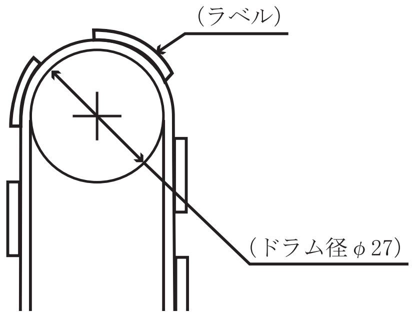
注）　D 範囲内での印字領域では、多少改行が乱れる場合があります。

◆ 用紙厚さ

- 用紙厚さは、ラベル＋台紙が 0.2mm 以下となるようにしてください。
- 台紙の厚さは、0.1mm 以下としてください。
- ラベルの厚さは、0.1mm 以下としてください。

◆ ラベルの貼付け強度

- 次の条件で、ラベルが台紙からはがれないものを使用してください。ラベルのめくれのあるもの、折れ曲がりのあるものは使用しないでください。
- 低温、低湿環境で放置したタック用紙は、はがれやすい場合がありますので印字確認の上、めくれ、折れがないことを確認のうえお使いください。



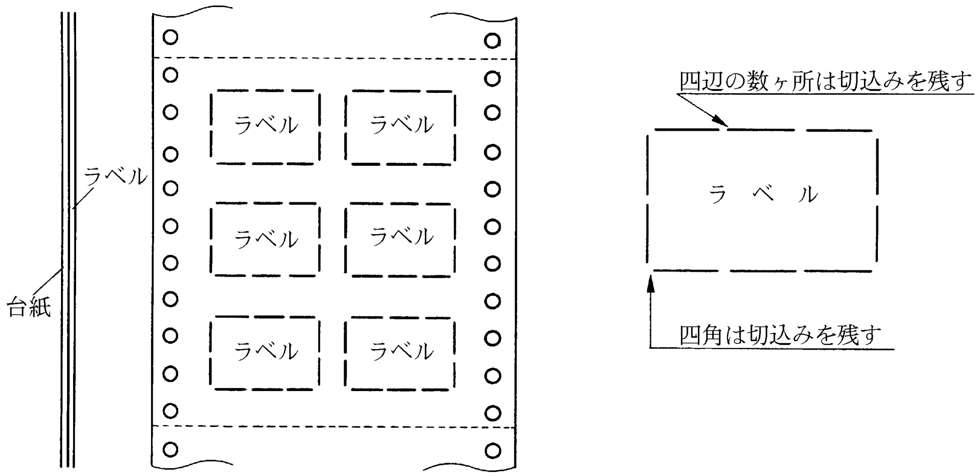
項　目	条　件
巻付ドラム径	φ27
巻付角度	180 °
巻付時間	24 時間
周囲温度	5°C〜40°C
周囲湿度	30%RH

◆　用紙の形態

・ラベルのはがれによる用紙送行不能、または印字ヘッドの損傷など、重大なトラブルを防止するために下記用紙形態をおすすめいたします。

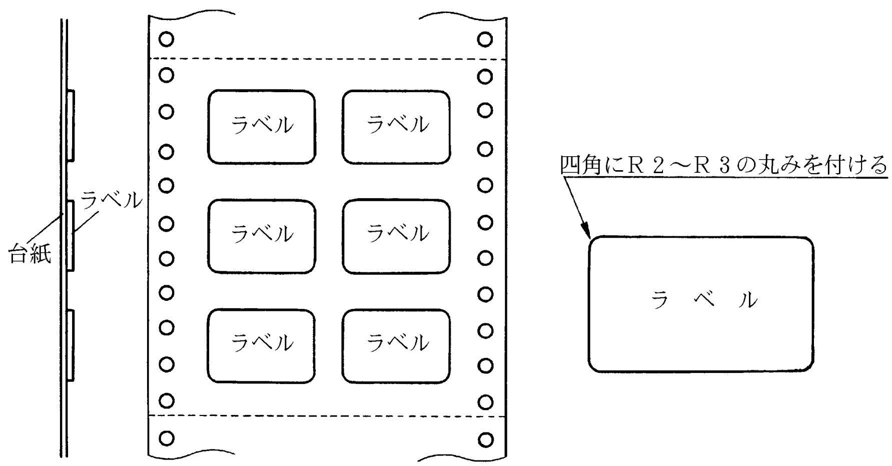
1）カストリは行わず、ラベルの四角および他の四辺に切込みを残した用紙。

※カストリとは、台紙全体に張られた粘着シールをラベルの部分だけを残してはぎ取ることを言います。



※この形態は、ほぼ完全にラベルのはがれを防止することができ、最もおすすめするものです。できる限りこの形態を使用するようにしてください。

2）カストリを行うと、ラベルのはがれや改行精度が低下する場合があります。サンプル用紙でためし印刷をし、支障がないとこの確認をお勧めします。カストリの場合、必ずラベルの四角に丸みを付けてください。



単票用紙

このプリンタで使用できる単票用紙は、次のとおりです。

また、やむを得ず規格外の用紙を使用する場合は、十分に確認を行ってから使用してください。

◆ 用紙の寸法

	FMPR2000G	FMPR3000G
横　幅	101.6～266.7㎜	100～420.0㎜
縦長さ	76～364㎜	76～420㎜

◆ 用紙の構成枚数

オリジナルを含む用紙の構成枚数と用紙の厚さ（連量）の組合わせは、下表に示すとおりです。

ただし、カットシートフィーダ（FMPR3000Gプリンタオプション）では複写用紙は使用できません。カットシートフィーダで使用できる用紙については、「カットシートフィーダで使用できる用紙」（102ページ）を参照してください。

用紙種類	枚数	連量（kg）（注 1）	備考
一枚用紙	1P	45,55,70	
ノンカーボン紙 (注 2)	2P 3P 4P 5P	34,43,55,(70) 34,43,(55,70) 34,(43,55,70) 34,(43,55)	（　）内の連量の用紙は、複数つづりの一番下の用紙のみ使用可能です。
裏カーボン紙 (注 2)	2P 3P 4P 5P	34,44,55,(70) 34,44,(55,70) 34,(44,55,70) 34,(45,55)	

注 1)　連量とは、四六判（788㎜×1091㎜）の用紙 1000 枚の重量を kg で示します。

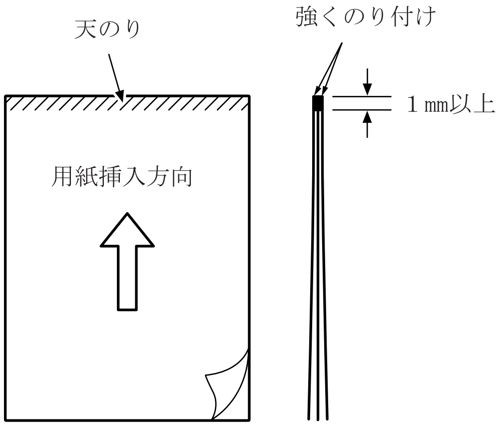
注 2)　ノンカーボン紙および裏カーボン紙の連量は、メーカによって多少異なる場合がありますが、その場合は表の数値に近いものを選んでください。

注 3)　中カーボン紙は、単票用紙の場合使用しないでください。

注 4)　全体の用紙厚は、0.33㎜ 以下にしてください。

◆ 複写用紙のとじかた

単票複写用紙は、用紙上端がのり付けされている用紙（天のり綴じ用紙）を使用して下さい。横のり綴じ用紙を使用すると、用紙吸入不足や斜行印字などが発生することがありますので、使用しないでください。また、のり付け部が波打っていたり、のりがはみ出していない用紙を使用してください。



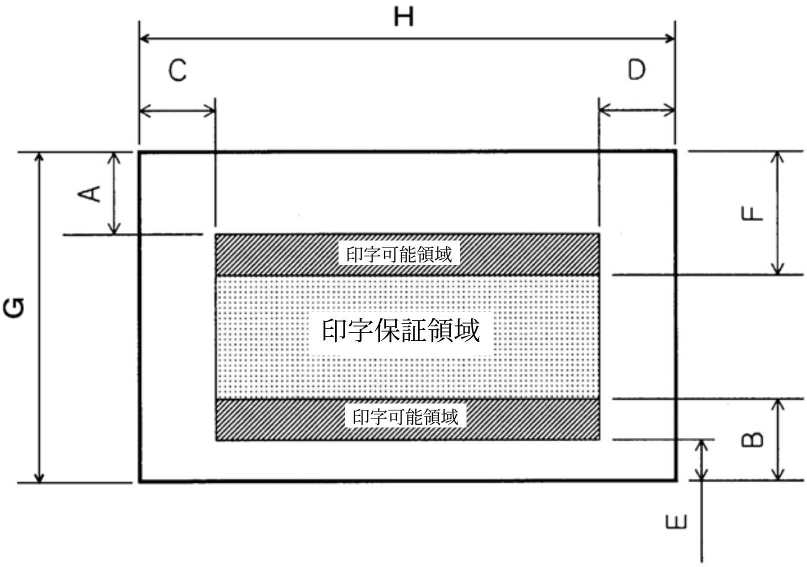
注 1)　のり付け部が極端に硬くなったり、波打ったりしないようにしてください。

注 2)　のり付け部が簡単に外れてバラバラにならないようにしてください。

注 3)　のりがはみ出さないようにしてください。

◆　印字領域

単票用紙の印字領域を下図と下表に示します。



<table>
<tr><td rowspan="2"></td><td>A（㎜）</td><td>B（㎜）</td><td>C（㎜）</td><td>D（㎜）</td><td>E（㎜）</td><td>F（㎜）</td><td>G（㎜）</td><td>H（㎜）</td></tr>
<tr><td>上端余白</td><td>印字可能領域</td><td>左端余白</td><td>右端余白</td><td>下端余白</td><td>印字可能領域</td><td>用紙長さ</td><td>用紙幅</td></tr>
<tr><td>FMPR2000G</td><td rowspan="2">4.2
注 1)</td><td rowspan="2">約 40</td><td rowspan="2">5.08
注 3)</td><td rowspan="2">5.08
注 3)</td><td rowspan="2">4.2</td><td rowspan="2">25.4</td><td>76～364</td><td>101.6～
266.7
注 4)</td></tr>
<tr><td>FMPR3000G</td><td>76～420</td><td>100～
420.0
注 5)</td></tr>
</table>

注1)　上端余白 A 値は、用紙上端から文字上端までの寸法です。
ただし、工場出荷時の上端余白量は 8.5㎜ に調整されています。

注2)　斜線部内に印字はできますが、送り精度を必要とするものは印字しないでください。

注3)　D 値は、用紙幅と印字桁数に左右されますが、最小 5.08㎜(1/5 ｲﾝﾁ)とします。

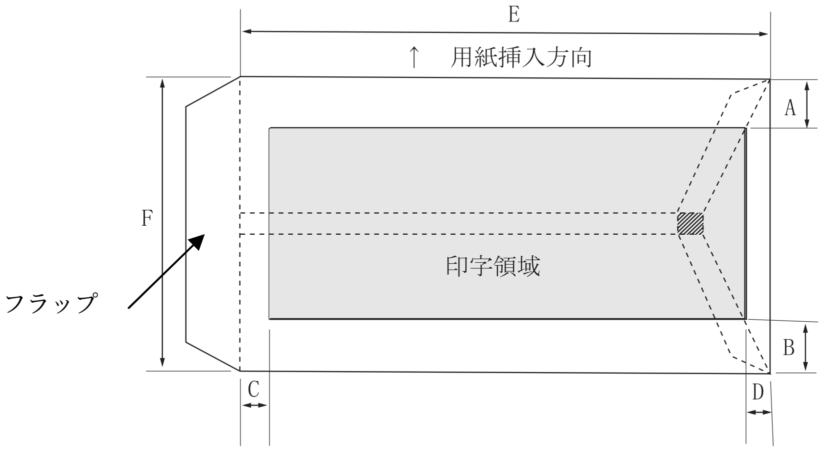
注4)　最大印字幅は 203.3㎜（8 インチ）のため、幅の広い用紙をセットした場合、左端および右端余白は大きくなります。

注5)　最大印字幅は 345.44㎜（13.6 インチ）のため、幅の広い用紙をセットした場合、左端および右端余白は大きくなります。

注6)　タック紙（ラベル紙）を使用した場合、用紙上端から 40㎜ 以下の範囲で逆改行動作をしますと改行が乱れますので、精度を必要とする場合は逆改行動作をさせないでください。

■　封筒

◆　用紙サイズ



記号	項　目	寸法（㎜）
A	上端余白	25.4 以上
B	下端余白	25.4 以上
C	左端余白	5.08 以上
D	右端余白	5.08 以上
E	用紙幅	162～239
F	用紙長さ	90～120

◆　封筒サイズおよび坪量

封筒の種類	寸法		坪量（g/㎡）		最大用紙厚（㎜）
	E（㎜）	F（㎜）	クラフト紙	その他の紙	
長形 3 号	235	120	50，60，70，85	55 以上 85 以下	0.48
長形 4 号	205	90			
洋形 2 号	162	114	50，60，70，85	55 以上 85 以下	0.46
US10	239	105	81 以下	81 以下	0.46
ジャーマンタイプ	220	111			

注 1)　印字領域以外への印字を禁止します。

注 2)　封筒の印字については表側のみ可能です。
裏側への印字は紙ジャムの原因になりますので印字を禁止します。
また、用紙挿入走行方向以外の用紙送りは禁止します。

注 3)　印字領域内の用紙の段差は、最大 0.15㎜ 以下としてください。

注 4)　のり付け部の上およびその周辺 5㎜ 以内への印字を禁止します。

注 5)　フラップ部破線の食込みが封筒肩より 5.08㎜ 以上の場合は、破線部の右側で印字してください。

注 6)　フラップ部などがのり付け加工された封筒は、使用しないでください。

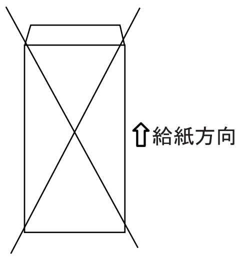
注 7)　切手およびシールなどを貼付けた封筒は、使用しないでください。

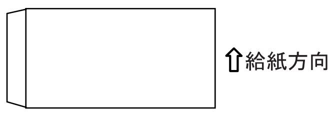
注 8)　斜線部への印字は、リボン汚れが発生し易いのでさけてください。

注 9)　窓付き封筒は、紙ジャムの原因になりますので使用できません。

注 10)　二重封筒は、リボン汚れや紙ジャムの原因になりますので使用できません

注 11)　封筒のフラップ部（斜めの部分）は第 1 ドットの左側となるように用紙ガイドを移動して使用してください。（100ページ参照）





カットシートフィーダ（オプション）で使用できる用紙

FMPR3000G プリンタでは別売りのカットシートフィーダを搭載することにより、セットした複数枚の単票用紙を自動でプリンタへ送りだすことができます。
さらに別売りのホッパーユニットをカットシートフィーダに取り付けることにより、２種類の単票用紙をセットができます。

品　名	型　名
カットシートフィーダ	FMPR-CF8G
ホッパーユニット	FMPR-CF81G

カットシートフィーダで使用できる用紙は、自動給紙印刷と手差し印刷の場合では条件が異なります。

◆ 使用できる用紙

<table>
<tr><th></th><th>枚数</th><th>紙質</th><th>連量
(kg)</th><th>用紙幅
(mm)</th><th>用紙の長さ
(mm)</th><th>使用できる
用紙サイズ</th></tr>
<tr><td rowspan="2">自動給紙
印刷</td><td rowspan="2">１枚もの</td><td>PPC 用紙
上質紙</td><td>55〜70</td><td>182〜364</td><td>182〜364</td><td>B5〜B4</td></tr>
<tr><td colspan="4">はがき（注 1）
幅：100㎜　長さ：148㎜</td><td colspan="2">縦横サイズとも使用できます</td></tr>
<tr><td rowspan="5">手差し
印刷</td><td rowspan="4">１枚もの</td><td>PPC 用紙
上質紙</td><td>55〜70</td><td>182〜420</td><td>182〜420</td><td>B5〜A3</td></tr>
<tr><td>上質紙</td><td>40</td><td>182〜257</td><td>182〜364</td><td>B5〜B4</td></tr>
<tr><td>和紙</td><td>用紙厚
0.07〜0.11</td><td>182〜364</td><td>182〜364</td><td>B5〜B4</td></tr>
<tr><td colspan="4">公社（官製）はがき（注 1）
幅：100㎜　長さ：148㎜</td><td colspan="2">縦横サイズとも使用できます</td></tr>
<tr><td>2〜3 枚</td><td>ﾉﾝｶｰﾎﾞﾝ紙</td><td>34</td><td>182〜364</td><td>182〜364</td><td>B5〜B4</td></tr>
</table>

注 1)　はがきは、ホッパーユニットでは使用できません。

注 2)　用紙の吸入不良または印字ズレが生じる原因となりますので、次の用紙は使用しないでください。
- ミシン目および用紙のコーナーに丸みのついた用紙
- 罫線などの印字されている用紙（プレプリント用紙）

◆ 使用できない用紙

用紙の吸入不良または印字位置ズレが生じる原因となりますので、次の用紙は使用しないで下さい。

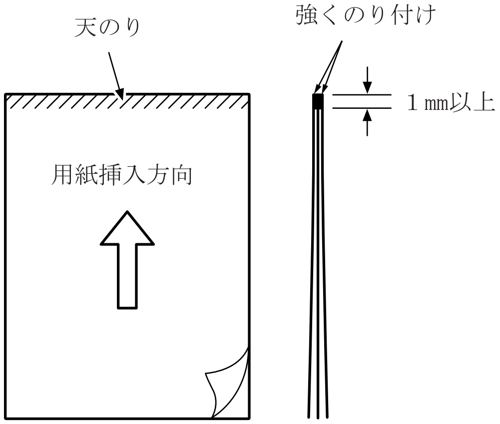
- ミシン目および用紙のコーナーに丸みのついた用紙
- 罫線などの印字されている用紙（プレプリント用紙）

◆ 用紙の保管、取扱い上のご注意

用紙の保管には特に注意し、変形が生じるような置き方、扱い方をしないで下さい。

◆ 用紙のとじかた

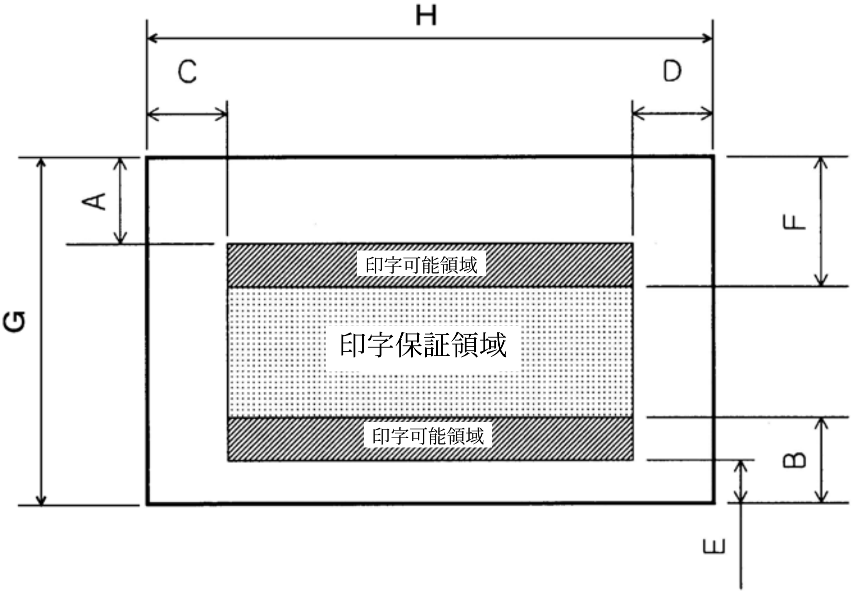
手差し口から使用する複写用紙は、用紙の上端がのり付けされている用紙（天のり綴じ用紙）を使用してください。



注 1)　のり付け部が極端に硬くなったり、波打ったりしないようにしてください。
注 2)　のり付け部が簡単に外れてバラバラにならないようにしてください。
注 3)　のりがはみ出さないようにしてください。

◆ 印字領域

印字領域を下図と下表に示します。



	A (mm)	B (mm)	C (mm)	D (mm)	E (mm)	F (mm)	G (mm)	H (mm)
	上端余白	**印字可能領域**	**左端余白**	**右端余白**	**下端余白**	**印字可能領域**	**用紙長さ**	**用紙幅**
自動印刷 **手差し印刷**	4.2 注 1)	約 40	約 5.08 注 3) 注 4)	約 5.08 注 4)	4.2	25.4	182～364	182～364

注 1) 上端余白 A 値は、用紙上端から文字上端までの寸法です。
ただし、工場出荷時の上端余白量は 8.5㎜ に調整されています。

注 2) B と F に印字はできますが、送り精度を必要とするものは印字しないでください。

注 3) 左端余白 C 寸法は、用紙ガイドを▼印に合わせたときの基準値です。
手差しで A3 用紙を横長で使用するときは、左端余白 C 寸法が B5～B4 用紙とは異なります。

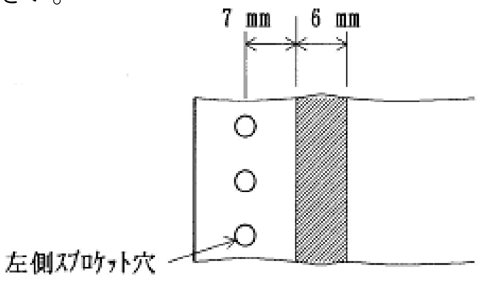
注 4) C と D の値は、手差しで使用した場合は条件外です。

とじ穴の開けかた

印字領域内にとじ穴をあけないでください。やむを得ず印字領域内にとじ穴をあけるときは、とじ穴部と印字が重ならないようにしてください。

また下記の制限事項があります。

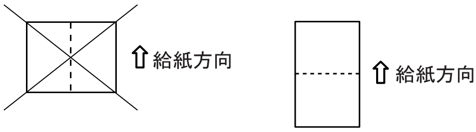
- 綴じ穴部付近への印字は、穴の周囲 5.08㎜ を避けて印字してください。
- 綴じ穴開けの禁止位置は、プレプリント用紙の制限エリア(斜線部内)と同様です。
- 綴じ穴の径は 6㎜ 以下にしてください。
  長円穴の場合は長径側を 6㎜ 以下にしてください。
- 連帳に綴じ穴を開けるときは、下記斜線部への穴開けは避けてください。



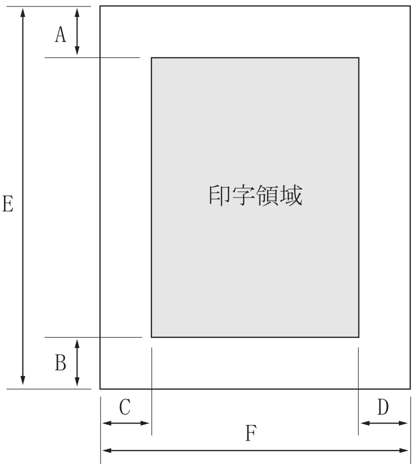
はがきを使用するとき

はがきを使用するときは、次の点に注意してください。

- 用紙厚調整レバーを 4 または 5 にセットしてください。（「用紙厚を調整する」（74 ページ）参照）
- はがきに印字する前に、はがきと同じサイズの用紙を使ってためし印字をし、印字がはがきからはみ出さないことを確認してください。市販のはがきは、用紙の種類によってはきれいに印字できないことがあります。
- 一度折り目をつけた往復はがきは使用しないでください。また、往復はがきを二つ折りにして印字することはできません。
- 往復はがきは、縦長に挿入してください。



◆ 用紙サイズおよび印字領域



記号	項　目	寸法（mm）
A	上端余白	4.73 以上
B	下端余白	4.73 以上
C	左端余白	5.08 以上
D	右端余白	5.08 以上
E	用紙長さ	100,148,200
F	用紙幅	100,148,200

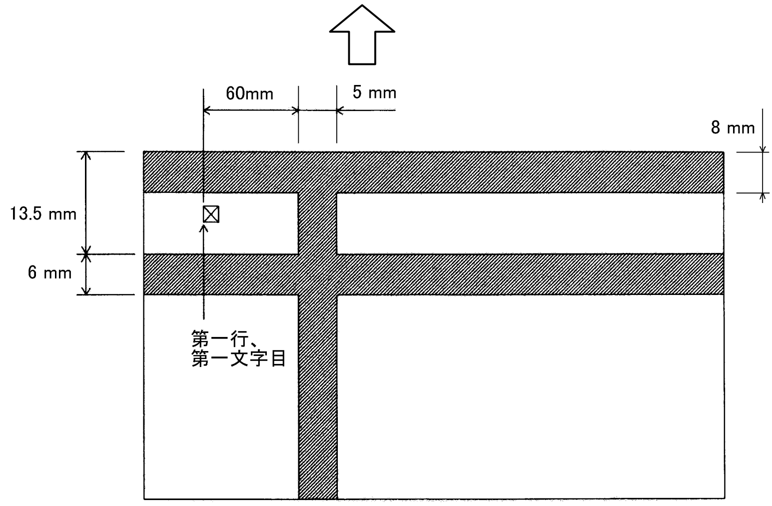
注）往復はがきは、折り目のないものを使用してください。
私製はがきを使用する場合は、十分に確認を行ってから使用してください。
上端余白 A 値は、用紙上端から文字上端までの寸法です。
ただし、工場出荷時の上端余白量は、8.5㎜ に調整されています。

プレプリント用紙を使用するとき

あらかじめ文字や枠などを印刷してある用紙（プレプリント用紙）を作成したり、使用したりするときは、次の点に注意してください。

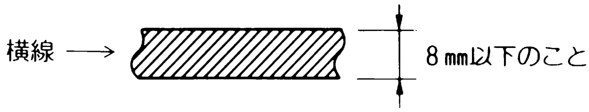
◆ 光反射率60%以下の色（例えば黒）を使用する場合

・プレプリント用紙に光反射率60%以下の色（例えば黒）を使用するときは、下図の斜線部内を避けてください。

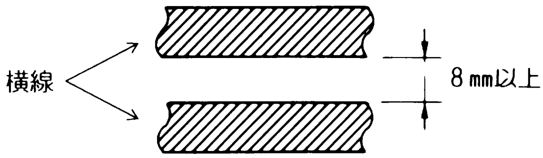


・やむを得ず斜線部内に印刷するときは、次のようにしてください。

(1) 斜線内に印刷する横線の太さは、下図に示すように8㎜以下にしてください。



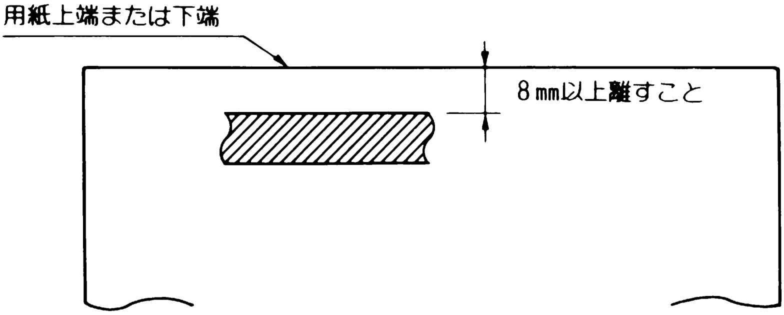
(2) (1)の横線が連続するときは、下図に示すようにすきまを 8㎜以上あけてください。



注）　線の太さが0.5㎜以下のときは、すきまが4㎜以上でも可能です。

(3) 斜線内に縦線を入れるときは、線の太さを0.5㎜以下とし、斜線内に１本までとしてください。

・ 用紙の端面付近に印刷するときは、下図に示すように用紙の端面から 8㎜ 以上離してください。



注） 線の太さが 0.5㎜ 以下のときは､すきまが 4㎜ 以上でも可能です。

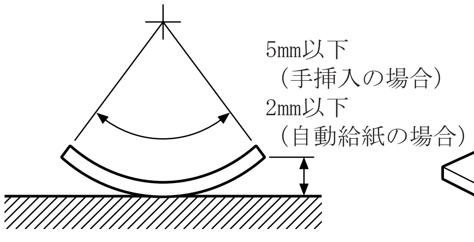
◆ 罫線枠の幅

罫線枠のある用紙（プレプリント用紙）に印字する場合、罫線枠の幅が 6㎜ 以下の用紙は、用紙のたわみや吸入セット位置のズレなどによって、印字した文字が罫線枠上に重なったり、はみだしたりすることがありますので、事前に試し印字で印字位置を確認するようにしてください。
なお、罫線枠は上下左右に 2.5㎜ 程度の余裕をもたせることを推奨いたします。

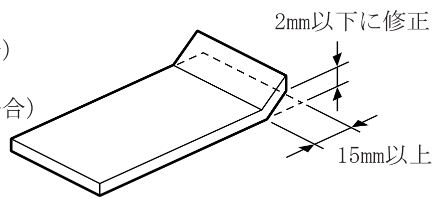
取扱い上のご注意

◆ 用紙の保管、取扱いについて

- 用紙は次のような場所に保管してください
  - 暗く、湿気の少ない平らな書棚の中のような場所
  - 平らなパレットの上
  - 温度 20℃、湿度 50%RH の環境
- 次のような場所は避けてください
  - 床の上に直接置く
  - 直射日光の当たる場所
  - 外壁の内側の近く
  - 段差や、曲がりのある場所
  - 静電気が発生するところ
  - 過度の温度上昇と、急激な温度変化のあるところ
  - 複写機、空調機、ヒータ、ダクトのそば
- 排出された単票用紙を長時間放置したり、大量の単票用紙を排出した場合、用紙がカールする、用紙が崩れる、などにより次の排出が適切に行えなくなります。排出された用紙は、すみやかに取り除いてください。
- 用紙厚さに段差のある用紙や穴のあいている用紙は、印字カスレ、ボンによる用紙汚れや印字ヘッドピン折れの原因になりますので、十分に試し印字をしてください。
- 用紙の上端がカールしていたり、折れたりしている用紙は、装置内部で用紙走行不良を起こしやすいので、カール／上端折れがない用紙をご使用ください。



全面的に丸まったもの



- 長期間放置した用紙を使用した場合、うまく印刷できないことがあります。
  用紙を長期間保管するときは、次の配慮をしてください。
  - 開封後の残りの用紙は､ほこりが付かないよう､包装してあった紙に包む｡
  - 長期間プリンタを使用しないときは、プリンタにセットした用紙を外して、包装してあった紙に包む。
- 用紙を印字開始位置に送った後、長時間放置すると用紙がカールします。
  用紙を印字開始位置に送った後は、早めに印刷してください。用紙送り後、印刷を中止する場合は、いったん用紙を排出（連帳用紙の場合は退避位置に後退）してください。

◆ 特殊用紙について

- この章に記述した仕様以外の用紙は、使用しないでください。用紙づまりなどのトラブルの原因となります。
- 再生紙の種類によってはリボンカセットの寿命が短くなったり、用紙づまりが起きたりすることがあります。このときは、使用を中止し、紙質の良いものに変更してください。

第5章

保守と点検

この章では、リボンカセットの交換、用紙づまりやプリンタがうまく動かないときの処置、テスト印字のしかた、清掃のしかた、輸送のしかた、およびアフターサービスについて説明します。

リボンカセットを交換する

■　リボンカセットの種類

このプリンタで使用するリボンカセットは、下表のとおりです。

商品名	商品番号	備　考
リボンカセット DPK3800（黒）	0325210	黒色のリボンカセットです。(約 500 万字 ANK ドラフト印字可能）
サブカセット DPK3800（黒）	0325220	詰め替え用黒リボンです。

⚠注意

誤　飲　インクリボンをお子様が口に入れたりなめたりしないようにしてください。健康を損なう原因となることがあります。

お願い

・リボンカセットは、指定の純正品を使用してください。
　指定以外のリボンカセットを使用すると、インクリボンがからまったり、印字ヘッドが傷んだりしてプリンタの故障を引き起こすことがあります。
・インクリボンがたるんだ状態で使用しないでください。たるんだまま印字を開始すると、インクリボンがからまったり、巻きとりがロックすることがあります。
・使用済みのリボンカセットは、不燃物として地方自治体の条例または規則に従って処理してください。

■ 交換のしかた

リボンカセットの交換は、次の手順で行います。

1　電源を切る

（電源スイッチが（○）側に倒れた状態になります。）

2　フロントカバーを開ける

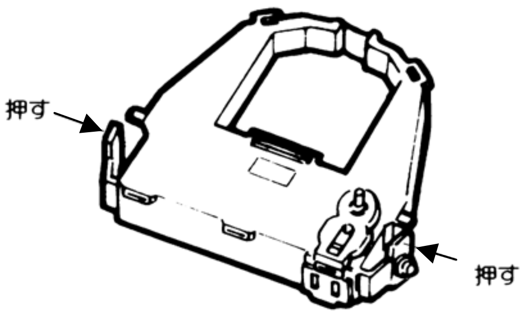
3　印字ヘッドをイジェクションカバーの●部（緑）に移動する

⚠注意



印字した直後は、印字ヘッドが高温になります。温度が下がったことを確かめてから、中央に寄せてください。

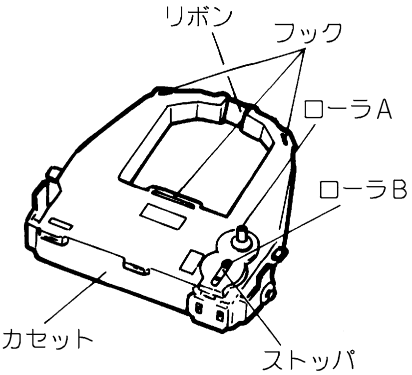
4　リボンカセットの両脇を押して、プリンタから取り外す

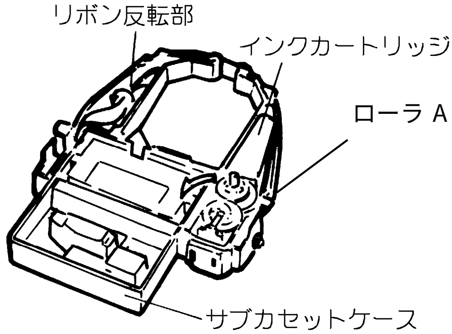


新しいリボンカセットの取付けは、「リボンカセットを取付ける」（21 ページ）を参照してください。

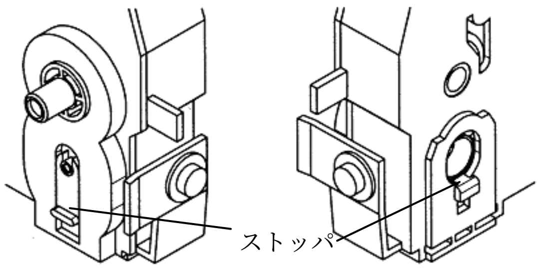
■　サブカセットの交換のしかた

サブカセットの交換は、次の手順で行います。





1　サブカセットの表と裏にあるストッパを持って「LOCK」側に引き、ローラ B を離反させる



2　フタを固定している 3 つのフックを外してフタをあけ、使用済のリボンとインクカートリッジを取り出す

3　ローラ A を矢印の方向に傾けながら、新しいインクカートリッジを装着する

4　サブカセットケースを逆さにセットし、保護フィルムを静かに引き剥がす

5　リボン反転部で反時計方向にひねりながら、カセットに通す

6　「PUSH」部を押しながら、サブカセットケースをゆっくりと引き上げる

7　元の様にカセットフタを閉めてストッパを解除します。ローラ A を 2〜3 回転まわし、リボンがスムーズに送られることを確認する

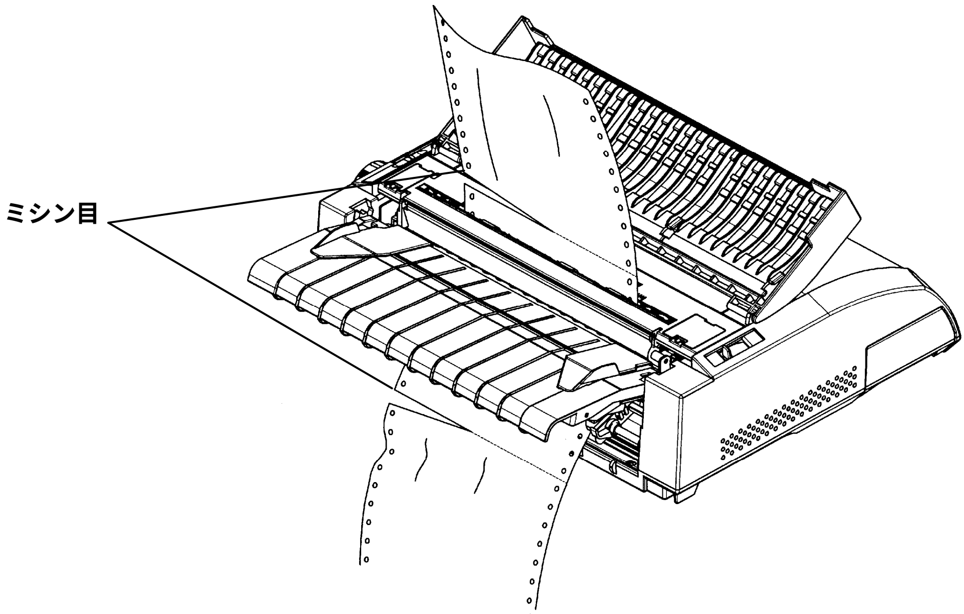
8　使用済のリボンとインクカートリッジは、袋などに入れて廃却する

用紙づまりのとき

■ 連続帳票用紙がつまったとき

用紙づまりを起こしたときは、用紙を無理に引っ張らず、静かに取り除きます。

まず、はじめに取り出しやすいように連続帳票用紙をミシン目でカットします。



その後、用紙づまりの状態に合わせて、次の手順で用紙を取り除きます。

◆ 用紙の入口付近での用紙づまり

1 オフライン状態にする

（「オンライン」ランプが消灯している状態です。）

2 用紙送りトラクタのロックレバーを解除して用紙押さえを開き、用紙を取り除く

◆ 印字ヘッドとプラテンの間での用紙づまり

微小改行（33ページ参照）を行って、用紙を取り除きます。

それでも用紙が取り除けないときは、次の処置を行います。

1 **プリンタの電源を切る**

2 **プラテンを逆方向に回して用紙を取り出す**

◆ 用紙の出口付近での用紙づまり

1 **プリンタの電源を切る**

2 **用紙送りトラクタのロックレバーを解除し、用紙押さえを開く**

3 **用紙厚調整レバーを“D”の位置にセットする**

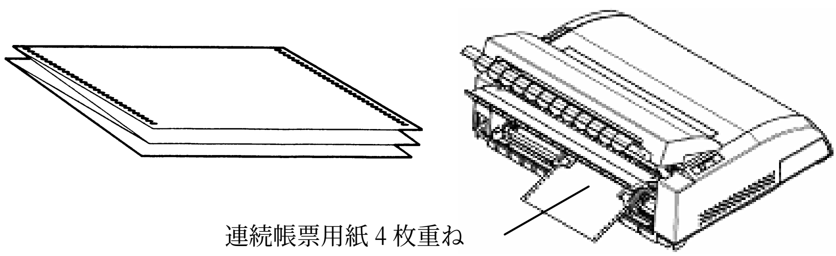
4 **用紙が取り出しやすいように印字ヘッドを動かし、用紙を取り除く**

⚠注意

高温注意

印字した直後は、印字ヘッドが高温になります。温度が下がったことを確かめてから、印字ヘッドを動かしてください。

・ 前記手段を行っても用紙が取り除けないときには、連続帳票用紙4枚を重ねたものを用紙送りトラクタにセットし、プラテンを正方向に回して用紙を取り除きます。
このとき、印字ヘッドが用紙の中央部にくることを確かめてから行ってください。



⚠注意

高温注意

印字した直後は、印字ヘッドが高温になります。温度が下がったことを確かめてから、印字ヘッドを動かしてください。

■　単票用紙がつまったとき

用紙づまりを起こしたときは、用紙を無理に引っ張らず、静かに取り除きます。

用紙づまりの状態に合わせて、次の手順で用紙を取り除きます。

◆ 用紙の入口・出口付近での用紙づまり

1　オフライン状態にする
（「オンライン」ランプが消灯している状態です。）

2　微小改行（33 ページ参照）を行って、用紙を取り除く

◆ 印字ヘッド付近での用紙づまり

1　プリンタの電源を切る

2　用紙厚調整レバーを“D”の位置にセットする

3　フロントカバーを開ける

4　印字ヘッドを、用紙が取り出しやすいように移動する

⚠注意


高温注意

印字した直後は、印字ヘッドが高温になります。温度が下がったことを確かめてから、印字ヘッドを動かしてください。

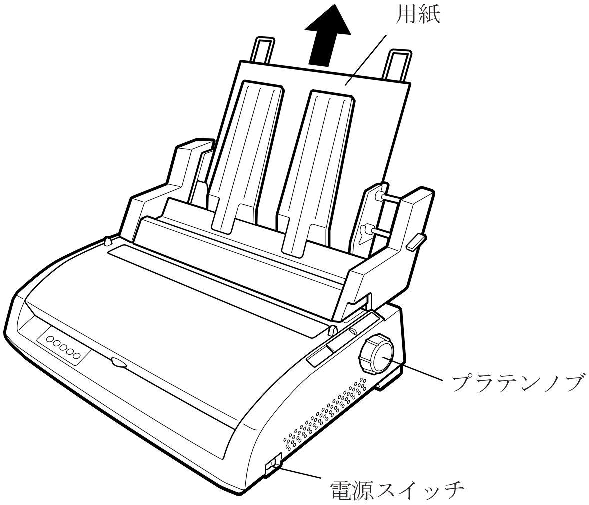
5　用紙を取り除く

カットシートフィーダご使用での紙づまりの取り除き方

■ 用紙が給紙ホッパ内に見えている場合

1 **プリンタ装置の電源を「OFF」にする**

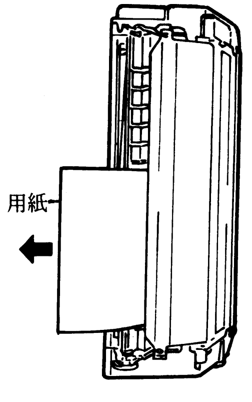
2 **プラテンノブを回しながら用紙を上へ静かに引き抜く**



■ 内部で紙づまりを起こした場合

1 **プリンタ装置の電源を「OFF」にし，カットシートフィーダをプリンタ装置から取り外す**

2 **カットシートフィーダを立てて，プリンタとの接続部分から、用紙を静かに引き抜く**



プリンタがうまく動かないとき

プリンタが動かなくなったり、きれいに印字できなくなったりした場合の処置方法を説明します。故障とお考えになる前に簡単な点検で解決する場合がありますので，下表の項目について確認してください。処置を行っても機能が回復しない場合は、ハードウェア修理相談センター（138ページ参照）にご相談ください。

■　電源投入時の不具合

電源を投入すると、操作パネルのランプが点灯し、各部機構の位置決め動作と自己診断を行います。その際の異常動作に対する処置方法を説明します。

現象	原因	処置
電源を投入後「電源」ランプが点灯せず、プリンタが動作しない。	電源コードの接続が正しくない。	プリンタの電源を切り、電源コードの接続を確かめてください。(「電源コードの接続」20 ページ参照)
電源を投入後、いったん「電源」ランプが点灯するが消灯する。	電圧異常を検出し、電源が自動的に停止した。	電源を切って、5 分間放置後、再度電源を投入し、再現する場合は、修理を依頼してください。
電源投入後「用紙切れ」ランプが点滅する。	用紙やリボンが印字ヘッドにひっかかっているため、電源投入時の印字ヘッドの左右動作(イニシャル動作)が正常にできない。	電源を切って、印字ヘッドにひっかかっているものを取り除いてください。
	印字ヘッドを固定している輸送用固定材が取り外されていないため、電源投入時の印字ヘッドの左右動作(イニシャル動作)が正常にできない。	電源を切って、輸送用固定材を取り外してください。(「輸送用固定材の取外し」14 ページ参照)
	モータやセンサ、回路の故障、その他を検出した。	電源を切って、再度電源を投入し、再現する場合は、修理を依頼してください。
電源投入後「電源」ランプ以外が消灯。	フロントカバーが開いている。（カバーオープンを検出した）	フロントカバーを閉じてください。再現する場合は、修理を依頼してください。

■　単票用紙吸入時の不具合

単票用紙吸入がうまくできない場合の、処置方法を説明します。

現象	原因	処置
吸入しない。	プリンタがオンライン状態である。	オンラインスイッチを押してオフライン状態にしてください。
	連帳単票切替えレバーが「連帳」側になっている。	連帳単票切替えレバーを「単票」側にして下さい。
吸入しない。	前回吸入した用紙を、手で引き抜いたため、プリンタの状態が紙有り状態となっている。	用紙セットスイッチを押し、一度排出動作をさせてから、再吸入してください。
	機能設定でオートローディングが無効になっている	用紙セットスイッチを押して吸入させるか、機能設定を変更してください。
	用紙検知部分で用紙に綴じ穴等の穴があいている。	用紙セットスイッチを押して吸入してください。
	連帳用紙が印字開始位置まで送られている。	連帳用紙を退避位置まで後退させてください。
吸入途中で用紙がつまる。	用紙厚調整レバーの設定が正しくない。	用紙厚調整レバーを正しく設定してください。
	用紙の仕様が合っていない。	仕様に合った用紙を使用してください。（「第 4 章 用紙について」　79 ページ参照）
	用紙の先端の折れ、曲がりがある。	折れたり、曲がったりしている用紙は使用しないでください。
吸入後用紙切れランプが点灯したままである。	印字ヘッドの用紙センサが用紙を検出できなくなった。	用紙センサを清掃してください。（「清掃のしかた」132ページ参照）
	プレプリントによりセンサが誤検出している(プレプリントのない用紙は問題無い)。	プレプリントに関しては、「プレプリント用紙を使用するとき」(107 ページ)を参照してください。

■ 連帳用紙吸入時の不具合

連帳用紙がうまく吸入できない場合の処置方法を説明します。

現象	原因	処置
吸入しない。	プリンタがオンライン状態である。	オンラインスイッチを押してオフライン状態にしてください。
	連帳単票切替えレバーが「単票」側になっている。	連帳単票切替えレバーを「連帳」側にして下さい。
	前回吸入した用紙を、手で引き抜いたため、プリンタが紙有り状態となっている。	用紙セットスイッチを押し、一度排出動作をさせてから、再吸入してください。
	単票用紙が印字開始位置まで送られている	単票用紙を排出してください。
吸入途中で用紙づまりとなる。	左右のトラクタ間で用紙が弛んでいる。	左右のトラクタ間隔を軽く用紙が張る程度に調整してください。
	トラクタへのセットで、左右で穴がズレている。	正しくセットし直してください。
	用紙の上端部に損傷、折れ曲がりがある。	損傷したり、折れ、曲がりのある連帳を使用しないでください。
	用紙厚調整レバーの設定が正しくない。	用紙厚調整レバーを正しく設定して下さい。
	用紙の仕様が合っていない。	仕様に合った用紙を使用してください。（「第 4 章 用紙について」　79 ページ参照）
	印刷済みの用紙が残っている。	印刷済みの用紙を手で取り除いてください。

■ 印字中の問題点

印字中の問題点に対する対処方法を説明します。

現象	原因	処置
印字が始まらない。	「オンライン」ランプが消えている。	オンラインスイッチを押して、「オンライン」ランプを点灯させてください。
オンライン状態であるのに、印字できない。	プリンタケーブルの接続に問題がある。	プリンタの電源を切り、プリンタとパソコンをつなぐプリンタケーブルの接続を確かめてください。（「パソコンとの接続」16 ページ参照）

現象	原因	処置
印字音はするのに印字しない。	リボンカセットを取り付ていない。	リボンカセットを取り付けてください。（「リボンカセットを取付ける」21 ページ参照） リボンカセットが取り付けてあるのに印字しないときは、印字ヘッドとリボンガイドの間にリボンが入っているかどうかを確かめてください。
プリンタ動作中に「用紙切れ」ランプが点滅し、プリンタが停止した。	印字ヘッドの左右動作に異常が発生した。 <要因> 1.段差のある用紙を使用している。 2.紙厚設定が正しくない。 3.用紙つまりが発生した。 4.リボンが印字ヘッドに引っかかった。	電源を切って、用紙仕様、紙厚設定を見直してください。
全く異なる印刷結果が出力される。（不正な文字・記号が印刷されたり、ブザーが鳴動するなど）	Windows から印刷中にエラーが発生した場合、そのまま再印刷を行なった。	印刷中にエラーが発生した場合、操作パネルで“ リセット ”を実行するかプリンタの電源を一旦 OFF してから次の印刷を行う。
用紙が途中でスリップする。	排紙用ローラとプラテンローラに紙粉がついている。	電源を切って、排紙用ローラとプラテンローラを清掃してください。（「清掃のしかた」132ページ参照）
モードランプが点滅する。	プリンタ側が単票設定時、単票で未サポートのユーザー定義サイズのデータを受信するとアラームが発生する。	帳票を印刷したかったのに，プリンタが単票モードだった場合…連帳／単票切り替えレバーを帳票側に切り換え、連帳用紙を吸入後に「オンライン」スイッチを押してアラームを解除してください。 単票を印刷したかったが、ユーザー定義サイズ設定を間違えていた場合…パソコン側の印刷データをキャンセルした後、プリンタをリセット（オフライン状態でオンライン＋高速スイッチを押します）します。再印刷時にサポート範囲のユーザー定義サイズに変更してください。
	単票(CSF)モードでユーザー定義サイズのページ長が 76㎜ 未満（単票用紙サイズの範囲外）を受信した。	正しい用紙サイズを設定してください。

■　印字結果の問題点

印字結果の問題点に対する処置方法を説明します。

現象	原因	処置
リボン汚れが出る。	用紙厚調整レバーが正しくセットされていません。（適正値に対して狭くなっている。）	使用している用紙に合わせて正しくセットしてください。（「用紙厚を調整する」74 ページ参照）
	リボンカセットの交換時期が近づいている。リボン生地の波うちが激しくなっている。	新しいリボンカセットと交換してください。 (「リボンカセットを交換する」113ページ参照)
縦棒のつなぎの左右方向にズレが大きい(行間ズレが大きい)。	用紙厚調整レバーが正しくセットされていない（適正値に対して狭くなっている）ため、印字ヘッドの左右動作の精度が悪くなっている。	使用している用紙に合わせて正しくセットしてください。（「用紙厚を調整する」74 ページ参照）
	行間ズレ調整が正しくない。	「行間ズレを直す」(43 ページ)を参照し、行間ズレを直してください。
印字がうすい。	用紙厚調整レバーが正しくセットされていません。（適正値に対して広い）	使用している用紙に合わせて正しくセットしてください。（「用紙厚を調整する」74 ページ参照）（狭めに設定し直してください。）
	リボンカセットの交換時期が近づいている。リボン生地の印字跡部の黒さが薄くなっている。	新しいリボンカセットと交換してください。（「リボンカセットを交換する」113ページ参照）
	印字ヘッドの交換時期が近づいています。	印字ヘッドを交換してください。お買い求めの販売店、またはハードウェア修理相談センター（138 ページ参照）にご連絡ください。
印字を構成するドットが横一列に欠ける。	印字ヘッドのピンが折れています。	印字ヘッドを交換する必要があります。お買い求めの販売店、またはハードウェア修理相談センター（138ページ参照）にご連絡ください。
印字の下の部分が欠ける。	リボンカセットが正しく取り付けられていません。	印字を中止して、リボンカセットを正しく取り付けてください。（「リボンカセットを取り付ける」21 ページ参照）
印字が所々でよじれたように欠ける(用紙を変えても発生する)。	リボンがたるんだり、よじれたりしています。	印字を中止して、リボンカセットを点検してください(リボンつまみを回してリボンのよじれが無いか確認します)。
約 10 ページ(11 インチ換算で)の白紙が排出され、印刷が停止する。	不要な改行、改ページを行っている。	印刷を停止して、印刷データを確認してください。

■　印字位置の問題点

印字位置に問題点がある場合の処置方法を説明します。

現象	原因	処置
印字開始位置が上、または下にズレる。	用紙のバラツキにより、印字位置がわずかにズレる。	印字開始位置を調整してください。（「印字開始位置について」76 ページ参照）
	ドライバでの余白の設定、プリンタの上端余白の設定がアプリケーションに適合していない。	アプリケーションに合わせて、ドライバの給紙方法、余白量設定、プリンタの機能設定を正しく設定してください。
	ソフトウェアによっては上端余白の設定を変更する必要が有ります。	アプリケーションソフトの説明書で確認してみてください。
	用紙上端のプレプリント禁止領域にプレプリントがある。	プレプリントを修正するか､吸入後用紙の位置合わせを行なって印字してください。

■　印字位置がページによってズレる

印字位置がページによってズレる場合の処置方法を説明します。

現象	原因	処置
連続用紙の印字位置がページによってズレる。	用紙の仕様が合っていません。	仕様に合った用紙を使用してください。（「第 4 章 用紙について」79 ページ参照）
	連続用紙の置きかたが悪く、正しく搬送できない。	連続用紙はプリンタ給紙口の下に置き、斜めになったり、途中に引っかかりのない様にしてください。また、箱からスムーズに引きだされない用紙は、箱から出して設置してください。（「連続帳票用紙の置きかた」60 ページ参照）
	用紙のページ長さと、ソフトウェアのページ長設定値が異なる。	ソフトウェアのページ長指定に合う用紙を使用してください。
	用紙の特性により、吸入位置に対してわずかながら印字位置がずれる事がある。	機能設定の種類【補正量設定】（40 ページ参照）の値を変更してください。

■ カットシートフィーダ使用時の不具合

現象	原因	処置
カットシートフィーダが動作しない。給紙ローラが回転しない。	カットシートフィーダがプリンタ装置に正しくセットされていない。	カットシートフィーダを正しくセットし直してください。
給紙ホッパに用紙が残っているのに用紙が吸入されない。	右と左の用紙ガイドで用紙をはさんでいる。	用紙ガイドを用紙幅に合わせて正しくセットしてください。
	用紙が厚すぎる。	仕様にあった用紙を使用してください。
	給紙ホッパにセットした用紙の枚数が多すぎる。	用紙の枚数を単票用紙の場合は 160 枚以内，ハガキの場合は 50 枚以内にしてください（用紙ガイドの赤線以内にセットしてください）。
	用紙づまりになっている。	つまった用紙を取り除いてください。
	リリースレバーが“ 開 ”になっている。	リリースレバーを用紙の種類に合わせて，“ 閉 ”または“ ハガキ ”にしてください。
	プリンタ装置の連帳／単票切替レバーが，「連帳」になっている。	連帳／単票切替レバーを「単票」側にしてください。
複数枚の用紙が同時に送られてしまう（ダブルフィード）。	用紙を十分にさばいてなかった。	用紙を十分にさばいてセットしてください。
	単票用紙セットで，リリースレバーが“ ハガキ ”になっている。	リリースレバーを“ 閉 ”にしてください。
	用紙が薄すぎる。 用紙に折れ，曲がりがある。	仕様にあった用紙を使用してください。
	左右の用紙ガイドの間隔に狭すぎるか広すぎる。	用紙ガイドを用紙幅に合わせてください。
	給紙ホッパの用紙が不揃いの状態でセットされている。	用紙を給紙ホッパに正しくセットしてください。
	種類の異なった用紙が混在している。	用紙の種類は一種類にして紙置台へセットしてください。
紙づまりが起きる。	左右の用紙ガイドの間隔が狭すぎるか広すぎる。	用紙ガイドを用紙幅に合わせて正しくセットしてください。
	仕様以外の用紙を使っている。用紙に折れ，曲がりがある。	仕様にあった用紙を使用してください。
	種類の異なった用紙が混在している。	用紙の種類は一種類にして給紙ホッパへセットしてください。
	給紙ホッパにセットした用紙の枚数が多すぎる。	用紙の枚数を単票用紙の場合は 160 枚以内，ハガキの場合は 50 枚以内にしてください（用紙ガイドの赤線以内にセットしてください）。
	給紙ホッパ内の用紙が不揃いの状態でセットされている。	用紙を給紙ホッパ内に正しくセットしてください。

現象	原因	処置
紙づまりが起きる。	プリンタ装置の紙厚調整レバー位置が正しくセットされていない（狭い）。	紙厚調整レバー位置を使用する用紙厚に合わせてセットしてください。
	給紙ローラ，プリンタ装置の用紙送りプラテンと用紙がすべっている。	給紙ローラ，プリンタ装置の用紙送りプラテンを清掃してください。
用紙が極端にかたむく。	用紙不良。	新しい用紙を使ってください。
	左右の用紙ガイドの間隔が広すぎる。	用紙ガイドを用紙幅に合わせて正しくセットしてください。
	給紙ホッパ内の用紙が不揃いの状態でセットされている。	用紙を給紙ホッパ内に正しくセットしてください。
	プリンタ装置の紙厚調整レバー位置が正しくセットされていない（狭い）。	紙厚調整レバー位置を使用する用紙厚に合わせてください。
	リリースレバーの位置が正しくセットされていない。	リリースレバーを用紙の種類に合わせて“閉”または“ハガキ”にセットしてください。
行間隔が極端につまる。	プリンタ装置の紙厚調整レバー位置が正しくセットされていない（狭い）。	紙厚調整レバー位置を使用する用紙厚に合わせてセットしてください。
	給紙ローラ，プリンタ装置の用紙送りプラテンと用紙がすべっている。	給紙ローラ，プリンタ装置の用紙送りプラテンを清掃してください。
用紙が正常に排出されない。	スタッカに用紙が一杯になった。	スタッカの用紙を取り除いてください。
	仕様以外の用紙を使っている。	仕様にあった用紙を使用してください。
	プリンタ装置の紙厚調整レバー位置が正しくセットされていない（狭い）。	紙厚調整レバー位置を使用する用紙厚に合わせてください。

■ エラー表示と対処方法

エラー発生時に点滅するランプによりアラーム内容が識別できます。
その場合の処置方法を説明します。

ランプ名 アラーム名	用紙切れ	高速	モード	書体	オンライン	ランプの点滅回数	原　因	対処方法
LES ｱﾗｰﾑ	●		●			3回	印字ｷｬﾘｱﾎｰﾑﾎﾟｼﾞｼｮﾝ検出に失敗した。	1. プリンタの電源を切ってパソコン画面の〔キャンセル〕ボタンをクリックして、印刷を中止してください。 注）印刷を中止しない場合、正しく印刷されないことがあります。 2. プリンタ（給紙口、内部、排出部）の用紙を取り除いてください。 3. 印字ヘッドが冷えていることを確認し印字ヘッドを手で、両端まで動くことを確認してください。異物があった場合は、取り除いてください。 4. 電源を入れて、再度印刷し直してください。
ｵｰﾊﾞｰﾛｰﾄﾞｱﾗｰﾑ	●	●		●		2回	電源電圧の異常を検出した。	1. プリンタの電源を切ってパソコン画面の〔キャンセル〕ボタンをクリックして、印刷を中止してください。 注）印刷を中止しない場合、正しく印刷されないことがあります。 2. 電源を入れて、再度印刷し直してください。
低電圧ｱﾗｰﾑ	●	●		●		3回		
過電圧ｱﾗｰﾑ	●	●				2回		
ROM/RAM ｱﾗｰﾑ	●	●	●	●		2回	ROM/RAMの異常を検出した。	

⚠注意



使用中や使用直後は、印字ヘッドが高温になります。温度が下がるまで触らないでください。

テスト印字をする

テスト印字は、単票および連帳のどちらでも行えます。

ここでは、連帳用紙を使用した場合のテスト印字の手順を説明します。

1　連続帳票用紙をセットする

用紙のセットのしかたは「第 3 章 用紙のセット」（53 ページ）を参照してください。

2　電源を切る

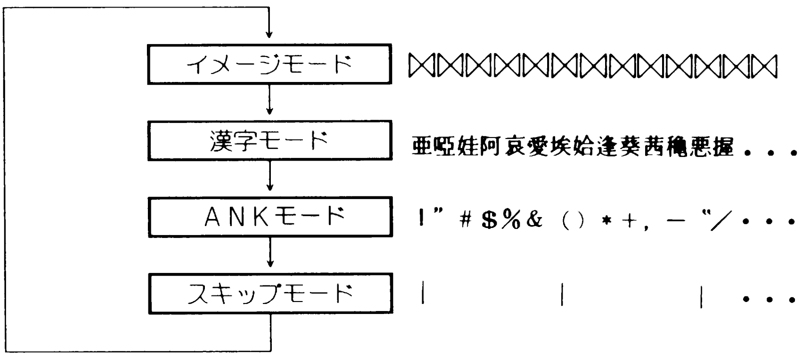
（電源スイッチが（○）側に倒れた状態になります。）

3　[改　行]スイッチを押しながら電源を入れ、テストパターンを印字する

印字が始まる前に[改　行]スイッチから手を離すと、連続して印字する。

● **テストモードを切り替えるとき**

印字中に印字ヘッドが左端または右端に移動したときに[改ページ]スイッチを押すと、次の順序でテストモードが切り替わります。



【ESC/P エミュレーション】

- 漢字モードのとき、

→**非漢字** →**第一水準漢字** →**第二水準漢字** ─┐（繰り返し）

の印字を繰り返します。

- ANK モードのとき、高品位文字を印字します。

【FM エミュレーション】

- 漢字モードのとき、

→ **第一水準漢字** ──→ **第二水準漢字** ─┐（繰り返し）

の印字を繰り返します。

- ANK モードのとき、ドラフト文字を印字します。

● 印字モードを切り替えるとき

[高　速]スイッチを押します。
スイッチを押すたびに、高速印字モードと標準印字モードが交互に切り替わります。高速印字モードのときは、「高速」ランプが点灯します。

4 テスト印字中に[オンライン]スイッチまたは[改　行]スイッチを押すと、テスト印字が終了する

HEX ダンプ印字をする

HEX ダンプ印字は、プログラムの診断に利用してください。パソコンからプリンタへ送られてきたデータを 16 進数のまま印字します。

HEX ダンプ印字は次の手順で行います。

1 単票用紙または連続帳票用紙をセットする

用紙のセットのしかたは「第 3 章 用紙のセット」（53 ページ）を参照してください。

2 電源を切る

（電源スイッチが（○）側に倒れた状態になります。）

3 [改　行]スイッチと[改ページ]スイッチを押しながら電源を入れる

オンライン状態になり、パソコンからのデータは 16 進数で印刷されます。
電源を切ることにより HEX ダンプモードを終了します。

清掃のしかた

プリンタを良好な状態で使用できるように、定期的に清掃してください。
清掃は、次の手順で行います。

注意

一般的禁止

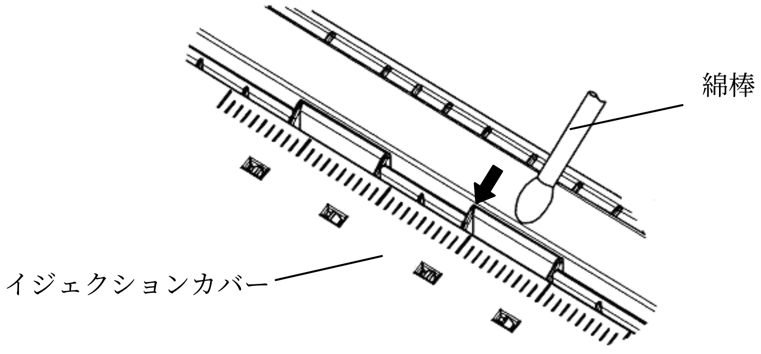
- **清掃の際は、必ず電源を切ってください。**
- **シンナーやベンジンなど、揮発性の薬品は使用しないでください。プリンタの表面が変質したり、変形したりする恐れがあります。**
- **プリンタの内部を濡らさないでください。電気回路がショートする恐れがあります。**
- **プリンタに潤滑油を補給しないでください。プリンタの故障の原因となる場合があります。**
  潤滑油の補給が必要な場合は、お買い求めの販売店またはハードウェア修理相談センター（138 ページ参照）にご連絡ください。

1　プリンタの電源を切り、電源コンセントを抜く

2　リアカバーを取り外し、フロントカバーを開ける

3　プリンタ内部を拭く

中性洗剤を薄めた水に、清潔な柔らかい布を浸し、よく絞って、プリンタ内部やフロントカバーの内側を拭きます。
ただし、プラテンなどのゴムローラは乾拭きをしてください。
また、排紙用ローラは下図のように乾いた綿棒などで清掃してください。



排紙用ローラの清掃のしかた

4　リアカバーを拭く

お願い

印字ヘッドなどの壊れやすい部品は触れないように注意してください。故障の原因となります。

5　リアカバーを取り付けて、電源を入れる

プリンタを輸送するとき

プリンタを衝撃から守るため、以下の手順で梱包してから輸送してください。

1 **プリンタの電源を切る**
（電源スイッチが（○）側に倒れた状態になります。）

2 **用紙を取り去り、リアカバーを取り外す**

3 **プラグを電源コンセントから抜いて、プリンタケーブルをプリンタから取り外す**

4 **リボンカセットを取り外す（113ページ参照）**

5 **リアカバーを包装する**

6 **印字ヘッドを保護するために、輸送用固定材を取り付ける**

7 **用紙厚調節レバーは、“D”目盛りに設定する**

8 **プリンタを衝撃から守るため、梱包材などでくるみ、届いたときと同じ状態にして箱に入れる**

有寿命部品／消耗品／定期交換部品／24時間運用について

■　有寿命部品について

・本製品には、有寿命部品が含まれています。有寿命部品は、使用時間の経過に伴って摩耗、劣化等が進行し、動作が不安定になる場合がありますので、本製品をより長く安定してお使いいただくためには、一定の期間で交換が必要となります。

・有寿命部品の交換時期の目安は、使用頻度や使用環境等により異なりますが、適切な使用環境（22 ℃／ 55%RH）において１日約８時間のご使用で約５年、または500 万改行のいずれか早い方です。なお、この期間はあくまでも目安であり、この期間内に故障しないことをお約束するものではありません。また、長時間連続使用等、ご使用状態によっては、この目安の期間よりも早期に部品交換が必要となる場合があります。

・本製品に使用しているアルミ電解コンデンサは、寿命が尽きた状態で使用し続けると、電解液の漏れや枯渇が生じ、異臭の発生や発煙の原因となる場合がありますので、早期の交換をお勧めします。

・摩耗や劣化等により有寿命部品を交換する場合は、保証期間内であっても有料となります。なお、有寿命部品の交換は、当社の定める補修用性能部品単位での修理による交換となります。
交換の際は「ハードウェア修理相談センター」（138 ページ）にご連絡ください。

・補修用性能部品の保有期間は、プリンタ本体の製造終了後５年間です。

・本製品をより長く安定してご利用いただくために、一定時間お使いにならない場合は電源をお切りください。

＜主な有寿命部品一覧＞

制御基板、電源基板、印字ヘッド、プラテン

■　消耗品について

・リボンカセット等の消耗品は、その性能／機能を維持するために適時交換が必要となります。なお、交換する場合は、保証期間の内外を問わずお客様ご自身での新品購入ならびに交換となります。
「リボンカセットを交換する」（113 ページ）参照

■ 定期交換部品について

・ 本製品には、その性能/機能を維持するために適時交換が必要な定期交換部品が含まれます。
安定してご使用いただくためには、定期的な交換が必要となります。
定期交換部品の種類および交換周期は、下表をご参照ください。

定期交換部品	交換目安	表示メッセージ
印字ヘッド	３億打	なし

注） 黒率の高い印字を連続して行うと、印字ヘッドの寿命を縮める原因となります。

・ 定期交換部品料金および交換作業は有償です。費用の支払方法については、契約保守サービスの締結の有無、および契約内容によって異なります。
詳しくは「ドットインパクトプリンタFMPRシリーズのサポートサービス」(http://jp.fujitsu.com/solutions/support/sdk/products/fmprprinter/index.html)
または「ハードウェア修理相談センター」（138ページ）にご相談ください。
なお、上記URLは、本マニュアル発行時現在のものです。

・ 定期交換部品の保有期間は、プリンタ本体の製造終了後５年間です。

■ 24 時間運用について

・ 本製品は、24 時間以上の連続使用を前提とした設計にはなっておりません。

・24 時間以上の連続運用を行なうと、有寿命部品の交換時期の目安となる期間よりも、早期に部品交換が必要となる場合があります。

消耗品の廃却について

使用済みの消耗品は、法令・条例に従って産業廃棄物としてお客様にて処分をお願いします。

お客様が処理業者に処理を委託する場合で、（財）日本産業廃棄物処理振興センターが発行する伝票（産業廃棄物マニュフェスト）への記載が必要となった場合に、下記に本消耗品の種類・特性などを示しますので、伝票記載時の参考にしてください。

産業廃棄物処理マニュフェスト情報

消耗品内訳	**マニュフェスト情報**			
名　称	種　類	形　状	重金属等有無	特　性
リボンカセット	廃プラスチック	固　形	無　し	―

プリンタドライバの入手方法

最新版のプリンタドライバは、「富士通製品情報ページ」からダウンロードすることができます。「富士通製品情報ページ」ではサポートサービスなどに関するさまざまな情報も提供しています。

富士通製品情報ページ:
http://www.fmworld.net/biz/printer/dotimpact/index.html

ガイド

- 上記 URL は、本マニュアル発行時現在のものです。
- 添付の CD-ROM に収められたドライバと、「富士通製品情報ページ」からダウンロードできるものと同一の可能性があります。
  お使いのプリンタドライバのバージョンを確認してからダウンロードを行ってください。

アフターサービス

- お買い求めの際に販売店でお渡しする保証書は、大切に保管してください。
- 保証書は日本国内のみで有効です。
- 無償保証期間は、お買い上げ日より 6 か月です。詳細は保証書をご覧ください。
- 補修用性能部品の保有期間は、プリンタ本体の製造終了後 5 年です。
- 分解、改造などを行わないでください。無償保証期間内でも無償修理が受けられないことがあります。
- プリンタのご使用にあたっては、純正のサプライ用品をお使いください。純正サプライ品以外の用品をお使いになったことによる、製品の誤動作および故障に関しましては、当社は一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- 故障の際は下記までご連絡ください。

『ハードウェア修理相談センター』

通話料無料　：0120-422-297

受付時間　：平日 9:00〜17:00

（土曜・日曜・祝日および当社指定の休日を除く）

第6章

オプション

この章では、オプションの取付け、取外しおよび使用方法について説明します。

カットシートフィーダ

(FMPR3000G オプション)のご使用方法

FMPR3000G プリンタオプションである別売のカットシートフィーダは、セットした単票用紙を 1 枚ずつプリンタへ送り出し、印字した用紙をスタッカへ排出するユニットです。
更に，A3 横長サイズまでの用紙を，手差し口からプリンタの印字位置まで手差しでセットして，一枚ずつ印字することもできるようになっています。
このプリンタでは、カットシートフィーダを取り付けたまま、連続帳票用紙を使用できます。ただし、この場合は、連続帳票用紙を先にセットしておくことをおすすめします。
連続帳票用紙を使用するときは，リリースレバーを“ 開 ”にしてください。

品　名	型　名	備　　考
カットシートフィーダ	FMPR-CF8G	カットシートフィーダをプリンタに取り付けると、複数枚の単票用紙がセットできます。さらに、ホッパーユニットをカットシートフィーダに取り付けると、2 種類の単票用紙をセットできます。
ホッパーユニット	FMPR-CF81G	

⚠注意

一般的禁止

カットシートフィーダを取り付けたり、取り外したりするときは、必ず電源を切ってください。

⚠注意

一般的注意

カットシートフィーダの上部を手で押さないでください。
強く押すと、プリンタが倒れることがあります。

カットシートフィーダ使用上のご注意

1）カットシートフィーダを使用して「逆改行コマンドおよび，それに類するコマンド（用紙を逆方向へ送るコマンドおよび，逆方向送り動作が含まれるコマンド）」で印字した場合は，用紙送りの精度が悪くなるばかりでなく，用紙の送り不良になることがあります。

2）設置は，直射日光の当たる場所を避けてご使用ください。
直射日光によって用紙を検知するセンサに異常が発生し、誤作動する原因になります。

3）用紙は，温度，湿度などの影響を受け易く，安定した用紙送りへ悪影響を及ぼすため，保管も含め常温常湿のもとでご使用ください。

4）カットシートフィーダを取り付けているときは、機能設定を変更できませんのでご注意ください。

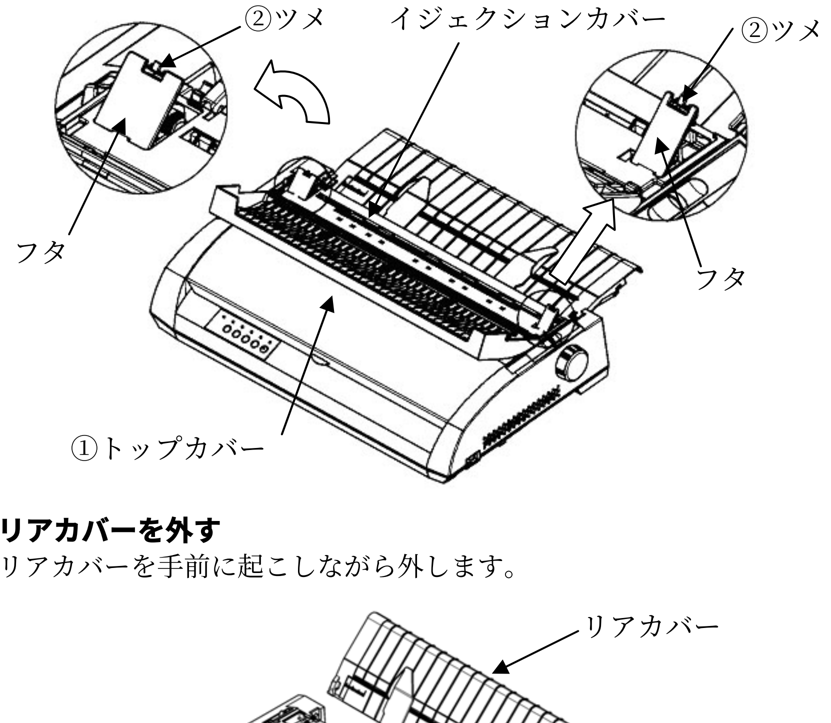
カットシートフィーダの搭載方法

カットシートフィーダの搭載は、次の手順で行います
なお、カットシートフィーダの組立およびホッパーユニットのカットシートフィーダへの装着手順は、カットシートフィーダの取扱い説明書を参照してください。

1　プリンタ装置の電源が OFF になっていることを確認する

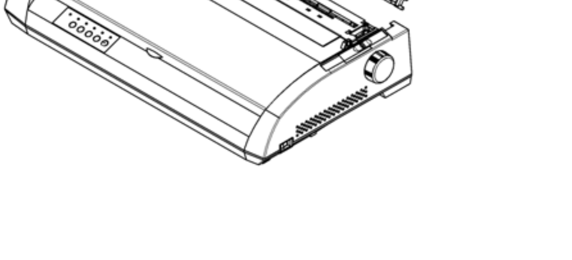
2　プリンタのイジェクションカバーの左右のフタを取り外す

①　トップカバーを垂直に立てて持ち上げるようにして外します。
②　イジェクションカバー左右のフタを後側からツメを押しながら上部へ取り外します。（イジェクションカバー左右のフタは，カットシートフィーダを取り外した時に再び使用するのでなくさないようにしてください。）



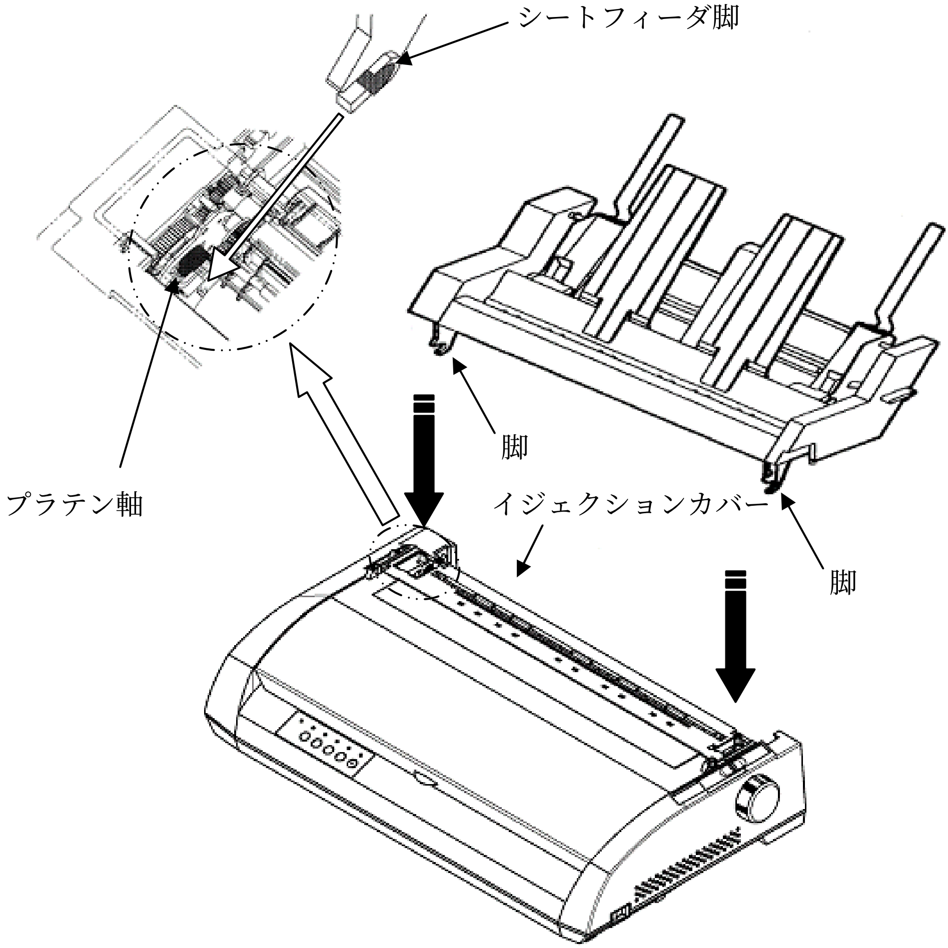
3　リアカバーを外す

リアカバーを手前に起こしながら外します。



4 カットシートフィーダをプリンタに搭載する

イジェクションカバーの穴部にカットシートフィーダの脚を差し込み、手前に引くようにしてプラテン軸に挟み込みます。カットシートフィーダをやや手前に傾けて差し込み，脚が軸に載ったら水平に戻します。



カットシートフィーダ仕様

（1）仕　様

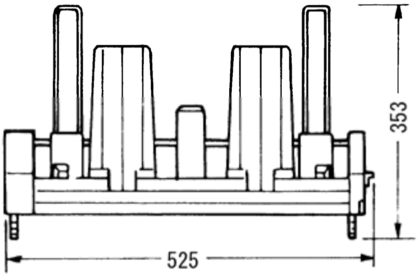
		カットシートフィーダ（FMPR-CF8G）	ホッパーユニット（FMPR-CF81G）
使用可能用紙サイズ 注 1)	用紙幅	182〜364㎜ （はがき 100㎜）	182〜364㎜
	用紙長	182〜364㎜ （はがき 148㎜）	210〜364㎜
用紙収容量 注 2)	給紙ホッパ側	160 枚	
	スタッカ側	160 枚	
外形寸法		525(W)×364(D)×353(H)mm	525(W)×440(D)×353(H)mm 注 3)
重量（非梱包状態）		2.4kg	1.0kg

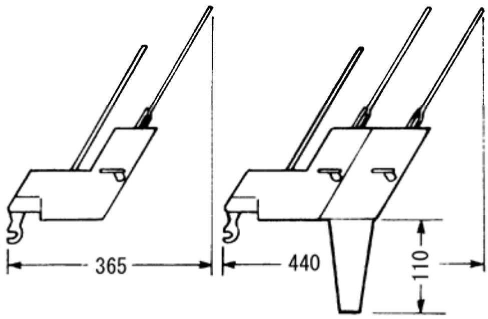
注 1)　詳細は、第４章「用紙について」(79 ページ)を参照してください。

注 2)　A4 サイズ連量 55kg の未印字用紙の場合です。

注 3)　FMPR-CF8G と FMPR-CF81G を装着した場合の寸法です。

（２）装置外観図





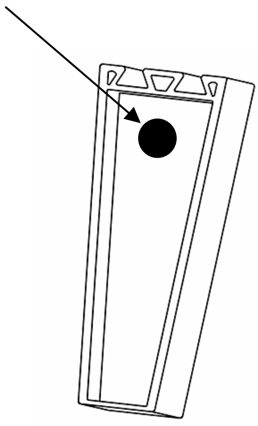
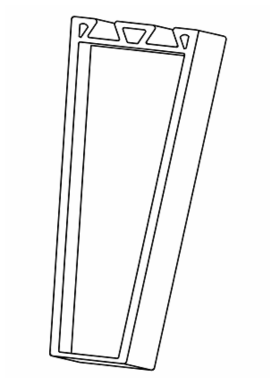
カットシートフィーダ単体の場合　　**カットシートフィーダ＋ホッパーユニット**

ホッパーユニットの搭載方法

ホッパーユニットの搭載は次の手順で行います。

ガイド

ホッパーユニットは、お使いになるプリンタ装置により取り付ける補助脚が異なるため 2 種類の補助脚を添付しています。

FMPR3000G 用補助脚	FMPR-373A 用補助脚
青色のラベルが貼り付けてあります。 	特別な表示はありません。 

◆ ホッパーユニットを取り付ける前に

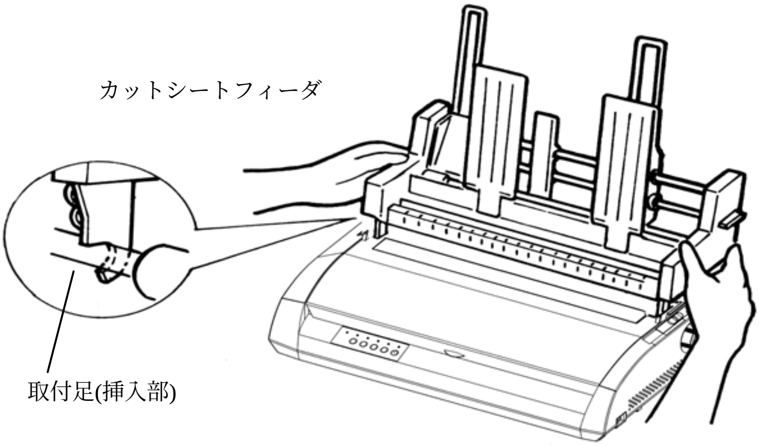
ホッパーユニットの取り付けは、カットシートフィーダをプリンタ装置から取り外して行います。

1 カットシートフィーダをプリンタ装置から取り外す

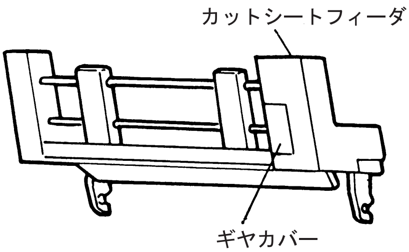
⚠注意



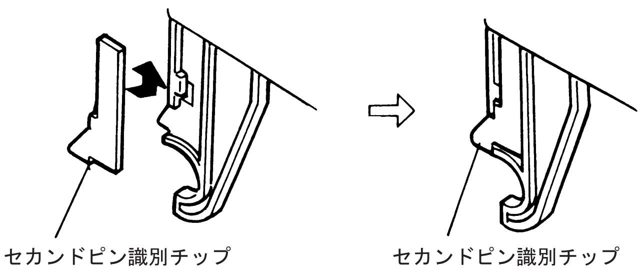
カットシートフィーダを取り付けたり、取り外したりするときは、必ず電源を切ってください。



2 ギヤカバーを折り取る



3 セカンドピン識別チップをカットシートフィーダの右取付足に取り付ける



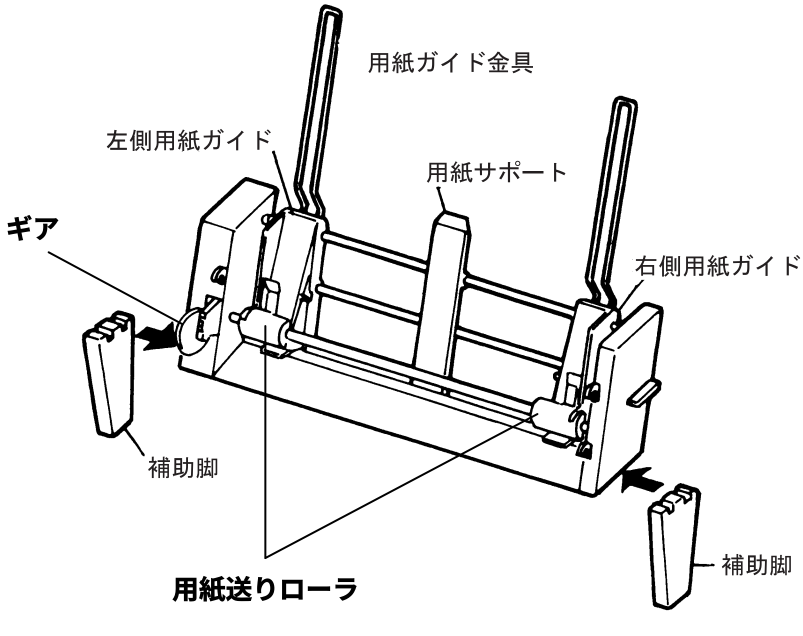
◆ ホッパーユニットの取付け

1 **用紙サポートを用紙ガイドの横棒の中央に取り付ける**

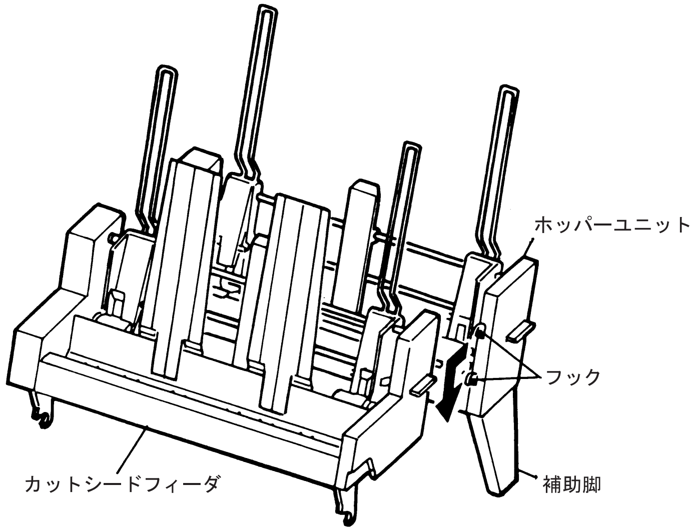
2 **用紙ガイド金具（２個）を左右の用紙ガイドに差し込む**

3 **プリンタ装置に対応する補助脚を取り付ける**
FMPR3000G では、青色ラベル貼り付け有りの補助脚を取り付けます。

⚠注意	一般的禁止	**ホッパーユニットを取り付けたり、取り外したりするときに、ホッパーユニットのギアおよび用紙送りローラの部分を持たないでください。**



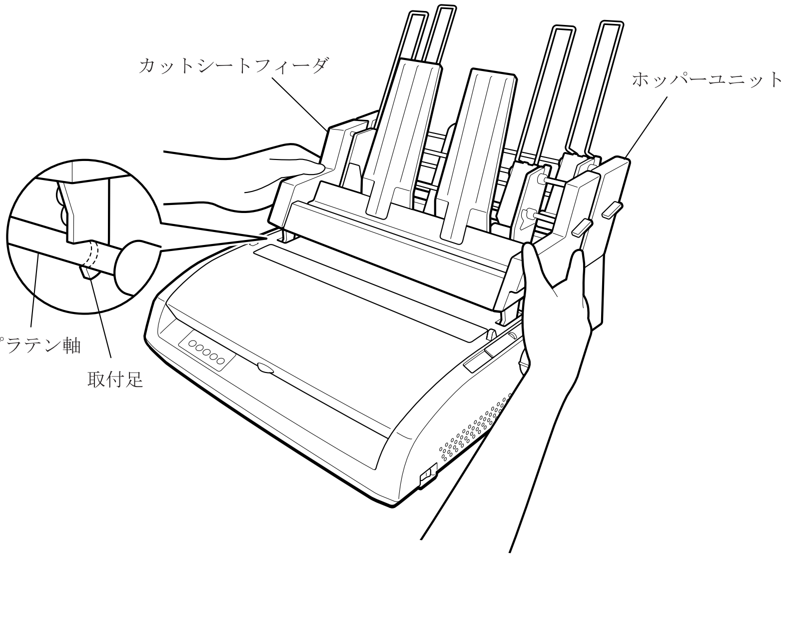
4　ホッパーユニットを後部から矢印方向に押しながら、フック（左右）をカットシートフィーダのスタッドに引っ掛けて下方向へ押し下げる



5　カットシートフィーダをプリンタ装置の上まで持ち上げ、手前に傾けて取付足を溝に差し込み、プリンタ装置のプラテン軸にかませてから、後ろに倒す

6　セットし終えたら、カットシートフィーダが水平にセットされていることを確認する

⚠注意	一般的禁止	**カットシートフィーダを取り付けたり、取り外したりするときは、必ず電源を切ってください。**

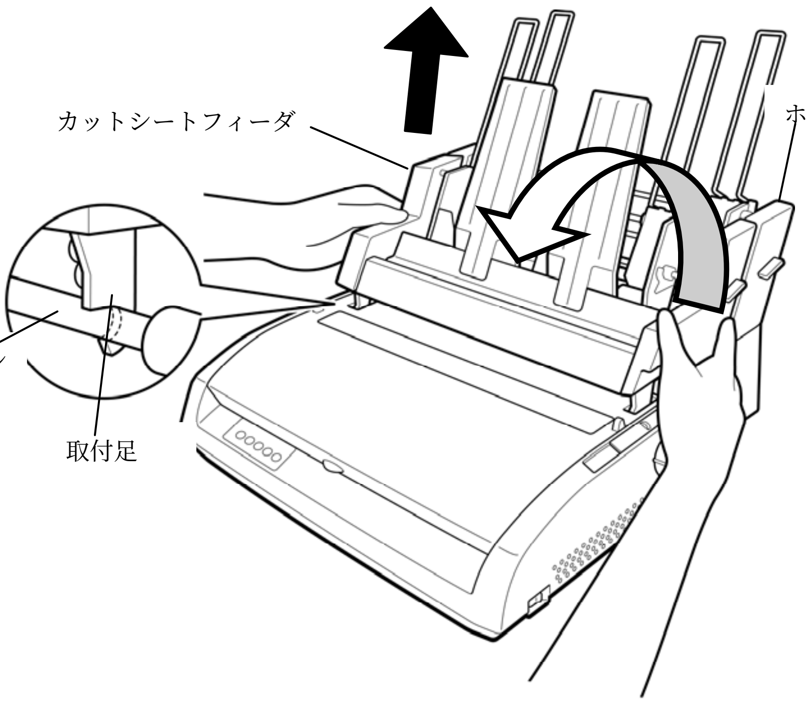


カットシートフィーダ、および ホッパーユニットの取り外し

1　カットシートフィーダをプリンタ装置から取り外す

カットシートフィーダを手前に傾けて取付足をプリンタ装置のプラテン軸から外して、矢印方向に持ち上げてカットシートフィーダを外します。

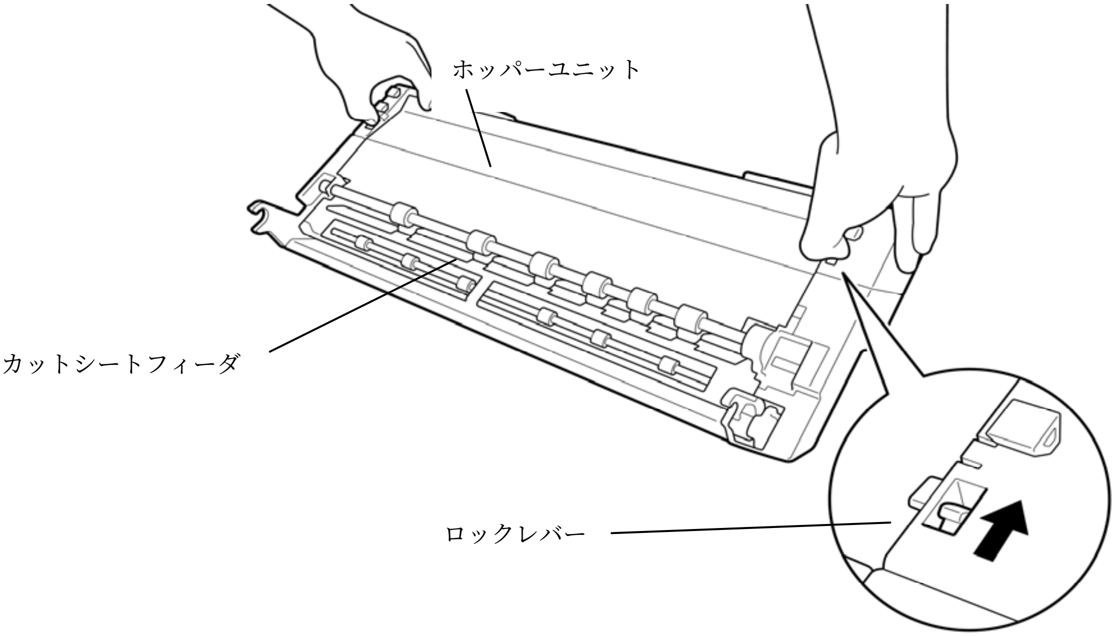
⚠注意	一般的禁止 **カットシートフィーダを取り付けたり、取り外したりするときは、必ず電源を切ってください。**



2 **カットシートフィーダからスタッカサポートと用紙ガイド金具、セカンドビン識別チップ、ホッパーユニットから用紙ガイド金具、補助脚を取り外す**

セカンドビン識別チップ取り外しは、「ホッパーユニットの搭載方法」の手順 *3*（146ページ）の取り付けの逆手順で取り外します。

3 **カットシートフィーダを裏返しにして、ホッパーユニットのロックレバーを押しながら矢印方向にスライドさせて、カットシートフィーダから外す**



プリンタ LAN カード

(FMPR3000G オプション)のご使用方法 ----

FMPR3000G プリンタのオプションである別売のプリンタ LAN カードをプリンタ側面にとりつけて使用することにより、100BASE-TX/10BASE-T のネットワーク環境でのプリンタ共有が可能になります。
LAN カード搭載時は、パラレルインターフェースおよび USB インターフェースとの同時接続はできません。

品　名	型　名	備　　考
プリンタ LAN カード	FMPR-LN1G	プリンタに取り付けると、ネットワーク環境で直接印刷できます。

⚠注意



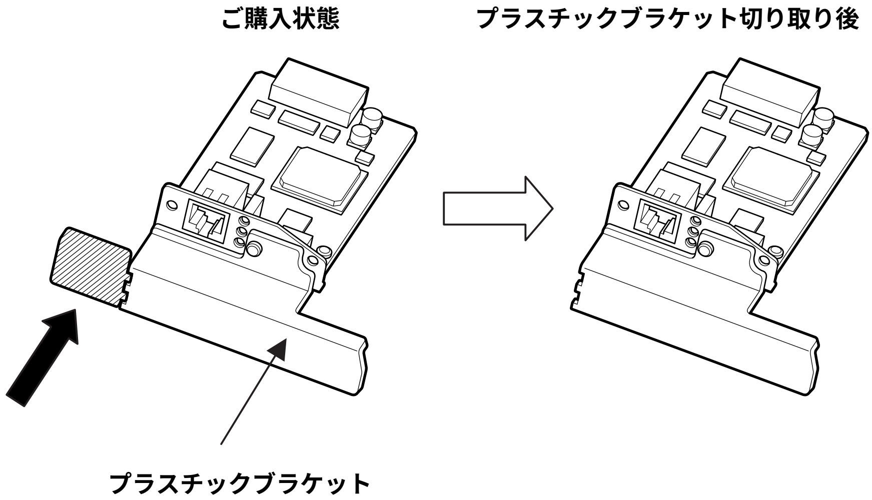
プリンタ LAN カードを取り付けたり、取り外したりするときは、必ず電源を切ってください。

プリンタ LAN カード搭載方法

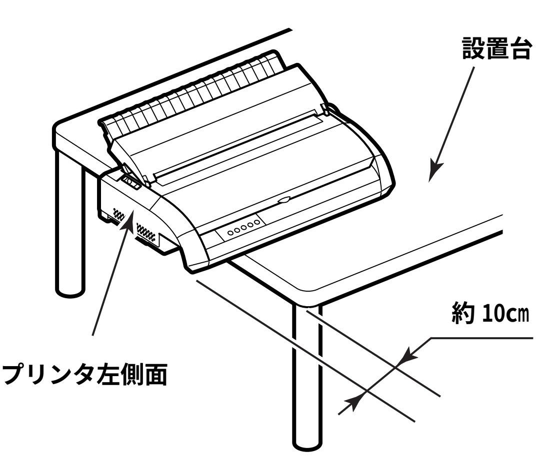
プリンタ LAN カードの搭載は次の手順で行います。なお取り付け後のネットワーク接続については、プリンタ LAN カードのオンラインマニュアルを参照してください。

1　プリンタ装置の電源が OFF になっていることを確認する

2　本製品のプラスチックブラケット左端斜線部を矢印方向に手で折って切り取る

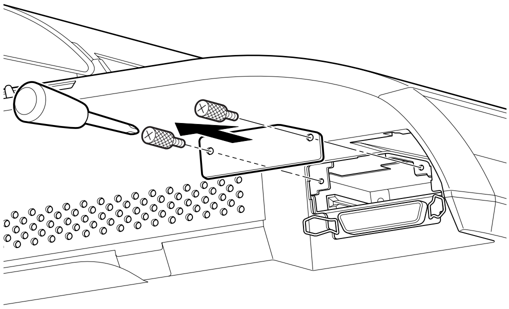


3　下図のように設置台の端からプリンタの左側面部を約１０ｃｍほどはみ出す位置にプリンタの位置を変える

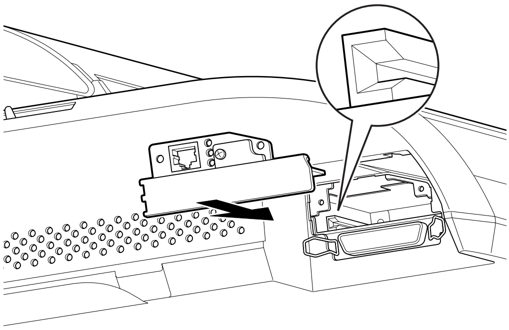


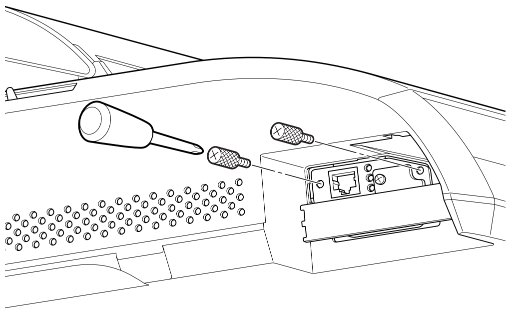
4　プリンタのオプションインターフェースカバーを外す

固定ネジの取り外しおよび取り付けはプラスドライバにて行ってください。



5　取り付け口のガイドに従って、本製品を差し込み、取り付ける





6　プリンタの電源が OFF になっていることを確認し、電源コードを差し込む

⚠注意



プリンタ本体の基板の一部が高温になっていることがあるので注意してください。

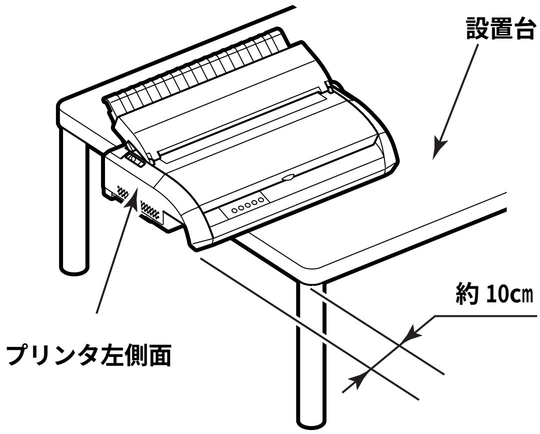
また、故障の原因になるので基板には手を触れないでください。

プリンタ LAN カードの取り外し

プリンタ LAN カードの取り外しは次の手順で行います。

1　プリンタ装置の電源を OFF にする

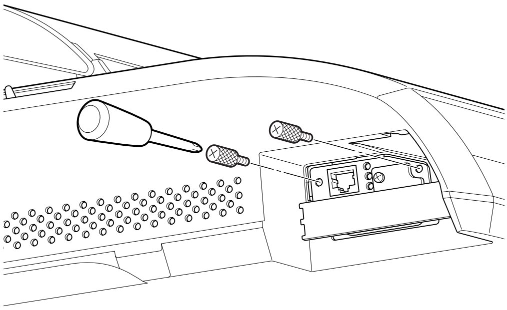
2　下図のように設置台の端からプリンタの左側面部を約 10㎝ ほどはみ出す位置にプリンタの位置を変える



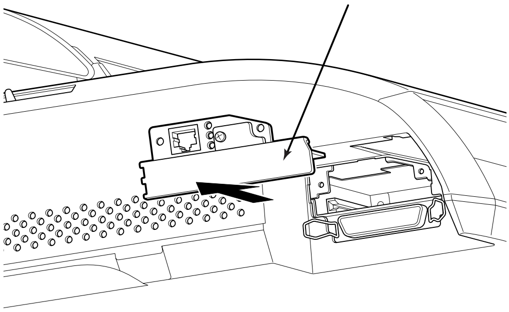
3　プリンタ LAN カードの固定ネジを外す

固定ネジの取り外しはプラスドライバにて行ってください。

▲注意	一般的注意	**電源が入っている状態でプリンタ LAN カードを取り外すと、故障の原因になることがあります。**

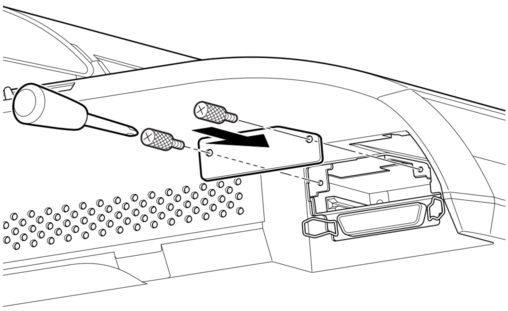


4 **プラスチックブラケットの中央部（下図矢印付近）を持って本製品を取り外す**



5 **プリンタのオプションインターフェースカバーを取り付ける**

固定ネジの取り付けはプラスドライバにて行ってください。



付　録

プリンタの概略仕様

●印字方式　24 ワイヤドットマトリックス

●印字速度

単位：文字／秒

印字モード	印字速度	
	標準	高複写モード
漢字（27/180 ｲﾝﾁ）	75	56
漢字高速（27/180 ｲﾝﾁ）	149	112
ANK レギュラ（パイカ）	112	84
ANK レギュラ（エリート）	134	101
ANK レギュラ高速（パイカ）	224	168
ANK レギュラ高速（エリート）	268	202
ANK ドラフト（パイカ）	360	254
ANK ドラフト（エリート）	432	304

注１）ANK ドラフトは ESC/P モードでフォントを指定する事で選択可能
注２）高複写モードは FMPR3000G のみプリンタドライバの「印刷密度」を「高複写」に設定することにより印字可能

●ドット径　0.2mm
●ドットピッチ　1／180 インチ（縦、横共）
●印字桁数

	FMPR2000G	FMPR3000G
漢字全角	53（文字／行）	90（文字／行）
半角文字	106（文字／行）	180（文字／行）
ANK（パイカ）	80（文字／行）	136（文字／行）
ANK（エリート）	96（文字／行）	163（文字／行）
縮小文字	144（文字／行）	244（文字／行）

●文字構成
漢字全角　：24(横)×24(縦)ドット
半角文字　：12(横)×24(縦)ドット
ANK（FM）　：13(横)×19(縦)ドット
ANK（ESC/P）　：36(横)×24(縦)ドット
縮小文字　：7(横)×19(縦)ドット

●印字動作　両方向最短距離印字
●イメージ印字

		FMPR2000G	FMPR3000G
FM モード	行ドット数	1440	2448
	最小縦・横ドット間隔	180 ドット/インチ	
	改行	180 ドット/インチ×n	
ESC/P モード	行ドット数	2880	4896
	最小縦・横ドット間隔	360 ドット/インチ	
	改行	360 ドット/インチ×n	

（n はプログラム設定による）

●用紙送り

用紙送り方式　：押込みトラクタ方式（連続帳票用紙）
フリクション方式（単票用紙）
改行間隔　：1／180インチ×n（FMモード時）
1／360インチ×n（ESC/Pモード時）
（nはプログラム設定による）
改行速度　：約80ms以下（1/6インチ改行時）

●使用環境

温　度：稼働時　5～35℃
非稼働時　-15～60℃
湿　度：稼働時　30～80%RH
非稼働時　5～95%RH
（ただし、結露しないこと。湿度勾配30%RH／日以下）

●インターフェース

IEEE1284双方向パラレルインターフェース
USB 1.1インターフェース
LAN（100BASE-TX/10BASE-T）（オプションのFMPR-LN1G装着時）

●電源仕様

入力電源種別　：商用単相
電源電圧　：AC100V±10%
電源周波数　：50/60 ±1Hz ＋2%，－4%
（安定した正弦波であること）

注）短形波が出力される機器（交流無停電電源装置、UPS など）には接続しないでください。故障するおそれがあります。

●消費電力

	FMPR2000G	FMPR3000G
平　均	70W	
最　大	180W	
待　機　時	10W以下	28W以下
電源OFF時	0W	

●外形寸法

FMPR2000G　：415mm（幅）×330mm（奥行）×120mm（高）
FMPR3000G　：570mm（幅）×330mm（奥行）×120mm（高）

●重量

FMPR2000G　：約7.5 kg
FMPR3000G　：約9.7 kg

●稼働音

50dBA

●リボン

種　類　：エンドレスリボンカセット
（リボンカセットインク補給型）
リボン寿命　：黒リボン
500万字（ANKドラフト文字）
80万字（漢字印字）

注）上記の寿命は、製造後2年いないのものを下記の環境で保存した場合に保証する値です。

温度：－10～50°C，湿度：20～90%RH

●　耐用期間

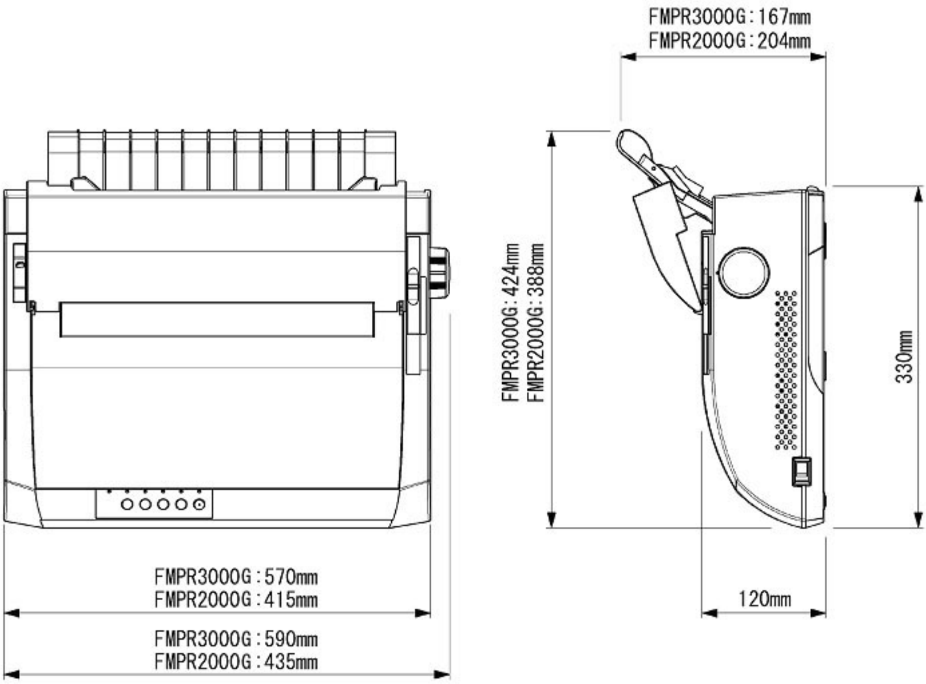
プリンタ装置　：５年（電源の通電条件：８時間/日以内）
または、５００万改行（いずれか早い方）
- 耐用期間はプリンタの設置環境、使用頻度により大幅に変動します。
- 24時間通電による運用の耐用期間は1/3に減少します。

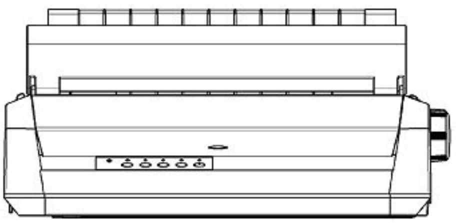
印字ヘッド　：３億打／ピン

注）黒率の高い印字を連続して行うと、印字ヘッドの寿命を縮める原因となります。

外観図

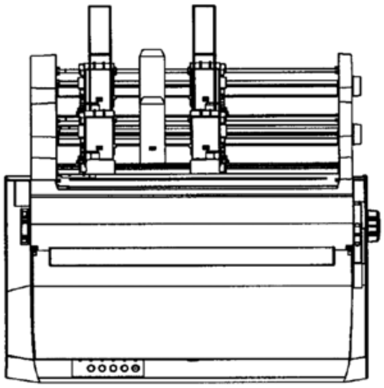
■　標準外観図

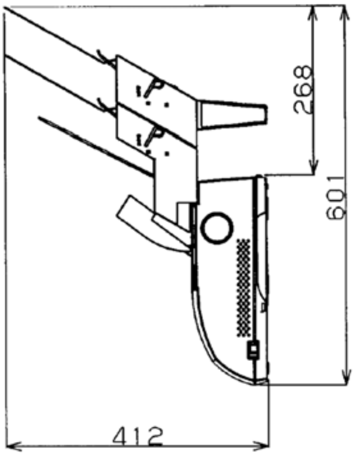

FMPR3000G:167mm
FMPR2000G:204mm
FMPR3000G:424mm
FMPR2000G:388mm
330mm
120mm
FMPR3000G:570mm
FMPR2000G:415mm
FMPR3000G:590mm
FMPR2000G:435mm

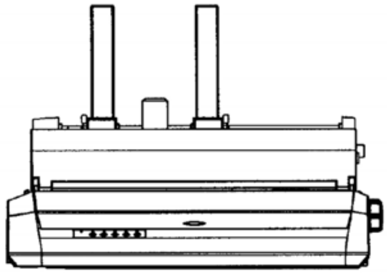


■　カットシートフィーダ（FMPR3000G オプション）取付け時の外観図

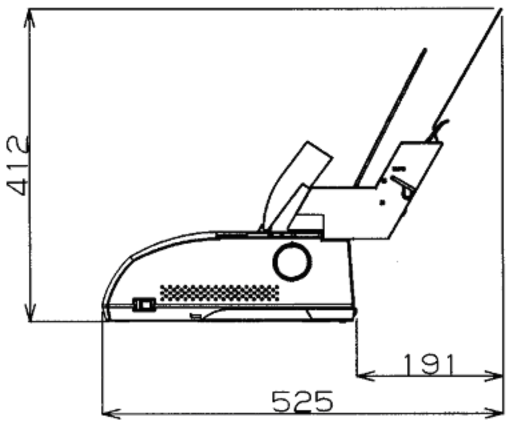
◆　カットシートフィーダとホッパーユニットを取り付けたときの外観図





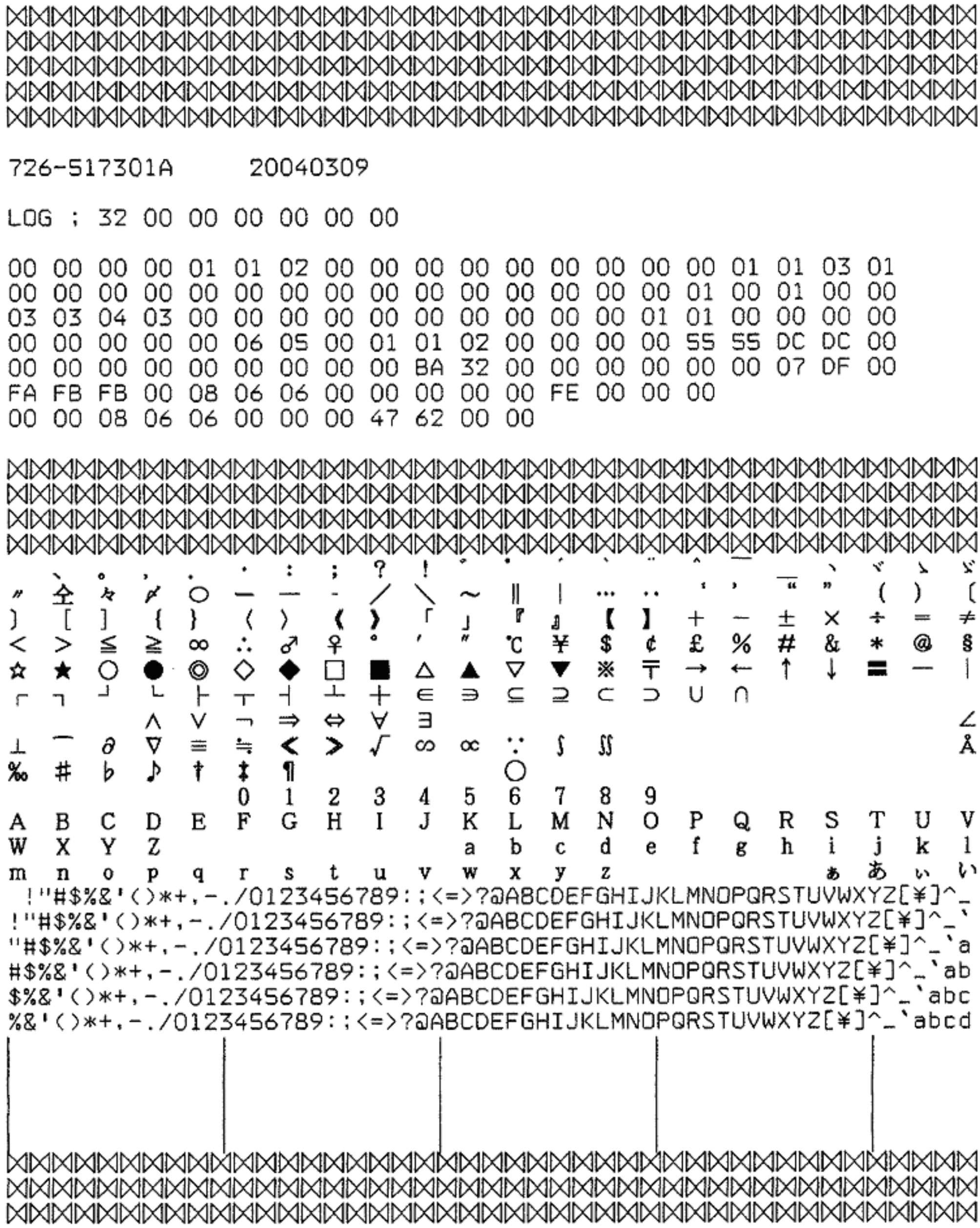


◆　カットシートフィーダのみ取り付けたときの外観図（側面図のみ）

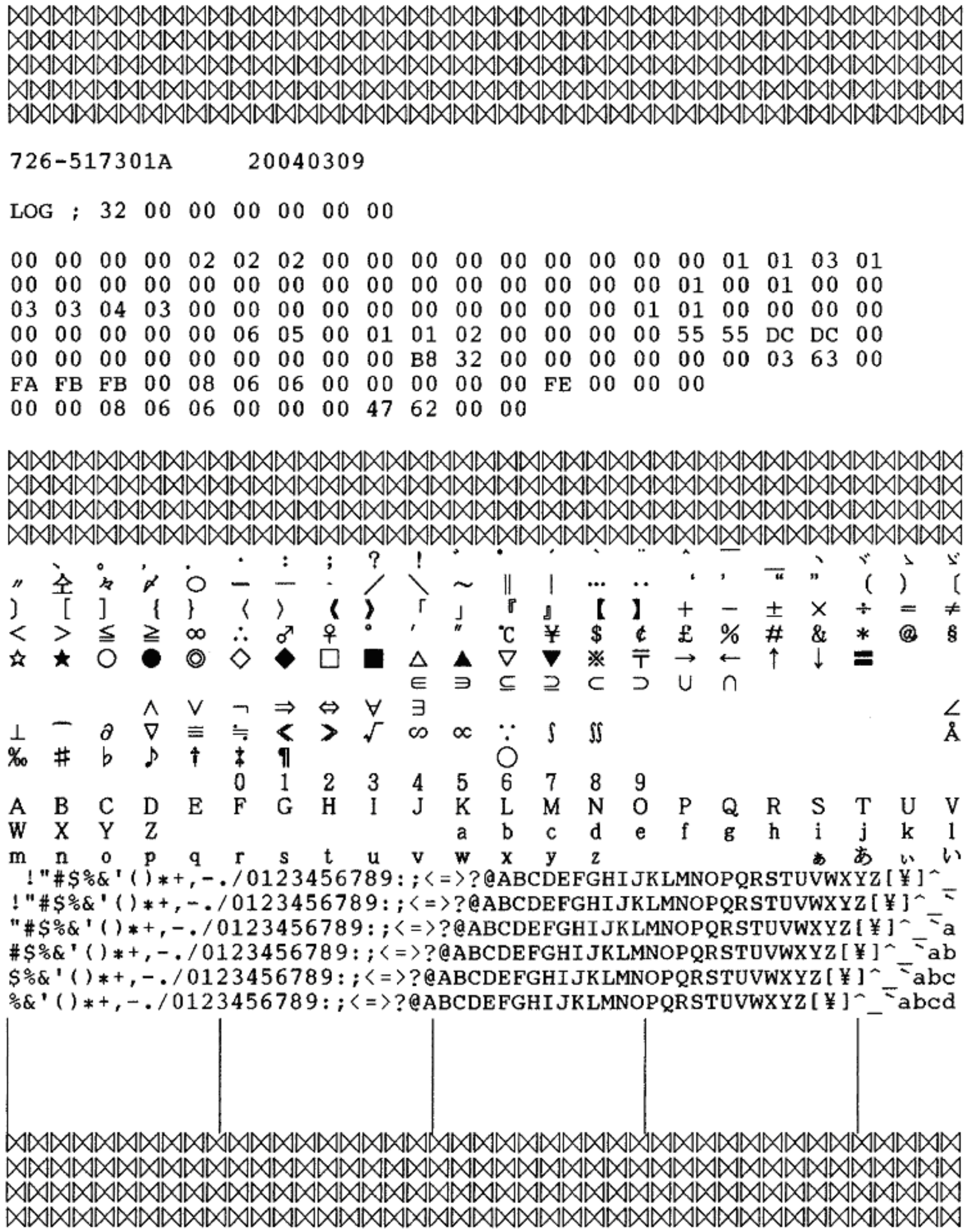


テスト印字サンプル

■ FMモード



■ ESC/P モード



```
726-517301A      20040309

LOG ; 32 00 00 00 00 00 00

00 00 00 00 02 02 02 00 00 00 00 00 00 00 00 00 01 01 03 01
00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 01 00 01 00 00
03 03 04 03 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 01 01 00 00 00 00
00 00 00 00 00 06 05 00 01 01 02 00 00 00 00 55 55 DC DC 00
00 00 00 00 00 00 00 00 00 B8 32 00 00 00 00 00 00 03 63 00
FA FB FB 00 08 06 06 00 00 00 00 00 FE 00 00 00
00 00 08 06 06 00 00 00 47 62 00 00

〃 仝 々 〆 〇 ー ― ‐ ／ ＼ ～ ‖ ｜ … ‥ ‘ ’ “ ” （ ） 〔
〕 ［ ］ ｛ ｝ 〈 〉 《 》 「 」 『 』 【 】 ＋ － ± × ÷ ＝ ≠
＜ ＞ ≦ ≧ ∞ ∴ ♂ ♀ ° ′ ″ ℃ ￥ ＄ ¢ £ ％ ＃ ＆ ＊ ＠ §
☆ ★ ○ ● ◎ ◇ ◆ □ ■ △ ▲ ▽ ▼ ※ 〒 → ← ↑ ↓ 〓
∈ ∋ ⊆ ⊇ ⊂ ⊃ ∪ ∩
∧ ∨ ¬ ⇒ ⇔ ∀ ∃ ∠
⊥ ⌒ ∂ ∇ ≡ ≒ ≪ ≫ √ ∽ ∝ ∵ ∫ ∬ Å
‰ ♯ ♭ ♪ † ‡ ¶ ◯
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V
W X Y Z a b c d e f g h i j k l
m n o p q r s t u v w x y z ぁ あ ぃ い
 !"#$%&'()*+,-./0123456789:;<=>?@ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ[¥]^_
!"#$%&'()*+,-./0123456789:;<=>?@ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ[¥]^_`
"#$%&'()*+,-./0123456789:;<=>?@ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ[¥]^_`a
#$%&'()*+,-./0123456789:;<=>?@ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ[¥]^_`ab
$%&'()*+,-./0123456789:;<=>?@ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ[¥]^_`abc
%&'()*+,-./0123456789:;<=>?@ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ[¥]^_`abcd
```

インターフェース仕様

■ パラレルインターフェース

◆ 基本仕様

IEEE 1284に準拠した双方向パラレルインターフェース

◆ インターフェースコネクタ

プリンタ側：レセプタクル：アンフェノール(DDK)57-40360相当
ケーブル側：プラグ　　　：アンフェノール(DDK)57-30360相当

◆ インターフェースケーブル

素　材	:	7/φ0.12 (AWG28相当)以上
タイプ	:	シールド
長　さ	:	接続するパソコンの仕様による (FMVの場合、1.5m)

◆ 信号レベル

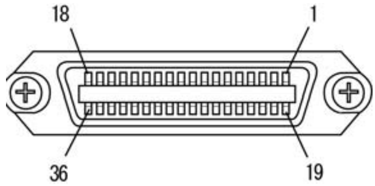
LOW	:	0.0V～＋0.4
HIGH	:	＋2.4V～＋5.0V

◆ データ転送方式

8ビットパラレル

◆ コネクタピン配列

インターフェースコネクタ (36ピン)



※ パソコンのBIOS設定

本プリンタを接続するパソコンのパラレルポート設定は、
必ず「Bidirectional (双方向) 」にしてご使用ください。

確認および設定の方法については、パソコンのマニュアルを
参照してください。

● FM モード（FMPR2000G のみ）

ピン No.	信　号	ピン No.	信　号
1	*DSTB	19	*DSTB-RET
2	DATA 1	20	DATA 1-RET
3	DATA 2	21	DATA 2-RET
4	DATA 3	22	DATA 3-RET
5	DATA 4	23	DATA 4-RET
6	DATA 5	24	DATA 5-RET
7	DATA 6	25	DATA 6-RET
8	DATA 7	26	DATA 7-RET
9	DATA 8	27	DATA 8-RET
10	*ACKNLG	28	*ACKNLG-RET
11	BUSY	29	BUSY-RET
12	PE	30	*INPRM-RET
13	SLCT	31	*INPRM
14	±0V(RINF1)	32	*FAULT
15	OSCXT(RINF2)	33	LD(RINF3)
16	SG	34	*EXPRM
17	FG	35	NC
18	+5V	36	SG

注 1)　-RET 信号は、すべて SG に接続されています。
注 2)　(　　)内の信号は、ステータス出力です。
注 3)　“*”は、負論理信号であることを示します。

・入力信号の説明

DATA1〜8　プリンタの受信データです。
“H”で信号あり、“L”で信号なしです。

DSTB　DATA1〜8 を読み込むためのストローブ信号です。
定常状態では“H”です。“H”から“L”になるとき、データを読み込みます。

*INPRM　プリンタを初期状態にする信号です。
初期状態については、「初期状態」(173ページ) を参照してください。
実行中の動作が終了した後、プリンタの初期化を行います。
定常状態では“H”です。“H”から“L”になるとき、実行中の動作を正常終了し、“L”から“H”になるとき、初期化します。
*EXPRM との相違点は、実行中の動作が終了した後初期化を行うことと、外字登録が保持されることです。

*EXPRM　　プリンタを初期状態にする信号です。
外字登録データはすべてクリアされます。
動作中でもプリンタの初期化を行います。
初期状態については、「初期状態」(173ページ）を参照してください。
定常状態では“H”です。“H”から“L”になるとき、実行中の動作を中断し、“L”から“H”になるとき、初期化を開始します。

・出力信号の説明

*ACKNLG　　*DSTB に対する応答信号です。
データ入力完了時に出力される負のパルス信号です。

PE　　用紙切れを通知する信号です。
用紙が残り少なくなると、この信号は“H”になり、「用紙切れ」ランプが点灯します。
オンライン状態のときに、プリンタ内に用紙がなくなり、プリンタ動作コマンドを受信すると、動作終了後、オフライン状態になり、ブザーが鳴動します。
上記の状態で用紙を新しくセットすると、この信号は“L”になり、「用紙切れ」ランプが消灯します。このとき、DC1 コードは無効です。
この後、オンラインを押すと、オンライン状態に戻ります。
（エラーが無い場合）

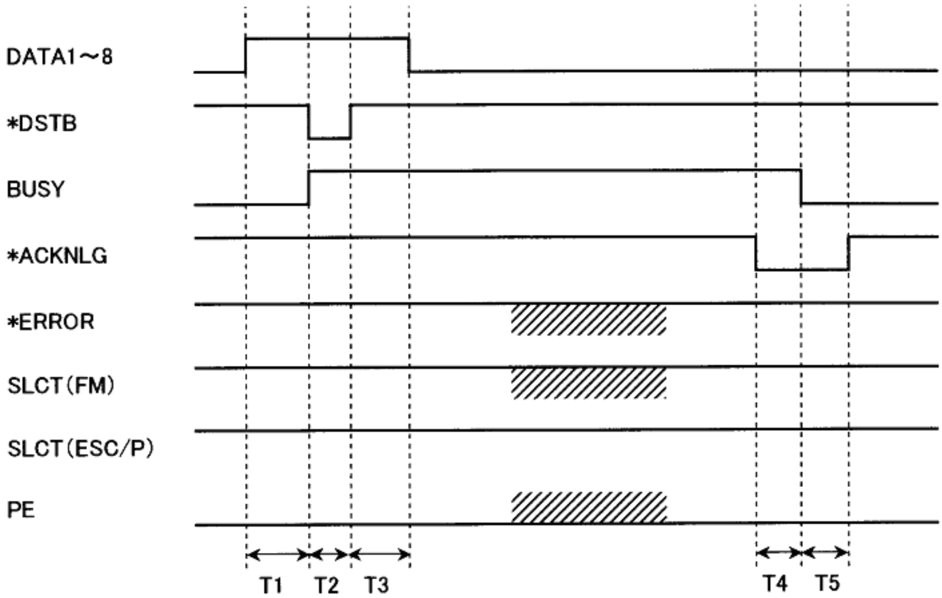
BUSY　　プリンタのビジー状態を通知する信号です。
この信号が“H”のとき、プリンタはビジー状態で、データは受信できません。ただし、DC3 コードによるオフライン状態のときは、DC1 コードを受信できます。
以下の状態のとき、この信号は“H”です。
受信データ処理中、プリンタエラー状態、オフライン状態

SLCT　　プリンタのオンライン、オフライン状態を通知する信号です。
この信号が、“L”のときはオフライン状態を、“H”のときはオンライン状態を示します。
次の動作で、オフライン状態になります。
- オンライン状態で[オンライン]を押したとき、または DC3 コードを受信したとき
- 電源投入、または*EXPRM, *INPRM コマンド受信により、初期動作中にアラーム、用紙無しを検出したとき
- 印字動作中に、用紙無し、スペースエラーを検出したとき次の動作で、オンライン状態になります。
- オフライン状態で[オンライン]を押したとき
- 電源投入、または*EXPRM, *INPRM コマンド受信による初期化動作が終了した後、アラームでなく用紙がセットされているとき
- オフライン状態で DC1 コードを受信したとき
（ただし、[オンライン]押下、および用紙無し、スペースエラーを検出してオフライン状態になったときは無効です）

*FAULT　　　アラーム状態、オフライン状態を通知する信号です。
この信号が“L”のときは、アラーム状態、オフライン状態です。

*±0V(RINE1),OSCXT(RINF2),LD(RINF3)
プリンタのエラー状態を通知する信号です。

・タイミングチャート



1μsec ≦ T1
1μsec ≦ T2
1μsec ≦ T3
0μsec ≦ T4 ≦ 1μsec
T5 ＝ 4±1μsec

注1）  は、途中でＰＥ等が発生した場合は変化します。

● ESC/P モード

ピン No.	信　号	ピン No.	信　号
1	*STROBE	19	*STROBE-RET
2	DATA 1	20	DATA 1-RET
3	DATA 2	21	DATA 2-RET
4	DATA 3	22	DATA 3-RET
5	DATA 4	23	DATA 4-RET
6	DATA 5	24	DATA 5-RET
7	DATA 6	25	DATA 6-RET
8	DATA 7	26	DATA 7-RET
9	DATA 8	27	DATA 8-RET
10	*ACKNLG	28	*ACKNLG-RET
11	BUSY	29	BUSY-RET
12	PE	30	*INIT-RET
13	SLCT	31	*INIT
14	*AUTO FEED XT	32	*ERROR
15	NC	33	SG
16	SG	34	NC
17	FG	35	NC
18	NC	36	*SLCT IN

注 1)　-RET 信号は、すべて SG に接続されています。
注 2)　(　　)内の信号は、ステータス出力です。
注 3)　“*”は、負論理信号であることを示します。

・入力信号の説明

DATA1～8　　プリンタの受信データです。
“H”で信号あり、“L”で信号なしです。

*STROBE　　DATA1～8 を読み込むためのパルス信号です。
定常状態では“H”です。“H”から“L”になるとき、データを読み込みます。

*INIT　　プリンタを初期状態にする信号です。
初期状態については、「初期状態」(173ページ) を参照してください。
“L”になるとプリンタは初期状態になります。

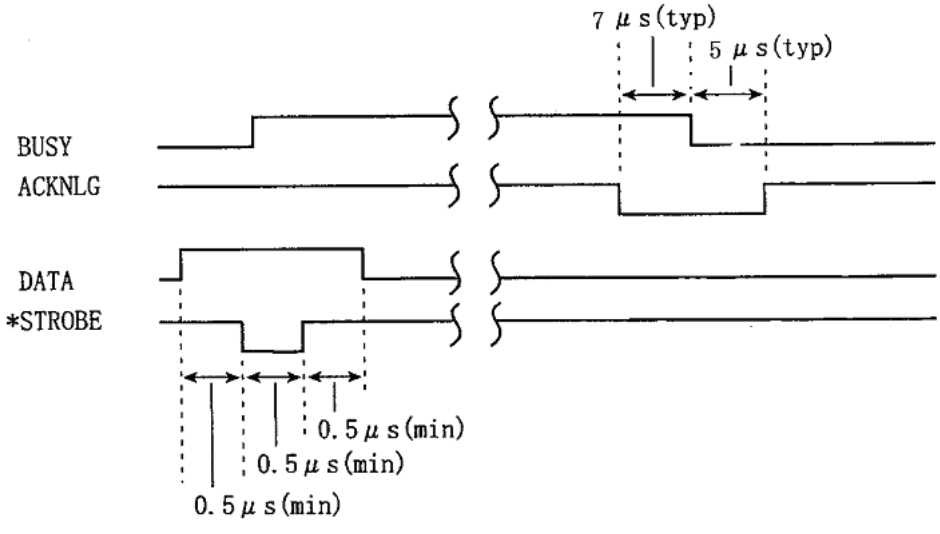
*SLCT IN　　DC1/DC3 を無効にする信号です。
電源投入時に“L”になっていると、DC1/DC3 コードが無効になります。

*AUTO FEED XT
復帰改行する信号です。
“L”になっていると、CR コードを受信して復帰改行します。

・出力信号の説明

*ACKNLG	*STROBE に対する応答信号です。 データ入力完了時に出力される負のパルス信号です。
PE	用紙切れを通知する信号です。 用紙が残り少なくなると、この信号は“H”になり、「用紙切れ」ランプが点灯します。
BUSY	プリンタのビジー状態を通知する信号です。 この信号が“H”のとき、プリンタはビジー状態で、データは受信できません。 以下の状態のとき、この信号は“H”です。 受信データ処理中、アラーム状態、オフライン状態、電源投入時または*INIT 信号を受信しての初期化動作中
SLCT	常に“H”です。
*ERROR	アラーム状態、オフライン状態を通知する信号です。 この信号が“L”のときは、アラーム状態、オフライン状態です。

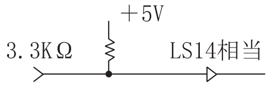
・タイミングチャート



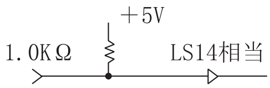
◆ インターフェース回路

・入力回路

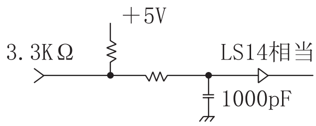
ピン No.	ESC/P モード
2〜9	DATA1〜8



ピン No.	ESC/P モード
14	*AUTO FEED XT

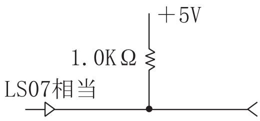


ピン No.	ESC/P モード
1	*STROBE
31	*INIT
34	NC



・出力回路

ピン No.	ESC/P モード
10	*ACKNLG
11	BUSY
12	PE
13	SLCT
15	NC
32	*ERROR
33	SG
18	NC

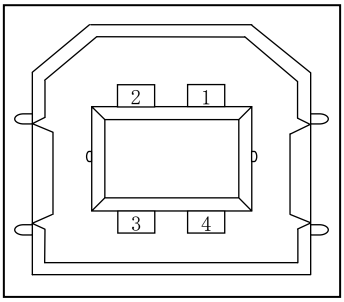


■ USB インターフェース仕様

◆ ケーブル

仕様　　：USB1.1
タイプ　：シールドタイプ
長さ　　：5m以下

◆ コネクタピン配列



Ｎｏ．	信号線名称	機　　能
1	vbus	電源
2	D-	データ転送用
3	D+	データ転送用
4	GND	信号グランド
Shell	Shield	

◆ コネクタ仕様

プリンタ側　：typeB レセプタクル（メス）
　　　　　　　アップストリームポート

ケーブル側　：typeB プラグ（オス）

◆ 仕　様

基本仕様

USB 仕様の Revision1.1 準拠

注意）全ての USB デバイスとの接続を保証するものではありません。

電力制御

セルフパワーデバイス

伝送モード

フルスピード（最大 12Mbps+0.25%）

ESC/P モードの制限事項

このプリンタは、FM モードと ESC/P モードの 2 種類のプリンタの動作モードに対応しています。
ここでは、このプリンタを ESC/P モードで運用するときの制限事項について説明します。

◆ サポートコマンド

このプリンタは、ESC/P 24-J84 に準拠していますが、印字方式、解像度の違いによりサポートしていないコマンドがあるので注意してください。
(「ESC/Pモードコマンド一覧表」186ページ参照)

◆ プリンタの動作モードの切り替え

機能設定で、プリンタの動作モードを FM モードまたは、ESC/P モードに設定することができます。
(36 ページ参照)

初期状態

■ FM エミュレーションモード

設定値	・電源投入 ・*EXPRM ・*INIT	・リセットスイッチ ・*INPRM	リセットコマンド RSI/RBS	エミュレーション切換えコマンド (ESC/P⇒FM)
ホストインターフェース識別	行う	行わない	⇦	⇦
印字ヘッドセンタリング	行う	⇦	⇦	行わない
印刷バッファ	クリア	⇦	⇦	印刷する
受信バッファ	クリア	⇦	保持	⇦
送信バッファ	クリア	⇦	保持	⇦
スイッチによる高速指定	解除	保持	⇦	解除
ページ先頭位置	現在の位置	⇦	⇦	⇦
単票残行管理	電源投入時はクリア その他は保持する	保持する	⇦	⇦
連帳残行管理	電源投入時はクリア その他は保持する	保持する	⇦	⇦
片方向印字指定	セットアップ（両方向）	⇦	⇦	⇦
高速印字指定（コマンド）	クリア	⇦	⇦	⇦
行組：右端	終端	⇦	⇦	⇦
行組：左端，左端 1，左端 2	始端	⇦	⇦	⇦
イメージ転送モード	解除	⇦	⇦	⇦
ページ長	11 インチ	⇦	⇦	⇦
スキップパーフォレーション行	0	⇦	⇦	⇦
改行ピッチ	1/6 インチ	⇦	⇦	⇦
ANK 文字ピッチ	1/10 インチ	⇦	⇦	⇦
アンダーライン指定	クリア	⇦	⇦	⇦
ANK 文字サイズ指定	標準	⇦	⇦	⇦
スーパー／サブスクリプト指定	クリア	⇦	⇦	⇦
ANK 書体	ドラフト	⇦	⇦	⇦
漢字書体（コマンド）	セットアップ（明朝体）	⇦	⇦	⇦
プロポーショナル指定	クリア	⇦	⇦	⇦
プロポーショナル空白幅指定	1/10 インチ	⇦	⇦	⇦
漢字指定	解除	⇦	⇦	⇦
漢字文字ピッチ	3/20 インチ	⇦	⇦	⇦
アンダーライン指定	クリア	⇦	⇦	⇦
漢字縦書き指定	横書き	⇦	⇦	⇦

設定値	・電源投入 ・*EXPRM ・*INIT	・リセットスイッチ ・*INPRM	リセットコマンド RSI/RBS	エミュレーション切換えコマンド (ESC/P⇒FM)
漢字縦書き指定 2	パターン無意識	⇦	⇦	⇦
半角縦書き時	2 文字ペア	⇦	⇦	⇦
漢字縦倍角時の基準	上端合わせ	⇦	⇦	⇦
漢字文字サイズ指定	標準	⇦	⇦	⇦
罫線接続指定	非接続	⇦	⇦	⇦
漢字未定義コード	■ 印字	⇦	⇦	⇦
1 バイト半角文字指定	クリア	⇦	⇦	⇦
外字登録文字の半角扱い	全角漢字	⇦	⇦	⇦
外字登録文字	クリア	保持	⇦	⇦
外字登録領域指定	クリア	⇦	⇦	⇦
タブセット（水平，垂直）	クリア	⇦	⇦	⇦
CSF 自動ビン選択指定	解除	⇦	⇦	⇦
用紙吸入量設定	セットアップ (22.0mm)	⇦	⇦	⇦
1 インチカット送り出し情報	電源投入時クリア その他は保持する	保持	⇦	クリア

■ ESC/P エミュレーションモード

設定値	・電源投入 ・*EXPRM ・*INIT	・リセットスイッチ ・*INPRM	リセットコマンド ESC　@	エミュレーション切換えコマンド (FM⇒ESC/P)
ホストインターフェース識別	行う	行わない	⇦	⇦
印字ヘッドセンタリング	行う	⇦	行わない	⇦
印刷バッファ	クリア	⇦	⇦	印刷する
受信バッファ	クリア	⇦	保持	⇦
送信バッファ	クリア	⇦	保持	⇦
スイッチによる高速指定	解除	保持	⇦	解除
ページ先頭位置	現在の位置	⇦	⇦	⇦
単票残行管理	電源投入時はクリア その他は保持する	保持する	⇦	⇦
連帳残行管理	電源投入時はクリア その他は保持する	保持する	⇦	⇦
右マージン設定	136 桁目	⇦	⇦	⇦
左マージン設定	1 桁目	⇦	⇦	⇦
水平タブ位置設定	8 文字毎	⇦	⇦	⇦
ページ長設定	セットアップ（11 インチ）	⇦	⇦	⇦
ミシン目スキップ設定	セットアップ（0 ｲﾝﾁ）	⇦	⇦	⇦
改行量設定	セットアップ（1/6 インチ）	⇦	⇦	⇦
垂直タブ位置設定	無し	⇦	⇦	⇦
VFU チャネル選択	0 チャネル	⇦	⇦	⇦
VFU タブ位置設定	無し	⇦	⇦	⇦
ANK 文字ピッチ	セットアップ（10CPI）	⇦	⇦	⇦
プロポーショナル指定	解除	⇦	⇦	⇦
国際文字選択	セットアップ（日本）	⇦	⇦	⇦
スーパー／サブスクリプト指定	解除	⇦	⇦	⇦
文字品位選択	セットアップ（LQ）	⇦	⇦	⇦
書体選択	セットアップ（クーリエ）	⇦	⇦	⇦
文字コード表選択	セットアップ（カタカナ）	⇦	⇦	⇦
文字間スペース量設定	0	⇦	⇦	⇦
縮小指定	セットアップ（解除）	⇦	⇦	⇦
アンダーライン指定／解除	解除	⇦	⇦	⇦
縦倍拡大指定／解除	解除	⇦	⇦	⇦
自動解除付倍幅拡大指定	解除	⇦	⇦	⇦
倍幅拡大指定／解除	解除	⇦	⇦	⇦
強調指定	解除	⇦	⇦	⇦
二重印字指定	解除	⇦	⇦	⇦
一括指定	解除	⇦	⇦	⇦

設定値	・電源投入 ・*EXPRM ・*INIT	・リセットスイッチ ・*INPRM	リセットコマンド ESC　@	エミュレーション切換えコマンド (FM⇒ESC/P)
イタリック指定	解除	⇦	⇦	⇦
文字スタイル選択	通常文字	⇦	⇦	⇦
位置揃え選択	左寄せ	⇦	⇦	⇦
縦書き指定	解除	⇦	⇦	⇦
半角縦書き 2 文字指定	解除	⇦	⇦	⇦
4 倍角指定／解除	解除	⇦	⇦	⇦
漢字アンダーライン指定／解除	解除	⇦	⇦	⇦
漢字一括指定	解除	⇦	⇦	⇦
漢字モード指定	解除	⇦	⇦	⇦
半角文字指定	解除	⇦	⇦	⇦
1/4 角文字指定	解除	⇦	⇦	⇦
漢字書体選択	セットアップ（明朝体）	⇦	⇦	⇦
全角文字スペース量設定	左=0　右=3	⇦	⇦	⇦
半角文字スペース量指定	左=0　右=2	⇦	⇦	⇦
半角文字スペース量補正	解除	⇦	⇦	⇦
漢字高速印字指定／解除	解除	⇦	⇦	⇦
ビットイメージ ESC+”K”	8 ドット単密度	⇦	⇦	⇦
ビットイメージ ESC+”L”	8 ドット倍密度	⇦	⇦	⇦
ビットイメージ ESC+”Y”	8 ドット倍速倍密度	⇦	⇦	⇦
ビットイメージ ESC+”Z”	8 ドット 4 倍密度	⇦	⇦	⇦
ビットイメージ変換	上記ビットイメージ	⇦	⇦	⇦
ダウンロード文字ｾｯﾄ指定/解除	内蔵文字	⇦	⇦	⇦
ダウンロード文字定義	解除	保持	⇦	⇦
文字セットコピー	解除	保持	⇦	⇦
外字定義	解除	保持	⇦	⇦
カットシートフィーダ制御	1 ビン選択	⇦	⇦	⇦
上位側コントロールコード制御	解除	⇦	⇦	⇦
単方向指定／解除	セットアップ（解除）	⇦	⇦	⇦
MSB=1 指定	解除	⇦	⇦	⇦
MSB=0 指定	解除	⇦	⇦	⇦
用紙吸入量設定	セットアップ（8.5㎜）	⇦	⇦	⇦
オートティアオフ実行可否情報	禁止	⇦	保持	禁止
1 インチカット送り出し情報	電源投入時クリア その他は保持する	保持	⇦	クリア

コマンド一覧表

本プリンタで使用できるコマンドについて、簡単に説明します。

お願い

> 本プリンタでは、1インチ以上の逆改行を行わないでください。これを行うと、印字が乱れたり、用紙づまりの原因になったりします。

◆ 表の見方

- ＜　　　＞$_{16}$内の文字は16進表記です。
- コマンド欄の記号は、次のコードを意味します。
  ESC＝＜1B＞$_{16}$　　CSI＝＜1B＞$_{16}$＋＜5B＞$_{16}$
  CEX＝＜1C＞$_{16}$　　PUI＝＜1B＞$_{16}$＋＜51＞$_{16}$
- ␣は、スペース（空白$\langle 20\rangle_{16}$）を示します。
- Pa、P_1、P_2、…、Pnはパラメータを示します。

■ FM モードコマンド一覧表

このプリンタは、基本ピッチが 1/180 インチです。FM モードでは 180dpi モードで動作します。
また、このプリンタのドット位置は次のとおりです。
始端：1 ドット
終端：1440 ドット (FMPR2000G)
　　　2448 ドット (FMPR3000G)

FM モードのコマンドは、下表のとおりです。

※欄の記号は次の意味を表します。
○：本プリンタで使用できる
×：本プリンタではサポートしていない

機能名称		名　称		コマンド	機　能	※
装置制御	リセット	RIS	リセット	ESC+c	プリンタを初期状態にします。 初期状態については「初期状態」(173ページ)を参照してください。	○
		RBS	リセット	CEX+]		
	動作モード設定	DCH	解像度変更指定	PU1+Pa+!+A	解像度を変更します。	×
	装置制御	DC1	デバイス・コントロール 1	<11>$_{16}$	オンライン状態にします。	○
		DC3	デバイス・コントロール 3	<13>$_{16}$	印字後、オフライン状態にします。	
		PDIR	印字方向指定	PU1+Pa+␣+`	印字方向を指定します。 Pa＝　0　両方向印字指定（初期値） 　　　1　片方向印字指定	○
		HSPR	高速印字指定	PU1+Pa+␣+ー	高速印字を指定します。 Pa　＝0　通常印字（初期値） 　　　1　高速印字	
		BEL	ベル	<07>$_{16}$	ブザーが鳴ります。 装置機能設定の「ブザー」の設定が「鳴動しない」に設定してある場合は無効です。	○
		CAN	抹消	<18>$_{16}$	バッファ内のデータをクリアします。	
		DEL	削除	<7F>$_{16}$	1 文字削除します。	

機能名称		名　称		コマンド	機　能	※
ページ制御	用紙制御	CSF	カットシートフィーダ制御	PU1+Pa+␣+[	カットシートフィーダの動作（吸入・排出）、吸入する用紙の種類と吸入口を指定します。 Pa＝　0　用紙を吸入 1　用紙を排出 10　一般紙 （上端余白約 22.0㎜） （注 1） 11　はがき縦 （上端余白約 12.7㎜） 12　はがき横 （上端余白約 9.7㎜） 20　第 1 ビン 21　第 2 ビン 22　無効	○
		CSF2	カットシートフィーダ制御 2	PU1+Pa+␣+¥	カットシートフィーダの自動給紙を指定します。 Pa＝　0　自動給紙を解除 3　自動給紙を指定	
	印字領域	SPF	自動改ページ指定	PU1+Pa+␣+K	スキップパーフォレーション行を指定します	○
		LMRG	左端指定	PU1+P_1+;+P_2+␣+Q	左端位置を指定します。	
	ページ長設定	PGL1	ページ長指定 1	PU1+Pa+␣+A	行単位でページ長を指定します。	○
		PGL2	ページ長指定 2	PU1+Pa+␣+B	インチ単位でページ長を指定します。	
印字位置制御	基本制御	CR	復帰	<0D>$_{16}$	印字後、受信位置を同一行の左端にします。	○
		BS	後退	<08>$_{16}$	印字後、受信位置を 1 文字分後退します。	
		LF	改行	<0A>$_{16}$	印字後、受信位置を次の行の左端にします。	
		NEL	復改	ESC+E		
		NEL	復改	CEX+@		
		FF	改ページ	<0C>$_{16}$	印字後、受信位置を次のページの左端にします。	

機能名称		名　称		コマンド	機　能	※
印字位置制御	ピッチ制御	CP	漢字文字ピッチ指定	CEX+$+Pa	漢字文字ピッチを指定します。	○
		LP	改行ピッチ指定	CEX+%+Pa	改行ピッチを指定します。	
		LP2	改行ピッチ指定２	PU1+P_1+;+P_2+␣+G	P1/P2 インチで改行ピッチを指定します。	
		SPI	改行ピッチ/ANK文字ピッチ指定	CSI+P_1+;+P_2+␣+G	改行ピッチおよびANK文字ピッチを指定します。	
	タブ位置設定	HTS	水平タブセット	ESC+H	現在位置に水平タブストップを設定します。	○
		SCT	水平タブセット	CEX+F		
		STF	水平タブ位置指定	CEX+#+P_1+　…+Pn	水平タブストップを指定します。	
		HTSA	水平タブ位置指定	CSI+P_1+;+…+Pn+␣+N		
		VTS	垂直タブセット	ESC+J	現在行に垂直タブストップを設定します。	
		SLT	垂直タブセット	CEX+H		
		VTSA	垂直タブ位置指定	PU1+P1+;+…+Pn+␣+@	垂直タブストップを指定します。	
	タブ位置解除	RCT	水平タブリセット	CEX+G	現在位置の水平タブストップを解除します。 ＴBCでPa＝0を指定したときと同じです。	○
		RLT	垂直タブリセット	CEX+I	現在行の垂直タブストップを解除します。 ＴBCでPa＝1を指定したときと同じです。	
		TBC	タブクリア	CSI+Pa+g	タブストップを解除します。 Pa＝　0　現在位置の水平タブストップを解除 （RCＴと同じ） （初期値） 1　現在行の垂直タブストップを解除 （RLＴと同じ） 3　すべての水平タブストップを解除 4　すべての垂直タブストップを解除	

機能名称		名　称		コマンド	機　能	※
印字位置制御	タブ移動	HT	水平タブ	<09>$_{16}$	受信位置を、次の水平タブストップに進めます。	○
		CHBT	水平逆タブ	CEX+D	印字後、受信位置を手前の水平タブストップにします。	
		HPA	絶対水平タブ	CSI+Pa+␣	受信位置を指定した位置にします。	
		HPA2	絶対水平タブ 2	PU1+Pa+␣+P	受信位置を指定します。	
		HPR	相対水平タブ	CSI+Pa+a	受信位置を指定した分だけ進めます。	
		PS	指定間隔	CEX+!+Pa		
		HPB	相対水平逆タブ	CSI+Pa+j	同一行内で、指定した分だけ受信位置を戻します。	
		VT	垂直タブ	<0B>$_{16}$	印字後、受信位置を次の垂直タブストップにします。	
		VPA	絶対垂直タブ	CSI+Pa+d	印字後、受信位置を指定した行の左端にします。	
		VPR	相対垂直タブ	CSI+Pa+e	印字後、受信位置を指定した行の左端にします。	
		SAP	動作位置指定	CEX+″+P_1+P_2	印字後、受信位置を指定した位置にします。	
		HVP	動作位置指定	CSI+P_1+;+P_2+f		
	行組み	LC	行組み指定	CEX+)+P_1+P_2+P_3+P_4	右端、左端 1、左端 2 を指定します。	○
		KNL1	漢字復改 1	CEX+A	印字後、受信位置を次の行の左端 1 にします	
		KNL2	漢字復改 2	CEX+B	印字後、受信位置を次の行の左端 2 にします	
		NPH	段落	CEX+C	印字後、受信位置を次の行の左端から漢字 1 文字分進めます。	
文字印字制御	漢字/ANK	SCS	漢字指定	ESC+$+@	JIS^{-78}漢字モードを指定します。	○
				ESC+$+B	JIS^{-83}漢字モードを指定します。	
			ANK 指定	ESC+(+H	ANK モードを指定します。	

<table>
<tr><th colspan="2">機能名称</th><th colspan="2">名　称</th><th>コマンド</th><th>機　能</th><th>※</th></tr>
<tr><td rowspan="10">印字位置制御</td><td rowspan="2">漢字/ANK</td><td>TF</td><td>書体指定</td><td>CEX+(+P_1+P_2</td><td>ANK 文字と漢字文字の書体を指定します。
・ レギュラ文字はドラフト文字より印字速度が低下します。
・ レギュラ文字で文字ピッチを 1/10 インチ未満にすると文字の右側が欠けることがあります。
<table><tr><td></td><td>P_1＝0 (ANK)</td><td>P_1＝1 (漢字)</td><td></td></tr><tr><td>P_2＝0</td><td>ドラフト</td><td>明朝</td><td>←初期値</td></tr><tr><td>P_2＝1</td><td>レギュラ</td><td>ゴシック</td><td></td></tr></table></td><td rowspan="2">○</td></tr>
<tr><td>HSS2</td><td>半角指定 2</td><td>PU1+Pa+␣+｜</td><td>1 バイト半角文字を指定します。
Pa＝　0　標準文字（ANK 文字）（初期値）
　　　1　半角文字</td></tr>
<tr><td rowspan="2">プロポーショナル</td><td>SPS</td><td>欧文ピッチ処理開始</td><td>CEX+T</td><td>プロポーショナル印字を指定します。</td><td rowspan="2">○</td></tr>
<tr><td>EPS</td><td>欧文ピッチ処理終了</td><td>CEX+U</td><td>プロポーショナル印字を解除します。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">上つき/下つき文字</td><td>SSP</td><td>上つき文字開始</td><td>CEX+N</td><td>上つき文字を指定します。</td><td rowspan="4">○</td></tr>
<tr><td>ESP</td><td>上つき文字終了</td><td>CEX+O</td><td>上つき文字を解除します。</td></tr>
<tr><td>SSB</td><td>下つき文字開始</td><td>CEX+P</td><td>下つき文字を指定します。</td></tr>
<tr><td>ESB</td><td>下つき文字終了</td><td>CEX+Q</td><td>下つき文字を解除します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">拡大/縮小</td><td>KGM</td><td>漢字拡大印字指定</td><td>CEX+'+P_1+P_2</td><td>漢字文字の拡大（縮小）印字のサイズを指定します。
SFC コマンドのスケーラブル指定が無効の場合
　P_1, P_2の範囲 50, 100, 200%
SFC コマンドのスケーラブル指定が有効の場合
　P_1, P_2の範囲 1～999%</td><td rowspan="2">○</td></tr>
<tr><td>GSM</td><td>ANK 倍幅拡大印字指定</td><td>CSI+P_1+;+P_2+␣+B</td><td>ANK 文字の倍幅拡大印字を指定します。縦方向に 100%、横方向に 100、200%を指定できます。</td></tr>
</table>

機能名称		名　称		コマンド	機　能	※
文字印字制御	拡大/ 縮小	SFC	スケーラブル 文字制御	PU1+P_1+;+P_2+;+P_3+;+P_4+;+P_5+!+Q	スケーラブル文字を制御します。 P_1＝　0　スケーラブル無効 （初期値） 1　スケーラブル有効 P_2＝　0　ドットフォント優先 1　アウトラインフォント優先 P_3＝　0　固定 P_4＝　0　固定 P_5＝　0　200%拡大時にアウトラインフォント使用 1　200%拡大時にドットフォント使用	×
	強調	HL	カラー/漢字 アンダーライン 指定	CEX+*+Pa	漢字アンダーラインを指定します。 Pa＝　0　通常印字（初期値） 4漢字アンダーライン 10, 13, 15, 16　無　効	○
		SGR	カラー/ANK アンダーライン 指定	CSI+Pa+m	ANK アンダーラインを指定します。 Pa＝　0　通常印字（初期値） 4ANK アンダーライン 30, 33, 35, 36　無　効	
	縦書き 横書き	VWF	漢字縦書き指定	CEX+J	漢字の縦書きを指定します。	○
		VWF2	漢字縦書き指定2	PU1+Pa+␣+q	漢字縦書き時の文字の回転の扱いを指定します。 Pa＝　0　物理的に 90 度回転 （初期値） 1　パターンによる最適変換	
		HWF	漢字横書き指定	CEX+K	漢字の横書きを指定します。	
		HVWF	半角文字縦書き指定	PU1+Pa+␣+p	漢字縦書き時の半角文字の扱いを指定します。 Pa＝　0　2 文字ペア （初期値） 1　1 文字中心	

機能名称		名　称		コマンド	機　能	※
文字印字制御	その他	KC	罫線接続指定	PU1+Pa+␣+t	罫線接続を指定します。 Pa　＝0　接続しない 　　　　（初期値） 　　1　接続する	
		KUDC	漢字未定義ｺｰﾄﾞ	PU1+Pa+␣+x	漢字未定義コードの扱いを指定します。 Pa　＝0　■印字（初期値） 　　1　漢字スペース	○
		TSS	スペース幅指定	CSI+Pa+␣+E	プロポーショナル文字のときの、スペースコードの幅を指定します。	
イメージデータ印字	イメージ処理	NIMG	イメージ転送	PU1+Pa+␣+W+データ	イメージを印字します。	
		SIMG	単密度倍幅 イメージ転送	PU1+Pa+␣+V+データ	単密度倍幅イメージを印字します。	○
		DIMG	倍幅イメージ転送	PU1+Pa+␣+X+データ	倍幅イメージを印字します。	
外字登録	外字登録	CPT	外字登録	CEX+2+0+P_1+P_2+D_1+…+D_{144}	24×24 ドットの、ユーザ定義文字を登録します。	○
		CPT2	外字登録 2	CEX+2+1+P_1+P_2+D_1+…+D_{576}	48×48 ドットの、ユーザ定義文字を登録します。	×

【非推奨コマンド】

以下のコマンドは逆改行動作を伴います。

機能名称		名　称		コマンド	機　能	※
非推奨コマンド	逆改行タブ	LBT	垂直逆タブ	CEX+E	印字後、受信位置を手前の垂直タブストップの左端にします。	○
		VPB	相対垂直逆タブ	CSI+Pa+k	印字後、指定した行だけ逆改行して受信位置を左端にします。	
	印字位置	KSM	漢字モードセット	CEX+ー+t	文字中心合わせを指定します。	○
		KRM	漢字モードリセット	CEX+.+t	文字下端合わせを指定します。	
		KUPF	漢字基準線指定	PU1+Pa+␣+d	文字中心/下端/上端合わせを指定します。	

■　ESC/P モードコマンド一覧表

ESC/P モードコマンドは、下表のとおりです。

機能名称		名　称	コマンド	機　能
書式設定・実行	印字領域設定	行単位ページ長設定	ESC＋C＋Pa	行単位でページ長を設定します。
		インチ単位ページ長設定	ESC＋C＋NUL＋Pa	インチ単位でページ長を設定します。
		ミシン目スキップ設定	ESC＋N＋Pa	ページ長下端からのミシン目スキップ位置を設定します。
		ミシン目スキップ解除	ESC＋O	ミシン目スキップ設定を解除します。
		右マージン設定	ESC＋Q＋Pa	右マージン位置を桁数で設定します。
		左マージン設定	ESC＋ l ＋Pa	左マージン位置を桁数で設定します。
	改行量設定	1/8 インチ改行量指定	ESC＋0	改行量を 1/8 インチに設定します。
		1/6 インチ改行量指定	ESC＋2	改行量を 1/6 インチに設定します。
		n/180 インチ改行量指定	ESC＋3＋Pa	改行量を Pa/180 インチに設定します。
		n/60 インチ改行量指定	ESC＋A＋Pa	改行量を Pa/60 インチに設定します。
		n/360 インチ改行量指定	ESC＋　＋＋Pa	改行量を Pa/360 インチに設定します。
	タブ設定	垂直タブ位置設定	ESC＋B＋P_1＋P_2＋…Pn＋NUL	ページ先頭行からの垂直タブ位置を設定します。
		水平タブ位置設定	ESC＋D＋P_1＋P_2＋…Pn＋NUL	左マージン位置からの水平タブ位置を設定します。
		VFU チャネル選択	ESC＋/＋Pa	チャネル番号を指定します。
		VFU タブ位置設定	ESC＋ b ＋Pa＋P_1＋…Pn＋NUL	Pa で指定されたチャネル番号に対して、ページ先頭行からの垂直タブ位置を設定します。
	印字・紙送り	印字復帰	CR	バッファ内のデータを印字後、受信位置を同一行の左マージン位置にします。
		改行	LF	バッファ内のデータを印字後、現在の改行ピッチに従って受信位置を次行の左マージン位置にします。
		改ページ	FF	バッファ内のデータを印字後、設定されているページ長にしたがって改ページします

機能名称			名　称	コマンド	機　能
書式設定・実行	印字・紙送り		n/180 インチ順方向紙送り	ESC＋J＋Pa	1/180 インチ単位で、受信位置を現在位置からの移動量で指定します。
	印字位置設定		水平タブ実行	HT	受信位置を同一行の次の水平タブ位置へ移動します。
			垂直タブ実行	VT	バッファ内のデータを印字後、受信位置を次の垂直タブ位置の左マージン位置へ移動します。
			後退	BS	受信位置を直前の文字の文字ピッチに従って 1 文字分左へ移動します。
			絶対位置指定	ESC＋$＋$P_1$＋$P_2$	受信位置を左マージン位置からの移動量で指定します。
			相対位置指定	ESC＋¥＋P_1＋P_2	受信位置を現在位置からの移動量で指定します。
テキスト処理	ANK 文字	文字セット	12CPI 指定	ESC＋M	ANK 文字のピッチを 12CPI に設定します。
			10CPI 指定	ESC＋P	ANK 文字のピッチを 10CPI に設定します。
			15CPI 指定	ESC＋ g	ANK 文字のピッチを 15CPI に設定します。
			プロポーショナル指定/解除	ESC＋ p ＋Pa	プロポーショナル印字の指定、解除を行います。
			国際文字選択	ESC＋R＋Pa	各国別の文字セットを選択します。
			スーパー/サブスクリプト指定	ESC＋S＋Pa	ANK 文字のスーパー/サブスクリプトを指定します。
			スーパー/サブスクリプト解除	ESC＋T	スーパー/サブスクリプトの指定を解除します。
			文字品位選択	ESC＋ x ＋Pa	ANK 文字の文字品位を指定します。
			書体選択	ESC＋ k ＋Pa	ANK 文字の書体を指定します。
			文字コード表選択	ESC＋ t ＋Pa	ANK 文字のコード表を選択します。
		文字定義	ダウンロード文字セット指定/解除	ESC＋%＋Pa	ANK 文字のダウンロード文字セットの指定、解除を行います。
			ダウンロード文字定義	ESC ＋ ＆ ＋ NUL＋P_1＋P_2＋｛Pa_1＋Pb_1＋Pc_1＋D_1～Dn｝×n	ダウンロード文字を定義するコードを指定し、定義開始コードおよび定義終了コードを指定します。
			文字セットコピー	ESC＋：＋NUL＋P_1＋P_2	ダウンロード文字セットへコピーする書体を選択します。

機能名称			名　称	コマンド	機　能
テキスト処理	ANK 文字	文字ピッチ調整	文字間スペース量設定	ESC＋␣＋Pa	ANK 文字幅に付加するスペース量を指定します。
		位置揃え選択	位置揃え選択	ESC＋ａ＋Pa	文字の印字位置の揃えかたを指定します。
		装飾	縮小指定	SI	ANK 文字の縮小印字を指定します。どちらのコマンドも同一内容の ANK 文字縮小印字をします。
			縮小指定	ESC＋SI	
			縮小解除	DC2	ANK 文字の縮小印字指定を解除します。
			アンダーライン指定/解除	ESC＋－＋Pa	ANK 文字のアンダーラインの指定、解除を行います。
			縦倍拡大指定/解除	ESC＋ｗ＋Pa	ANK 文字の縦倍拡大の指定、解除を行います。
	共通	装飾	自動解除付き倍幅拡大指定	SO	ANK および漢字文字の自動解除付き倍幅拡大を指定します。
			自動解除付き倍幅拡大指定	ESC＋SO	
			自動解除付き倍幅拡大解除	DC4	ANK および漢字文字の自動解除付き倍幅拡大の指定を解除します。
			倍幅拡大指定/解除	ESC＋W＋Pa	ANK および漢字文字の倍幅拡大の指定、解除を行います。
			強調指定	ESC＋E	ANK および漢字文字の強調文字を指定します。
			強調解除	ESC＋F	ANK および漢字文字の強調文字指定を解除します。
			二重印字指定	ESC＋G	ANK および漢字文字の二重印字を指定します。
			二重印字解除	ESC＋H	ANK および漢字文字の二重印字指定を解除します。
			自動解除付き倍幅拡大指定	FS＋SO	ANK および漢字文字の自動解除付き倍幅拡大を指定します。
			自動解除付き倍幅拡大解除	FS＋DC4	ANK および漢字文字の自動解除付き倍幅拡大の指定を解除します。
			一括指定	ESC＋！＋Pa	ANK 文字および漢字の文字修飾を一括指定します。

機能名称			名　称	コマンド	機　能
テキスト処理	共通	装飾	イタリック指定	ESC＋4	ANK および漢字文字のイタリック印字を指定します。
			イタリック解除	ESC＋5	ANK および漢字文字のイタリック印字指定を解除します。
			文字スタイル選択	ESC＋ｑ＋Pa	ANK および漢字文字の文字スタイルを選択します。
	漢字	装飾	縦書き指定	FS＋J	漢字文字の縦書きを指定します。
			横書き指定	FS＋K	漢字文字の横書きを指定します。
			半角縦書き 2 文字指定	FS＋D	漢字文字 2 文字の半角組み文字を指定します。
			4 倍角指定/解除	FS＋W＋Pa	漢字文字の 4 倍角の指定、解除を行います。
			漢字アンダーライン指定/解除	FS＋－＋Pa	漢字アンダーラインの指定、解除を行います。
			漢字一括指定	FS＋！＋Pa	漢字文字および ANK 文字の文字修飾を一括指定します。
		文字セット	漢字モード指定	FS＋＆	漢字モードを指定します。
			漢字モード解除	FS＋.	漢字モード指定を解除します。
			半角文字指定	FS＋SI	漢字文字の半角印字を指定します。
			半角文字解除	FS＋DC2	漢字文字の半角印字指定を解除します。
			1/4 角文字指定	FS＋ｒ＋Pa	漢字文字の 1/4 角文字の印字を指定します。
			漢字書体選択	FS＋ｋ＋Pa	漢字文字の書体を選択します。
		文字定義	外字定義	FS＋2＋P_1＋P_2＋D_1～D_{72}	外字登録コード、登録パターンを指定します。
		文字ピッチ調整	全角文字スペース量設定	FS＋S＋P_1＋P_2	漢字全角文字に付加するスペース量を指定します。
			半角文字スペース量設定	FS＋T＋P_1＋P_2	漢字半角文字および 1/4 角文字に付加するスペース量を指定します。
			半角文字スペース量補正	FS＋U	漢字半角文字のスペース量を 2 文字ごとに補正します。
			半角文字スペース量補正解除	FS＋V	漢字半角文字のスペース量補正の指定を解除します。

機能名称		名　称	コマンド	機　能
イメージ処理		8ドット単密度ビットイメージ	ESC＋K＋P_1＋P_2＋D_1～Dn	8 ビット単密度のビットイメージを指定します。
		8ドット倍密度ビットイメージ	ESC＋L＋P_1＋P_2＋D_1～Dn	8 ビット倍密度のビットイメージを指定します。
		8ドット倍速倍密度ビットイメージ	ESC＋Y＋P_1＋P_2＋D_1～Dn	8 ビット倍速倍密度のビットイメージを指定します。
		8ドット4倍密度ビットイメージ	ESC＋Z＋P_1＋P_2＋D_1～Dn	8ビット4倍密度のビットイメージを指定します。
		ビットイメージ選択	ESC＋＊＋Pa＋P_1＋P_2＋D_1～Dn	ビットイメージのモードおよびカラム数を指定します。
		ビットイメージ変換	ESC＋？＋P_1＋P_2	8 ビット系のビットイメージ(ESC＋K,ESC＋L,ESC＋Y,ESC＋Z)のビットイメージを変換します。
補助機能	初期化	初期化	ESC＋@	プリンタを初期状態にします。
	キャリッジ制御	単方向印字指定/解除	ESC＋U＋Pa	単方向印字の指定、解除を行います。
		漢字高速印字指定/解除	FS＋ｘ＋Pa	漢字高速印字の指定、解除を行います。
		リターンホーム	ESC＋＜	印字ヘッドを左端まで移動します。
	データ入力制御	デバイスコントロール1	DC1	プリンタを選択状態にします。
		デバイスコントロール3	DC3	プリンタを非選択状態にします。
		1文字削除	DEL	直前のデータを1文字クリアします。
		データ抹消	CAN	バッファ内のデータをクリアします。
	CSF制御	カットシートフィーダ制御	ESC＋EM＋Pa	プリンタの給紙方法を選択します。
	ブザー	ブザー	BEL	ブザーを鳴動させます。

キャラクタコード一覧表

■ FM モードキャラクタコード一覧表

FM モードのキャラクタコードは以下のとおりです。

上位 / 下位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0				0	@	P	`	p	▁	┴		ー	タ	ミ	═	×
1		DC1	!	1	A	Q	a	q	▂	┬	。	ア	チ	ム	╞	円
2			"	2	B	R	b	r	▃	┤	「	イ	ツ	メ	╪	年
3		DC3	#	3	C	S	c	s	▄	├	」	ウ	テ	モ	╡	月
4			$	4	D	T	d	t	▅	▔	、	エ	ト	ヤ	◢	日
5			%	5	E	U	e	u	▆	─	・	オ	ナ	ユ	◣	時
6			&	6	F	V	f	v	▇	│	ヲ	カ	ニ	ヨ	◥	分
7	BEL		'	7	G	W	g	w	█	▕	ァ	キ	ヌ	ラ	◤	秒
8	BS	CAN	(	8	H	X	h	x	▏	┌	ィ	ク	ネ	リ	♠	〒
9	HT		)	9	I	Y	i	y	▎	┐	ゥ	ケ	ノ	ル	♥	市
A	LF		*	:	J	Z	j	z	▍	└	ェ	コ	ハ	レ	♦	区
B	VT	ESC	+	;	K	[	k	{	▌	┘	ォ	サ	ヒ	ロ	♣	町
C	FF	CEX	,	<	L	¥	l	|	▋	╭	ャ	シ	フ	ワ	●	村
D	CR		-	=	M	]	m	}	▊	╮	ュ	ス	ヘ	ン	○	人
E			.	>	N	^	n	‾	▉	╰	ョ	セ	ホ	゛	╱	▓
F			/	?	O	_	o	DEL	┼	╯	ッ	ソ	マ	゜	╲	

■ ESC/P モードキャラクタコード一覧表

ESC/P モードのキャラクタコードは以下のとおりです。

◆ カタカナコード

上位 / 下位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0	NUL		SP	0	@	P	‘	p	▁	┴		ー	タ	ミ	═	×
1		DC1	!	1	A	Q	a	q	▂	┬	。	ア	チ	ム	╞	円
2		DC2	”	2	B	R	b	r	▃	┤	「	イ	ツ	メ	╪	年
3		DC3	#	3	C	S	c	s	▄	├	」	ウ	テ	モ	╡	月
4		DC4	$	4	D	T	d	t	▅	▔	、	エ	ト	ヤ	◢	日
5			%	5	E	U	e	u	▆	─	・	オ	ナ	ユ	◣	時
6			&	6	F	V	f	v	▇	│	ヲ	カ	ニ	ヨ	◥	分
7	BEL		’	7	G	W	g	w	█	▕	ァ	キ	ヌ	ラ	◤	秒
8	BS	CAN	(	8	H	X	h	x	▏	┌	ィ	ク	ネ	リ	♠	〒
9	HT	EM	)	9	I	Y	i	y	▎	┐	ゥ	ケ	ノ	ル	♥	市
A	LF		*	:	J	Z	j	z	▍	└	ェ	コ	ハ	レ	♦	区
B	VT	ESC	+	;	K	[	k	{	▌	┘	ォ	サ	ヒ	ロ	♣	町
C	FF	FS	,	<	L	¥	l	¦	▋	╭	ャ	シ	フ	ワ	●	村
D	CR		−	=	M	]	m	}	▊	╮	ュ	ス	ヘ	ン	○	人
E	SO		.	>	N	^	n	~	▉	╰	ョ	セ	ホ	゛	╱	▒
F	SI		／	?	O	_	o		┼	╯	ッ	ソ	マ	゜	╲	

注 1）〈15〉$_{16}$を除く、〈00〉$_{16}$～〈7F〉$_{16}$はカタカナコード、拡張グラフィックスコードに共通です。

注 2）〈23〉$_{16}$、〈24〉$_{16}$、〈40〉$_{16}$、〈5B〉$_{16}$～〈5E〉$_{16}$、〈60〉$_{16}$、〈7B〉$_{16}$～〈7E〉$_{16}$のコードは国際文字選択によって入れ替わります。

【国際文字コード】

国 / コード16進	23	24	40	5B	5C	5D	5E	60	7B	7C	7D	7E
アメリカ	#	$	@	[	＼	]	^	`	{	¦	}	~
フランス	#	$	à	°	ç	§	^	`	é	ù	è	¨
ドイツ	#	$	§	Ä	Ö	Ü	^	`	ä	ö	ü	ß
イギリス	£	$	@	[	＼	]	^	`	{	¦	}	~
ﾃﾞﾝﾏｰｸ Ⅰ	#	$	@	Æ	Ø	Å	^	`	æ	ø	å	~
ｽｳｪｰﾃﾞﾝ	#	¤	É	Ä	Ö	Å	Ü	é	ä	ö	å	ü
イタリア	#	$	@	°	＼	é	^	ù	à	ò	è	ì
スペインⅠ	Pt	$	@	¡	Ñ	¿	^	`	¨	ñ	}	~
日本	#	$	@	[	¥	]	^	`	{	¦	}	~
ノルウェー	#	¤	É	Æ	Ø	Å	Ü	é	æ	ø	å	ü
ﾃﾞﾝﾏｰｸ Ⅱ	#	$	É	Æ	Ø	Å	Ü	é	æ	ø	å	ü
スペインⅡ	#	$	á	¡	Ñ	¿	é	`	í	ñ	ó	ú
ﾗﾃﾝｱﾒﾘｶ	#	$	á	¡	Ñ	¿	é	ü	í	ñ	ó	ú

◆　拡張グラフィックスコード

上位／下位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0	NUL		SP	0	@	P	`	p	Ç	É	á	░	└	╨	α	≡
1		DC1	!	1	A	Q	a	q	ü	æ	í	▒	┴	╤	ß	±
2		DC2	"	2	B	R	b	r	é	Æ	ó	▓	┬	╥	Γ	≥
3		DC3	#	3	C	S	c	s	â	ô	ú	│	├	╙	π	≤
4		DC4	$	4	D	T	d	t	ä	ö	ñ	┤	─	╘	Σ	⌠
5		§	%	5	E	U	e	u	à	ò	Ñ	╡	┼	╒	σ	⌡
6			&	6	F	V	f	v	å	û	ª	╢	╞	╓	μ	÷
7	BEL		'	7	G	W	g	w	ç	ù	º	╖	╟	╫	τ	≈
8	BS	CAN	(	8	H	X	h	x	ê	ÿ	¿	╕	╚	╪	Φ	°
9	HT	EM	)	9	I	Y	i	y	ë	Ö	⌐	╣	╔	┘	θ	•
A	LF		*	:	J	Z	j	z	è	Ü	¬	║	╩	┌	Ω	·
B	VT	ESC	+	;	K	[	k	{	ï	¢	½	╗	╦	█	δ	√
C	FF	FS	,	<	L	¥	l	¦	î	£	¼	╝	╠	▄	∞	^{n}
D	CR		−	=	M	]	m	}	ì	¥	¡	╜	═	▌	φ	^{2}
E	SO		.	>	N	^	n	~	Ä	Pt	«	╛	╬	▐	∈	■
F	SI		／	?	O	_	o		Å	ƒ	»	┐	╧	▀	∩	SP

注 1)　〈15〉$_{16}$を除く、〈00〉$_{16}$〜〈7F〉$_{16}$はカタカナコード、拡張グラフィックスコードに共通です。

注 2)　〈23〉$_{16}$、〈24〉$_{16}$、〈40〉$_{16}$、〈5B〉$_{16}$〜〈5E〉$_{16}$、〈60〉$_{16}$、〈7B〉$_{16}$〜〈7E〉$_{16}$のコードは国際文字選択によって入れ替わります。

【国際文字コード】

国＼コード16進	23	24	40	5B	5C	5D	5E	60	7B	7C	7D	7E
アメリカ	#	$	@	[	＼	]	^	`	{	¦	}	~
フランス	#	$	à	°	ç	§	^	`	é	ù	è	¨
ドイツ	#	$	§	Ä	Ö	Ü	^	`	ä	ö	ü	ß
イギリス	£	$	@	[	＼	]	^	`	{	¦	}	~
ﾃﾞﾝﾏｰｸ Ⅰ	#	$	@	Æ	Ø	Å	^	`	æ	ø	å	~
ｽｳｪｰﾃﾞﾝ	#	¤	É	Ä	Ö	Å	Ü	é	ä	ö	å	ü
イタリア	#	$	@	°	＼	é	^	ù	à	ò	è	ì
スペインⅠ	Pt	$	@	¡	Ñ	¿	^	`	¨	ñ	}	~
日本	#	$	@	[	¥	]	^	`	{	¦	}	~
ノルウェー	#	¤	É	Æ	Ø	Å	Ü	é	æ	ø	å	ü
ﾃﾞﾝﾏｰｸ Ⅱ	#	$	É	Æ	Ø	Å	Ü	é	æ	ø	å	ü
スペインⅡ	#	$	á	¡	Ñ	¿	é	`	í	ñ	ó	ú
ﾗﾃﾝｱﾒﾘｶ	#	$	á	¡	Ñ	¿	é	ü	í	ñ	ó	ú

非漢字一覧表

モードによって、コードが割り当てられている文字が異なるものがありますので、注意してください。

◆ FM モードおよび ESC/P モード共通文字コード一覧表

JIS コードはすべて 16 進形式

区$	区＼点$	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	2A	2B	2C	2D	2E	2F	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	3A	3B	3C	3D	3E	3F
	点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
20	0																																
21	1		[illegible]	、	。	，	．	・	：	；	？	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―	‐	／
22	2		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒	→	←	↑	↓	〓	─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤	┴	┼	∈	∋	⊆	⊇	⊂	⊃
23	3																	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9						
24	4		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ	ぞ	た
25	5		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ	ゾ	タ
26	6		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω							
27	7		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы	Ь	Э

区$	区＼点$	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	4A	4B	4C	4D	4E	4F	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	5A	5B	5C	5D	5E	5F
	点	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63
20	0																																
21	1	＼	～	∥	｜	…	‥	‘	’	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】	＋	－	±	×
22	2	∪	∩									∧	∨	¬	⇒	⇔	∀	∃												∠	⊥	⌒	∂
23	3		A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z					
24	4	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ	ぼ	ぽ	ま	み
25	5	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ	ボ	ポ	マ	ミ
26	6		α	β	γ	δ	ε	ζ	η	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω							
27	7	Ю	Я																а	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й	к	л	м	н

区$	区＼点$	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	6A	6B	6C	6D	6E	6F	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	7A	7B	7C	7D	7E
	点	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94
20	0																															
21	1	÷	＝	≠	＜	＞	≦	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥	＄	¢	£	％	＃	＆	＊	＠	§	☆	★	○	●	◎	◇
22	2	∇	≡	≒	≪	≫	√	∽	∝	∵	∫	∬								Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶					◯
23	3		a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z				
24	4	む	め	も	ゃ	や	ゅ	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ	ゐ	ゑ	を	ん											
25	5	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ								
26	6																															
27	7	о	п	р	с	т	у	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э	ю	я													

注 1)　区点コードは点の部分を加算して求めます。％の区点コードは 0180＋03 で 0183 となります。区点コードは 10 進数です。例えば、％の JIS コードは 2173 と読みます。実際の使用には、“&H”をつけて、「&H2173」とします。

注 2)　コード表の空白部分を印字させますと、何らかの文字が出力される場合があります。

◆ FM モード文字コード一覧表

JIS-78モード外字登録領域

区 \ 点 $	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	2A	2B	2C	2D	2E	2F	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	3A	3B	3C	3D	3E	3F
$	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
28 8	※																															
29 9	※																															

区 \ 点 $	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	4A	4B	4C	4D	4E	4F	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	5A	5B	5C	5D	5E	5F
$	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63
28 8																																
29 9																																

区 \ 点 $	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	6A	6B	6C	6D	6E	6F	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	7A	7B	7C	7D	7E	7F
$	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95
28 8																																※
29 9																																※

注）　※部（2820, 287F, 2920, 297F）は登録できません。

JIS-83モード

追加文字

区 \ 点 $	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	2A	2B	2C	2D	2E	2F	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	3A	3B	3C	3D	3E	3F
$	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
28 8		─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰	┥	┸

区 \ 点 $	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	4A	4B	4C	4D	4E	4F	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	5A	5B	5C	5D	5E	5F
$	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63
28 8	╂																															

区 \ 点 $	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	2A	2B	2C	2D	2E	2F	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	3A	3B	3C	3D	3E	3F
$	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
74 84		堯	槇	遙	瑤																											

外字登録領域

点$		20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	2A	2B	2C	2D	2E	2F	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	3A	3B	3C	3D	3E	3F
区$	区	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
29	9	※																															
2A	10	※																															

点$		40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	4A	4B	4C	4D	4E	4F	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	5A	5B	5C	5D	5E	5F
区$	区	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63
29	9																																
2A	10																																

点$		60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	6A	6B	6C	6D	6E	6F	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	7A	7B	7C	7D	7E	7F
区$	区	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95
29	9																																※
2A	10																																※

注 1）※部（2920, 297F, 2A20, 2A7F）は登録できません。
注 2）JIS-83の 2A21～2A7EとJIS-78の 2821～287Eは同一エリアです。

半角漢字

点$		20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	2A	2B	2C	2D	2E	2F	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	3A	3B	3C	3D	3E	3F
区$	区	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
2D	13		!	"	#	$	%	&	'	(	)	*	+	,	-	.	/	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
2E	14		。	「	」	、	・	ヲ	ァ	ィ	ゥ	ェ	ォ	ャ	ュ	ョ	ッ	ー	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ
2F	15	▁	▂	▃	▄	▅	▆	▇	█	▏	▎	▍	▌	▋	▊	▉	┼	┴	┬	┤	├	▔	─	│	▕	┌	┐	└	┘	╭	╮	╰	╯

点$		40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	4A	4B	4C	4D	4E	4F	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	5A	5B	5C	5D	5E	5F
区$	区	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63
2D	13	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	〔	¥	〕	^	_
2E	14	タ	チ	ツ	テ	ト	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	マ	ミ	ム	メ	モ	ヤ	ユ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ン	゛	゜
2F	15																																

点$		60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	6A	6B	6C	6D	6E	6F	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	7A	7B	7C	7D	7E
区$	区	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94
2D	13	`	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{	｜	}	￣
2E	14	═	╞	╪	╡	◢	◣	◥	◤	♠	♥	♦	♣	●	○	╱	╲	×	円	年	月	日	時	分	秒	〒	市	区	町	村	人	▒
2F	15																															

◆ ESC/P モード文字コード一覧表

区$ ＼ 点$	区	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	2A	2B	2C	2D	2E	2F	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	3A	3B	3C	3D	3E	3F
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
28	8		─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰	┥	┸
～ ⋮	⋮ ～																																～
74	80		堯	槇	遙	瑤	凜	熙																									

区$ ＼ 点$	区	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	4A	4B	4C	4D	4E	4F	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	5A	5B	5C	5D	5E	5F
		32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63
28	8	╂																															

区$ ＼ 点$	区	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	2A	2B	2C	2D	2E	2F	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	3A	3B	3C	3D	3E	3F
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
2D	13		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	Ⅹ	

区$ ＼ 点$	区	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	4A	4B	4C	4D	4E	4F	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	5A	5B	5C	5D	5E	5F
		32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63
2D	13	㍉	㌔	㌢	㍍	㌘	㌧	㌃	㌶	㍑	㍗	㌍	㌦	㌣	㌫	㍊	㌻	㎜	㎝	㎞	㎎	㎏	㏄	㎡									㍻

区$ ＼ 点$	区	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	6A	6B	6C	6D	6E	6F	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	7A	7B	7C	7D	7E
		64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94
2D	13	〝	〟	№	㏍	℡	㊤	㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹	㍾	㍽	㍼	≒	≡	∫	∮	∑	√	⊥	∠	∟	⊿	∵	∩	∪		

外字登録領域

区$ \ 点$		20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	2A	2B	2C	2D	2E	2F	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	3A	3B	3C	3D	3E	3F
区		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
77	87	※																															
78	88	※																															

区$ \ 点$		40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	4A	4B	4C	4D	4E	4F	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	5A	5B	5C	5D	5E	5F
区		32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63
77	87																																
78	88																																

区$ \ 点$		60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	6A	6B	6C	6D	6E	6F	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	7A	7B	7C	7D	7E	7F
区		64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95
77	87																																※
78	88																																※

注）　※部（7720, 777F, 7820, 787F）は登録できません。

JIS-90第一水準漢字一覧表

JIS コードはすべて 16 進形式

区 $ ＼ 点 $		20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	2A	2B	2C	2D	2E	2F	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	3A	3B	3C	3D	3E	3F
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
20	0																																
21	1		空白	、	。	，	．	・	：	；	？	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―	‐	／
22	2		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒	→	←	↑	↓	〓												∈	∋	⊆	⊇	⊂	⊃
23	3																	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9						
24	4		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ	ぞ	た
25	5		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ	ゾ	タ
26	6		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω							
27	7		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы	Ь	Э
28	8		─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰	┥	┸
29	9																																
2A	10																																
2B	11																																
2C	12																																
2D	13		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	Ⅹ	
2E	14																																
2F	15																																
30	16		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾	鮎	或
31	17		院	陰	隠	韻	吋	右	宇	烏	羽	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂	云	運
32	18		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音	下	化	仮	何
33	19		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬	馨	蛙
34	20		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺	款	歓
35	21		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺	犠	疑
36	22		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興	蕎	郷
37	23		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍	郡	卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭	珪	型
38	24		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現	絃	舷
39	25		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構	江	洪
3A	26		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	些	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂	詐	鎖
3B	27		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕	讃	賛
3C	28		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉	湿	漆
3D	29		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十	従	戎
3E	30		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶	松	梢
3F	31		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申	疹	真
40	32		澄	摺	寸	世	瀬	畝	是	凄	制	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製	西	誠
41	33		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然	全	禅	繕	膳	糎	噌	塑	岨	措	曾	曽	楚
42	34		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜	他	多
43	35		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪	綻	耽
44	36		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗	直	朕
45	37		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼	転	顛
46	38		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠	鴇	匿
47	39		如	尿	韮	任	妊	忍	認	濡	禰	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃	粘	乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能	脳	膿
48	40		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判	半	反
49	41		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表	評	豹
4A	42		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮	粉	糞	紛	雰	文	聞	丙	併	兵	塀	幣	平
4B	43		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴	望	某
4C	44		漫	蔓	味	未	魅	巳	箕	岬	密	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	務	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	冥	名	命
4D	45		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	予	余	与
4E	46		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚	両	凌
4F	47		蓮	連	錬	呂	魯	櫓	炉	賂	路	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄	肋	録

注）　「茜」の JIS コードは 302B と読みます。
実際の使用には、“&H”をつけて、「&H302B」とします。

区 $	区	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	4A	4B	4C	4D	4E	4F	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	5A	5B	5C	5D	5E	5F
点		32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63
20	0																																
21	1	＼	～	‖	｜	…	‥	‘	’	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】	＋	－	±	×
22	2	∪	∩									∧	∨	￢	⇒	⇔	∀	∃												∠	⊥	⌒	∂
23	3		A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z					
24	4	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ	ぼ	ぽ	ま	み
25	5	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ	ボ	ポ	マ	ミ
26	6		α	β	γ	δ	ε	ζ	η	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω							
27	7	Ю	Я																а	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й	к	л	м	н
28	8	┼																															
29	9																																
2A	10																																
2B	11																																
2C	12																																
2D	13	㍉	㌔	㌢	㍍	㌘	㌧	㌃	㌶	㍑	㍗	㌍	㌦	㌣	㌫	㍊	㌻	㎜	㎝	㎞	㎎	㎏	㏄	㎡									㍻
2E	14																																
2F	15																																
30	16	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇	鞍	杏	以	伊	位	依	偉	囲	夷	委	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異	移	維	緯	胃
31	17	雲	荏	餌	叡	営	嬰	影	映	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越	閲	榎	厭	円
32	18	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓	蝦	課	嘩	貨
33	19	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額	顎	掛	笠	樫
34	20	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館	舘	丸	含	岸
35	21	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸	宮	弓	急	救
36	22	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊	芹	菌	衿	襟
37	23	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚	鶏	芸	迎	鯨
38	24	言	諺	限	乎	個	古	呼	固	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇	顧	鼓	五	互
39	25	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱	砿	鋼	閤	降
3A	26	裟	坐	座	挫	債	催	再	最	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁	載	際	剤	在
3B	27	酸	餐	斬	暫	残	仕	仔	伺	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯	施	旨	枝	止
3C	28	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺	尺	杓	灼	爵
3D	29	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循	旬	楯	殉	淳
3E	30	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔	詳	象	賞	醤
3F	31	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭	笥	諏	須	酢	図	厨
40	32	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙	接	摂	折	設
41	33	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想	捜	掃	挿	掻
42	34	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎	腿	苔	袋	貸
43	35	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断	暖	檀	段	男	談	値	知	地	弛	恥	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築	畜	竹	筑	蓄
44	36	沈	珍	賃	鎮	陳	津	墜	椎	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷	嬬	紬	爪	吊
45	37	点	伝	殿	澱	田	電	兎	吐	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴	怒	倒	党	冬
46	38	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁	頓	呑	曇	鈍
47	39	農	覗	蚤	巴	把	播	覇	杷	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配	倍	培	媒	梅
48	40	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	匪	卑	否	妃	庇
49	41	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻	敏	瓶	不	付	埠	夫	婦	富	冨	布	府	怖	扶	敷
4A	42	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁	鞭	保	舗	鋪
4B	43	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔	本	翻	凡	盆
4C	44	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅	免	棉	綿	緬	面	麺	摸	模	茂	妄	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙	目	杢	勿	餅
4D	45	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽	養	慾	抑	欲
4E	46	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟	瑠	塁	涙	累
4F	47	論	倭	和	話	歪	賄	脇	惑	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾	碗	腕												

区 $	区 ＼ 点 $	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	6A	6B	6C	6D	6E	6F	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	7A	7B	7C	7D	7E
		64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94
20	0																															
21	1	÷	＝	≠	＜	＞	≦	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥	＄	￠	￡	％	＃	＆	＊	＠	§	☆	★	○	●	◎	◇
22	2	∇	≡	≒	≪	≫	√	∽	∝	∵	∫	∬								Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶					◯
23	3		a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z				
24	4	む	め	も	ゃ	や	ゅ	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ	ゐ	ゑ	を	ん											
25	5	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ								
26	6																															
27	7	о	п	р	с	т	у	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э	ю	я													
28	8																															
29	9																															
2A	10																															
2B	11																															
2C	12																															
2D	13	〝	〟	№	㏍	℡	㊤	㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹	㍾	㍽	㍼	≒	≡	∫	∮	∑	√	⊥	∠	∟	⊿	∵	∩	∪		
2E	14																															
2F	15																															
30	16	萎	衣	謂	違	遺	医	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻	引	飲	淫	胤	蔭
31	17	園	堰	奄	宴	延	怨	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩	於	汚	甥	凹	央	奥	往	応
32	18	迦	過	霞	蚊	俄	峨	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔	恢	懐	戒	拐	改
33	19	橿	梶	鰍	潟	割	喝	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌	噛	鴨	栢	茅	萱
34	20	巌	玩	癌	眼	岩	翫	贋	雁	頑	顔	願	企	伎	危	喜	器	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机	旗	既	期	棋	棄
35	21	朽	求	汲	泣	灸	球	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁	禦	魚	亨	享	京
36	22	謹	近	金	吟	銀	九	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅	串	櫛	釧	屑	屈
37	23	劇	戟	撃	激	隙	桁	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌	建	憲	懸	拳	捲
38	24	伍	午	呉	吾	娯	後	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功	効	勾	厚	口	向
39	25	項	香	高	鴻	剛	劫	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑	忽	惚	骨	狛	込
3A	26	材	罪	財	冴	坂	阪	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜	鮭	笹	匙	冊	刷
3B	27	死	氏	獅	祉	私	糸	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児	字	寺	慈	持	時
3C	28	酌	釈	錫	若	寂	弱	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹	綬	需	囚	収	周
3D	29	準	潤	盾	純	巡	遵	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐	恕	鋤	除	傷	償
3E	30	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲	醸	錠	嘱	埴	飾
3F	31	逗	吹	垂	帥	推	水	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉	椙	菅	頗	雀	裾
40	32	窃	節	説	雪	絶	舌	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎	煽	旋	穿	箭	線
41	33	操	早	曹	巣	槍	槽	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗	霜	騒	像	増	憎
42	34	退	逮	隊	黛	鯛	代	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁	諾	茸	凧	蛸	只
43	35	逐	秩	窒	茶	嫡	着	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯	丁	兆	凋	喋	寵
44	36	釣	鶴	亭	低	停	偵	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締	艇	訂	諦	蹄	逓
45	37	凍	刀	唐	塔	塘	套	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等	答	筒	糖	統	到
46	38	奈	那	内	乍	凪	薙	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠	軟	難	汝	二	尼	弐	迩	匂	賑	肉	虹	廿	日	乳	入
47	39	楳	煤	狽	買	売	賠	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠	爆	縛	莫	駁	麦
48	40	彼	悲	扉	批	披	斐	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微	枇	毘	琵	眉	美
49	41	斧	普	浮	父	符	腐	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗	伏	副	復	幅	服
4A	42	圃	捕	歩	甫	補	輔	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖	抱	捧	放	方	朋
4B	43	摩	磨	魔	麻	埋	妹	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭	繭	麿	万	慢	満
4C	44	尤	戻	籾	貰	問	悶	紋	門	匁	也	冶	夜	爺	耶	野	弥	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮	鑓	愉	愈	油	癒
4D	45	沃	浴	翌	翼	淀	羅	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧	利	吏	履	李	梨	理	璃
4E	46	類	令	伶	例	冷	励	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐	漣	煉	簾	練	聯
4F	47																															

JIS-90第二水準漢字一覧表

区$ ＼ 点$	区 ＼ 点	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	2A	2B	2C	2D	2E	2F	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	3A	3B	3C	3D	3E	3F
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
50	48		弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍	于	亞	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆	仂	仗
51	49		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔	兢	竸
52	50		辧	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳	匸	區
53	51		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀	咯	喊
54	52		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆	埔	埒
55	53		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾	嫋	嫂
56	54		屐	屏	屓	屬	屮	乢	屶	屹	岌	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕	崗	嵜
57	55		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌	彎	弯
58	56		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱	愍	愎
59	57		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿	拆	擔
5A	58		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴	攵	攷
5B	59		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤	枉	杰
5C	60		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽	楙	椰
5D	61		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃	歉	歐
5E	62		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊	涵	淇
5F	63		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬	濔	濘
60	64		燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃	狆	狄
61	65		瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	甞	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚	畩	畤
62	66		癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻	眈	眇
63	67		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉	秕	秧
64	68		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏	箴	篆
65	69		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵	緇	綽
66	70		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹	羮	羶
67	71		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀	臂	膺
68	72		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉	莨	菴
69	73		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹	蘊	蘓
6A	74		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒	蠑	蠖
6B	75		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸	訃	訖
6C	76		譟	譬	譯	譫	譽	讀	讌	讎	讒	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊	貍	貎
6D	77		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆	躱	躾
6E	78		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈	郛	鄂
6F	79		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔	鐓	鐃
70	80		陜	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆	霈	霓
71	81		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅	饐	饋
72	82		髷	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟	鮠	鮨
73	83		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭	鷯	鷽
74	84		堯	槇	遙	瑤																											
75	85																																
76	86																																
77	87																																
78	88																																
79	89																																
7A	90																																
7B	91																																
7C	92																																
7D	93																																
7E	94																																

区 $ \ 点 $	40 32	41 33	42 34	43 35	44 36	45 37	46 38	47 39	48 40	49 41	4A 42	4B 43	4C 44	4D 45	4E 46	4F 47	50 48	51 49	52 50	53 51	54 52	55 53	56 54	57 55	58 56	59 57	5A 58	5B 59	5C 60	5D 61	5E 62	5F 63
50 48	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛	俑	俚	俐	俤
51 49	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩	冪	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛	几	處	凩	凭
52 50	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨	叭	叺	吁	吽
53 51	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營	嘴	嘶	嘲	嘸
54 52	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑	壗	壙	壘	壥
55 53	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵	學	斈	孺	宀
56 54	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍	巓	巒	巖	巛
57 55	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝	悳	忿	怡	恠
58 56	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖	憇	憬	憔	憚
59 57	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏	掉	掟	掵	捫
5A 58	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无	旡	旱	杲	昊
5B 59	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩	桀	桍	栲	桎
5C 60	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂	樛	槿	權	槹
5D 61	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟	毬	毫	毳	毯
5E 62	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟	湃	渺	湎	渤
5F 63	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳	炮	烟	烋	烝
60 64	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻	獺	珈	玳	珎
61 65	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙	痣	痞	痾	痿
62 66	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼	瞽	瞻	矇	矍
63 67	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘	窖	窩	竈	窰
64 68	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐	籘	籟	籤	籖
65 69	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻	縵	縹	繃	縷
66 70	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘	聚	聟	聢	聨
67 71	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與	舊	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘	艝	艚	艟	艤
68 72	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮	蒂	葩	葆	萬
69 73	蘋	蘓	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫	蛔	蛞	蛩	蛬
6A 74	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	袞	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢	袍	袤	袰	袿
6B 75	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂	諚	諫	諳	諧
6C 76	貎	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓	賍	贔	贖	赧
6D 77	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟	輛	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉	轆	轎	轗	轜
6E 78	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖	釟	釡	釛	釼
6F 79	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊	閔	閖	閘	閙
70 80	雯	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁	靺	鞆	鞋	鞏
71 81	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷	驅	驂	驀	驃
72 82	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮	鰛	鰥	鰤	鰡
73 83	鷭	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸	麪	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝	黠	黥	黨	黯
74 84																																
75 85																																
76 86																																
77 87																																
78 88																																
79 89																																
7A 90																																
7B 91																																
7C 92																																
7D 93																																
7E 94																																

区 \ 点 $		60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	6A	6B	6C	6D	6E	6F	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	7A	7B	7C	7D	7E
$		64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94
50	48	俥	倚	倨	倔	倪	倥	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸	傀	傚	傅	傴	傲
51	49	凰	凵	凾	刄	刋	刔	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔	劒	剱	劈	劑	辨
52	50	呀	听	吭	吼	吮	吶	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸	咥	咬	哄	哈	咨
53	51	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮	囹	圀	囿	圄	圉
54	52	壜	壤	壟	壯	壺	壹	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘	奢	奠	奧	奬	奩
55	53	它	宦	宸	寃	寇	寉	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸	尹	屁	屆	屎	屓
56	54	巫	已	巵	帋	帚	帙	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠	廁	廂	廈	廐	廏
57	55	怙	怐	怩	怎	怱	怛	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙	悁	悍	惧	悃	悚
58	56	憊	憑	憫	憮	懌	懊	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈	戉	戍	戌	戔	戛
59	57	捩	掾	揩	揀	揆	揣	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕	撓	撥	撩	撈	撼
5A	58	昃	昊	杳	昵	昶	昴	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝	曁	暹	曉	暾	暼
5B	59	梳	栫	桙	档	桷	桿	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘	椢	椦	棡	椌	棍
5C	60	榭	槧	樅	榱	樞	槭	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐	檍	檠	檄	檢	檣
5D	61	麾	氈	氓	气	氛	氤	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗	泅	泝	沮	沱	沾
5E	62	滿	渝	游	溂	溪	溘	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿	滲	漱	滯	漲	滌
5F	63	烙	焉	烽	焜	焙	煥	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎	燠	燬	燧	燵	燼
60	64	玻	珀	珥	珮	珞	璢	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞	璧	瓊	瓏	瓔	珱
61	65	痼	瘁	痰	痺	痲	痳	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨	癩	癪	癧	癬	癰
62	66	蠱	矚	矜	矣	矮	矼	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔	碾	碼	磅	磊	磬
63	67	窶	竅	竄	窿	邃	竇	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙	笞	笵	笨	笶	筐
64	68	籥	籬	籵	粃	粐	粤	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯	糲	糴	糶	糺	紆
65	69	縲	縺	繧	繝	繖	繞	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖	纎	纛	纜	缸	缺
66	70	聳	聲	聰	聶	聹	聽	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱	脛	脩	脣	脯	腋
67	71	艢	艨	艪	艫	舮	艱	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹	苞	茆	苜	茉	苙
68	72	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈
69	73	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙
6A	74	袱	袿	裄	裔	裘	裙	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶	褸	襌	褝	襠	襞
6B	75	諤	諱	謔	諠	諢	諷	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎	證	譖	譛	譚	譫
6C	76	赭	赱	赳	趁	趙	跂	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟	蹂	踵	踰	踴	蹊
6D	77	轢	轣	轤	辜	辟	辣	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋	逧	逶	逵	逹	迸
6E	78	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷	鋩	錏	鋺	鍄	錮
6F	79	閠	閨	閧	閭	閼	閻	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌	陏	陋	陷	陜	陞
70	80	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆	顏	顋	顫	顯	顰
71	81	驃	驕	驍	驛	驗	驟	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯	髫	髮	髴	髱	髷
72	82	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈
73	83	黴	黶	黷	黹	黻	黼	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷	齲	齶	龕	龜	龠
74	84																															
75	85																															
76	86																															
77	87																															
78	88																															
79	89																															
7A	90																															
7B	91																															
7C	92																															
7D	93																															
7E	94																															

■　ご注意

このプリンタが印字する漢字は JIS C6226-1983（情報交換用漢字符号系）に準拠していますが、JIS C6234-1983（ドットプリンタ用 24 ドット字形）は採用していません。したがって、コンピュータ本体の表示画面の文字および記号なども必ずしも一致いたしませんのでご了承ください。
JIS C6234-1983 の字体との違いはおおむね次の表の通りです。

JIS コード（区点）	プリンタ	JIS	JIS コード（区点）	プリンタ	JIS	JIS コード（区点）	プリンタ	JIS
3022(1602)	啞	唖	3979(2589)	甄	甄	4578(3788)	禱	祷
303B(1627)	飴	飴	3A67(2671)	榊	榊	4642(3834)	瀆	涜
306E(1678)	溢	溢	3A74(2684)	柵	柵	4654(3852)	灘	灘
3135(1721)	欝	欝	3B2A(2710)	鯖	鯖	466A(3874)	楢	楢
3139(1725)	厩	厩	3B2C(2712)	錆	錆	4729(3909)	禰	祢
313D(1729)	噂	噂	3B39(2725)	珊	珊	4739(3925)	囊	嚢
3142(1734)	餌	餌	3C48(2840)	屢	屡	482E(4014)	潑	溌
316B(1775)	焰	焔	3D2B(2911)	繡	繍	4830(4016)	醱	醗
322A(1810)	鷗	鴎	3D36(2922)	酋	酋	4B4B(4343)	頰	頬
327A(1890)	恢	恢	3E55(3053)	蔣	蒋	4B70(4380)	鱒	鱒
336B(1975)	葛	葛	3E5F(3063)	醬	醤	4C4D(4445)	麵	麺
337A(1990)	嚙	噛	3F2A(3110)	蝕	蝕	4C5F(4463)	餠	餅
3442(2034)	澗	澗	4066(3270)	蟬	蝉	4D32(4518)	猷	猷
3540(2132)	祇	祇	4139(3325)	噌	噌	4D69(4573)	萊	莱
3622(2202)	俠	侠	4169(3373)	瘦	痩	4E7B(4691)	煉	煉
362A(2210)	卿	卿	424D(3445)	驒	騨	4F31(4717)	榔	榔
366D(2277)	軀	躯	4263(3467)	黛	黛	4F39(4725)	蠟	蝋
367B(2291)	櫛	櫛	432E(3514)	樽	樽	5622(5402)	屛	屏
3737(2323)	祁	祁	433D(3529)	簞	箪	5960(5764)	捩	捩
3771(2381)	倦	倦	444F(3647)	摑	掴	5A39(5825)	攢	攅
377E(2394)	捲	捲	4522(3702)	鄭	鄭	6546(6938)	綟	綟
3834(2420)	鹼	鹸	4536(3722)	塡	填			
396D(2577)	麴	麹	453F(3731)	顚	顛			

◆ 第一水準と第二水準が入れ替わった文字

コード（区点）	新第1水準	新第2水準	コード（区点）	コード（区点）	新第1水準	新第2水準	コード（区点）
3083（1619）	鯵	鰺	724D（8245）	4128（3308）	賎	賤	6C4D（7645）
3229（1809）	鴬	鶯	7274（8284）	445B（3659）	壷	壺	5464（5268）
3342（1934）	蛎	蠣	695A（7358）	4557（3755）	砺	礪	626A（6674）
3349（1941）	撹	攪	5978（5788）	456E（3778）	梼	檮	5B6D（5977）
3376（1986）	竃	竈	635E（6762）	4573（3783）	涛	濤	5E39（6225）
3443（2035）	潅	灌	5E75（6285）	4676（3886）	迩	邇	6D6E（7778）
3452（2050）	諌	諫	6B5D（7561）	4768（3972）	蝿	蠅	6A24（7404）
375B（2359）	頚	頸	7074（8084）	4930（4116）	桧	檜	5B58（5956）
395C（2560）	砿	礦	6268（6672）	4B79（4389）	侭	儘	5056（4854）
3C49（2841）	蕊	蘂	6922（7302）	4C79（4489）	薮	藪	692E（7314）
3F59（3157）	靭	靱	7057（8055）	4F36（4722）	篭	籠	6446（6838）

◆ 第二水準に追加された文字

コード（区点）	追加文字	コード（区点）	追加文字
7421（8401）	尭	7424（8404）	瑤
7422（8402）	槙	7425（8405）	凜
7423（8403）	遥	7426（8406）	熙

注）　「凜」と「熙」の2文字はESC/Pモードではサポートされていません。

ソフトウェア編

第 1 章

ソフトウェアの概要

この章では、プリンタに添付されているソフトウェアの基本的なことがらおよびインストール方法について説明します。

添付ソフトウェアの機能

◆ プリンタドライバ

Windows 環境でプリンタ装置をお使いいただくには、プリンタドライバが必要になります。
FMPR3000G/2000G プリンタ装置では、Windows 98/Me/NT 4.0/2000/XP/2003/Vista/2008/7/2008 R2 用に専用のプリンタドライバを用意しています。
プリンタドライバのインストール方法および設定方法については、「ソフトウェア編」の「第１章 ソフトウェアの概要」、「第２章 プリンタドライバの設定」をお読みください。

◆ FMPR プリンタユーティリティ

Windows 環境でプリンタ装置をより使いやすくするソフトウェアで、プリンタ装置の状態を監視する FMPR ステータスモニタとプリンタ装置の機能設定を行う FMPR リモートパネルがあります。

ガイド

- プリンタとの接続インターフェースが、パラレルまたは USB 接続の場合、プリンタドライバの双方向通信機能を有効に設定しておく必要があります。
- FMPR プリンタユーティリティは、パラレル→USB など変換ケーブルで接続している場合との組み合わせでは、動作しません。

○FMPR ステータスモニタ

「FMPR ステータスモニタ」は、パソコンとプリンタ間での双方向通信機能を利用して動作するユーティリティです。
「FMPR ステータスモニタ」は、パラレルまたは USB インターフェースで動作します。「FMPR ステータスモニタ」をパソコンにインストールし起動すると、プリンタにエラーが発生したときにパソコン画面にエラー情報、対処方法がポップアップ表示されます。
「FMPRステータスモニタ」のインストール方法および設定方法については、本章の「FMPRプリンタユーティリティのインストール」(327ページ)をお読みください。「FMPRステータスモニタ」の機能については、「第３章　FMPR ステータスモニタ」(399 ページ)をお読みください。

ガイド

- FMPR ステータスモニタは、FMPR2000G プリンタ装置では動作しません。

○FMPR リモートパネル

「FMPR リモートパネル」とは、プリンタの機能設定を行うことができるユーティリティソフトウェアです。
「FMPR リモートパネル」は、パラレル、USB または LAN（オプションの FMPR-LN1G を使用し、添付の PR-PortManager が動作している場合）インターフェースで動作し、パソコンとプリンタ間での双方向通信機能を利用して動作します。
「FMPRリモートパネル」のインストール方法および設定方法については、本章の「FMPRプリンタユーティリティのインストール」(327ページ)をお読みください。「FMPRリモートパネル」の機能については、「第４章　FMPRリモートパネル」(405 ページ)をお読みください。

ガイド

- LAN（オプションの FMPR-LN1G 使用時）接続は、FMPR3000G プリンタ装置のみです。
- プリンタとの接続インターフェースが LAN（オプションの FMPR-LN1G 使用時）接続の場合は、プリンタドライバの双方向通信機能を無効に設定してください。
- FMPR リモートパネルは、FMPR3000G 用と FMPR2000G 用とがあります。互換性はありませんので、プリンタ装置に合った FMPR リモートパネルをお使いください。

添付ソフトウェアの動作環境

対象機種	対応ＯＳ	
FMV シリーズ 各社 DOS/V 互換機	Windows 7	(日本語版)
	Windows Server 2008 R2	(日本語版)
	Windows Vista	(日本語版)
	Windows Server 2008	(日本語版)
	Windows XP	(日本語版)
	Windows Server 2003	(日本語版)
	Windows 2000	(日本語版)
	Windows NT 4.0	(日本語版)
	Windows Me	(日本語版)
	Windows 98	(日本語版)

注意事項

- パソコンの BIOS 設定について
  本プリンタを接続するパソコンのパラレルポート設定は必ず「Bidirectional（双方向）」にしてご使用ください。
  確認および設定の方法については、パソコンのマニュアルを参照してください。
- FUJITSU FMPR3000G について
  FUJITSU FMPR3000G は、Windows 95 には対応しておりません。
- FUJITSU FMPR2000G について
  FUJITSU FMPR2000G は、Windows 95/2008/2008 R2 には対応しておりません。
- USB 接続
  本プリンタの USB インターフェースは、USB1.1 仕様です。
  本プリンタを接続するパソコンが USB 機器に対応していることを確認してください。
  確認方法は、パソコンのマニュアルを参照してください。

プリンタの動作環境

- 本プリンタドライバはESC/Pモードで動作します。プリンタのモード設定を必ず「ESC/Pモード」にしてご使用ください。
- FMPR3000G/FMPR2000G用プリンタドライバは、モノクロ専用のプリンタドライバです。
- MetaFrame環境で運用する場合には、添付CD-ROM内の指定ドライバを使用してください。詳細は、CD-ROM内のMetaFrameフォルダのReadme.txtを参照してください。

パソコンの接続方法

パソコンとプリンタの接続方法、およびプリンタドライバのインストール手順は、接続するインターフェースによって異なります。

○パラレルインターフェースによる接続

・パソコン
双方向パラレルインターフェースをサポートする PC/AT 互換機

・OS
Windows 98/Me/NT 4.0/2000/XP/2003/Vista/2008/7/2008 R2

・セットアップ方法
プリンタドライバのセットアップ方法は、本書の「プリンタドライバのインストール」（218ページ）をお読みください。

○USB インターフェースによる接続

・パソコン
USB1.1 インターフェースを内蔵する PC/AT 互換機

・OS
Windows 98/Me/2000/XP/2003/Vista/2008/7/2008 R2

・セットアップ方法
プリンタドライバのセットアップ方法は、本書の「プリンタドライバのインストール」（218ページ）をお読みください。

ガイド

・本プリンタドライバは、他機種のプリンタで使用することはできません。また同様に、他機種用のプリンタドライバを本プリンタで使用することはできません。
・以下のオプションを使用すると、LAN 接続が可能になります。

FMPR3000G	プリンタ LAN カード（FMPR-LN1G）

詳細は、「オプション品のご紹介」（26 ページ参照）および各オプションのマニュアルをお読みください。

CD-ROM の内容

■　プリンタドライバセットアップディスク

「プリンタドライバセットアップディスク」は以下の内容になっています。

プリンタドライバの Readme.txt には、プリンタドライバに関する補足情報や、最新情報が記載されています。プリンタドライバをセットアップする際には、必ずお読みください。

```
FMPR シリーズセットアップディスク
│
├─ Readme.txt                 プログラムの説明が書かれているファイルです。　はじめにお読みください。
│
├─ FMPRSTART.EXE              Windows 7/2008 R2 用のプリンタドライバインストールプログラムです。
├─ FMPRSTART.INI              Windows 7/2008 R2 用のプリンタドライバインストールプログラム情報
│                             ファイルです。
├─ はじめにお読みください.pdf Windows 7/2008 R2 用のプリンタドライバインストールガイドです。
│                             Windows 7/2008 R2 にプリンタドライバをインストールするときは、はじめにお読
│                             みください。
├─ NR3SETUP.EXE               FMPR3000G/2000G の Windows 7/2008 R2 用のプリンタドライバのインストー
│                             ルプログラムです。
│
├─ Drivers                    プリンタドライバが格納されているフォルダです。
│   │
│   ├─ FMPR3000               FMPR3000G プリンタドライバが格納されているフォルダです。
│   │   │
│   │   ├─ Win2k              Windows 2000/XP/2003/Vista/2008/7/2008 R2 用のプリンタドライバが
│   │   │   │                 格納されているフォルダです。
│   │   │   └─ Readme.txt     プログラムの説明が書かれているファイルです。
│   │   │
│   │   ├─ Win98Me            Windows 98/Me 用のプリンタドライバが格納されているフォルダです。
│   │   │   └─ Readme.txt     プログラムの説明が書かれているファイルです。
│   │   │
│   │   ├─ Winnt40            Windows NT 4.0 用のプリンタドライバが格納されているフォルダです。
│   │   │   └─ Readme.txt     プログラムの説明が書かれているファイルです。
│   │   │
│   │   ├─ MetaFrame          MetaFrame 対応プリンタドライバ が格納されているフォルダです。
│   │   │   ├─ Readme.txt     MetaFrame プログラムの説明が書かれているファイルです。
│   │   │   ├─ Winnt 40       Windows NT 4.0 用のプリンタドライバが格納されているフォルダです。
│   │   │   │   └─Readme.txt  プログラムの説明が書かれているファイルです
│   │   │   └─ Win2k          Windows 2000/2003 用のプリンタドライバが格納されているフォルダです。
│   │   │       └─Readme.txt  プログラムの説明が書かれているファイルです。
│   │   │
│   │   └─ Readme.txt         プリンタを共有するときの説明が書かれているファイルです。
│   │
```

└ FMPR2000	FMPR2000G プリンタドライバが格納されているフォルダです。
├ Win2k	Windows 2000/XP/2003/Vista/7 用のプリンタドライバが格納されているフォルダです。
└ Readme.txt	プログラムの説明が書かれているファイルです。
├ Win98Me	Windows 98/Me 用のプリンタドライバが格納されているフォルダです。
└ Readme.txt	プログラムの説明が書かれているファイルです。
├ Winnt40	Windows NT 4.0 用のプリンタドライバが格納されているフォルダです。
└ Readme.txt	プログラムの説明が書かれているファイルです。
└ MetaFrame	MetaFrame 対応プリンタドライバ　が格納されているフォルダです。
├ Readme.txt	MetaFrame プログラムの説明が書かれているファイルです。
├ Winnt 40	Windows NT 4.0 用のプリンタドライバが格納されているフォルダです。
└ Readme.txt	プログラムの説明が書かれているファイルです
└ Win2k	Windows 2000/2003 用のプリンタドライバが格納されているフォルダです。
└ Readme.txt	プログラムの説明が書かれているファイルです。
├ FMPRUTY	
├ FMPR3000	FMPR3000G プリンタユーティリティが格納されているフォルダです。
└ Setup.exe	ユーティリティソフトのセットアッププログラムです。FMPR　ステータスモニタと FMPR リモートパネルがインストールされます。
└ FMPR2000	FMPR2000G プリンタユーティリティが格納されているフォルダです。
└ Setup.exe	ユーティリティソフトのセットアッププログラムです。FMPR　リモートパネルがインストールされます。
└ Manual	PDF 形式のオンラインマニュアルが格納されているフォルダです。
└ INDEX.pdf	FMPR3000G/2000G プリンタのオンラインマニュアルです。

ソフトウェアのインストール

「プリンタドライバ セットアップディスク」にはプリンタドライバとFMPR プリンタユーティリティが格納されています。

インストールは、

1. プリンタドライバのインストール
2. FMPR プリンタユーティリティのインストール

の順に行ってください。

ガイド

・末尾に「G」の付く機種名のプリンタドライバは、同一名称の「G」の付かないプリンタドライバを選択してください。

プリンタドライバのインストール

■ Windows 7/2008 R2 のとき

ここでは、Windows 7/2008 R2 が動作するパソコンにプリンタドライバをインストールする方法について、Windows 7 Professional の画面を例に説明しています。
インストール手順は、プリンタをプラグアンドプレイで検出するか、プリンタフォルダから手動で指定するかによって異なります。それぞれの手順に従ってください。
以下の手順では、FMPR3000G を例に説明しています。
FMPR2000G プリンタをお使いの場合は、“FMPR3000”を“FMPR2000”と読み替えてください。

ガイド

- ご使用のパソコンにインストールされている Windows 7/2008 R2 のバージョンや Edition によっては、インストール手順や表示内容が異なる場合があります。このときは、表示内容に従ってインストールしてください。
- 64 ビット版 Windows 7 をお使いの場合も、本手順でインストールしてください。
- プリンタドライバセットアップディスクを準備してください。
- インストールを行う際には、必ず Administrator（コンピュータの管理者）権限を持ったアカウントでログオンしてください。
- 異なるバージョンの FUJITSU FMPR3000、FUJITSU FMPR2000 プリンタドライバがインストールされている場合は、削除してからインストールしてください。
- ここでは、FUJITSU FMPR3000G、FUJITSU FMPR2000G プリンタがローカル接続されたパソコンにプリンタドライバをインストールする手順を説明しています。ネットワーク接続や共有プリンタ(他のパソコンに接続されているプリンタ)でのインストール方法は、Windows 7/2008 R2 の取扱説明書、ヘルプ、およびプリンタ LAN カード FMPR-LN1G（オプション）のマニュアルを参照してください。
- FUJITSU FMPR2000G は、Windows Server 2008 R2 には対応しておりません。

◆　プラグアンドプレイで検出する場合

Windows 7/2008 R2 では、「FMPR3000G/2000G プリンタドライバセットアップ」からプリンタドライバのインストーラを起動してインストールを行います。

お願い

・プリンタとパソコンを接続する前に、セットアッププログラムを使用して、プラグアンドプレイの準備(プリンタドライバを特定の場所に準備)した上で、プラグアンドプレイ(パソコンとプリンタを接続)により、プリンタドライバをインストールする必要があります。
・プラグアンドプレイの準備をする前に、プリンタとパソコンを接続してしまったときは、『ソフトウェア編』の「第５章　こんなときは」(417 ページ)を参照してください。

ガイド

・プラグアンドプレイはプリンタがパソコンに直接つながっている場合のみ行われます。
・インストール中、「ユーザーアカウント制御」ダイアログに、「次の不明な発行元からのプログラムにこのコンピューターへの変更を許可しますか？」と表示される場合がありますので、〔はい〕をクリックしてください。

1 **コンピュータの管理者権限を持ったユーザで Windows 7 または Windows Server 2008 R2 にログオンする**

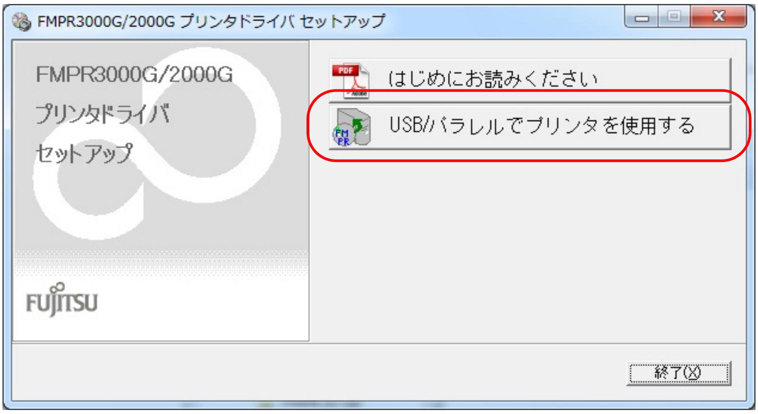
2 **セットアップディスクをパソコンの CD-ROM ドライブにセットする**

「エクスプローラ」などを使用して CD-ROM を開き、一番上の階層にある「FMPRSTART.EXE」をダブルクリックしてください。

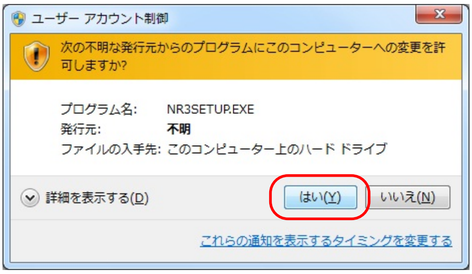
ガイド

・ホームページからダウンロードした最新版のプリンタドライバをお使いになるときは、ダウンロードしたドライバデータフォルダ内の「FMPRSTART.EXE」をダブルクリックしてください。

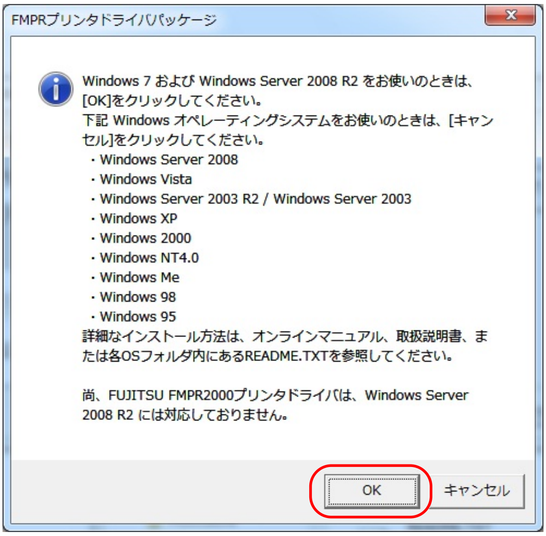
3 「FMPR3000G/2000G プリンタドライバセットアップ」の画面が表示されたら、[USB/パラレルでプリンタを使用する]をクリックする



4 「次の不明な発行元からのプログラムにこのコンピューターへの変更を許可しますか？」と表示されたら、〔はい〕を選択する



5　「FMPR プリンタドライバパッケージ」の画面が表示されますので、〔OK〕ボタンをクリックする



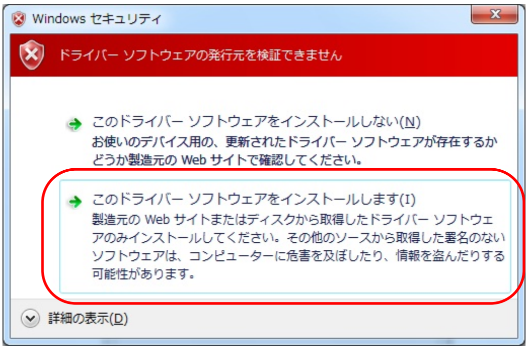
6　「インストールするプリンタドライバを選択してください。」の画面が表示されたら、表示メニューに従って、インストールするプリンタドライバを選択し、〔OK〕ボタンをクリックする



ガイド

・プリンタドライバを追加しないときは、「終了する」を選択します。終了後に再度プリンタドライバをインストールしたいときは、手順 *1* からやり直してください。

7 「Windows セキュリティ」画面に、「ドライバーソフトウェアの発行元を検証できません」と表示されますが、〔このドライバーソフトウェアをインストールします〕をクリックする

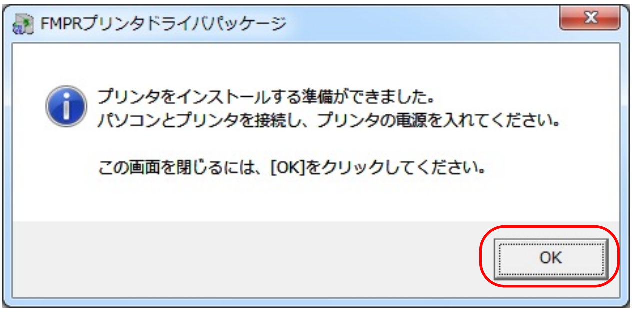


8 ファイルのコピーが開始される

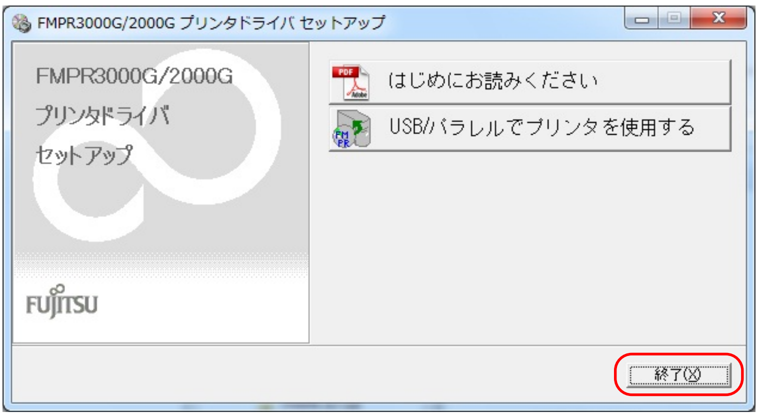
ガイド

・手順 *9* の画面が表示されるまで、お待ちください。

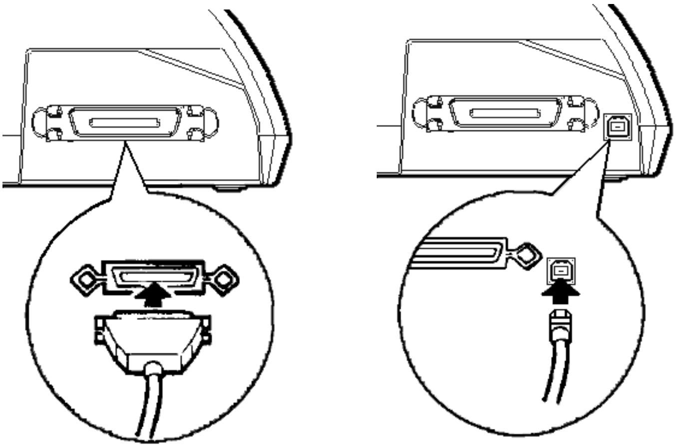
9 「プリンタをインストールする準備ができました。」と、プラグアンドプレイの準備が完了したことを示す画面が表示されたら、〔OK〕をクリックする



10 「FMPR3000G/2000G プリンタドライバセットアップ」画面に戻りますので、〔終了〕をクリックする



１１ プリンタの電源が OFF になっていることを確認し、プリンタとパソコンを USB ケーブルまたはパラレルインターフェースケーブルで接続し、プリンタの電源を入れる



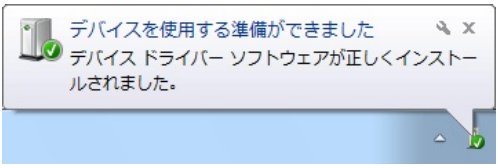
１２ 画面右下の通知領域に「デバイスドライバーソフトウェアをインストールしています」と表示され、しばらくすると、「FUJITSU FMPR3000 デバイスドライバーソフトウェアが正しくインストールされました。」と表示される



ガイド

・プリンタは、”FUJITSU FMPR3000”として表示されます。
FUJITSU FMPR2000G をお使いのときは、”FUJITSU FMPR2000”と表示されます。

・USB インターフェースで接続したときは、「デバイスを使用する準備ができました。」と表示されます。



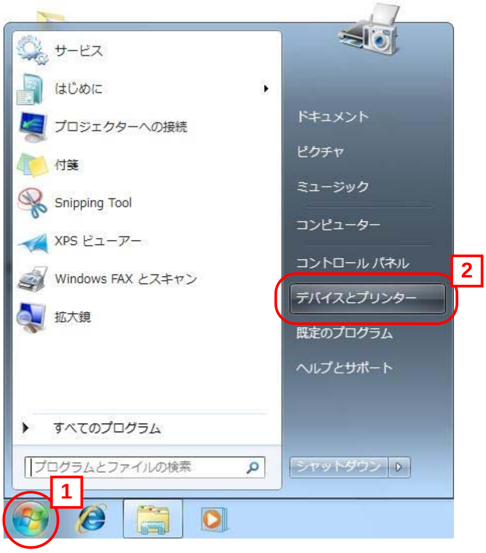
１３　〔スタート〕→〔デバイスとプリンター〕を選択し、「プリンターとFAX」部にプリンタアイコンが追加されていることを確認する

これで、プリンタドライバのインストールは完了です。



ガイド

・〔デバイスとプリンター〕を開く順序は、下記の通りです。



◆ プリンタフォルダからのインストール

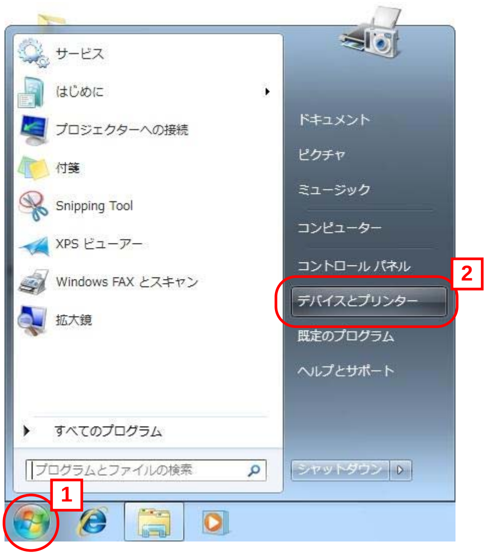
Windows 7/2008 R2 でのプリンタドライバインストールは、プラグアンドプレイで検出する方法を推奨します。
ここでは、Windows 7 Professional にプリンタフォルダからプリンタドライバをインストールするときの画面を例に説明しています。

ガイド

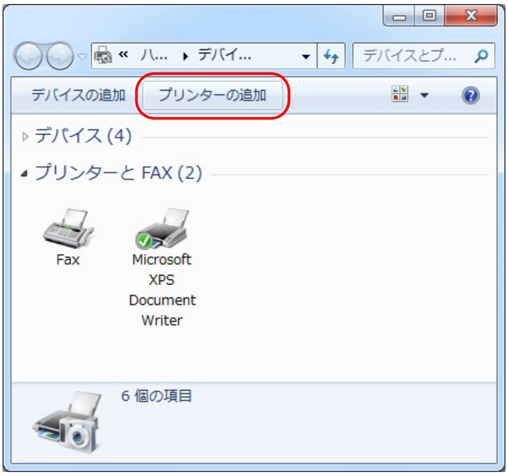
- Windows Server 2008 R2 にプリンタドライバを手動でインストールするときも、本手順に従ってください。
- FUJITSU FMPR2000G は、Windows Server 2008 R2 には対応しておりません。

1 コンピュータの管理者権限を持ったユーザで Windows 7 または Windows Server 2008 R2 にログオンする

2 〔スタート〕→〔デバイスとプリンター〕を選択し、プリンタフォルダを表示する

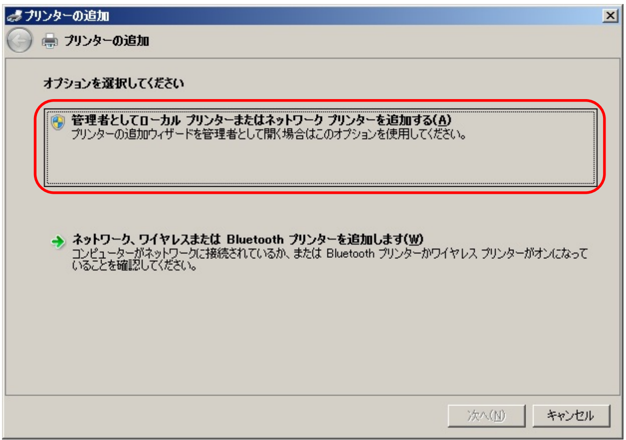


3 〔デバイスとプリンター〕フォルダの、〔プリンターの追加〕を選択する

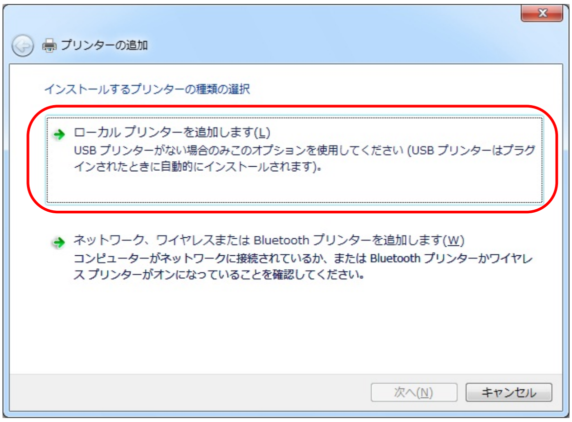


ガイド

・Windows Server 2008 R2 では、〔プリンターの追加〕を選択した後に、下記画面が表示される場合があります。
下記画面が表示されたときは、「管理者としてローカルプリンターまたはネットワークプリンターを追加する」をクリックしてください。



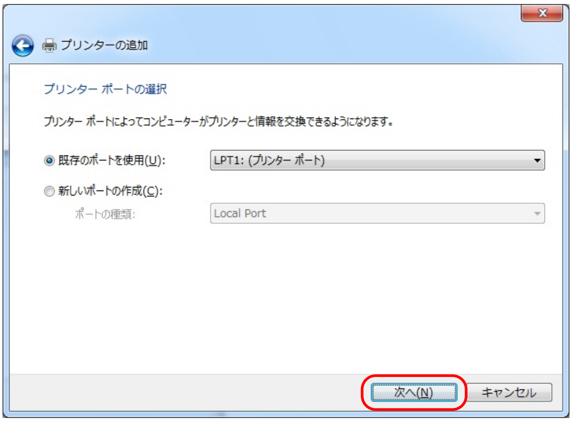
4 「プリンタの追加」ウィザード画面が表示されたら、〔ローカルプリンタを追加します〕を選択する



ガイド

- スタンドアロン(パソコンとプリンタを 1 対 1 で接続)のときや、パソコンをプリントサーバとして使うときや、印刷先（ポート）を後で変更する場合は、「ローカルプリンターを追加します」を選択してください。なお、正しい印刷先に設定するまでテストページ等の印刷は行わないでください。
- 「ネットワーク、ワイヤレスまたは Bluetooth プリンタを追加します」を選んでインストールするには、プリントサーバ上に、対応するプリンタドライバがあらかじめインストールされている必要があります。
  また、「代替ドライバとネットワークインストール」はサポートしていません。

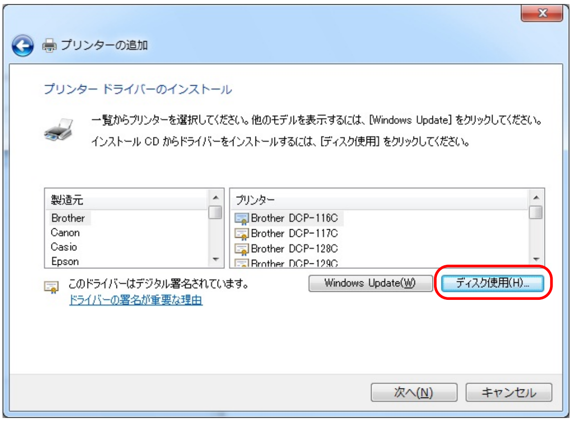
5 使用するプリンタポートを選択し、〔次へ〕をクリックする



ガイド

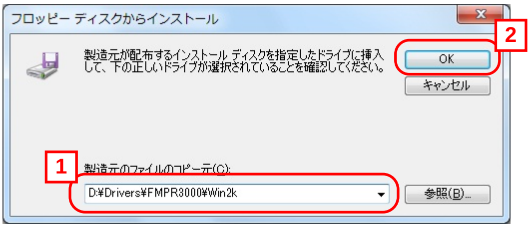
- 〔既存のポートを使用〕の一覧に、使用するポートが存在しないなど、ポートの準備が整っていないときは、仮のポートとしてローカルポート（[LPT1: プリンターポート]）などを選択してください。

6 「プリンタードライバーのインストール」画面が表示されますので添付のプリンタドライバセットアップディスクをパソコンの CD-ROM ドライブにセットして、〔ディスク使用〕をクリックする



7 「製造元のファイルのコピー元」に、「D:¥Drivers¥FMPR3000¥Win2k」と入力するか、〔参照〕をクリックして「D:¥Drivers¥FMPR3000¥Win2k」を選択する

入力が終わったら〔OK〕をクリックする



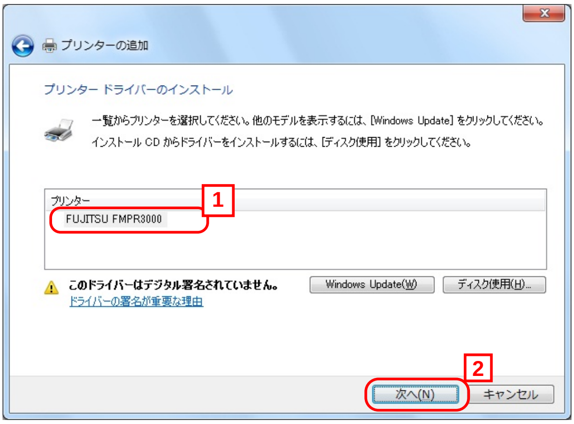
注 1）上記は CD-ROM ドライブが D：のときの入力例です。ご使用の環境に合わせてドライブを変更してください。

注 2）64 ビット版 Windows 7、および Windows Server 2008 R2 をお使いのときも、本フォルダを指定してください。

注 3）FMPR2000G のときは、Drivers¥FMPR2000¥Win2k と入力してください。

注 4）弊社ホームページよりダウンロードした最新版のプリンタドライバをお使いになるときは、(本ドライバデータのあるフォルダ名)¥Drivers¥FMPR3000¥Win2k に変更してください。FMPR2000G をお使いのときは、(本ドライバデータのあるフォルダ名)¥Drivers¥FMPR2000¥Win2k に変更してください。

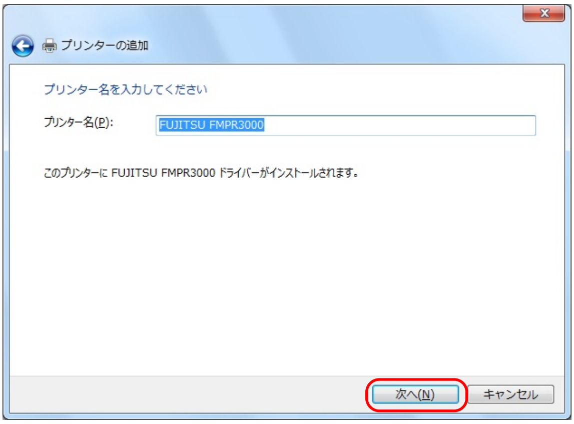
8 プリンタを選択して〔次へ〕をクリックする



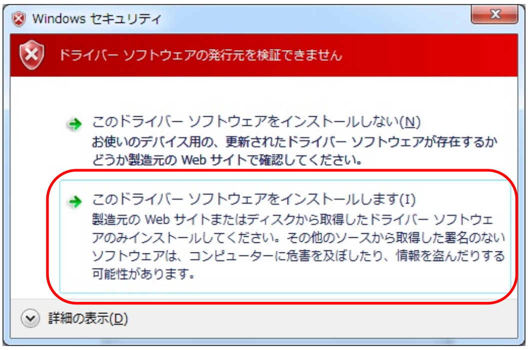
ガイド

- 「どのバージョンのドライバーを使用しますか？　既にこのプリンターのドライバーがインストールされていることを検出しました。」という画面が表示される場合は、「現在のドライバーを置き換える」を選択します。

9 プリンタ名を入力し、〔次へ〕をクリックする



１０　「Windows セキュリティ」画面に、「ドライバーソフトウェアの発行元を検証できません」と表示されますが、〔このドライバーソフトウェアをインストールします〕をクリックする

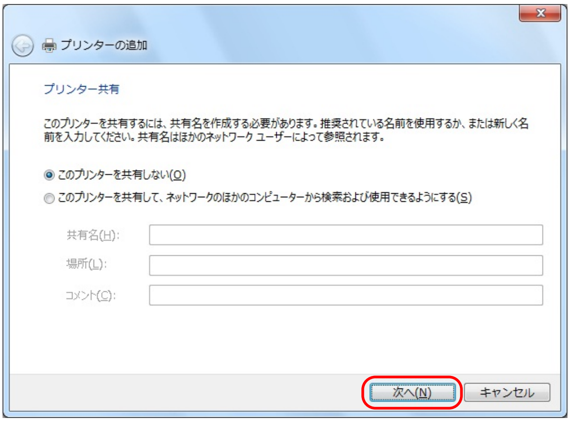


１１　ファイルのコピーが開始される

ガイド

- 手順 ***１２***、または手順 ***１３*** の画面が表示されるまで、お待ちください。

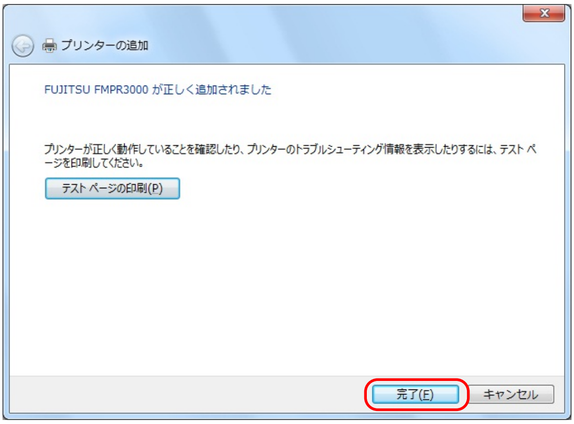
１２　プリンタの共有について設定を行い、〔次へ〕をクリックする



ガイド

- お使いの環境によっては、本画面が表示されない場合があります。本画面が表示されたときは、お使いの環境にあわせ選択してください。
  (1)　共有しない時　：「このプリンターを共有しない」を選択します。
  (2)　共有する時　　：「このプリンターを共有して、ネットワークのほかのコンピューターから検索および使用できるようにする」を選択し、共有名・場所・コメントを入力します。

１３「FUJITSU FMPR3000 が正しく追加されました」画面が表示されたことを確認し、〔完了〕をクリックする



ガイド

- 〔テストページの印刷〕ボタンをクリックするときは、プリンタがオンラインであることを確認し、A4 タテ以上の用紙をセットしてください。用紙のセット方法については、オンラインマニュアル(Index.pdf)の『プリンタ編』「第 3 章　用紙のセット」（53 ページ）を参照してください。
- 手順 *5* で仮のプリンタポートを指定した場合は、〔テストページの印刷〕ボタンをクリックしないでください。

１４〔プリンターと FAX〕部にプリンタアイコンが追加されていることを確認する

これで、プリンタドライバのインストールは完了です。



■ Windows Server 2008 のとき

ここでは、Windows Server 2008 が動作するパソコンにプリンタドライバをインストールする方法について、Windows Server 2008 Enterprise Edition の画面を例に説明しています。
インストール手順は、プリンタを、プリンタフォルダから手動で指定するか、プラグアンドプレイで検出するかによって異なります。それぞれの手順に従ってください。
プラグアンドプレイでプリンタが検出されない場合は、プリンタフォルダからプリンタドライバをインストールしてください。
以下の手順では、FMPR3000G を例に説明しています。

ガイド

- ご使用のパソコンにインストールされている Windows Server 2008 のバージョンや Edition によっては、インストール手順や表示内容が異なる場合があります。このときは、表示内容に従ってインストールしてください。
- 64 ビット版 Windows Server 2008 をお使いの場合も、本手順でインストールしてください。
- プリンタドライバセットアップディスクを準備してください。
- インストールを行う際には、必ず Administrator（コンピュータの管理者）権限を持ったアカウントでログオンしてください。
- 異なるバージョンの FUJITSU FMPR3000 プリンタドライバがインストールされている場合は、削除してからインストールしてください。
- ここでは、FUJITSU FMPR3000G プリンタがローカル接続されたパソコンにプリンタドライバをインストールする手順を説明しています。ネットワーク接続や共有プリンタ(他のパソコンに接続されているプリンタ)でのインストール方法は、Windows Server 2008 の取扱説明書、ヘルプ、およびプリンタ LAN カード FMPR-LN1G（オプション）のマニュアルを参照してください。
- パラレルインターフェースで接続する場合、「プリンタのインストール」から行うと、Windows Server 2008 を起動するたびに「新しいハードウェアの検索ウィザード」が表示されますので、プラグアンドプレイでのインストールを推奨します。
- USB インターフェースの場合、接続ポートを変更すると、「新しいハードウェアの検索ウィザード」が表示されます。接続ポート毎にプリンタドライバがインストールするか、「新しいハードウェアの検索ウィザード」の〔キャンセル〕ボタンをクリックして、既にインストールされているプリンタドライバのポート設定を変更してください。
- FUJITSU FMPR2000G は、Windows Server 2008 には対応しておりません。

◆　プラグアンドプレイで検出する場合

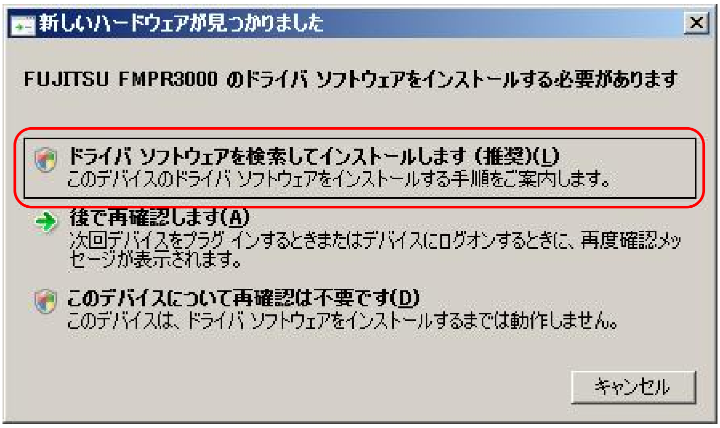
パソコン起動時に「新しいハードウェアが見つかりました。FUJITSU FMPR3000 のドライバソフトウェアをインストールする必要があります」と表示されます。

ガイド

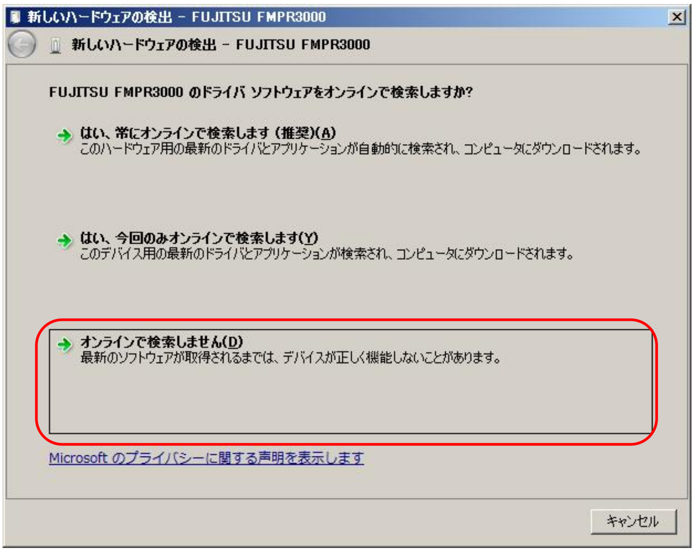
- プラグアンドプレイはプリンタがパソコンに直接つながっている場合のみ行われます。
  プリンタが検出されない場合は、「プリンタフォルダからのインストール」の（238ページ）でインストールしてください。
- インストール中、「ユーザーアカウント制御」ダイアログに、「続行するにはあなたの許可が必要です」と表示される場合がありますので、〔続行〕をクリックしてください。

1 プリンタとパソコンを接続し、プリンタの電源を入れた状態で Windows Server 2008 を起動する

2 新しいプリンタを検出する画面が表示されたら、〔ドライバソフトウェアを検索してインストールします（推奨）〕を選択する

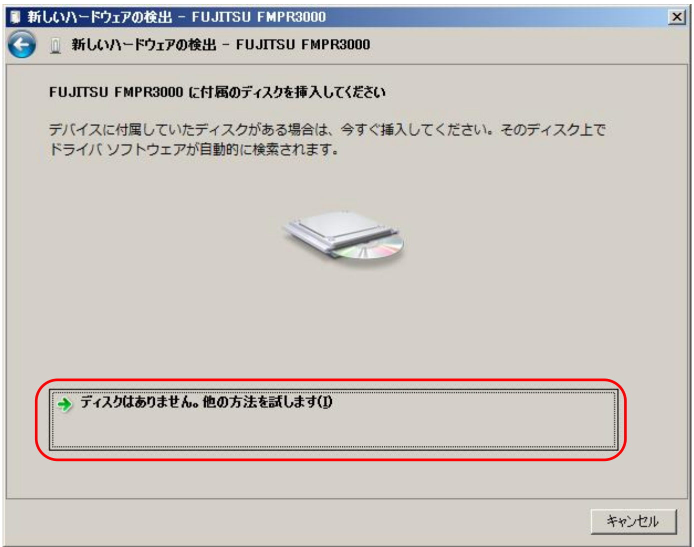


3 **「FUJITSU FMPR3000 のドライバソフトウェアをオンラインで検索しますか？」と表示されますので、〔オンラインで検索しません〕を選択する**



4 **「FUJITSU FMPR3000 に付属のディスクを挿入してください」と表示されたら、添付のプリンタドライバセットアップディスクをパソコンの CD-ROM ドライブにセットする**

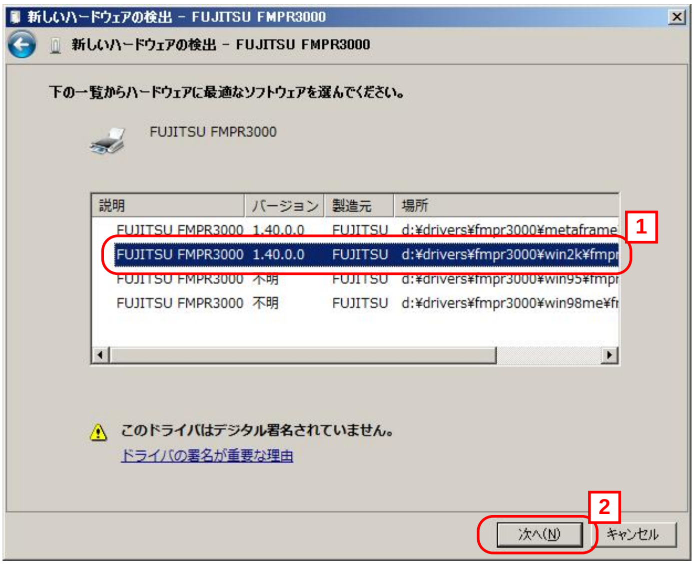
弊社ホームページよりダウンロードした最新版のプリンタドライバをお使いになるときは、「ディスクはありません。他の方法を試します」をクリックしてください。→手順 *6* へ進みます。



注 1) この画面が表示される前にセットアップディスクをセットしている場合は[次へ]ボタンが表示されますので、クリックしてください。

5 「下の一覧からハードウェアに最適なソフトウェアを選んでください。」と表示されますので、場所の説明にて、″ Win2k ″フォルダのドライバを選択して、〔次へ〕をクリックする

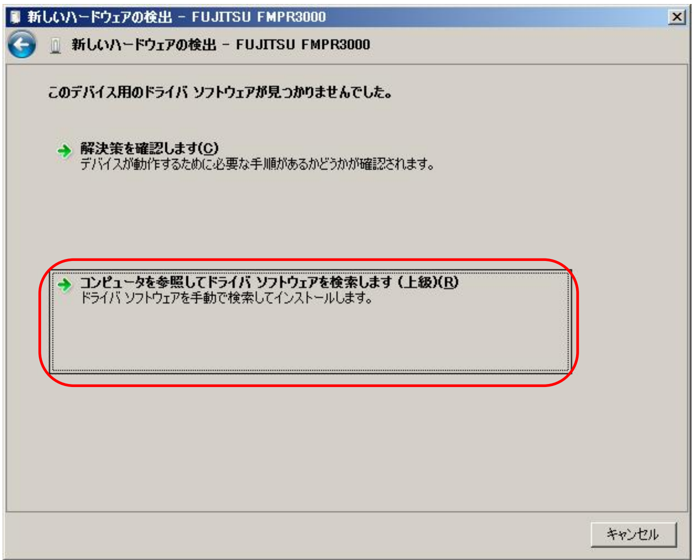
→手順 *8* へ進みます。



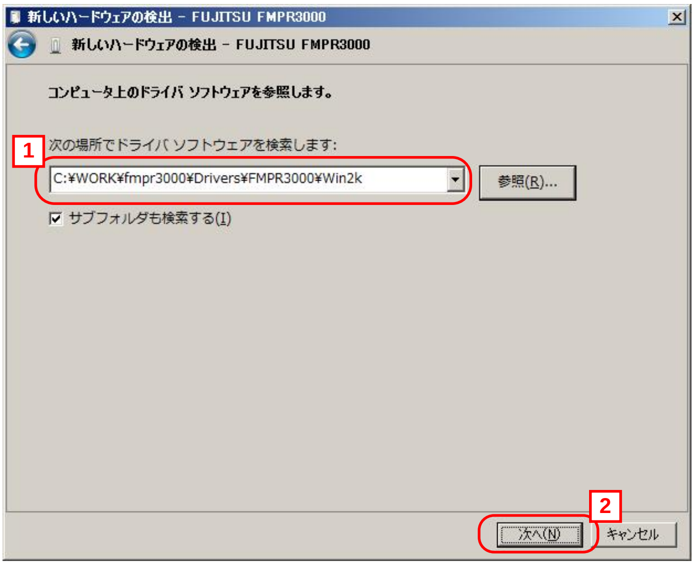
注 1）上記は CD-ROM ドライブが D：のときの表示例です。ご使用の環境に合わせてドライブを読み替えてください。

注 2）64 ビット版 Windows Server 2008 をお使いの場合も、本フォルダを指定してください。

6 「このデバイス用のドライバソフトウェアが見つかりませんでした。」と表示されますので、〔コンピュータを参照してドライバソフトウェアを検索します（上級）〕をクリックする



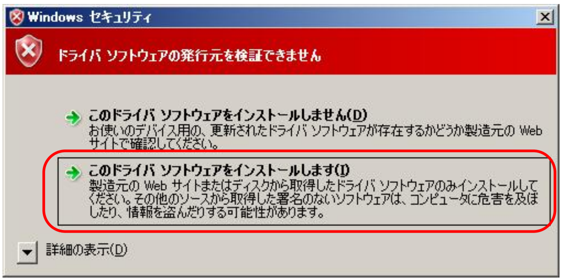
7 「コンピュータ上のドライバソフトウェアを参照します。」と表示されますので、「次の場所でドライバソフトウェアを検索します」に、「C:¥WORK¥fmpr3000¥Drivers¥FMPR3000¥Win2k」と入力するか、〔参照〕をクリックして「C:¥WORK¥fmpr3000¥Drivers¥FMPR3000¥Win2k」を選択する。　入力が終わったら〔次へ〕をクリックする



注 1）上記は、C:ドライブの WORK フォルダにドライバデータがあるときの表示例です。　ご使用の環境に合わせて変更してください。

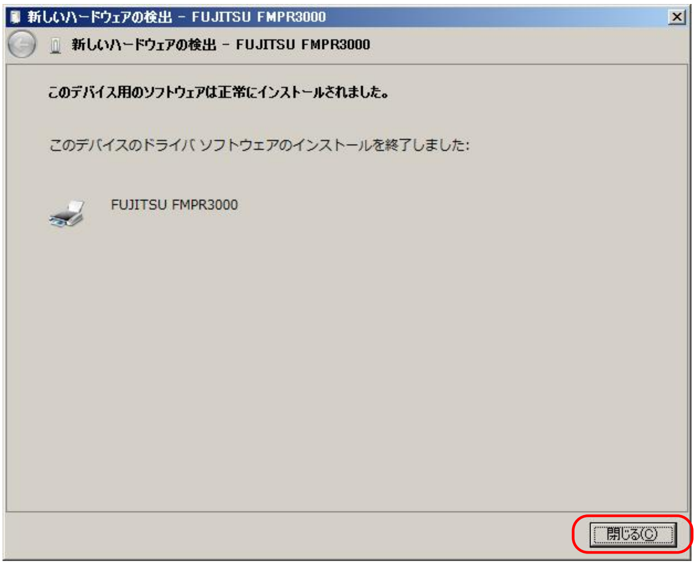
注 2）64 ビット版 Windows Server 2008 をお使いの場合も、本フォルダを指定してください。

8 「Windows セキュリティ」画面に、「ドライバソフトウェアの発行元を検証できません」と表示されますが、〔このドライバソフトウェアをインストールします〕をクリックする



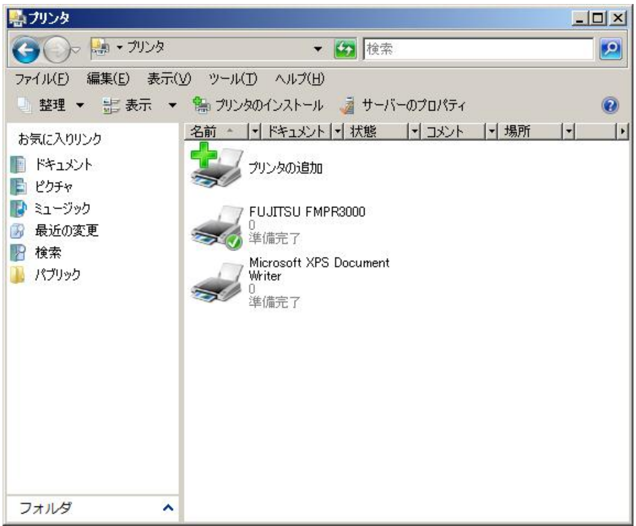
9 ファイルのコピーが開始される

１０ 「新しいハードウェアの検出　-　FUJITSU FMPR3000」画面が表示されたら、「このデバイス用のソフトウェアは正常にインストールされました。」というメッセージを確認し〔閉じる〕をクリックする



１１ 「プリンタ」フォルダにプリンタ名が表示されていることを確認する

これで、プリンタドライバのインストールは完了です。



ガイド

・通常使うプリンタに設定されていないときは、インストールされた FUJITSU FMPR3000 プリンタドライバをマウスの右ボタンでクリックし、「通常使うプリンタに設定」を選択してください。

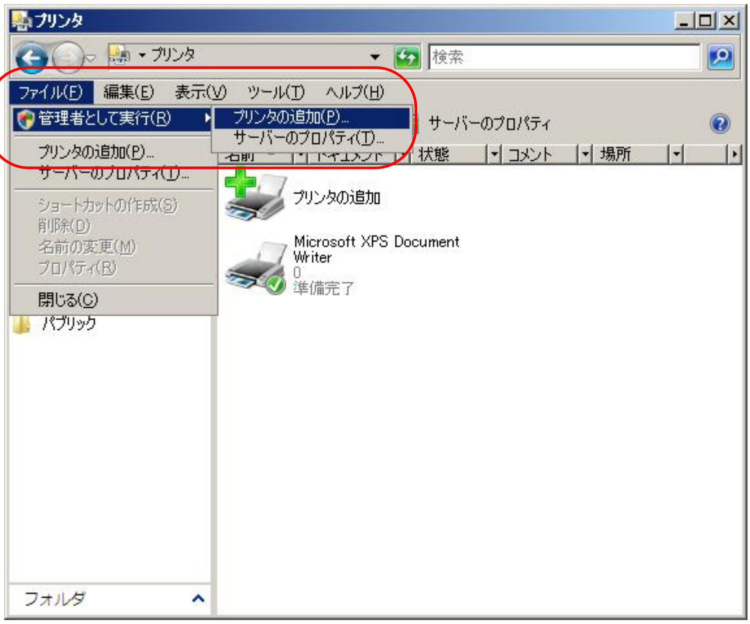
◆ プリンタフォルダからのインストール

プリンタフォルダからインストールする場合、Windows Server 2008 を起動するたびに「新しいハードウェアの検索」ウィザードが表示されますのでプラグアンドプレイで検出する方法を推奨します。
ここでは、Windows Server 2008 Enterprise Edition にパラレルインターフェースまたは USB インターフェースでローカル接続されたプリンタのプリンタドライバをインストールするときの画面を例に説明しています。

1 Windows Server 2008 を起動する

2 〔スタート〕→〔コントロールパネル〕→「プリンタ」を選択する

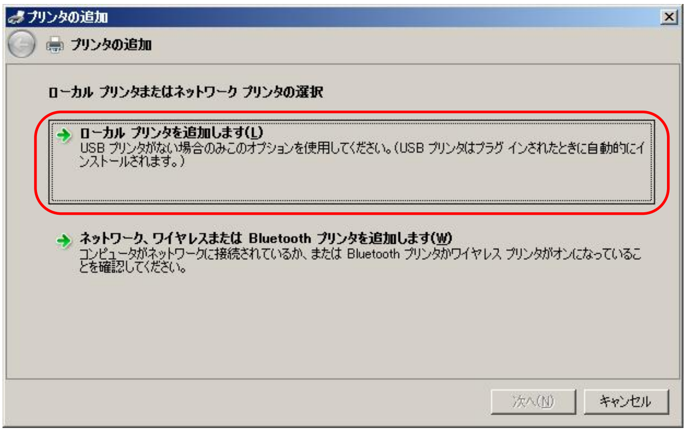
3 プリンタフォルダが表示されたら、〔ファイル〕→〔管理者として実行〕→〔プリンタの追加〕を選択する



ガイド

- 「プリンタの追加」（アイコンとして表示されています）や、メニュー内にある「プリンタのインストール」を選択すると、ネットワークプリンタのインストール画面が表示されます。ローカル接続されたプリンタの、プリンタドライバをインストールするときは、本手順に従ってインストールしてください。
- ビルトインアカウントの Administrator でログオンしているときは、〔ファイル〕→〔プリンタの追加〕を選択してください。

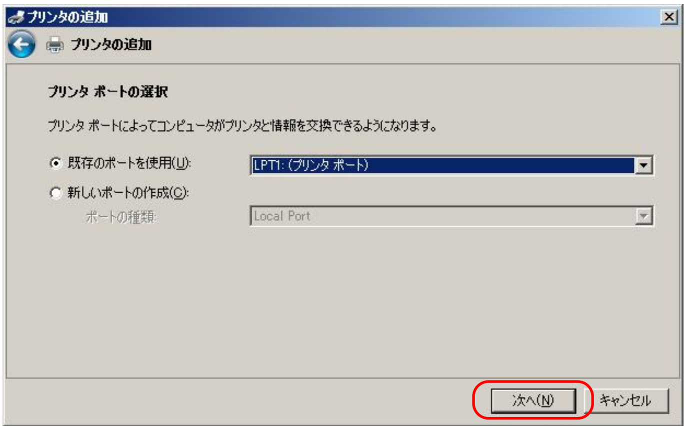
4 「プリンタの追加」ウィザード画面が表示されたら、〔ローカルプリンタを追加します〕を選択する



ガイド

- スタンドアロン（パソコンとプリンタを 1 対 1 で接続）のときや、パソコンをプリントサーバとして使うときは、ローカルプリンタを選択します。
  印刷先（ポート）を後で変更する場合も、「ローカルプリンタを追加します」を選択してください。なお、正しい印刷先に設定するまでテストページ等の印刷は行わないでください。
- 「ネットワーク、ワイヤレスまたは Bluetooth プリンタを追加します」を選んでインストールするには、プリントサーバ上に、対応するプリンタドライバがあらかじめインストールされている必要があります。
  また、「代替ドライバとネットワークインストール」はサポートしていません。

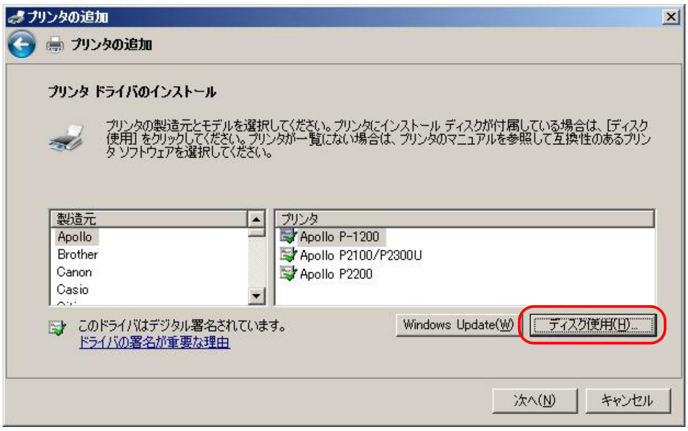
5 使用するプリンタポートを選択し、〔次へ〕をクリックする



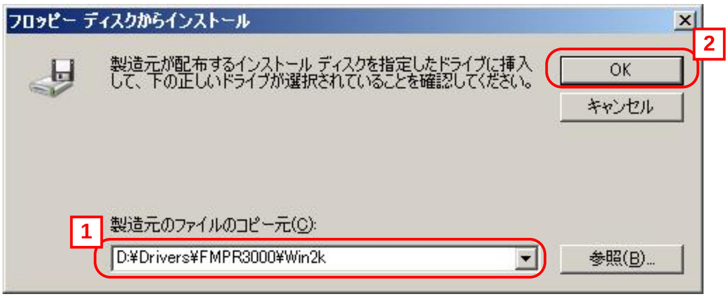
ガイド

- 使用するポートがまだ作成されていない場合は、仮のポートとしてローカルポート（LPT1）などを選択してください。

6　「プリンタドライバのインストール」画面が表示されますので
添付のプリンタドライバセットアップディスクをパソコンの CD-ROM ドライブにセットして、〔ディスク使用〕をクリックする

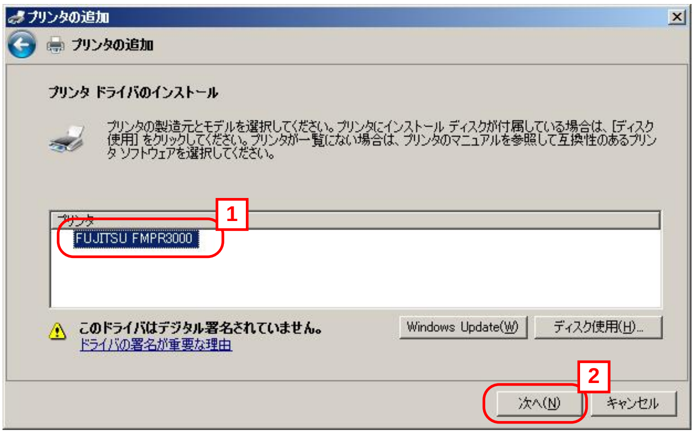


7　「製造元のファイルのコピー元」に、「D:¥Drivers¥FMPR3000¥Win2k」と入力するか、〔参照〕をクリックして「D:¥Drivers¥FMPR3000¥Win2k」を選択する
入力が終わったら〔OK〕をクリックする



注 1）上記は CD-ROM ドライブが D：のときの入力例です。ご使用の環境に合わせてドライブを変更してください。
注 2）64 ビット版 Windows Server 2008 をお使いの場合も、本フォルダを指定してください。
注 3）弊社ホームページよりダウンロードした最新版のプリンタドライバをお使いになるときは、(本ドライバデータのあるフォルダ名)¥Drivers¥FMPR3000¥Win2k に変更してください。

8 プリンタを選択して〔次へ〕をクリックする



ガイド

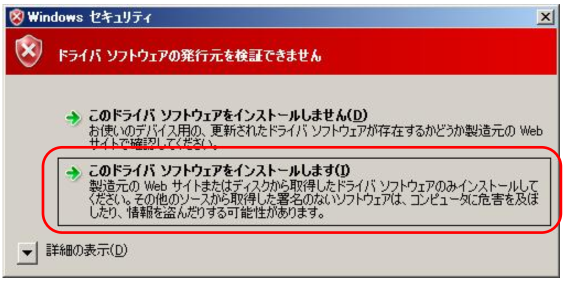
- 「どのバージョンのドライバを使用しますか？　既にこのプリンタのドライバがインストールされていることを検出しました。」という画面が表示される場合は、「現在のドライバを置き換える」を選択します。



9 プリンタ名を入力し、通常使うプリンタの設定を行い、〔次へ〕をクリックする

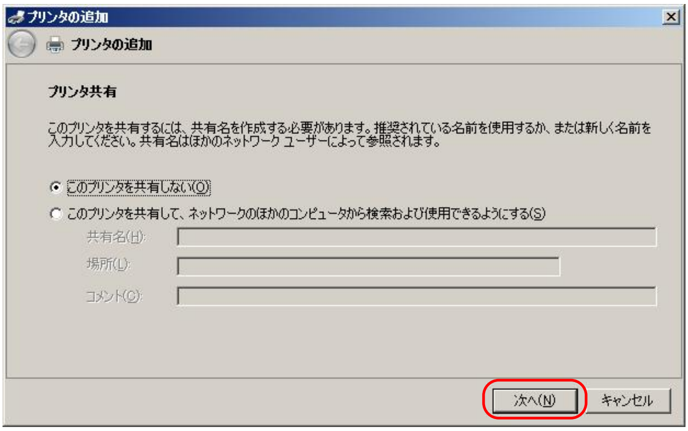


１０ 「Windows セキュリティ」画面に、「ドライバソフトウェアの発行元を検証できません」と表示されますが、〔このドライバソフトウェアをインストールします〕をクリックする



１１ ファイルのコピーが開始される

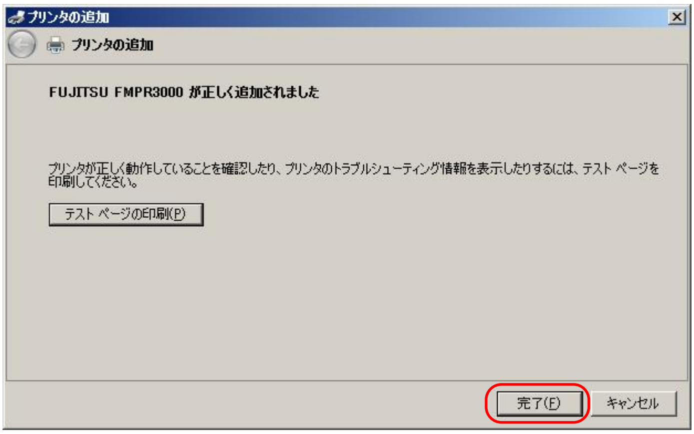
１２ プリンタの共有について設定を行い、〔次へ〕をクリックする



ガイド

・ここでは、必ず「このプリンタを共有しない」を選択してください。

１３「FUJITSU FMPR3000 が正しく追加されました」画面が表示されることを確認し、〔完了〕をクリックする

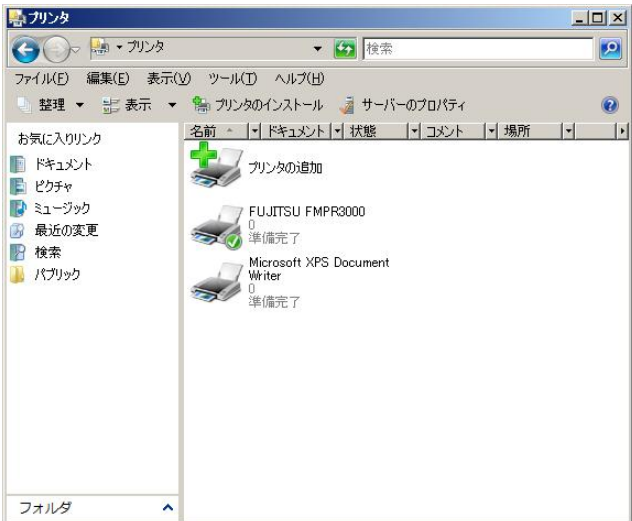


ガイド

・〔テストページの印刷〕ボタンをクリックするときは、プリンタがオンラインであることを確認し、Ａ４タテ以上の用紙をセットしてください。用紙のセット方法については、オンラインマニュアル(Index.pdf)の『プリンタ編』「第３章　用紙のセット」（53 ページ）を参照してください。
・手順５ で仮のプリンタポートを指定した場合は、〔テストページの印刷〕ボタンをクリックしないでください。

１４「プリンタ」フォルダにプリンタ名が表示されていることを確認する

これで、プリンタドライバのインストールは完了です。



■ Windows Vista のとき

ここでは、Windows Vista が動作するパソコンにプリンタドライバをインストールする方法について、Windows Vista Business の画面を例に説明しています。
インストール手順は、プリンタを、プリンタフォルダから手動で指定するか、プラグアンドプレイで検出するかによって異なります。それぞれの手順に従ってください。
プラグアンドプレイでプリンタが検出されない場合は、プリンタフォルダからプリンタドライバをインストールしてください。
以下の手順では、FMPR2000G を例に説明しています。
FMPR3000G プリンタをお使いの場合は、“FMPR2000”を“FMPR3000”と読み替えてください。

ガイド

- ご使用のパソコンにインストールされている Windows Vista のバージョンや Edition によっては、インストール手順や表示内容が異なる場合があります。このときは、表示内容に従ってインストールしてください。
- 64 ビット版 Windows Vista をお使いの場合も、本手順でインストールしてください。
- プリンタドライバセットアップディスクを準備してください。
- インストールを行う際には、必ず Administrator（コンピュータの管理者）権限を持ったアカウントでログオンしてください。
- 異なるバージョンの FUJITSU FMPR2000、FUJITSU FMPR3000 プリンタドライバがインストールされている場合は、削除してからインストールしてください。
- ここでは、FUJITSU FMPR2000G、FUJITSU FMPR3000G プリンタがローカル接続されたパソコンにプリンタドライバをインストールする手順を説明しています。ネットワーク接続や共有プリンタ（他のパソコンに接続されているプリンタ）でのインストール方法は、Windows Vista の取扱説明書、ヘルプ、およびプリンタ LAN カード FMPR-LN1G（オプション）のマニュアルを参照してください。
- パラレルインターフェースで接続する場合、「プリンタのインストール」から行うと、Windows Vista を起動するたびに「新しいハードウェアの検索ウィザード」が表示されますので、プラグアンドプレイでのインストールを推奨します。
- USB インターフェースの場合、接続ポートを変更すると、「新しいハードウェアの検索ウィザード」が表示されます。接続ポート毎にプリンタドライバがインストールするか、「新しいハードウェアの検索ウィザード」の〔キャンセル〕ボタンをクリックして、既にインストールされているプリンタドライバのポート設定を変更してください。

◆　プラグアンドプレイで検出する場合

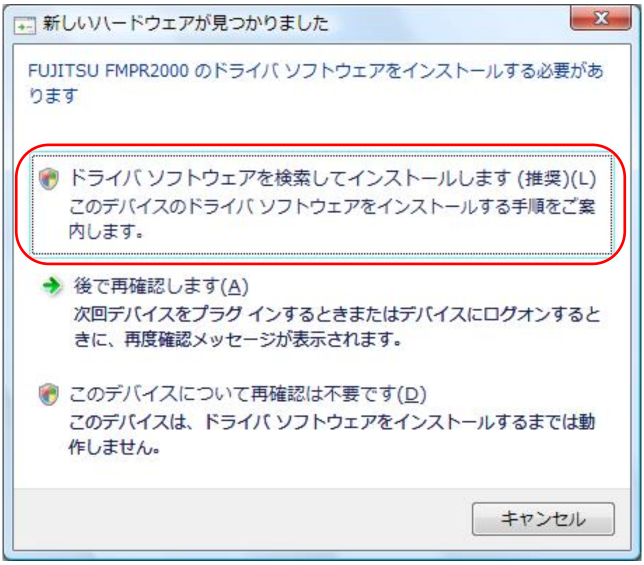
パソコン起動時に「新しいハードウェアが検出されました。FUJITSU FMPR2000」と表示されます。

ガイド

- プラグアンドプレイはプリンタがパソコンに直接つながっている場合のみ行われます。
  プリンタが検出されない場合は、「プリンタフォルダからのインストール」の（250ページ）でインストールしてください。
- インストール中、「ユーザーアカウントの制御」ダイアログに、「続行するには許可が必要です」と表示される場合がありますので、〔続行〕をクリックしてください。

1 プリンタとパソコンを接続し、プリンタの電源を入れた状態で Windows Vista を起動する

2 新しいプリンタを検出する画面が表示されたら、〔ドライバソフトウェアを検索してインストールします（推奨）〕を選択する



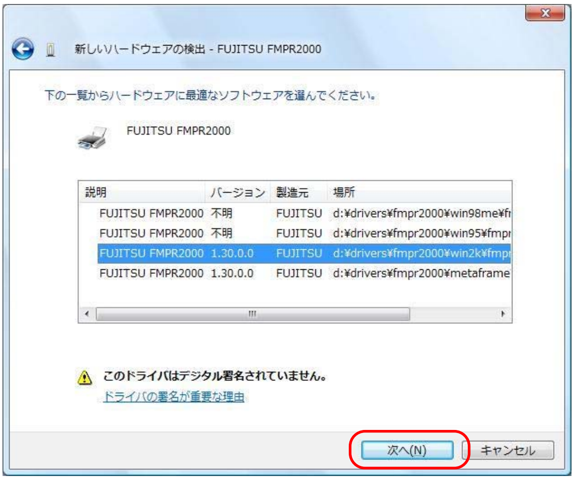
3 「FUJITSU FMPR2000 に付属のディスクを挿入してください」と表示されたら、添付のプリンタドライバセットアップディスクをパソコンの CD-ROM ドライブにセットする

弊社ホームページよりダウンロードした最新版のプリンタドライバをお使いになるときは、〔ディスクはありません。他の方法を試します〕をクリックしてください。→手順 *5* へ進みます。



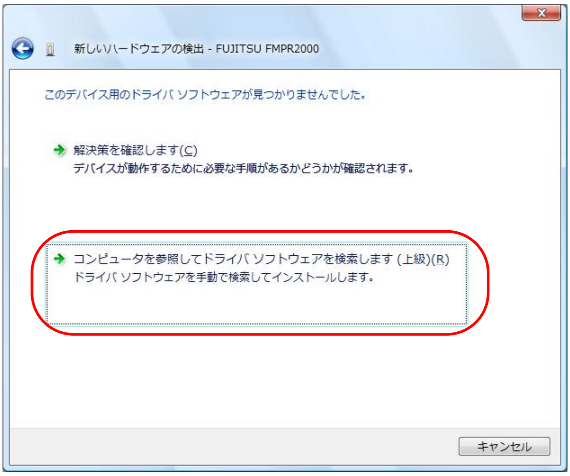
注 1）この画面が表示される前にセットアップディスクをセットしている場合は、[次へ]ボタンが表示されますので、クリックしてください。

4 「下の一覧からハードウェアに最適なソフトウェアを選んでください。」と表示されますので、場所の説明にて、″Win2k″フォルダのドライバを選択して、〔次へ〕をクリックする→手順 *7* へ進みます。

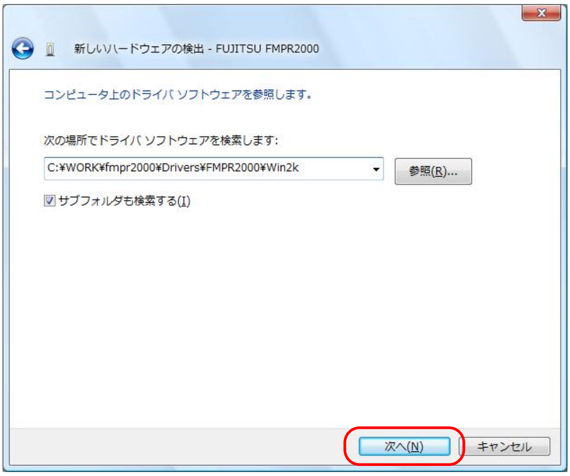


注 1）上記は CD-ROM ドライブが D：のときの表示例です。ご使用の環境に合わせてドライブを読み替えてください。
注 2）64 ビット版 Windows Vista をお使いの場合も、本フォルダを指定してください。
注 3）FMPR3000G のときは、Drivers¥FMPR3000¥Win2k フォルダを選択してください。

5 「このデバイス用のドライバソフトウェアが見つかりませんでした。」と表示されますので、〔コンピュータを参照してドライバソフトウェアを検索します（上級）〕をクリックする

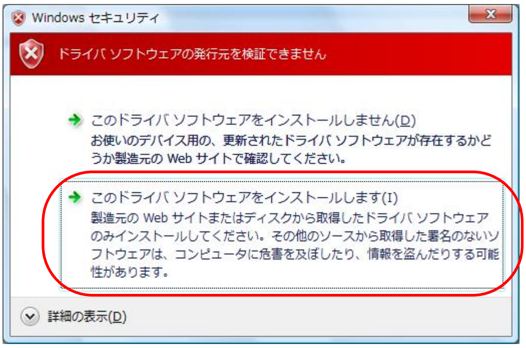


6 「コンピュータ上のドライバソフトウェアを参照します。」と表示されますので、「次の場所でドライバソフトウェアを検索します」に、「C:¥WORK¥fmpr2000¥Drivers¥FMPR2000¥Win2k」と入力するか、〔参照〕をクリックして「C:¥WORK¥fmpr2000¥Drivers¥FMPR2000¥Win2k」を選択する。　入力が終わったら〔次へ〕をクリックする



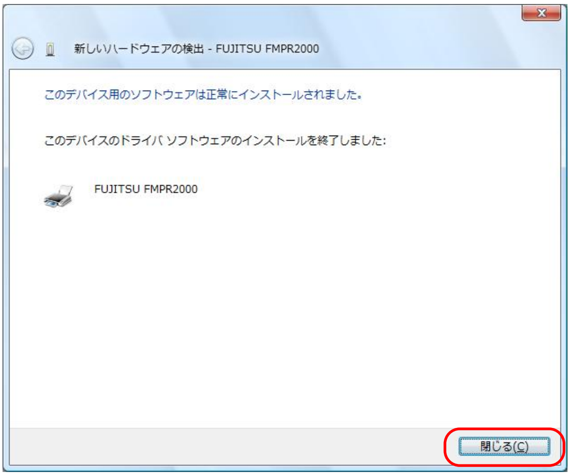
注 1）上記は、C:ドライブの WORK フォルダにドライバデータがあるときの表示例です。　ご使用の環境に合わせて変更してください。
注 2）64 ビット版 Windows Vista をお使いの場合も、本フォルダを指定してください。
注 3）FMPR3000G のときは、(本ドライバデータのあるフォルダ名)¥Drivers¥FMPR3000¥Win2k に変更してください。

7 「Windows セキュリティ」画面に、「ドライバソフトウェアの発行元を検証できません」と表示されますが、〔このドライバソフトウェアをインストールします〕をクリックする



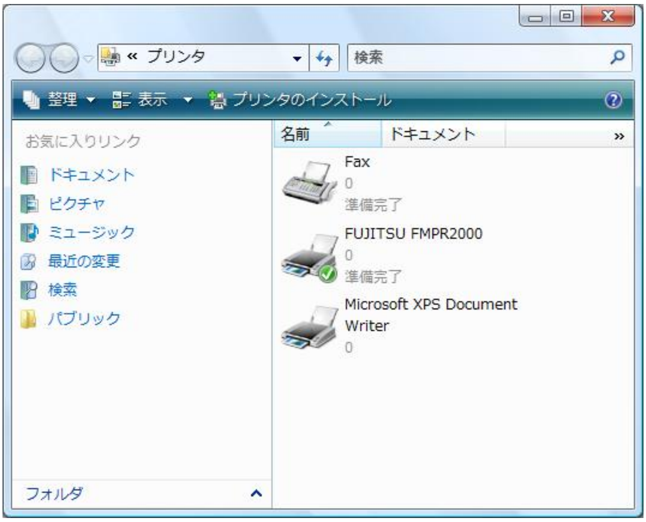
8 ファイルのコピーが開始される

9 「新しいハードウェアの検出　-　FUJITSU FMPR2000」画面が表示されたら、「このデバイス用のソフトウェアは正常にインストールされました。」というメッセージを確認し〔閉じる〕をクリックする



１０　「プリンタ」フォルダにプリンタ名が表示されていることを確認する

これで、プリンタドライバのインストールは完了です。



ガイド

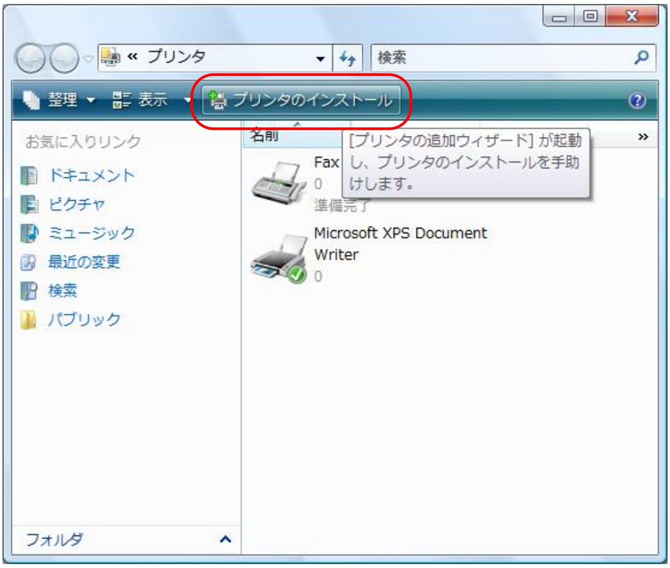
・インストールされた FUJITSU FMPR2000 プリンタドライバをマウスの右ボタンでクリックし、「通常使うプリンタに設定」を選択してください。

◆ プリンタフォルダからのインストール

プリンタフォルダからインストールする場合、Windows Vista を起動するたびに「新しいハードウェアの検索」ウィザードが表示されますのでプラグアンドプレイで検出する方法を推奨します。
ここでは、Windows Vista Business にプリンタドライバをインストールするときの画面を例に説明しています。

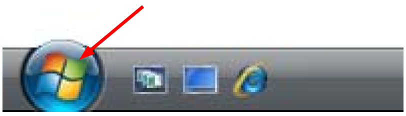
1 Windows Vista を起動する

2 〔スタート〕→〔コントロールパネル〕→〔ハードウェアとサウンド〕内にある「プリンタ」を選択して、次に〔プリンタのインストール〕をクリックする

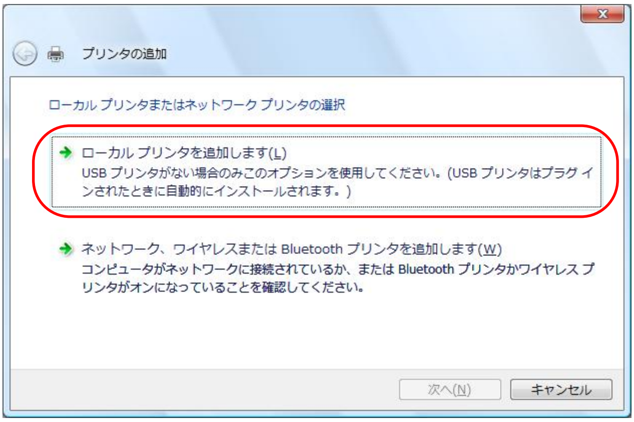


ガイド

・〔スタート〕とは、デスクトップ画面左下の Windows ロゴがついたボタンを表します。



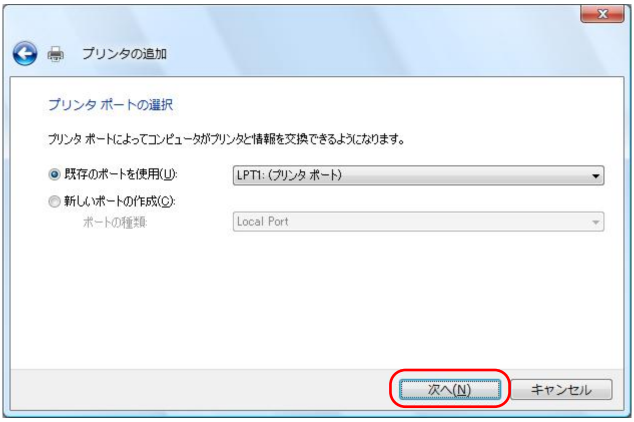
3 「プリンタの追加」ウィザード画面が表示されたら、〔ローカルプリンタを追加します〕を選択する



ガイド

・スタンドアロン（パソコンとプリンタを 1 対 1 で接続）のときや、パソコンをプリントサーバとして使うときは、ローカルプリンタを選択します。
　印刷先（ポート）を後で変更する場合も、「ローカルプリンタを追加します」を選択してください。なお、正しい印刷先に設定するまでテストページ等の印刷は行わないでください。
・「ネットワーク、ワイヤレスまたは Bluetooth プリンタを追加します」を選んでインストールするには、プリントサーバ上に、対応するプリンタドライバがあらかじめインストールされている必要があります。
　また、「代替ドライバとネットワークインストール」はサポートしていません。

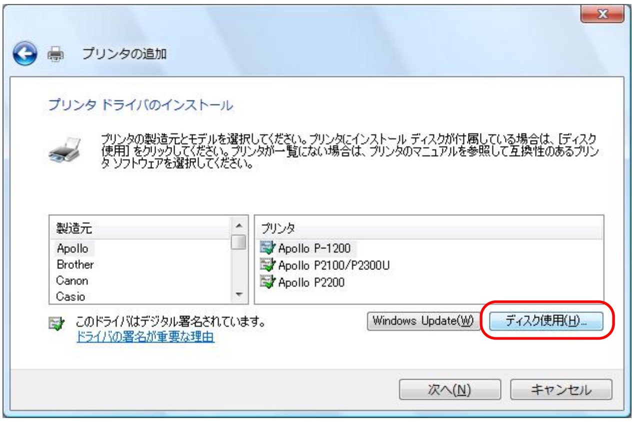
4 使用するプリンタポートを選択し、〔次へ〕をクリックする



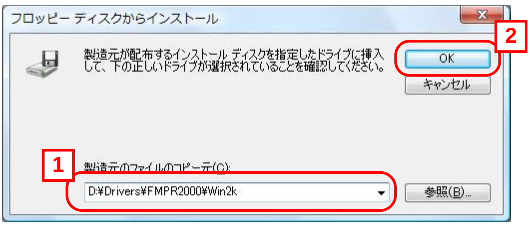
ガイド

・使用するポートがまだ作成されていない場合は、仮のポートとしてローカルポート（LPT1）などを選択してください。

5 「プリンタドライバのインストール」画面が表示されますので
添付のプリンタドライバセットアップディスクをパソコンの CD-ROM ドライブにセットして、〔ディスク使用〕をクリックする

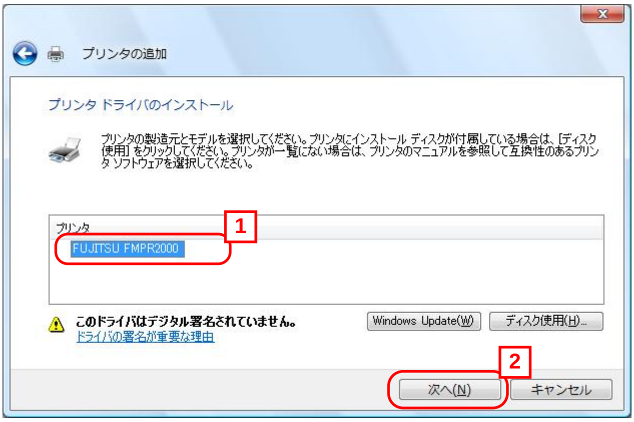


6 「製造元のファイルのコピー元」に、「D:¥Drivers¥FMPR2000¥Win2k」と入力するか、〔参照〕をクリックして「D:¥Drivers¥FMPR2000¥Win2k」を選択する
入力が終わったら〔OK〕をクリックする



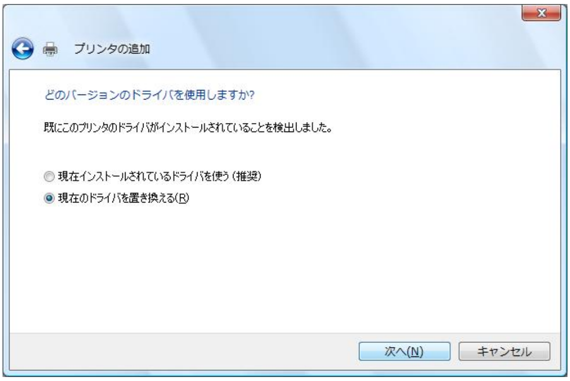
注 1）上記は CD-ROM ドライブが D：のときの入力例です。ご使用の環境に合わせてドライブを変更してください。
注 2）64 ビット版 Windows Vista をお使いの場合も、本フォルダを指定してください。
注 3）FMPR3000G のときは、Drivers¥FMPR3000¥Win2k と入力してください。
注 4）弊社ホームページよりダウンロードした最新版のプリンタドライバをお使いになるときは、(本ドライバデータのあるフォルダ名)¥Drivers¥FMPR2000¥Win2k に変更してください。FMPR3000G をお使いのときは、(本ドライバデータのあるフォルダ名)¥Drivers¥FMPR3000¥Win2k に変更してください。

7 プリンタを選択して〔次へ〕をクリックする

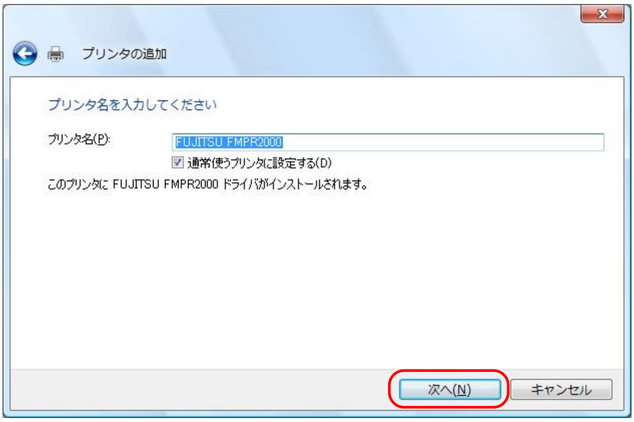


ガイド

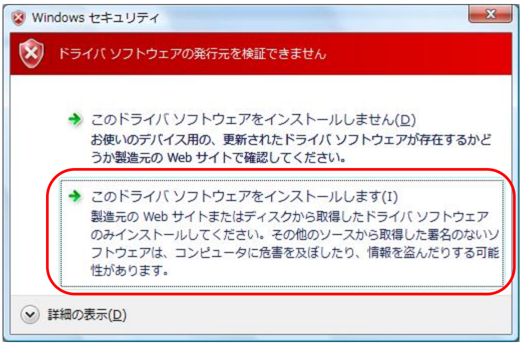
- 「どのバージョンのドライバを使用しますか？　既にこのプリンタのドライバがインストールされていることを検出しました。」という画面が表示される場合は、「現在のドライバを置き換える」を選択します。



8 プリンタ名を入力し、通常使うプリンタの設定を行い、〔次へ〕をクリックする

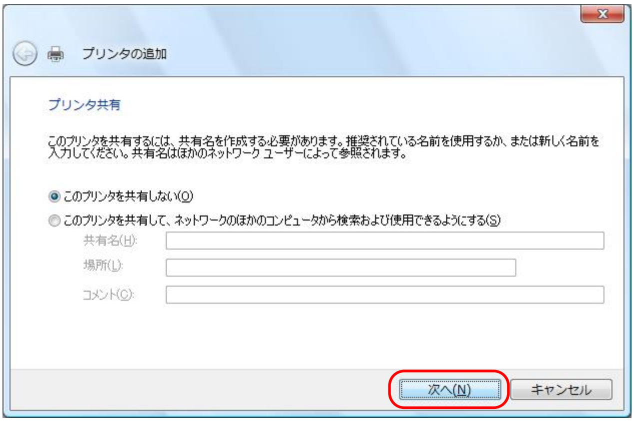


９　「Windows セキュリティ」画面に、「ドライバソフトウェアの発行元を検証できません」と表示されますが、〔このドライバソフトウェアをインストールします〕をクリックする



１０　ファイルのコピーが開始される

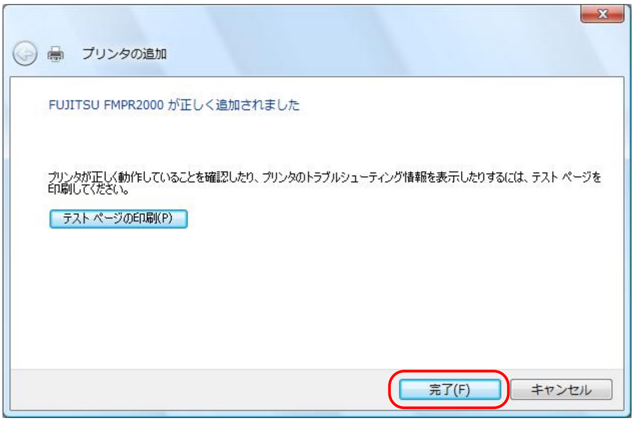
１１　プリンタの共有について設定を行い、〔次へ〕をクリックする



ガイド

- ここでは、必ず「このプリンタを共有しない」を選択してください。
- 本画面は、ユーザーアカウント制御（UAC）が無効の場合のみ表示されます。

１２「FUJITSU FMPR2000 が正しく追加されました」画面が表示されることを確認し、〔完了〕をクリックする

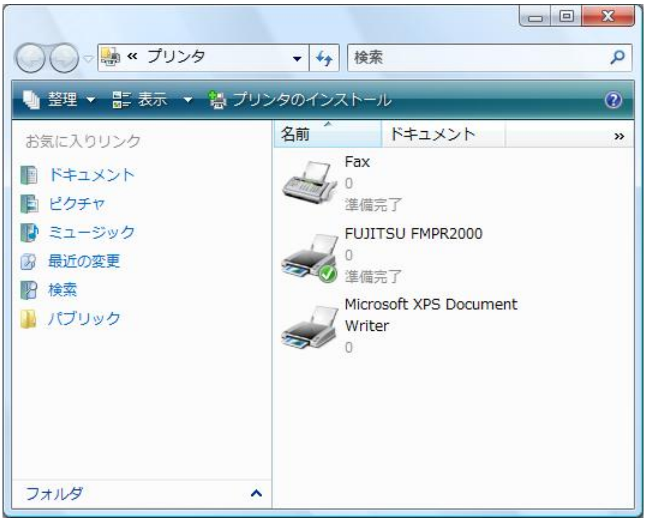


ガイド

- 〔テストページの印刷〕ボタンをクリックするときは、プリンタがオンラインであることを確認し、Ａ４タテ以上の用紙をセットしてください。　用紙のセット方法については、オンラインマニュアル(Index.pdf)の『プリンタ編』「第３章　用紙のセット」（53 ページ）を参照してください。
- 手順４ で仮のプリンタポートを指定した場合は、〔テストページの印刷〕ボタンをクリックしないでください。

１３ 「プリンタ」フォルダにプリンタ名が表示されていることを確認する

これで、プリンタドライバのインストールは完了です。



■ Windows Server 2003 のとき

ここでは、Windows Server 2003 が動作するパソコンにプリンタドライバをインストールする方法について、Windows Server 2003 Standard Edition の画面を例に説明しています。
インストール手順は、プリンタを、プリンタフォルダから手動で指定するか、プリンタフォルダからプラグアンドプレイで検出するか、プラグアンドプレイで検出するかによって異なります。それぞれの手順に従ってください。
プラグアンドプレイでプリンタが検出されない場合は、プリンタフォルダからプリンタドライバをインストールしてください。
以下の手順では、FMPR2000G を例に説明しています。
FMPR3000G をお使いの場合は、“FMPR2000”を“FMPR3000”と読み替えてください。

ガイド

- ご使用のパソコンにインストールされている Windows Server 2003 のバージョンによっては、インストール手順や表示内容が異なる場合があります。このときは、表示内容に従ってインストールしてください。
- 64 ビット版 Windows Server 2003 をお使いの場合も、本手順でインストールしてください。
- プリンタドライバセットアップディスク、および Windows オペレーティングシステムディスクを準備してください。
- インストールを行う際には、必ず Administrator（コンピュータの管理者）権限を持ったアカウントでログオンしてください。
- 異なるバージョンの FUJITSU FMPR2000 または FUJITSU FMPR3000 プリンタドライバがインストールされている場合は、削除してからインストールしてください。
- ここでは、FUJITSU FMPR2000G または FUJITSU FMPR3000G プリンタがローカル接続されたパソコンにプリンタドライバをインストールする手順を説明しています。ネットワーク接続や共有プリンタ(他のパソコンに接続されているプリンタ)でのインストール方法は、Windows Server 2003 の取扱説明書、またはヘルプを参照してください。
- パラレルインターフェースで接続する場合、「プリンタの追加」からインストールすると、Windows Server 2003 を起動するたびに「新しいハードウェアの検索ウィザード」が表示されるので、プラグアンドプレイでのインストールを推奨します。
- USB インターフェースの場合、接続ポートを変更すると、「新しいハードウェアの検索ウィザード」が表示されます。接続ポート毎にプリンタドライバをインストールするか、「新しいハードウェアの検索ウィザード」の〔キャンセル〕ボタンをクリックして、既にインストールされているプリンタドライバのポート設定を変更してください。

◆　プラグアンドプレイで検出する場合

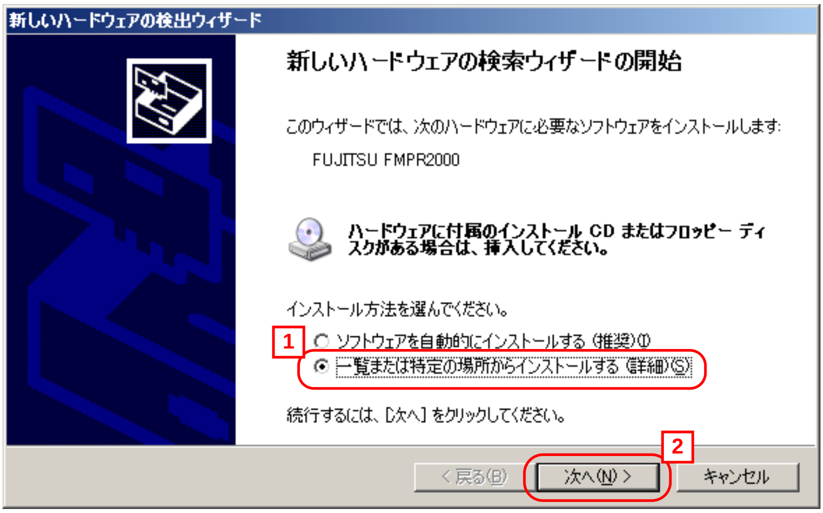
パソコン起動時に「新しいハードウェアが検出されました。FUJITSU FMPR2000」と表示されます。

ガイド

・プラグアンドプレイはプリンタがパソコンに直接つながっている場合のみ行われます。
プリンタが検出されない場合は、「プリンタフォルダからのインストール」の（260ページ）でインストールしてください。

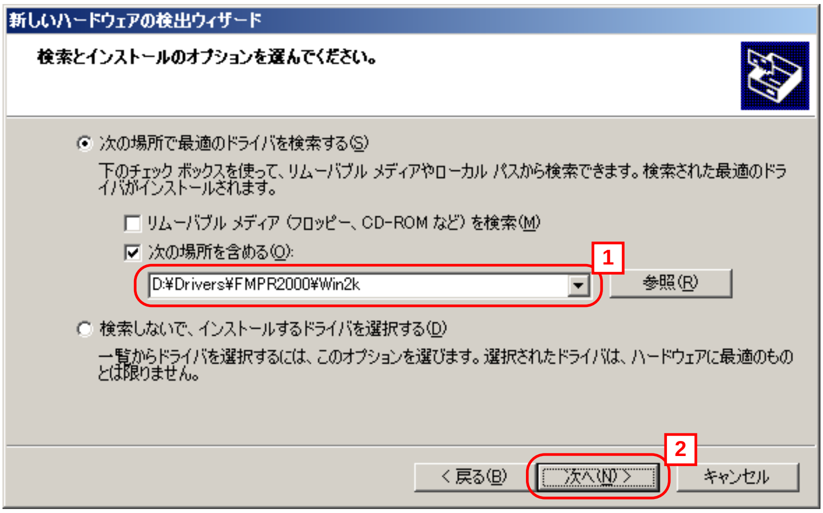
1 プリンタとパソコンを接続し、プリンタの電源を入れた状態で Windows Server 2003 を起動する

2 「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」画面が表示されたら、「一覧または特定の場所からインストールする（詳細）」を選択し、〔次へ〕をクリックする



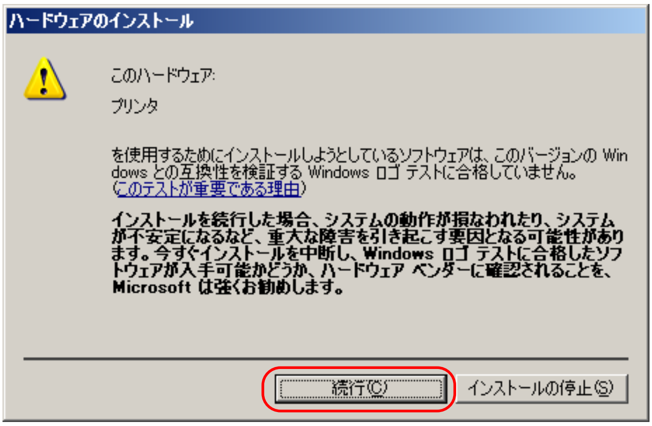
3 添付のプリンタドライバセットアップディスクをパソコンの CD-ROM ドライブにセットする

4 「次の場所で最適のドライバを検索する」の「次の場所を含める」にチェックをつけ、D:¥Drivers¥FMPR2000¥Win2k」と入力するか、〔参照〕をクリックして「D:¥Drivers¥FMPR2000¥Win2k」を選択する
入力が終わったら〔次へ〕をクリックする



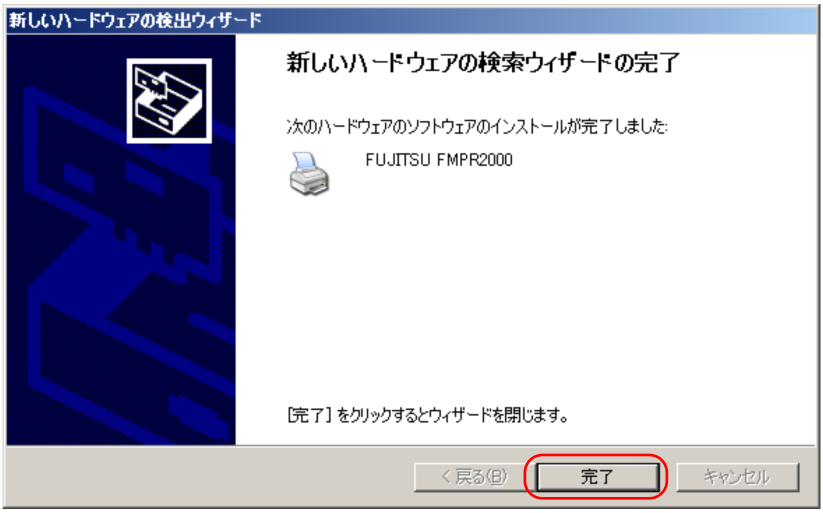
注 1)　上記は CD-ROM ドライブが D:のときの入力例です。ご使用の環境に合わせてドライブを変更してください。
注 2)　64 ビット版 Windows Server 2003 をお使いの場合も、本フォルダを指定してください。
注 3)　FMPR3000G のときは、Drivers¥FMPR3000¥Win2k と入力してください。

5 「ハードウェアのインストール」画面が表示されるので、〔続行〕をクリックする



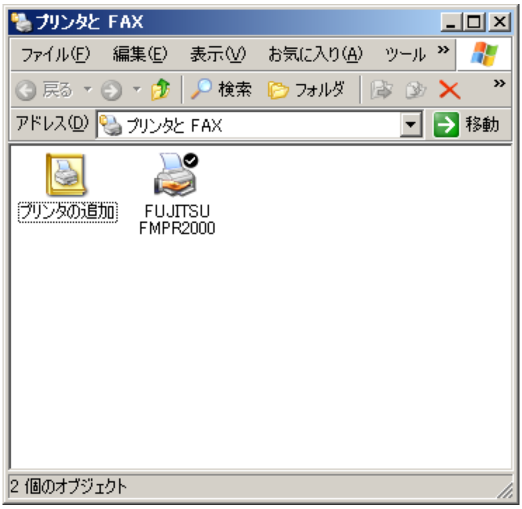
6 ファイルのコピーが開始される

7 「新しいハードウェアの検索ウィザードの完了」画面が表示されたら、「次のハードウェアのソフトウェアのインストールが完了しました: FUJITSU FMPR2000」というメッセージが表示される事を確認し〔完了〕をクリックする



8 「プリンタと FAX」フォルダにプリンタ名が表示されていることを確認する

これで、プリンタドライバのインストールは完了です。



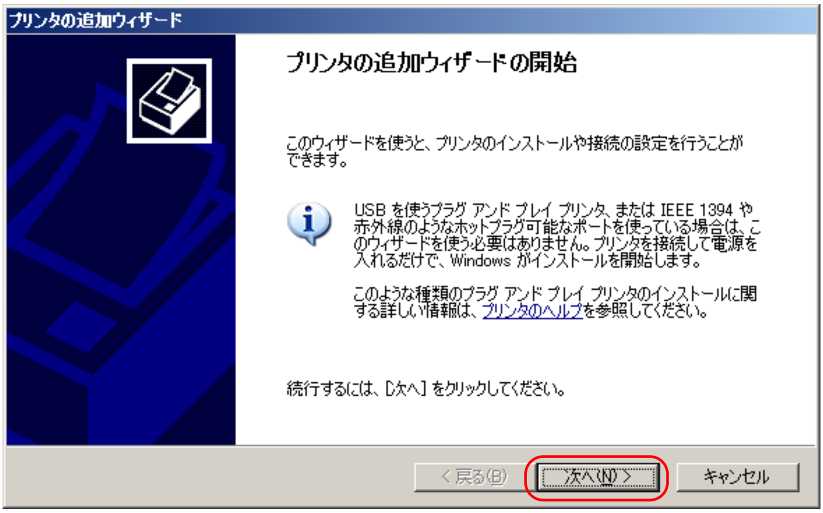
◆　プリンタフォルダからのインストール

プリンタフォルダからのインストールには、手動でプリンタを指定する場合と、プラグアンドプレイで検出する場合があります。
手動でプリンタを指定する場合、Windows Server 2003 を起動するたびに「新しいハードウェアの検索ウィザード」が表示されるので、プラグアンドプレイで検出する場合を推奨します。

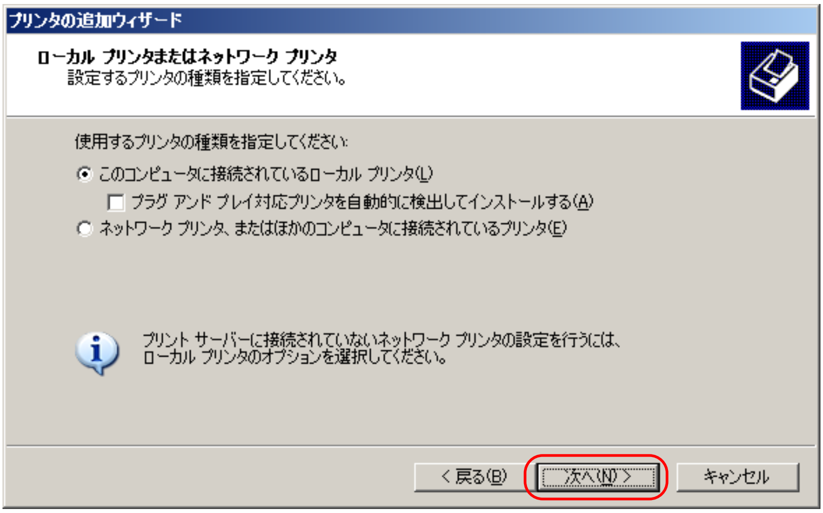
1 Windows Server 2003 を起動する

2 〔スタート〕→〔プリンタと FAX〕を選択して、次に〔プリンタの追加〕をダブルクリックする

3 「プリンタの追加ウィザードの開始」画面が表示されたら、〔次へ〕をクリックする



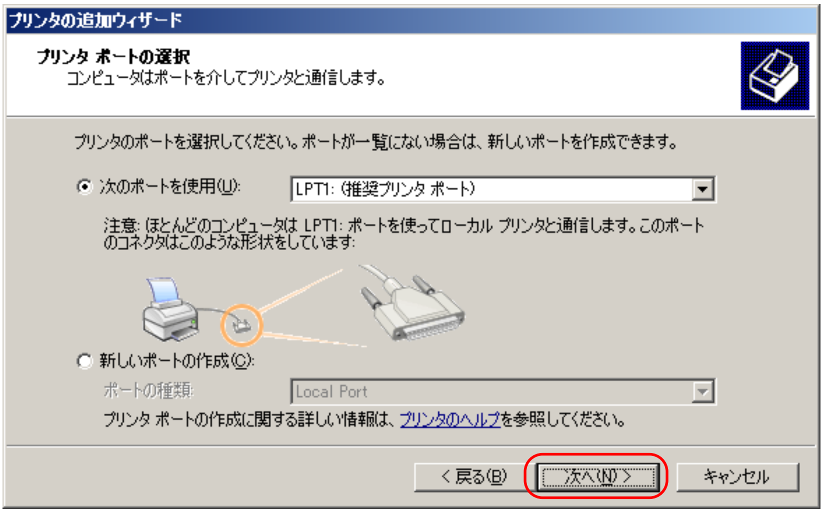
4　「ローカルプリンタまたはネットワークプリンタ」画面が表示されたら、「このコンピュータに接続されているローカルプリンタ」を選択し、〔次へ〕をクリックする



ガイド

- プラグアンドプレイで検出する場合は、「プラグ アンド プレイ プリンタを自動的に検出してインストールする」にチェックを付け、〔次へ〕をクリックします。
  本設定を行った場合は、「プラグアンドプレイで検出する場合」(257ページ)の手順 *2* に進みます。
  「プラグアンドプレイで検出する場合」(257ページ)の手順 *7* が終了したら、「プリンタフォルダからのインストール」の手順 *12* に進みます。
- この画面は、パソコンがネットワークに接続されているときのみ表示されます。
- スタンドアロン（パソコンとプリンタを 1 対 1 で接続）のときや、パソコンをプリントサーバとして使うときは、ローカルプリンタを選択します。
  印刷先（ポート）を後で変更する場合も、ローカルプリンタを選択してください。ただし、正しい印刷先に設定するまでテストページ等の印刷は行わないでください。
- 「ネットワークプリンタ」を選んでインストールするには、プリントサーバ上に、対応するプリンタドライバがあらかじめインストールされている必要があります。
  また、「代替ドライバとネットワークインストール」はサポートしていません。

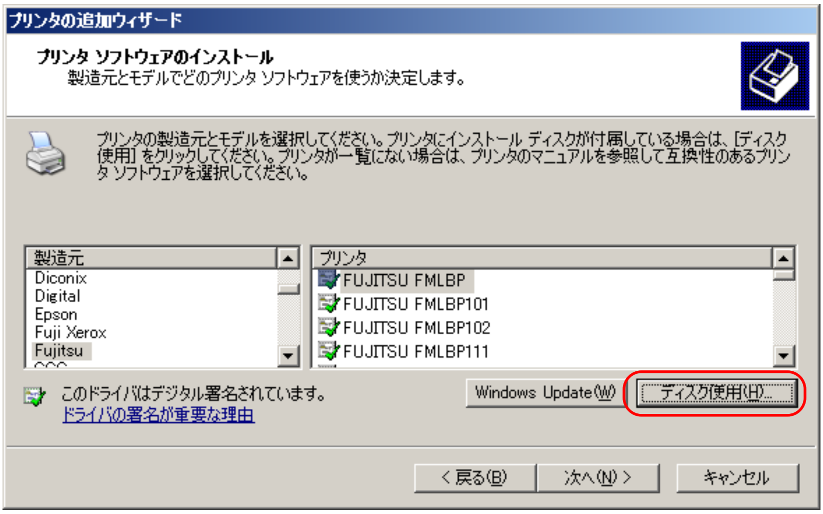
5 使用するプリンタポートを選択し、〔次へ〕をクリックする



ガイド

- 使用するポートがまだ作成されていない場合は、仮のポートとしてローカルポート（LPT1）などを選択してください。

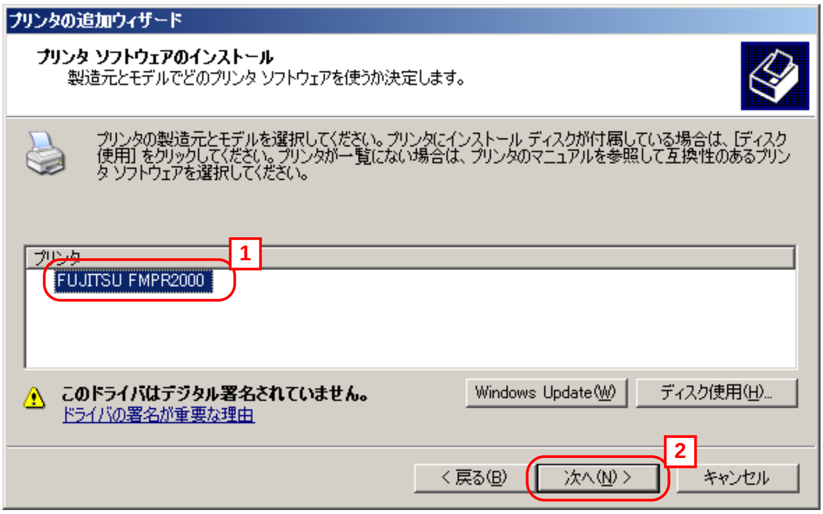
6 添付のプリンタドライバセットアップディスクをパソコンの CD-ROM ドライブにセットして、〔ディスク使用〕をクリックする



7 「製造元のファイルのコピー元」に、「D:¥Drivers¥FMPR2000¥Win2k」と入力するか、〔参照〕をクリックして「D:¥Drivers¥FMPR2000¥Win2k」を選択する
入力が終わったら〔OK〕をクリックする

注 1)　上記は CD-ROM ドライブが D:のときの入力例です。ご使用の環境に合わせてドライブを変更してください。
注 2)　64 ビット版 Windows Server 2003 をお使いの場合も、本フォルダを指定してください。
注 3)　FMPR3000G のときは、Drivers¥FMPR3000¥Win2k と入力してください。

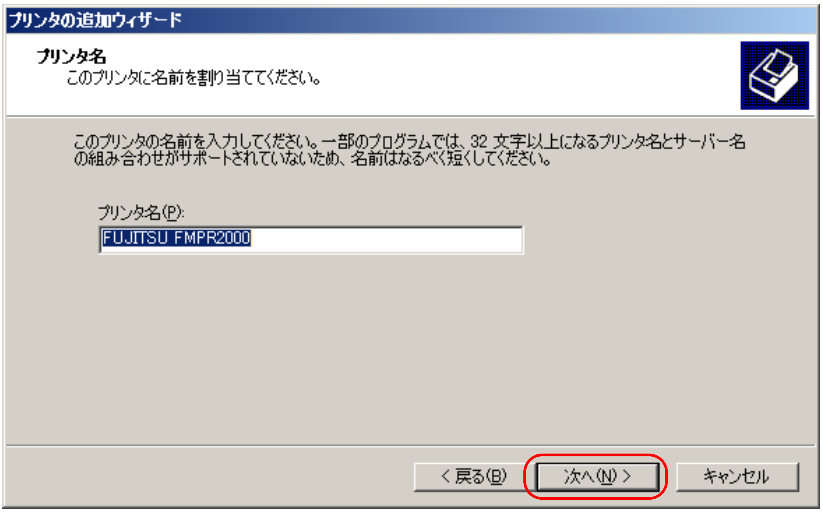
8 プリンタを選択して〔次へ〕をクリックする



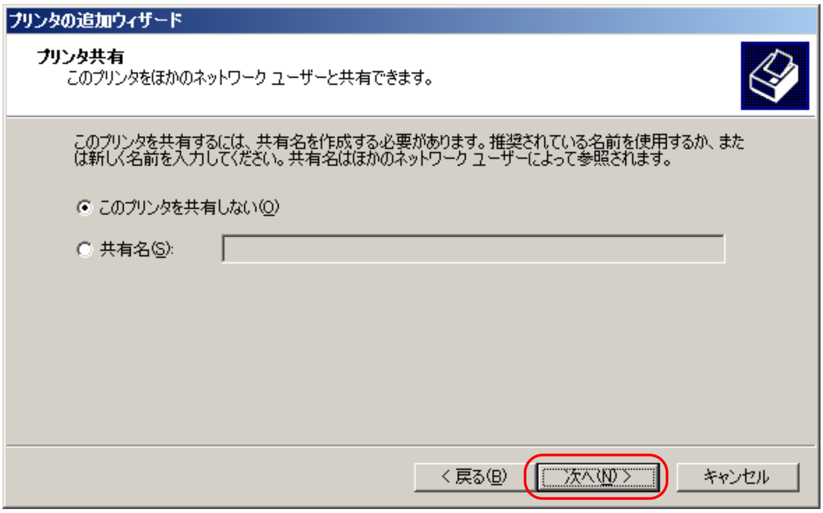
ガイド

- 「このプリンタのプリンタドライバが既にインストールされています。既存のドライバを使うか、またはこのドライバを置き換えることができます。」という画面が表示される場合は、「新しいドライバに置き換える」を選択します。

９ プリンタ名を入力し、〔次へ〕をクリックする



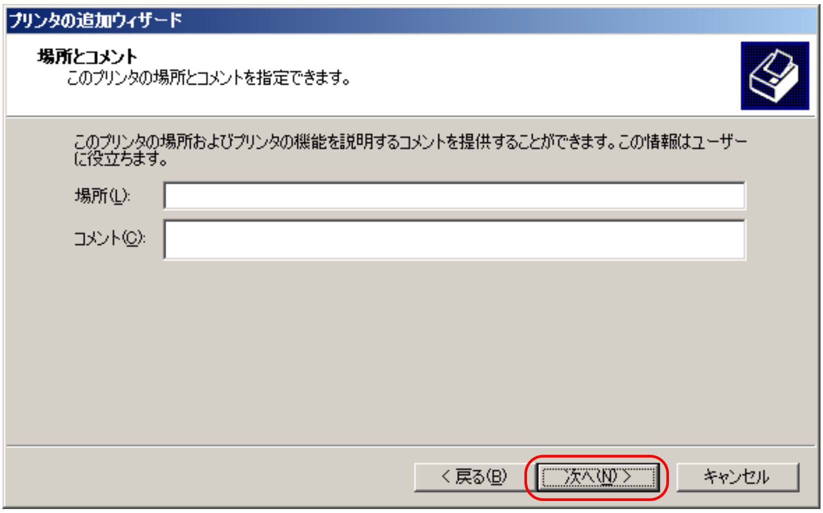
１０ プリンタの共有について設定を行い、〔次へ〕をクリックする



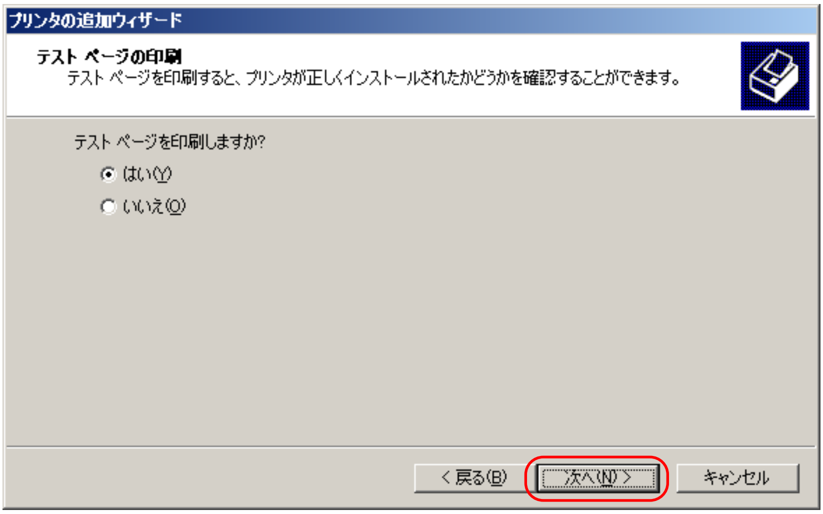
ガイド

- 「このプリンタを共有しない」を選択した場合は、手順*１２*に進みます。
- プリントサーバとして使用する場合は、「共有名」をクリックし、共有する時のプリンタ名を入力して、手順*１１*に進みます。

１１　プリントサーバとして共有した時の、プリンタの場所，コメントを提供するかどうかを指定し〔次へ〕をクリックする



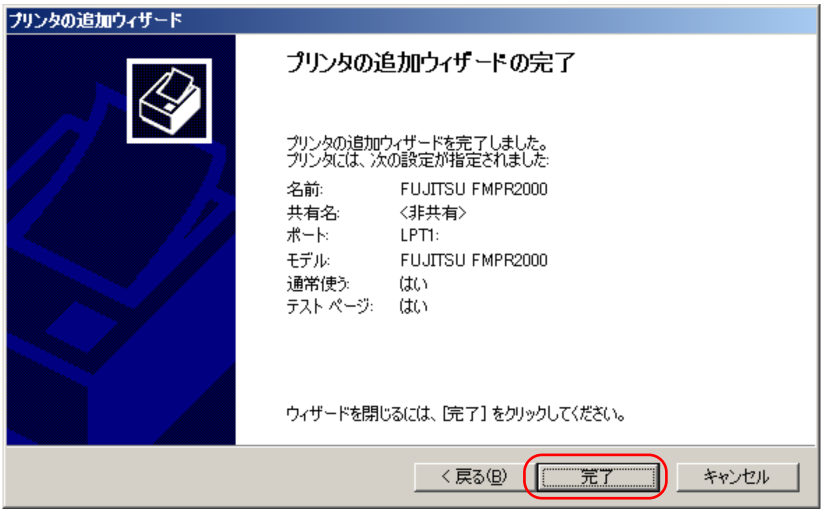
１２　テストページ印刷の設定を行い、〔次へ〕をクリックする



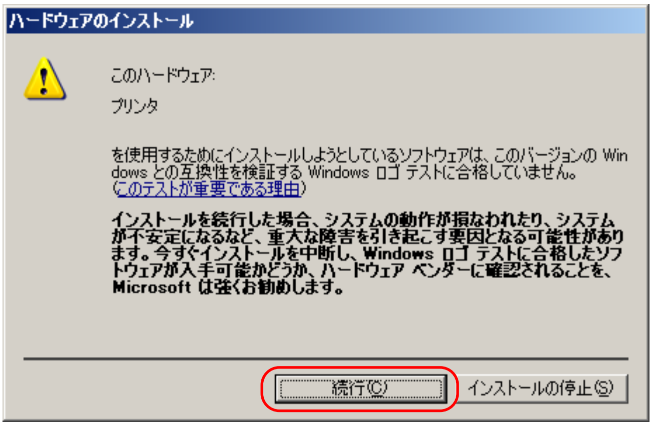
ガイド

- 〔はい〕を選択した場合は、プリンタにＡ４タテ以上の用紙をセットしてください。　用紙のセット方法については、『プリンタ編』「第 3 章　用紙のセット」（53 ページ）を参照してください。
- 手順 *５* で仮のプリンタポートを指定した場合は、〔いいえ〕を選択してください。

１３ 〔完了〕をクリックする



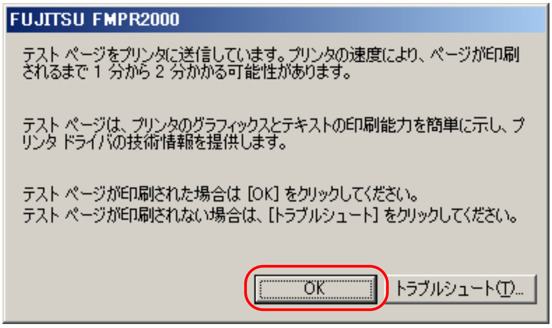
１４ 「ハードウェアのインストール」画面で、「プリンタを使用するためにインストールしようとしているソフトウェアは、このバージョンのWindows との互換性を検証する Windows ロゴテストに合格していません。」と表示されますが、〔続行〕をクリックする



ガイド

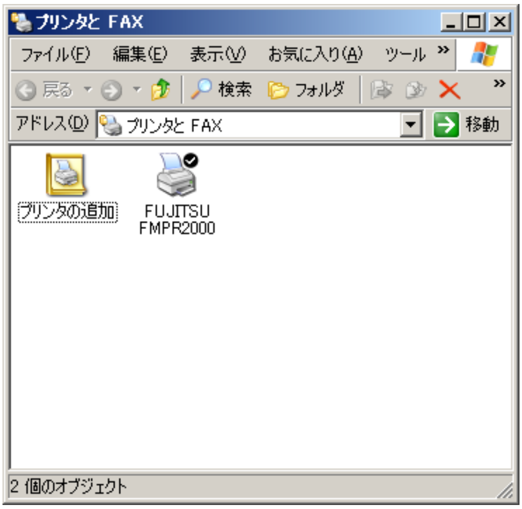
・〔続行〕をクリックすると、ファイルのコピーが開始されます。

１５ テストページが正しく印刷されたら、〔OK〕をクリックする



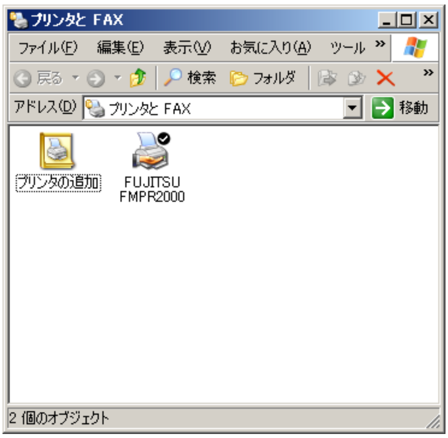
１６ 「プリンタと FAX」フォルダにプリンタ名が表示されていることを確認する

これで、プリンタドライバのインストールは完了です。



ガイド

・手順１０ で共有する設定を行った場合は、下記プリンタアイコンが表示されます。



■ Windows XP のとき

ここでは、Windows XP が動作するパソコンにプリンタドライバをインストールする方法について、Windows XP Professional の画面を例に説明しています。

インストール手順は、プリンタを、プリンタフォルダから手動で指定するか、プリンタフォルダからプラグアンドプレイで検出するか、プラグアンドプレイで検出するかによって異なります。それぞれの手順に従ってください。

プラグアンドプレイでプリンタが検出されない場合は、プリンタフォルダからプリンタドライバをインストールしてください。

以下の手順では、FMPR2000G を例に説明しています。

FMPR3000G をお使いの場合は、“FMPR2000”を“FMPR3000”と読み替えてください。

ガイド

- ご使用のパソコンにインストールされている Windows XP のバージョンによっては、インストール手順や表示内容が異なる場合があります。このときは、表示内容に従ってインストールしてください。
- 64 ビット版 Windows XP をお使いの場合も、本手順でインストールしてください。
- プリンタドライバセットアップディスク、および Windows オペレーティングシステムディスクを準備してください。
- インストールを行う際には、必ず Administrator（コンピュータの管理者）権限を持ったアカウントでログオンしてください。
- 異なるバージョンの FUJITSU FMPR2000 または FUJITSU FMPR3000 プリンタドライバがインストールされている場合は、削除してからインストールしてください。
- ここでは、FUJITSU FMPR2000G または FUJITSU FMPR3000G プリンタがローカル接続されたパソコンにプリンタドライバをインストールする手順を説明しています。ネットワーク接続や共有プリンタ(他のパソコンに接続されているプリンタ)でのインストール方法は、Windows XP の取扱説明書、ヘルプ、およびプリンタ LAN カード FMPR-LN1G（オプション）のマニュアルを参照してください。
- パラレルインターフェースで接続する場合、「プリンタの追加」からインストールすると、Windows XP を起動するたびに「新しいハードウェアの検索ウィザード」が表示されますので、プラグアンドプレイでのインストールを推奨します。
- USB インターフェースの場合、接続ポートを変更すると、「新しいハードウェアの検索ウィザード」が表示されます。接続ポート毎にプリンタドライバをインストールするか、「新しいハードウェアの検索ウィザード」の〔キャンセル〕ボタンをクリックして、既にインストールされているプリンタドライバのポート設定を変更してください。

◆　プラグアンドプレイで検出する場合

パソコン起動時に「新しいハードウェアが検出されました。FUJITSU FMPR2000」と表示されます。

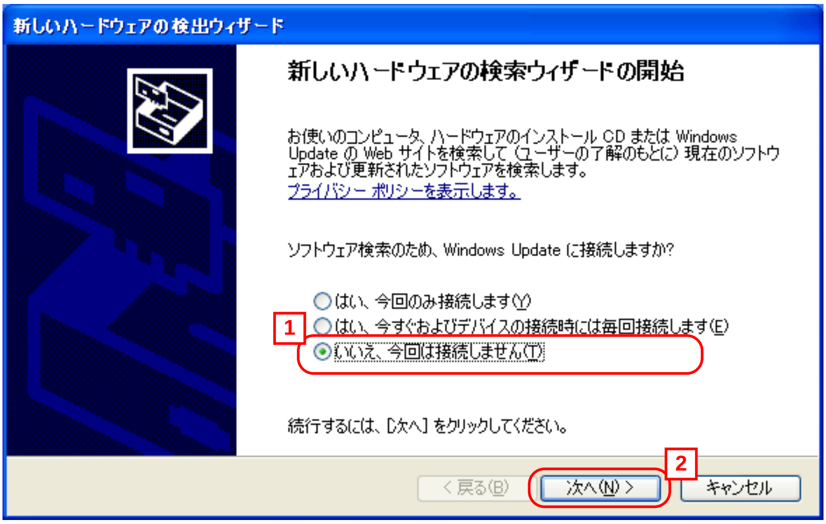
ガイド

・プラグアンドプレイはプリンタがパソコンに直接つながっている場合のみ行われます。
　プリンタが検出されない場合は、「プリンタフォルダからのインストール」の（273ページ）でインストールしてください。

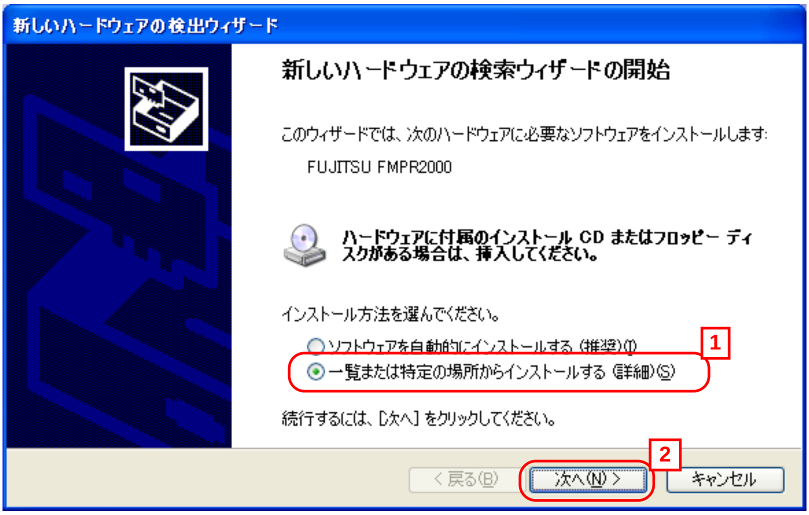
1 プリンタとパソコンを接続し、プリンタの電源を入れた状態で Windows XP を起動する

2 新しいハードウェアの検索ウィザードの開始画面が表示されたら、「いいえ、今回は接続しません」を選択し、〔次へ〕をクリックする

注 1）環境によっては、この画面が表示されない場合があります。



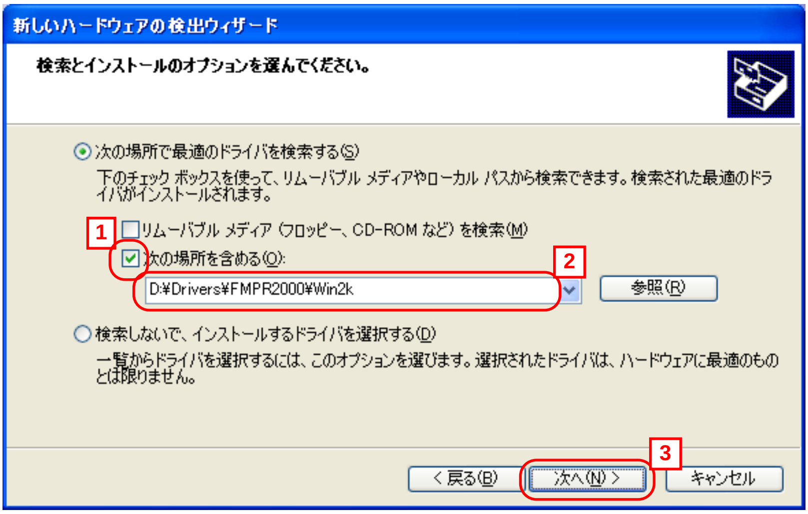
3 新しいプリンタを検出する画面が表示されたら、「一覧または特定の場所からインストール（詳細）」を選択し、〔次へ〕をクリックする



注 1)　環境によっては、この画面内の「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」が表示されない場合があります。

4 添付のプリンタドライバセットアップディスクをパソコンの CD-ROM ドライブにセットする

5 「次の場所で最適のドライバを検索する」の「次の場所を含める」にチェックをつけ、D:¥Drivers¥FMPR2000¥Win2k」と入力するか、〔参照〕をクリックして「D:¥Drivers¥FMPR2000¥Win2k」を選択した後〔次へ〕をクリックする

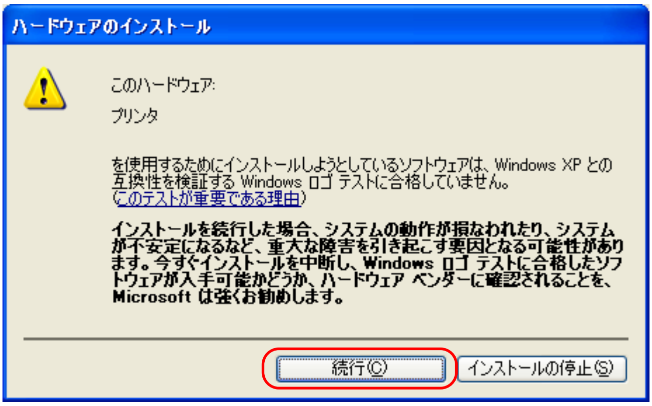


注 1)　上記は CD-ROM ドライブが D:のときの入力例です。ご使用の環境に合わせてドライブを変更してください。

注 2)　64 ビット版 Windows XP をお使いの場合も、本フォルダを指定してください。

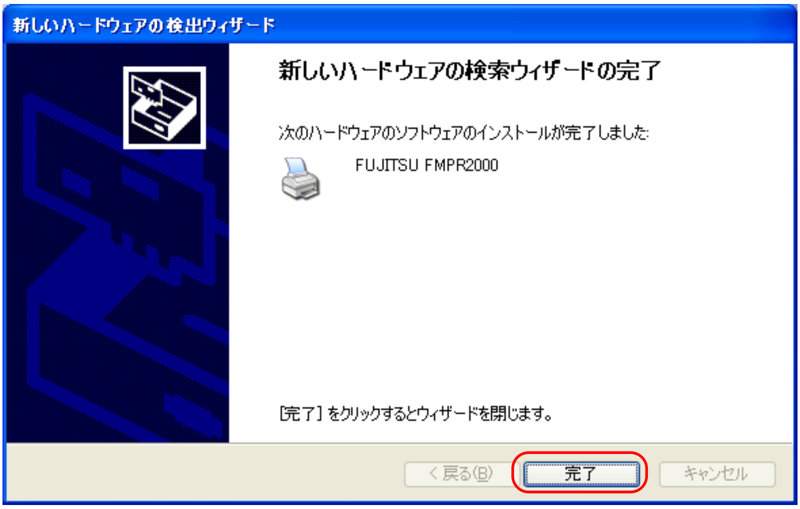
注 3)　FMPR3000G のときは、Drivers¥FMPR3000¥Win2k と入力してください。

6 「ハードウェアのインストール」画面が表示されたら、〔続行〕をクリックする



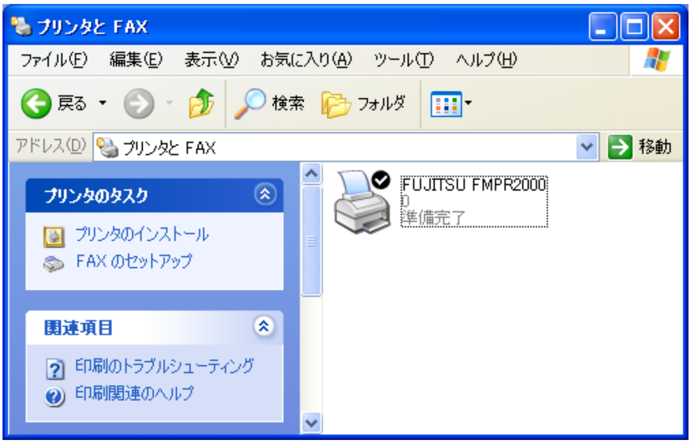
7 ファイルのコピーが開始されます。

8 「新しいハードウェアの検索ウィザードの完了」画面が表示されたら、「次のハードウェアのソフトウェアのインストールが完了しました: FUJITSU FMPR2000」というメッセージが表示される事を確認し〔完了〕をクリックする



9　「プリンタと FAX」フォルダにプリンタ名が表示されていることを確認する

これで、プリンタドライバのインストールは完了です。



◆　プリンタフォルダからのインストール

プリンタフォルダからのインストールには、手動でプリンタを指定する場合と、プラグアンドプレイで検出する場合があります。
手動でプリンタを指定する場合、Windows XP を起動するたびに「新しいハードウェアの検索ウィザード」が表示されるので、プラグアンドプレイで検出する場合を推奨します。
ここでは、Windows XP Professional にプリンタドライバをインストールするときの画面を例に説明しています。

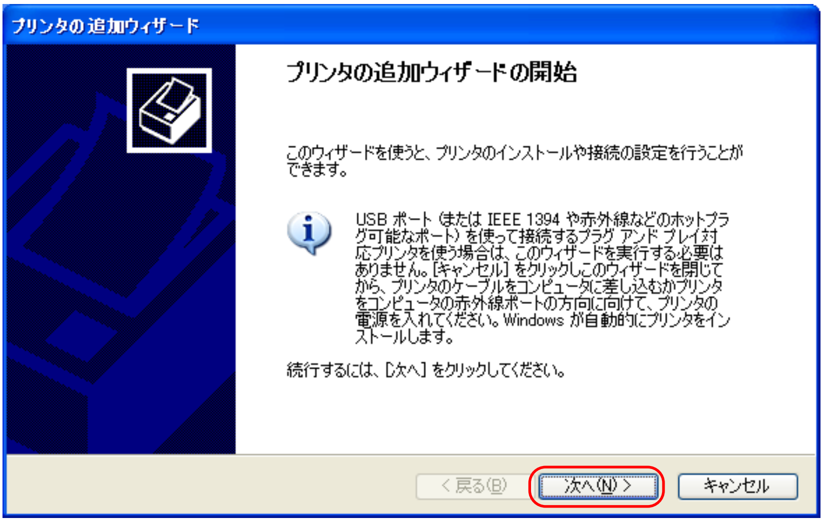
1　Windows XP を起動する

2　〔スタート〕→〔プリンタと FAX〕を選択して、次に〔プリンタのインストール〕をクリックする

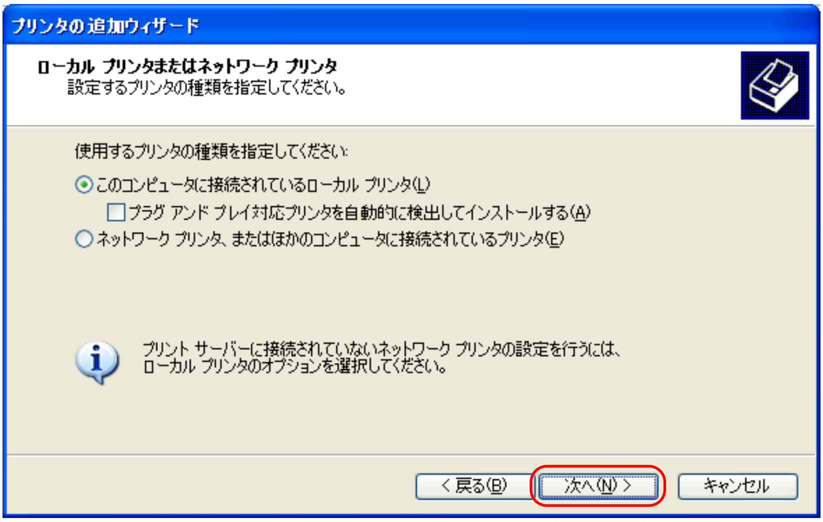
ガイド

・Windows XP Home Edition の場合は、〔スタート〕→〔コントロールパネル〕→〔プリンタとその他のハードウェア〕を選択して、「プリンタとその他のハードウェア」画面で「プリンタの追加する」を選択してください。

3　「プリンタの追加ウィザードの開始」画面が表示されたら〔次へ〕をクリックする



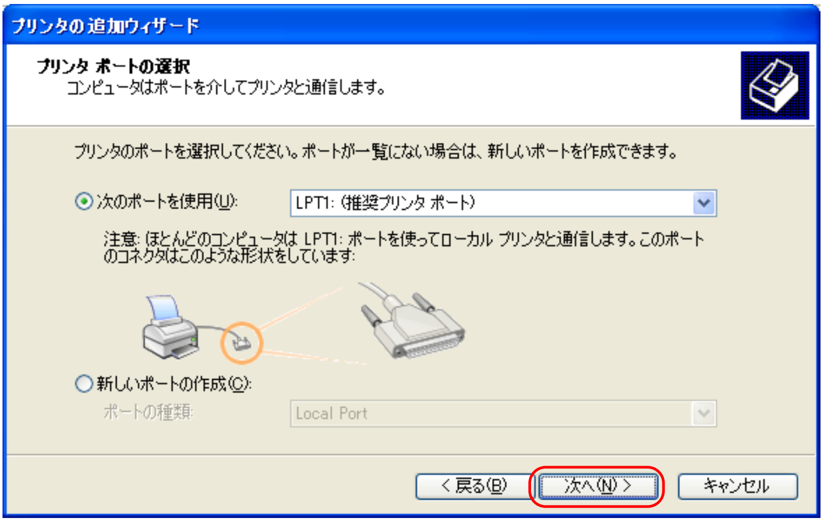
4 「ローカルプリンタまたはネットワークプリンタ」画面が表示されたら、「このコンピュータに接続されているローカルプリンタ」を選択し、〔次へ〕をクリックする



ガイド

- プラグアンドプレイで検出する場合は、「プラグ アンド プレイ プリンタを自動的に検出してインストールする」にチェックを付け、〔次へ〕をクリックします。
  本設定を行った場合は、「プラグアンドプレイで検出する場合」(269ページ)の手順 ***2*** に進みます。
  「プラグアンドプレイで検出する場合」(269ページ)の手順 ***7*** が終了したら、「プリンタフォルダからのインストール」の手順 ***12*** に進みます。
- この画面は、パソコンがネットワークに接続されているときのみ表示されます。
- スタンドアロン（パソコンとプリンタを１対１で接続）のときや、パソコンをプリントサーバとして使うときは、ローカルプリンタを選択します。
  印刷先（ポート）を後で変更する場合も、ローカルプリンタを選択してください。ただし、正しい印刷先に設定するまでテストページ等の印刷は行わないでください。
- 「ネットワークプリンタ」を選んでインストールするには、プリントサーバ上に、対応するプリンタドライバがあらかじめインストールされている必要があります。
  また、「代替ドライバとネットワークインストール」はサポートしていません。

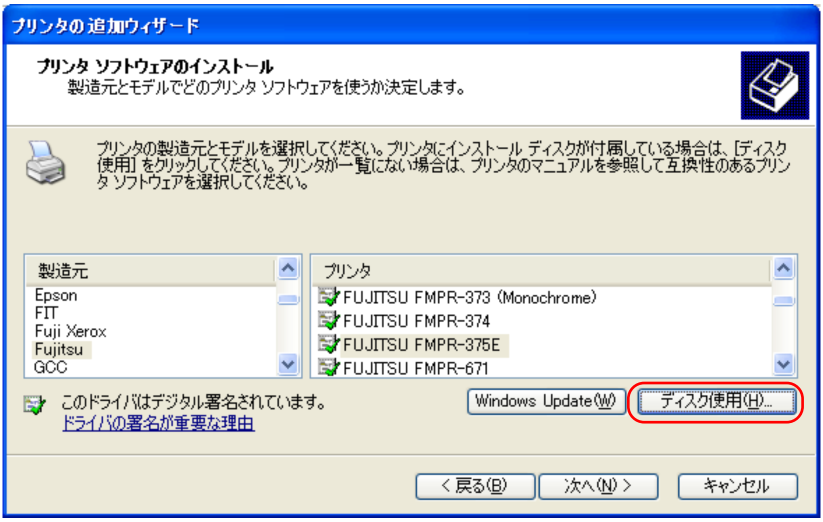
5 使用するプリンタポートを選択し、〔次へ〕をクリックする



ガイド

・使用するポートがまだ作成されていない場合は、仮のポートとしてローカルポート（LPT1）などを選択してください。

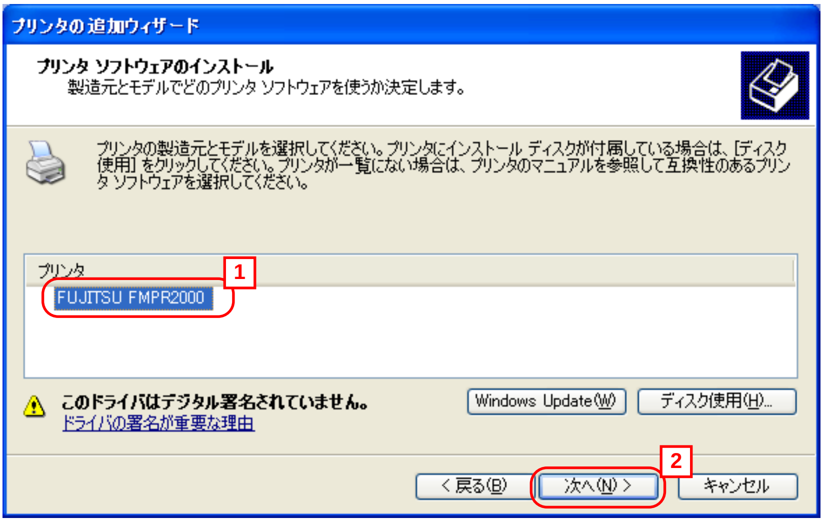
6 添付のプリンタドライバセットアップディスクをパソコンの CD-ROM ドライブにセットして、〔ディスク使用〕をクリックする



7 「製造元のファイルのコピー元」に、「D:¥Drivers¥FMPR2000¥Win2k」と入力するか、〔参照〕をクリックして「D:¥Drivers¥FMPR2000¥Win2k」を選択する
入力が終わったら〔OK〕をクリックする

注 1）上記は CD-ROM ドライブが D:のときの入力例です。ご使用の環境に合わせてドライブを変更してください。
注 2）64 ビット版 Windows XP をお使いの場合も、本フォルダを指定してください。
注 3）FMPR3000G のときは、Drivers¥FMPR3000¥Win2k と入力してください。

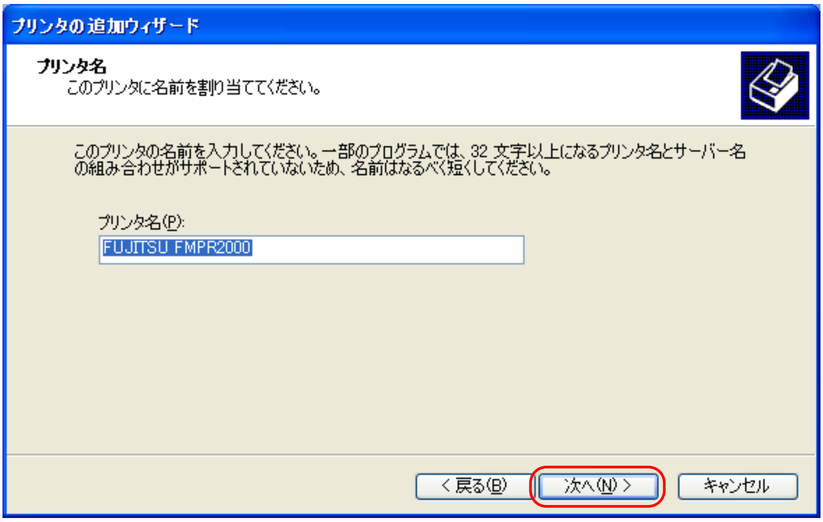
8 プリンタを選択して〔次へ〕をクリックする



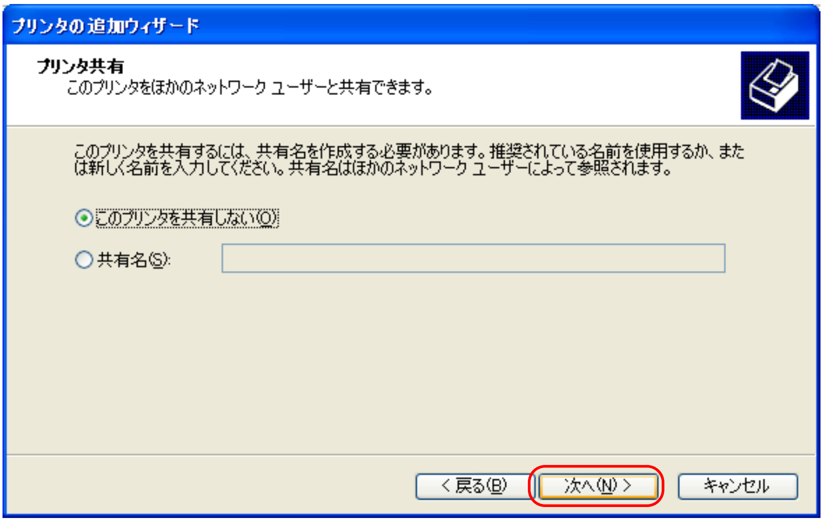
ガイド

- 「このプリンタのプリンタドライバが既にインストールされています。既存のドライバを使うか、またはこのドライバを置き換えることができます。」という画面が表示される場合は、「新しいドライバに置き換える」を選択します。

9　プリンタ名を入力し、〔次へ〕をクリックする



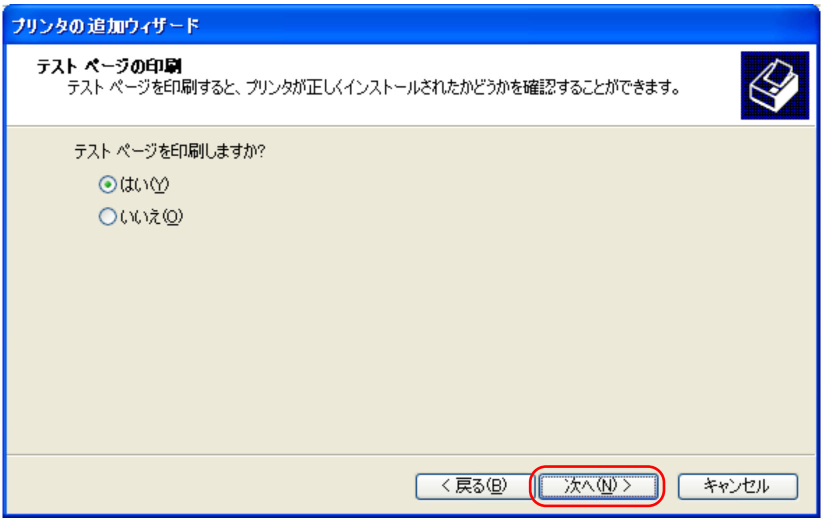
10　プリンタの共有について設定を行い、〔次へ〕をクリックする



ガイド

- ここでは、必ず「このプリンタを共有しない」を選択してください。

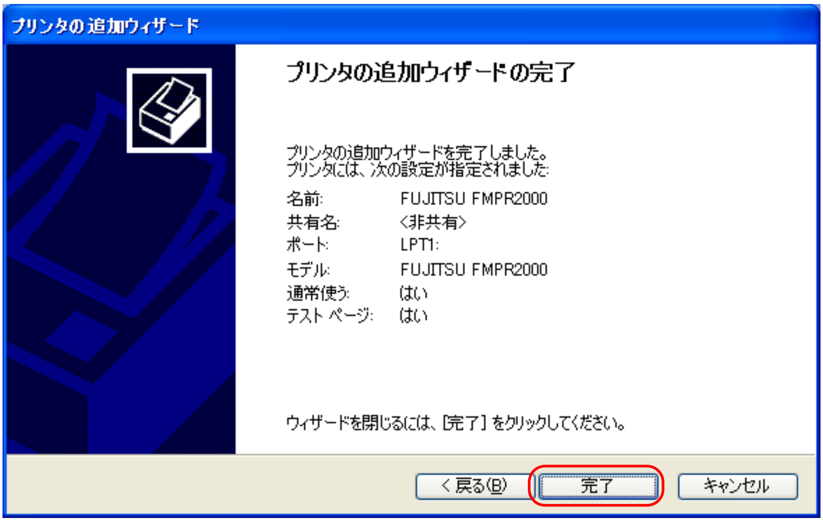
1 1 テストページ印刷の設定を行い、〔次へ〕をクリックする



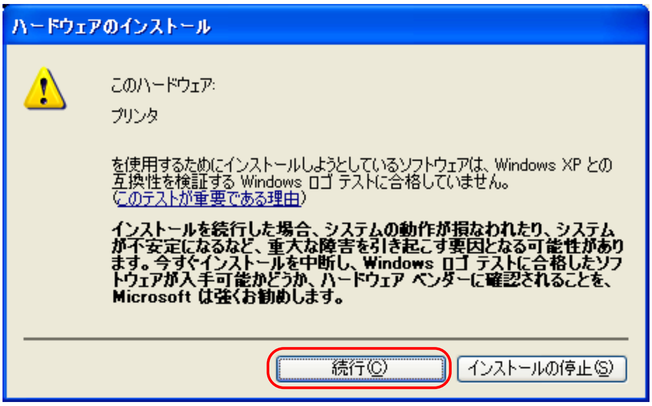
ガイド

- 〔はい〕を選択した場合は、プリンタにＡ４タテ以上の用紙をセットしてください。　用紙のセット方法については、『プリンタ編』「第 3 章　用紙のセット」（53 ページ）を参照してください。
- 手順 *5* で仮のプリンタポートを指定した場合は、〔いいえ〕を選択してください。

1 2 〔完了〕をクリックする



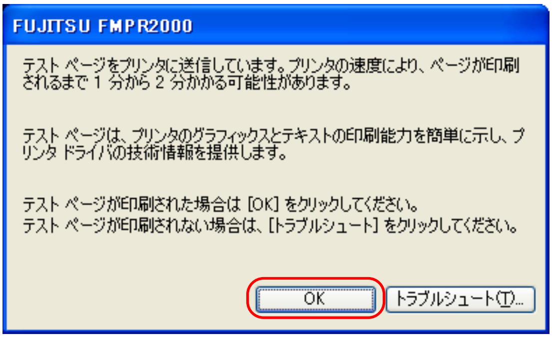
１３ 「ハードウェアのインストール」画面で、「プリンタを使用するためにインストールしようとしているソフトウェアは、Windows XP との互換性を検証する Windows ロゴテストに合格していません。」と表示されますが、〔続行〕をクリックする



ガイド

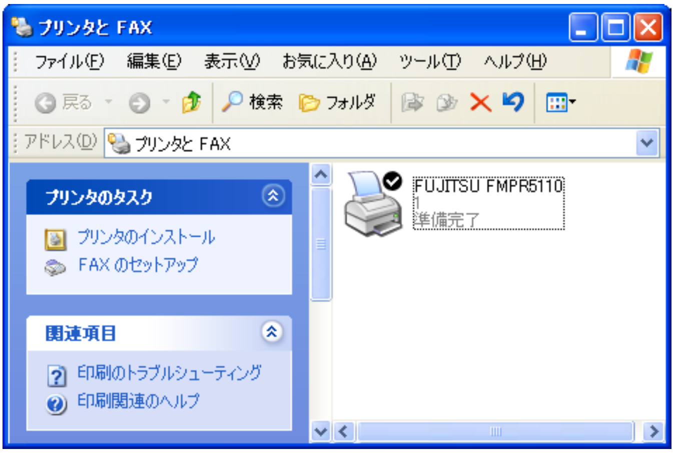
・〔続行〕をクリックすると、ファイルのコピーが開始されます。

１４ テストページが正しく印刷されたら、〔OK〕をクリックする



１５　「プリンタと FAX」フォルダにプリンタ名が表示されていることを確認する

これで、プリンタドライバのインストールは完了です。



■ Windows 2000 のとき

ここでは、Windows 2000 が動作するパソコンにプリンタドライバをインストールする方法について、Windows 2000 Professional の画面を例に説明しています。
インストール手順は、プリンタを、プリンタフォルダから手動で指定するか、プリンタフォルダからプラグアンドプレイで検出するか、プラグアンドプレイで検出するかによって異なります。それぞれの手順に従ってください。
プラグアンドプレイでプリンタが検出されない場合は、プリンタフォルダからプリンタドライバをインストールしてください。
以下の手順では、FMPR2000G を例に説明しています。
FMPR3000G をお使いの場合は、“FMPR2000”を“FMPR3000”と読み替えてください。

ガイド

- ご使用のパソコンにインストールされている Windows 2000 のバージョンによっては、インストール手順や表示内容が異なる場合があります。このときは、表示内容に従ってインストールしてください。
- プリンタドライバセットアップディスク、および Windows オペレーティングシステムディスクを準備してください。
- インストールを行う際には、必ず Administrator（コンピュータの管理者）権限を持ったアカウントでログオンしてください。
- 異なるバージョンの FUJITSU FMPR2000 または FUJITSU FMPR3000 プリンタドライバがインストールされている場合は、削除してからインストールしてください。
- ここでは、FUJITSU FMPR2000G または FUJITSU FMPR3000G プリンタがローカル接続されたパソコンにプリンタドライバをインストールする手順を説明しています。ネットワーク接続や共有プリンタ(他のパソコンに接続されているプリンタ)でのインストール方法は、Windows 2000 の取扱説明書、ヘルプ、およびプリンタ LAN カード FMPR-LN1G（オプション）のマニュアルを参照してください。
- パラレルインターフェースで接続する場合、「プリンタの追加」からインストールすると、Windows 2000 を起動するたびに「新しいハードウェアの検索ウィザード」が表示されますのでプラグアンドプレイでのインストールを推奨します。
- USB インターフェースを使用する時に、接続ポートを変更すると、「新しいハードウェアの検索ウィザード」が表示されます。接続ポート毎にプリンタドライバをインストールするか、「新しいハードウェアの検索ウィザード」の〔キャンセル〕ボタンをクリックして、既にインストールされているプリンタドライバのポート設定を変更してください。

◆　プラグアンドプレイで検出する場合

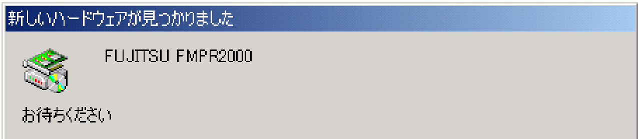
パソコン起動時に「新しいハードウェアが検出されました。FUJITSU FMPR2000」と表示されます。

ガイド

・プラグアンドプレイはプリンタがパソコンに直接つながっている場合のみ行われます。
プリンタが検出されない場合は、「プリンタフォルダからのインストール」の（287ページ）でインストールしてください。

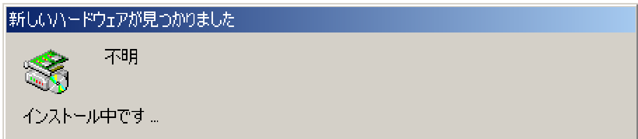
1 プリンタとパソコンを接続し、プリンタの電源を入れた状態で Windows 2000 を起動する

2 検出に成功すると、以下の画面が表示される

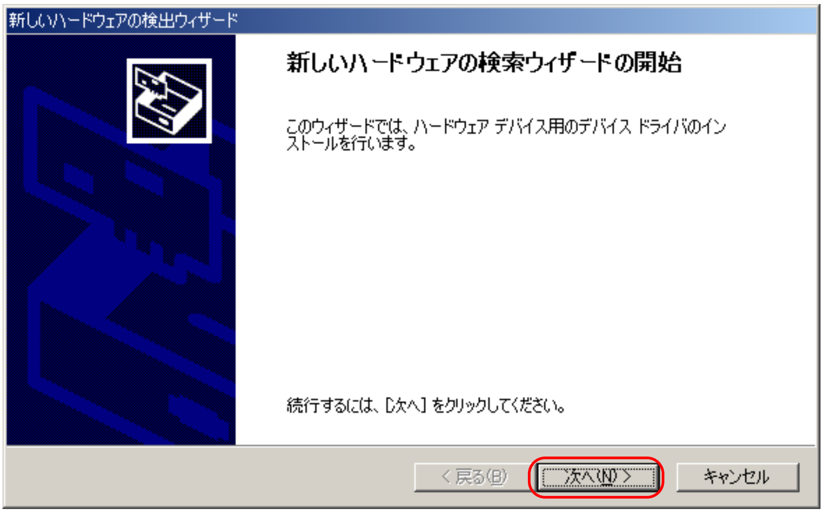


ガイド

・USB インターフェースで接続した場合“不明”となることがありますが、手順 *3* 項以降は同じ手順でインストールしてください。

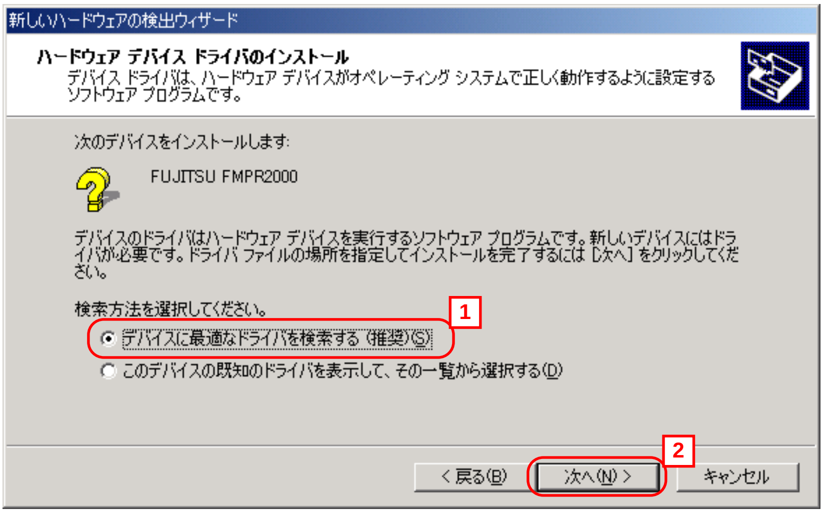


3 「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」画面が表示されたら、〔次へ〕をクリックする



4 添付のプリンタドライバセットアップディスクをパソコンの CD-ROM ドライブにセットする

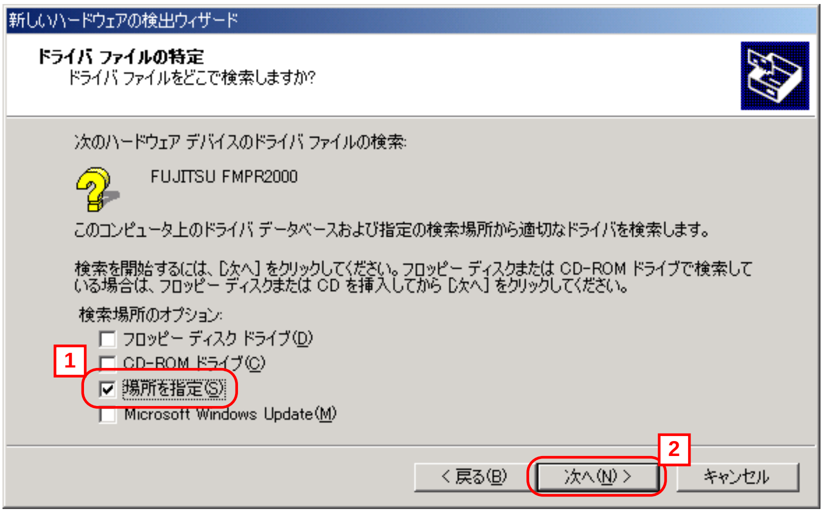
5 「デバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」を選択して、〔次へ〕をクリックする



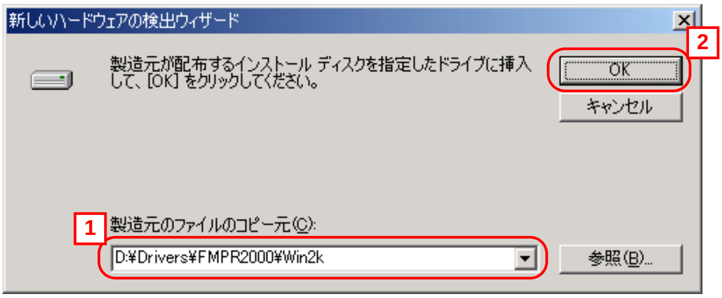
ガイド

- USB インターフェースの時は、本画面のプリンタアイコンが？アイコンになる場合があります。（これ以降の画面も同じです）

6 「場所を指定」だけにチェックをつけ、〔次へ〕をクリックする

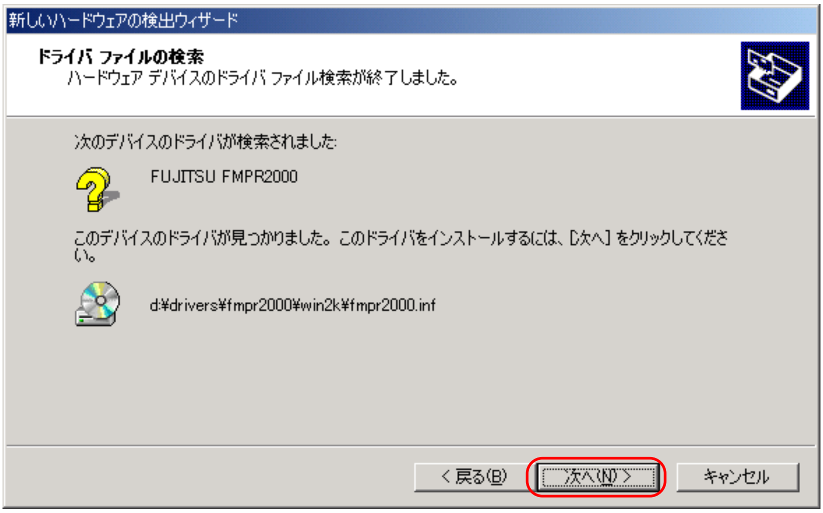


7 「製造元のファイルのコピー元」に、D:¥Drivers¥FMPR2000¥Win2k」と入力するか、〔参照〕をクリックして「D:¥Drivers¥FMPR2000¥Win2k」を選択する
入力が終わったら〔OK〕をクリックする

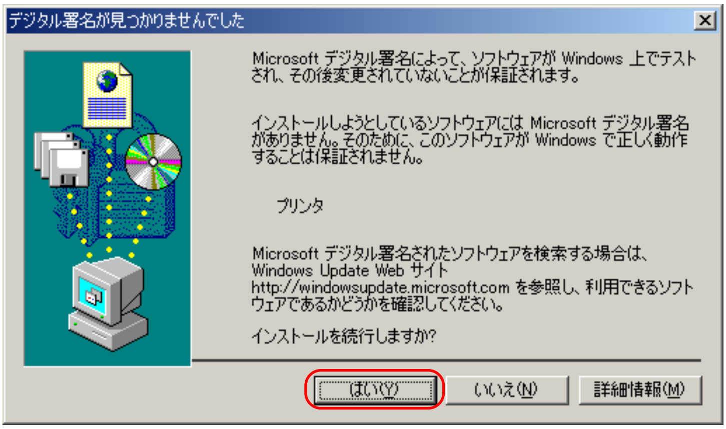


注 1)　上記は CD-ROM ドライブが D:のときの入力例です。ご使用の環境に合わせてドライブを変更してください。
注 2)　FMPR3000G のときは、Drivers¥FMPR3000¥Win2k と入力してください。

8　「ドライバファイルの検索」画面が表示されたら、〔次へ〕をクリックする

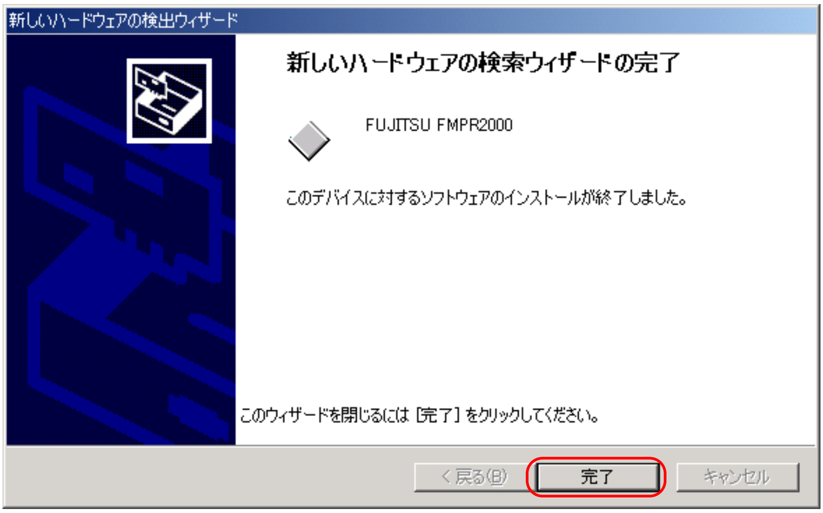


9　「デジタル署名が見つかりませんでした」画面が表示されますが、〔はい〕をクリックする



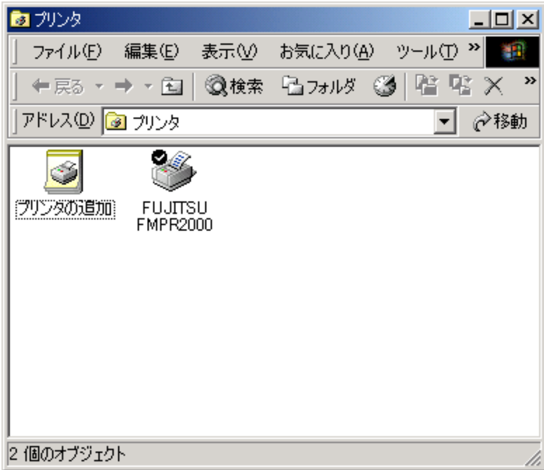
10　ファイルのコピーが開始される

１１　「新しいハードウェアの検索ウィザードの完了」画面が表示されたら、「FUJITSU FMPR2000　このデバイスに対するソフトウェアのインストールが完了しました。」というメッセージが表示される事を確認し、〔完了〕をクリックする



１２　「プリンタ」フォルダにプリンタ名が表示されていることを確認する

これで、プリンタドライバのインストールは完了です。

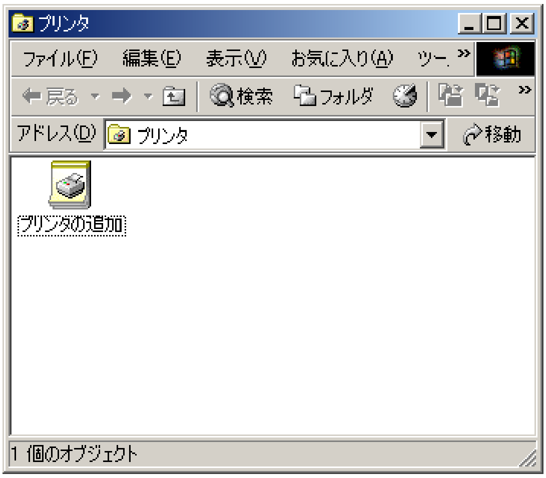


◆ プリンタフォルダからのインストール

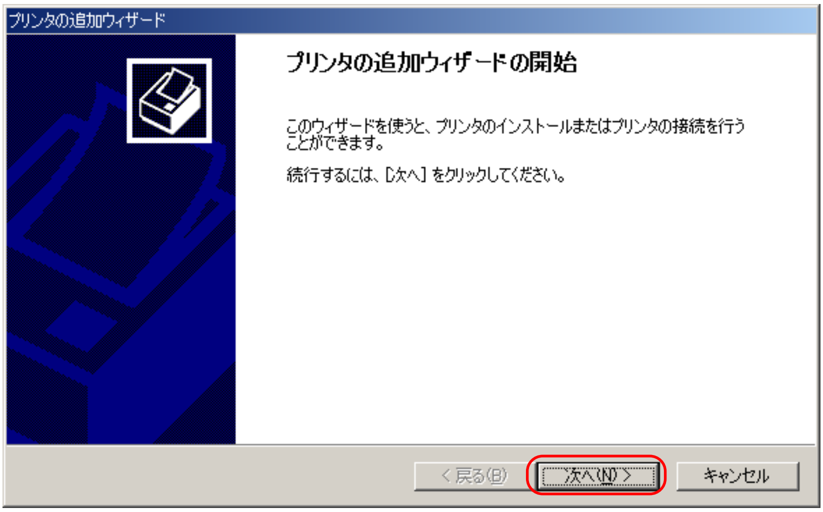
プリンタフォルダからのインストールには、手動でプリンタを指定する場合と、プラグアンドプレイで検出する場合があります。

1 Windows 2000 を起動する

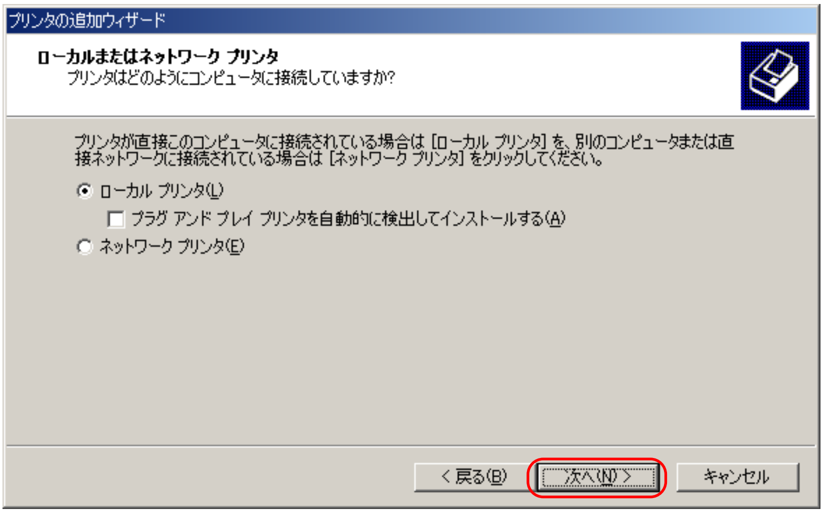
2 マイコンピュータのコントロールパネルより、〔プリンタ〕をダブルクリックして、次に〔プリンタの追加〕をダブルクリックする



3 「プリンタの追加ウィザードの開始」画面が表示されたら、〔次へ〕をクリックする



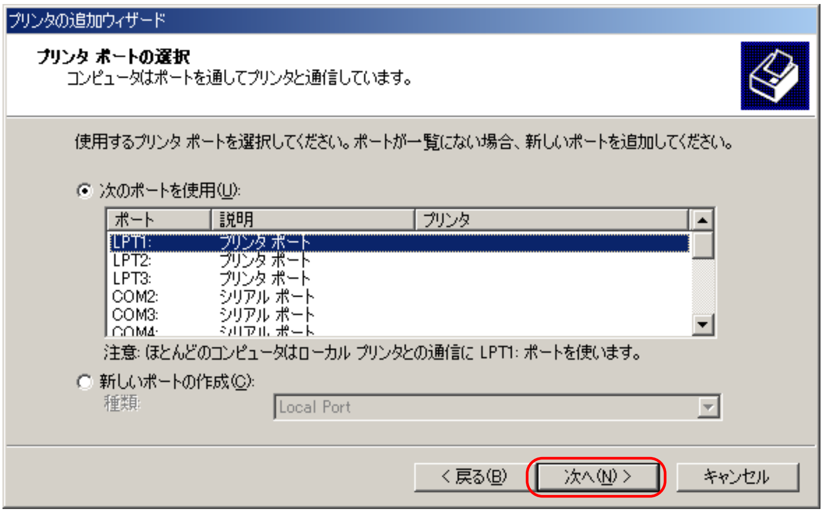
4　「ローカルプリンタまたはネットワークプリンタ」画面が表示されたら、「ローカルプリンタ」を選択し、〔次へ〕をクリックする



ガイド

- プラグアンドプレイで検出する場合は、「プラグ アンド プレイ プリンタを自動的に検出してインストールする」にチェックを付け、〔次へ〕をクリックします。
  本設定を行った場合は、「プラグアンドプレイで検出する場合」(282ページ) の手順 ***2*** に進みます。
  「プラグアンドプレイで検出する場合」(282ページ) の手順 ***7*** が終了したら、「プリンタフォルダからのインストール」の手順 ***12*** に進みます。
- この画面は、パソコンがネットワークに接続されているときのみ表示されます。
- スタンドアロン（パソコンとプリンタを１対１で接続）のときや、パソコンをプリントサーバとして使うときは、ローカルプリンタを選択します。
  印刷先（ポート）を後で変更する場合も、ローカルプリンタを選択してください。ただし、正しい印刷先に設定するまでテストページ等の印刷は行わないでください。
- 「ネットワークプリンタ」を選んでインストールするには、プリントサーバ上に、対応するプリンタドライバがあらかじめインストールされている必要があります。
  また、「代替ドライバとネットワークインストール」はサポートしていません。

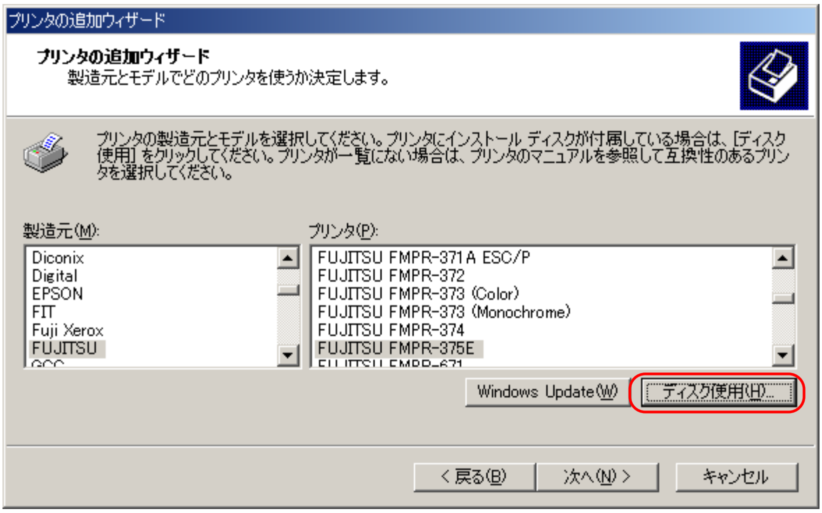
5 使用するプリンタポートを選択し、〔次へ〕をクリックする



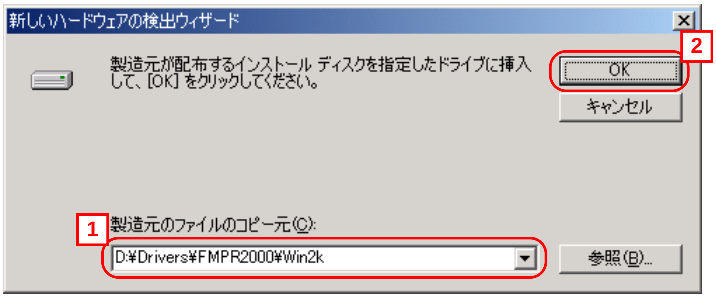
ガイド

・使用するポートがまだ作成されていない場合は、仮のポートとしてローカルポート（LPT1）などを選択してください。

6 添付のプリンタドライバセットアップディスクをパソコンの CD-ROM ドライブにセットして、〔ディスク使用〕をクリックする

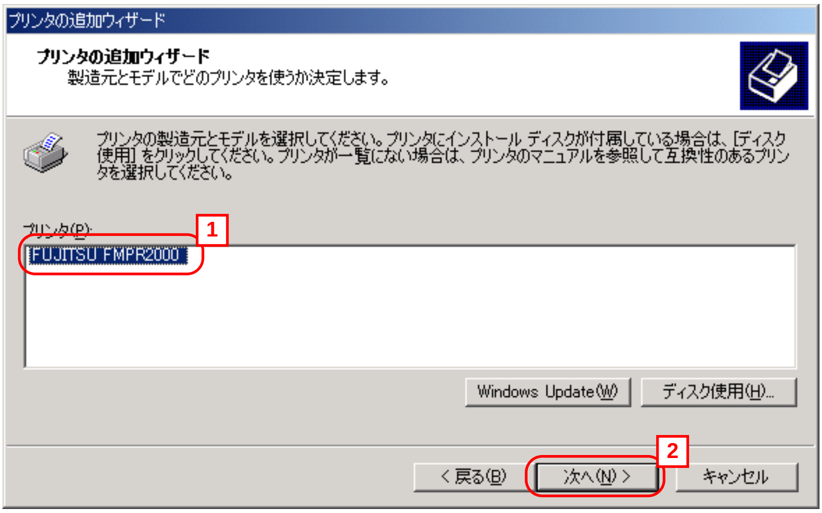


7 「製造元のファイルのコピー元」に、D:¥Drivers¥FMPR2000¥Win2k」と入力するか、〔参照〕をクリックして「D:¥Drivers¥FMPR2000¥Win2k」を選択する
入力が終わったら〔OK〕をクリックする



注 1)　上記は CD-ROM ドライブが D:のときの入力例です。ご使用の環境に合わせてドライブを変更してください。
注 2)　FMPR3000G のときは、Drivers¥FMPR3000¥Win2k と入力してください。

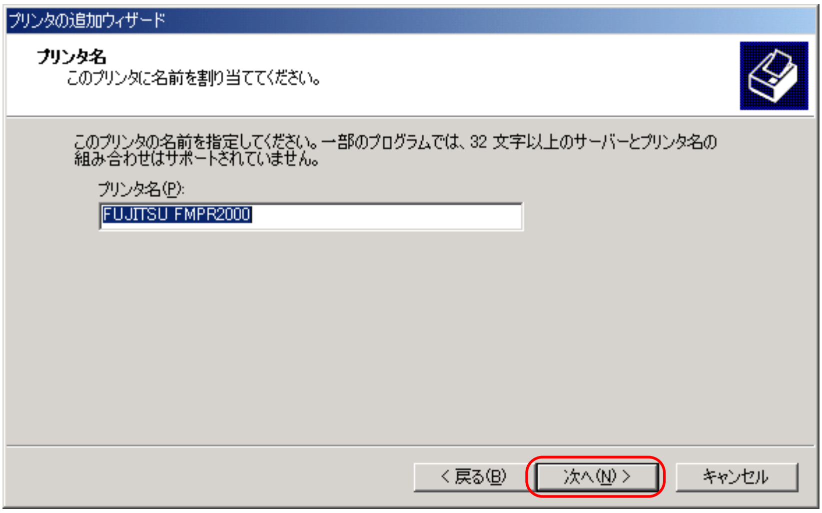
8 プリンタを選択して〔次へ〕をクリックする



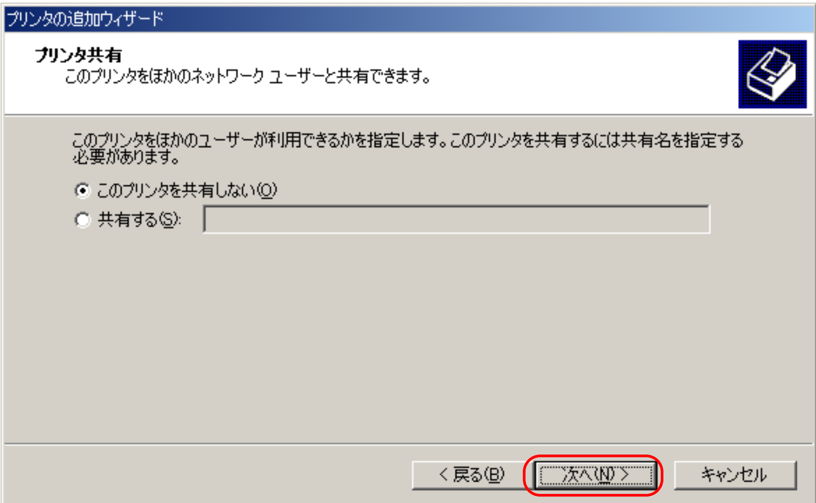
ガイド

- 「このプリンタのプリンタドライバが既にインストールされています。既存のドライバを使うか、またはこのドライバを置き換えることができます。」という画面が表示される場合は、「新しいドライバに置き換える」を選択します。

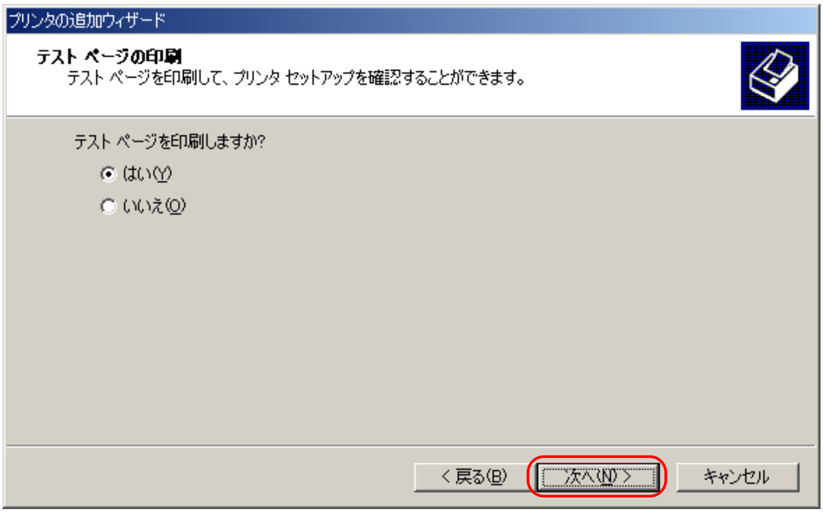
９　プリンタ名を入力し、〔次へ〕をクリックする



１０　「このプリンタを共有しない」を選択し、〔次へ〕をクリックする



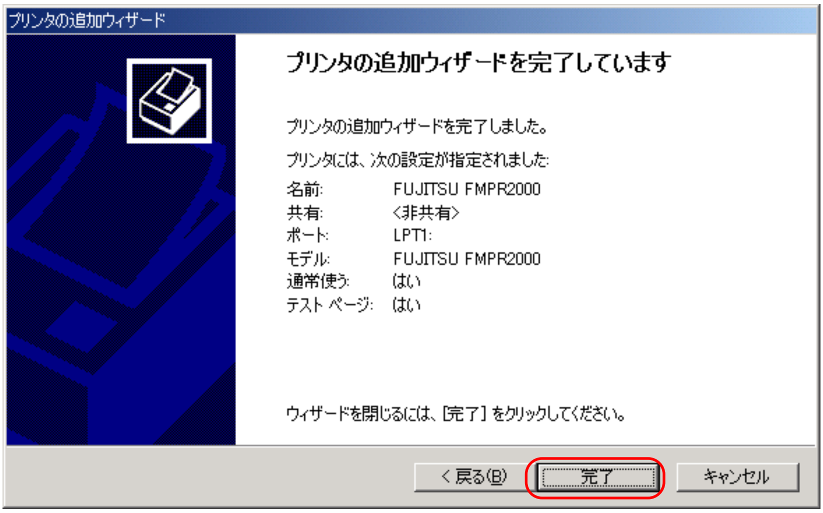
１１ テストページ印刷の設定を行い、〔次へ〕をクリックする



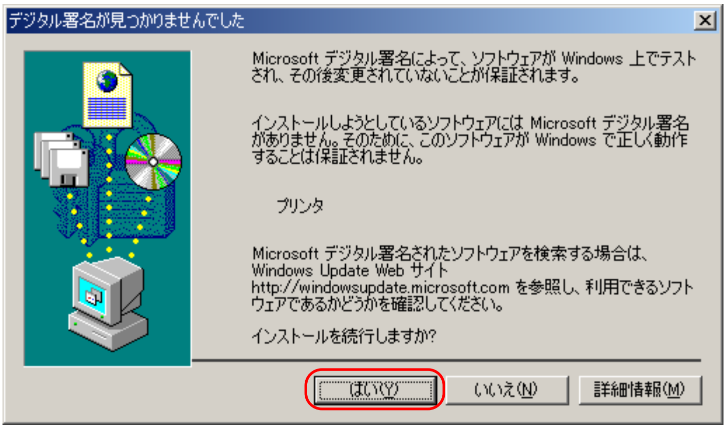
ガイド

- 〔はい〕を選択した場合は、プリンタにＡ４タテ以上の用紙をセットしてください。　用紙のセット方法については、『プリンタ編』「第３章　用紙のセット」（53 ページ）を参照してください。
- 手順 *５* で仮のプリンタポートを指定した場合は、〔いいえ〕を選択してください。

１２ 〔完了〕をクリックする

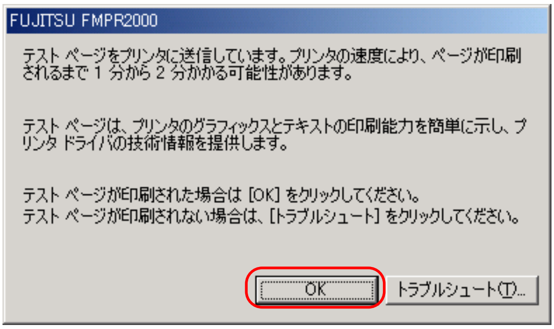


１３　「デジタル署名が見つかりませんでした」画面が表示されますが、〔はい〕をクリックする



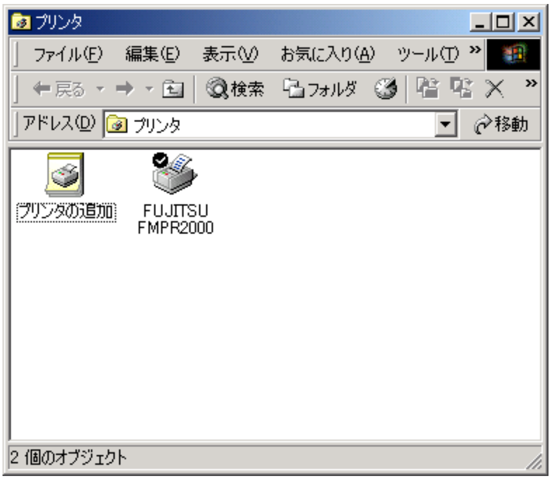
１４　ファイルのコピーが開始される

１５　テストページが正しく印刷されたら、〔OK〕をクリックする



１６　「プリンタ」フォルダにプリンタ名が表示されていることを確認する

これで、プリンタドライバのインストールは完了です。



■ Windows NT 4.0 のとき

ここでは、Windows NT 4.0 が動作するパソコンにプリンタドライバをインストールする方法について、Windows NT 4.0 の画面を例に説明しています。
インストール手順は、プリンタフォルダから手動で指定します。
以下の手順では、FMPR2000G を例に説明しています。
FMPR3000G をお使いの場合は、“FMPR2000”を“FMPR3000”と読み替えてください。

ガイド

- ご使用のパソコンにインストールされている Windows NT 4.0 のバージョンによっては、インストール手順や表示内容が異なる場合があります。このときは、表示内容に従ってインストールしてください。
- プリンタドライバセットアップディスク、および Windows オペレーティングシステムディスクを準備してください。
- インストールを行う際には、必ず Administrator（コンピュータの管理者）権限を持ったアカウントでログオンしてください。
- 異なるバージョンの FUJITSU FMPR2000 または FUJITSU FMPR3000 プリンタドライバがインストールされている場合は、削除してからインストールしてください。
- ここでは、FUJITSU FMPR2000G または FUJITSU FMPR3000G プリンタがローカル接続されたパソコンにプリンタドライバをインストールする手順を説明しています。ネットワーク接続や共有プリンタ(他のパソコンに接続されているプリンタ)でのインストール方法は、Windows NT 4.0 の取扱説明書、ヘルプ、およびプリンタ LAN カード FMPR-LN1G（オプション）のマニュアルを参照してください。
- Windows NT 4.0 では、プラグアンドプレイでのインストールをサポートしておりません。
  また、USB インターフェースをサポートしておりませんので、USB インターフェースケーブルでのご使用はできません。

◆ プリンタフォルダからのインストール

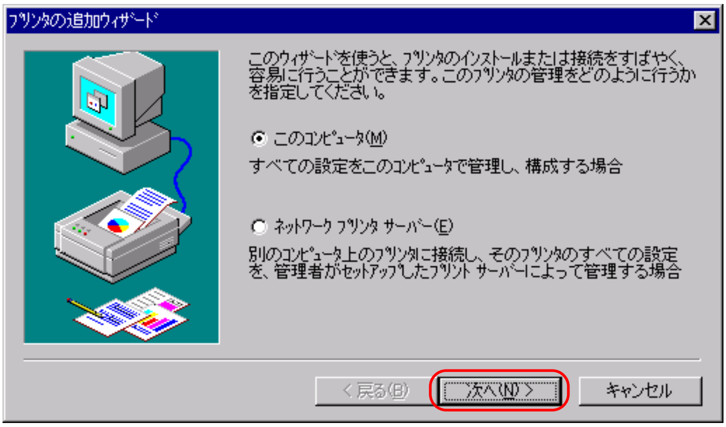
プリンタドライバのインストールは、以下の手順で行います。

1 Windows NT 4.0 を起動する

2 マイコンピュータのコントロールパネルより、〔プリンタ〕をダブルクリックして、次に〔プリンタの追加〕をダブルクリックする



3 「プリンタの追加ウィザード」画面が表示されたら、〔このコンピュータ〕を選択し、〔次へ〕をクリックする



ガイド

- 〔ネットワークプリンタサーバー〕を選択してインストールするには、あらかじめプリントサーバー上に対応するプリンタドライバがインストールされている必要があります。
- 本プリンタドライバは、「代替ドライバとネットワークインストール」はサポートしていません。

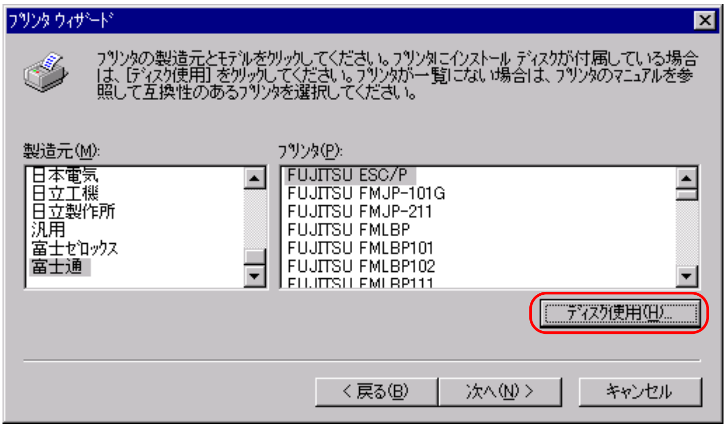
4 「利用可能なポート」から、プリンタを接続したポートを選択して、〔次へ〕をクリックする



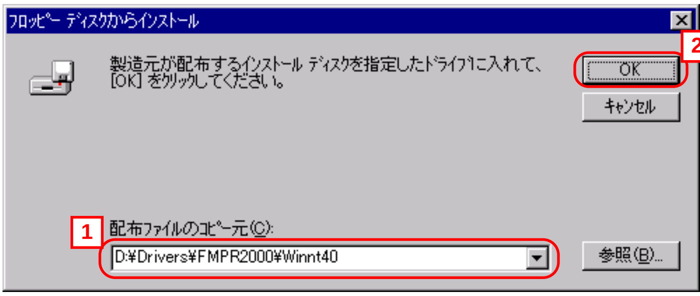
ガイド

・使用するポートがまだ作成されていない場合は、仮のポートとしてローカルポート（LPT1）などを選択してください。
この場合は、正しいポート設定を行うまでテストページ等の印刷は行わないでください。

5 添付のプリンタドライバセットアップディスクをパソコンの CD-ROM ドライブにセットして、〔ディスク使用〕をクリックする

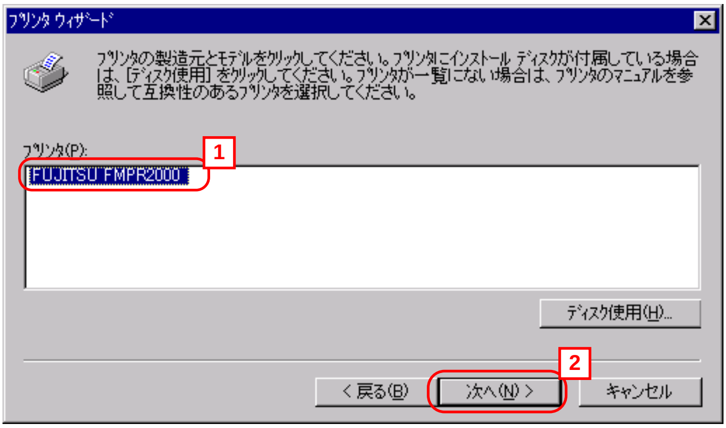


6 「配布ファイルのコピー元」に、D:¥Drivers¥FMPR2000¥Winnt40」と入力するか、〔参照〕をクリックして「D:¥Drivers¥FMPR2000¥Winnt40」を選択する
入力が終わったら〔OK〕をクリックする



注 1)　上記は CD-ROM ドライブが D:のときの入力例です。ご使用の環境に合わせてドライブを変更してください。
注 2)　FMPR3000G のときは、Drivers¥FMPR3000¥Winnt40 と入力してください。

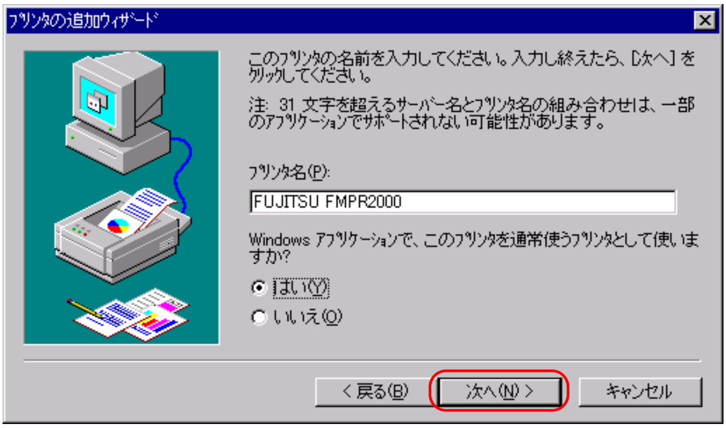
7 プリンタを選択して〔次へ〕をクリックする



ガイド

- 「このプリンタのプリンタドライバが既にインストールされています。現在のドライバをそのまま使いますか？新しいドライバを使うと、印刷結果が異なる場合があります。」という画面が表示される場合は、「新しいドライバに置き換える」を選択します。

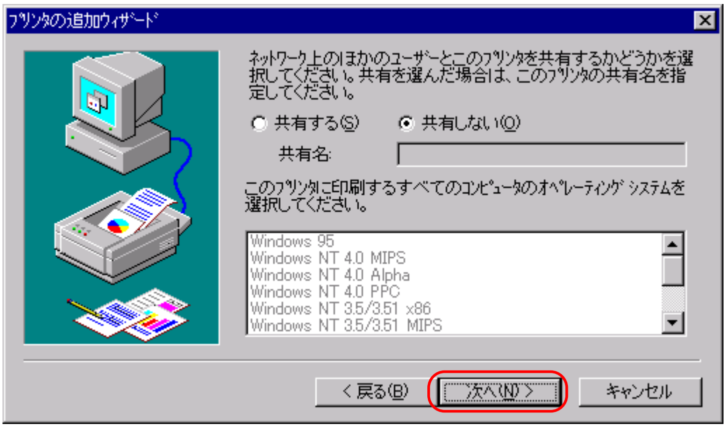
8 プリンタ名を入力し、通常使用するプリンタに設定する場合は、〔はい〕を選択して、〔次へ〕をクリックする



ガイド

・他にインストールされているプリンタが無い場合は、自動的に通常使用するプリンタに設定されます。

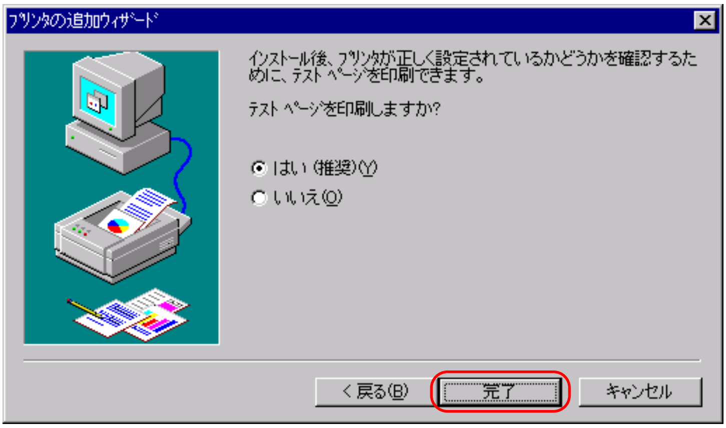
9 プリンタの共有について設定を行い、〔次へ〕をクリックする



ガイド

・ここでは、必ず「共有しない」を選択してください。

10 テストページ印刷の設定を行い、〔完了〕をクリックする

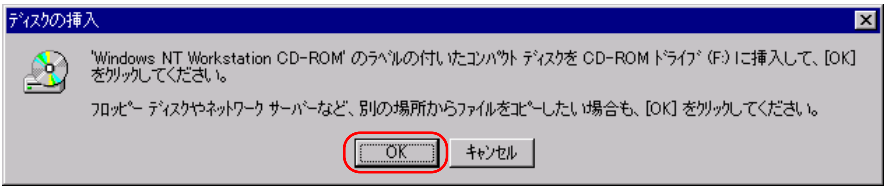


ガイド

- 〔はい〕を選択した場合は、プリンタにＡ４タテ以上の用紙をセットしてください。　用紙のセット方法については、『プリンタ編』「第 3 章　用紙のセット」（53 ページ）を参照してください。
- 手順 *5* で仮のプリンタポートを指定した場合は、〔いいえ〕を選択してください。

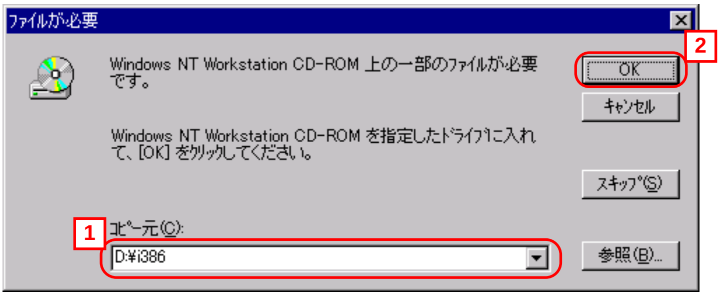
11 ファイルのコピーが開始される

12 〔ディスクの挿入〕画面が表示されたら、Windows NT 4.0 システムディスクをパソコンの CD-ROM ドライブにセットして〔OK〕をクリックする



１３ 「コピー元」に「D:¥I386」と入力するか、〔参照〕をクリックして「D:¥I386」を選択する

入力が終わったら〔OK〕をクリックする



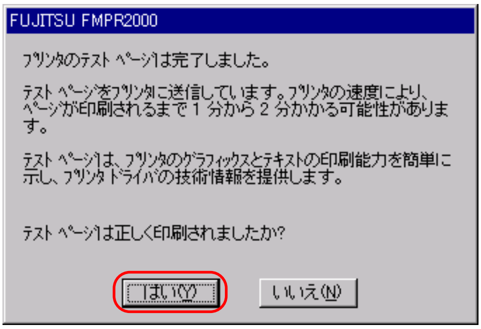
注 1)　上記は CD-ROM ドライブが D:のときの入力例です。ご使用の環境に合わせてドライブを変更してください。

１４ ファイルのコピーが完了したら、「プリンタ」フォルダにプリンタ名が表示されていることを確認する



１５ 手順 **１０** のテストページ印刷で〔はい〕を選択した場合は、以下の画面が表示されます。テストページが正しく印刷されたら、〔はい〕をクリックする

これでプリンタドライバのインストールは完了です。



■ Windows Me のとき

ここでは、Windows Me が動作するパソコンにプリンタドライバをインストールする方法について、Windows Me の画面を例に説明しています。
インストール手順は、プリンタを、プリンタフォルダから手動で指定するか、プラグアンドプレイで検出するかによって異なります。それぞれの手順に従ってください。
プラグアンドプレイでプリンタが検出されない場合は、プリンタフォルダからプリンタドライバをインストールしてください。
以下の手順では、FMPR2000G を例に説明しています。
FMPR3000G をお使いの場合は、“FMPR2000”を“FMPR3000”と読み替えてください。

ガイド

- ご使用のパソコンにインストールされている Windows Me のバージョンによっては、インストール手順や表示内容が異なる場合があります。このときは、表示内容に従ってインストールしてください。
- プリンタドライバセットアップディスク、および Windows オペレーティングシステムディスクを準備してください。
- 異なるバージョンの FUJITSU FMPR2000 または FUJITSU FMPR3000 プリンタドライバがインストールされている場合は、削除してからインストールしてください。
- ここでは、FUJITSU FMPR2000G または FUJITSU FMPR3000G プリンタがローカル接続されたパソコンにプリンタドライバをインストールする手順を説明しています。ネットワーク接続や共有プリンタ(他のパソコンに接続されているプリンタ)でのインストール方法は、Windows Me の取扱説明書、ヘルプ、およびプリンタ LAN カード FMPR-LN1G（オプション）のマニュアルを参照してください。
- USB インターフェースの場合、接続ポートを変更すると、「新しいハードウェアの検索ウィザード」が表示されます。接続ポート毎にプリンタドライバをインストールするか、「新しいハードウェアの検索ウィザード」の〔キャンセル〕ボタンをクリックして、既にインストールされているプリンタドライバのポート設定を変更してください。
- インストールの途中で「バージョンの競合（コピーするファイルより新しいファイルがコンピュータに存在します。既存のファイルをそのまま使うことをお勧めします。）」というメッセージが表示される場合があります。
〔はい〕をクリックしてください。

◆　プラグアンドプレイで検出する場合

ガイド

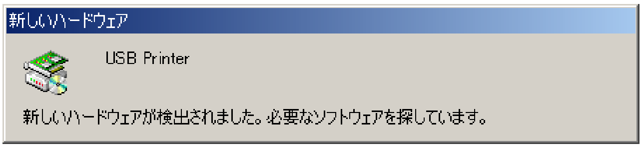
- プラグアンドプレイはプリンタがパソコンに直接つながっている場合のみ行われます。
  プリンタが検出されない場合は、「プリンタフォルダからのインストール」の （310ページ）でインストールしてください。

1 プリンタとパソコンを接続し、プリンタの電源を入れた状態で Windows Me を起動する

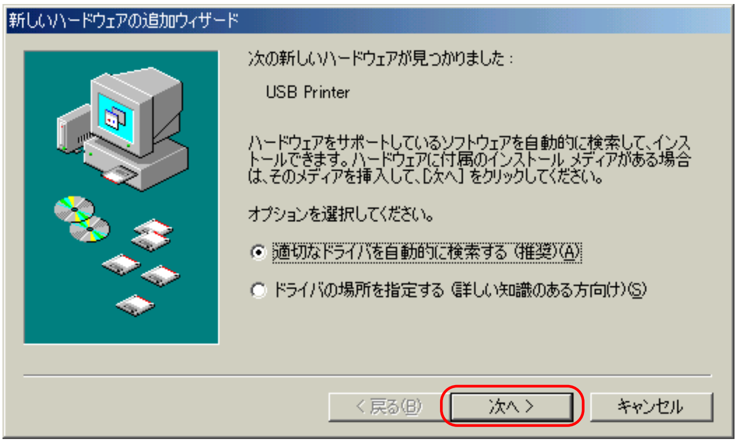
ガイド

- パラレルインターフェースの場合は、手順 *8* に進みます。
  USB インターフェースの場合は、手順 *2* に進みます。

2 「USB Printer　新しいハードウェアが検出されました。必要なソフトウェアを探しています。」の表示を確認する



3 「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が表示されたら、添付のプリンタドライバセットアップディスクをパソコンの CD-ROM ドライブにセットし、「適切なドライバを自動的に検索する（推奨）」を選択して、〔次へ〕をクリックする



ガイド

・ここで、「ドライバの場所を指定する（詳しい知識のある方向け）」を選択した場合は、手順 *5* に進みます。

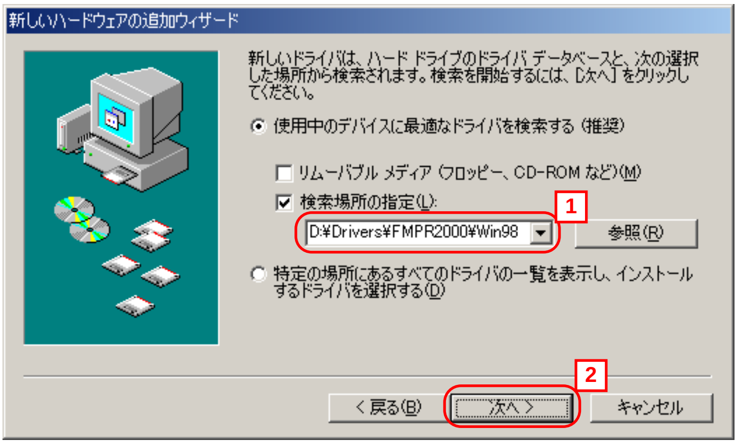
4 「新しいハードウェアのインストールが完了しました。」とメッセージが表示されたら、〔完了〕をクリックする



ガイド

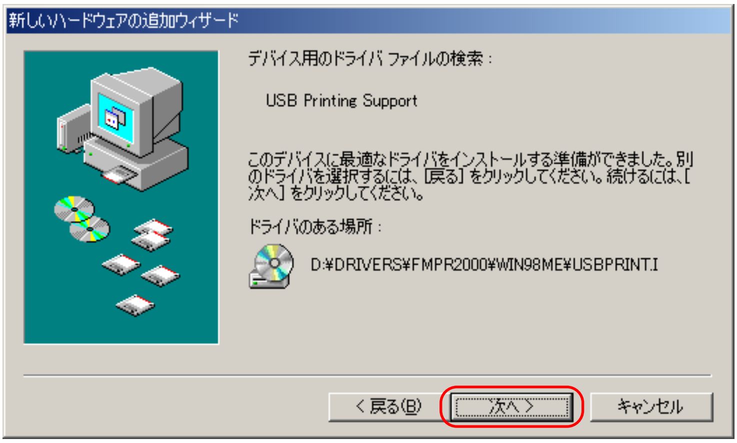
・〔完了〕をクリックしたら、手順 *8* に進みます。

5 手順 **3** にて「ドライバの場所を指定する（詳しい知識のある方向け）」を選択した場合は、以下の画面が表示されますので、「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」を選択し、「検索場所の指定」にチェックをつけ、「D:¥Drivers¥FMPR2000¥Win98Me」と入力するか、〔参照〕をクリックして「D:¥Drivers¥FMPR2000¥Win98Me」を選択する
入力が終わったら〔次へ〕をクリックする



注 1）　上記は CD-ROM ドライブが D:のときの入力例です。ご使用の環境に合わせてドライブを変更してください。
注 2）　FMPR3000G のときは、Drivers¥FMPR3000¥Win98Me と入力してください。

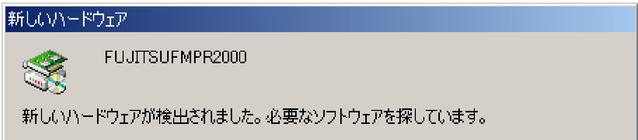
6 USB ドライバが見つかったことを確認して、〔次へ〕をクリックする



7 「新しいハードウェアのインストールが完了しました。」とメッセージが表示されたら、〔完了〕をクリックする



8 「FUJITSUFMPR2000 新しいハードウェアが検出されました。必要なソフトウェアを探しています。」と表示される



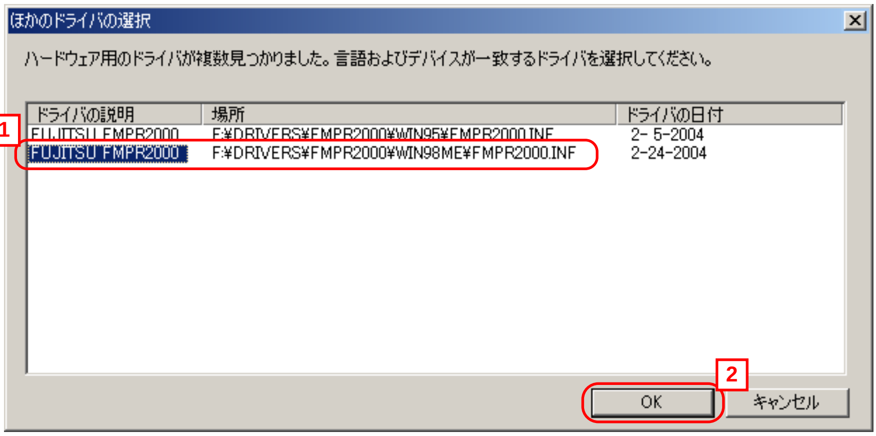
9 「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が表示されたら、添付のプリンタドライバセットアップディスクをパソコンの CD-ROM ドライブにセットし、「適切なドライバを自動的に検索（推奨）」を選択して、〔次へ〕をクリックする



ガイド

- ここで、「ドライバの場所を指定する（詳しい知識のある方向け）」を選択した場合は、手順 *１１* に進みます。

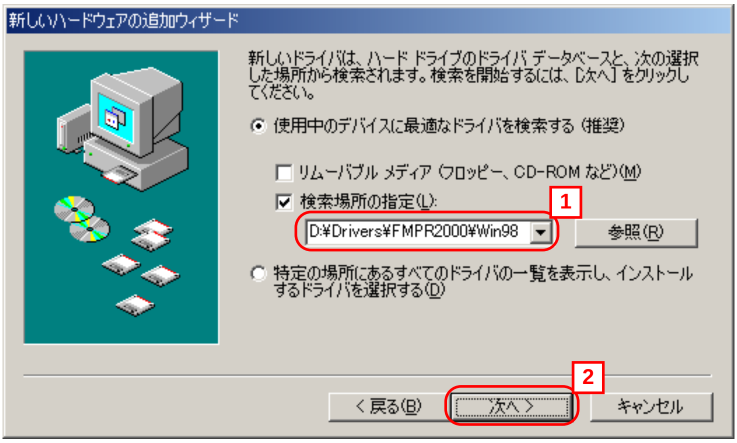
１０　「ほかのドライバの選択」画面が表示されたら、“Win98Me”フォルダのドライバを選択して、〔OK〕をクリックする



ガイド

- フォルダ名は〔場所〕に表示されます。
- 〔OK〕をクリックしたら、手順**１３**に進みます。
- FMPR3000G のときは、Drivers¥FMPR3000¥Win98Me フォルダを選択してください。

１１　手順**９**にて「ドライバの場所を指定する（詳しい知識のある方向け）」を選択した場合は、以下の画面が表示されますので、「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」を選択し、「検索場所の指定」にチェックをつけ、「D:¥Drivers¥FMPR2000¥Win98Me」と入力するか、〔参照〕をクリックして「D:¥Drivers¥FMPR2000¥Win98Me」を選択する
入力が終わったら〔次へ〕をクリックする

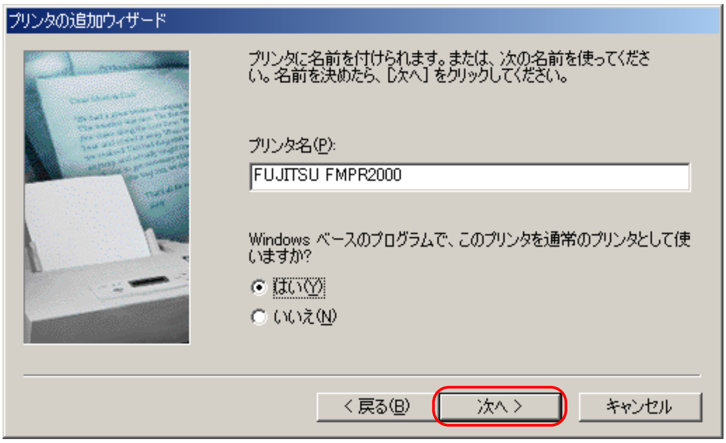


注 1)　上記は CD-ROM ドライブが D:のときの入力例です。ご使用の環境に合わせてドライブを変更してください。
注 2)　FMPR3000G のときは、Drivers¥FMPR3000¥Win98Me と入力してください。

１２ プリンタドライバが見つかったことを確認して、〔次へ〕をクリックする



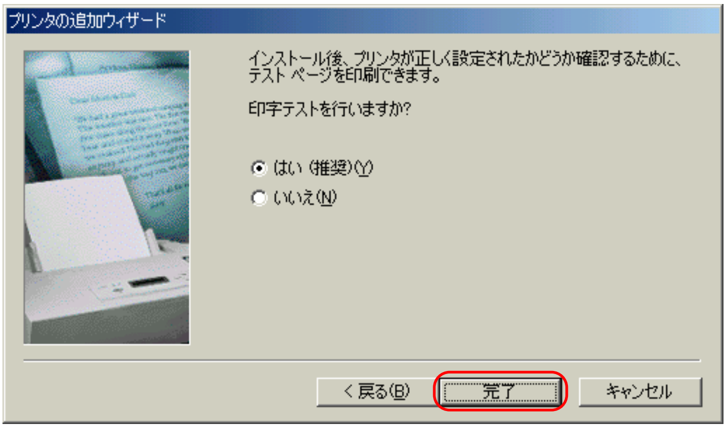
１３ 「プリンタ名」に表示されるモデル名を確認し、通常使用するプリンタに設定する場合は、〔はい〕を選択して、〔次へ〕をクリックする



ガイド

・他にインストールされているプリンタが無い場合は、自動的に通常使用するプリンタに設定されます。

１４ テストページ印刷の設定を行い、〔完了〕をクリックする

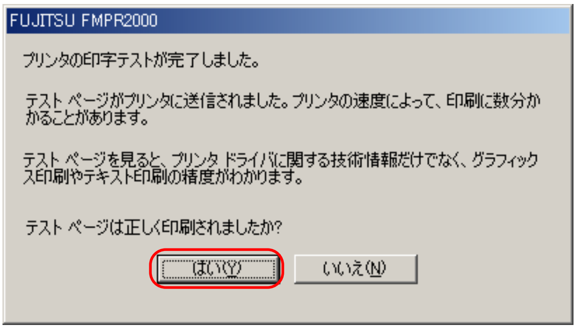


ガイド

・〔はい（推奨）〕を選択した場合は、プリンタにＡ４タテ以上の用紙をセットしてください。　用紙のセット方法については、『プリンタ編』「第３章　用紙のセット」（53 ページ）を参照してください。

１５ ファイルのコピーが開始される

１６ 手順 **１４** のテストページ印刷で〔はい（推奨）〕を選択した場合は、以下の画面が表示されます。テストページが正しく印刷されたら、〔はい〕をクリックする



１７　「新しいハードウェアのインストールが完了しました。」とメッセージが表示されたら、〔完了〕をクリックする



１８　「プリンタ」フォルダにプリンタ名が表示されていることを確認する

これで、プリンタドライバのインストールは完了です。



◆　プリンタフォルダからのインストール

プリンタドライバのインストールは、以下の手順で行います。

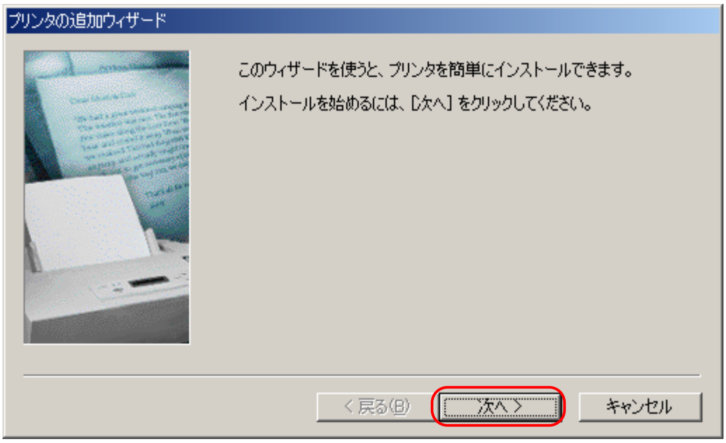
ガイド

・USB インターフェースで接続するときは、「プラグアンドプレイで検出する場合」の手順でインストールしてください。

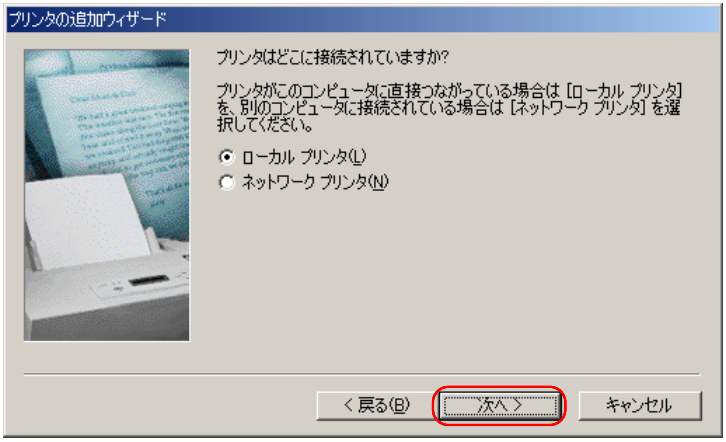
1 Windows Me を起動する

2 マイコンピュータのコントロールパネルより、〔プリンタ〕をダブルクリックして、次に〔プリンタの追加〕をダブルクリックする

3 「プリンタの追加ウィザード」画面が表示されたら、〔次へ〕をクリックする



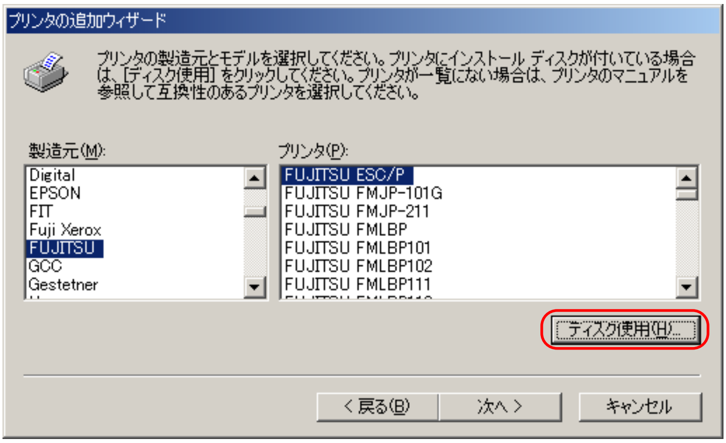
4 「ローカルプリンタまたはネットワークプリンタ」画面が表示されたら、「ローカルプリンタ」を選択し、〔次へ〕をクリックする



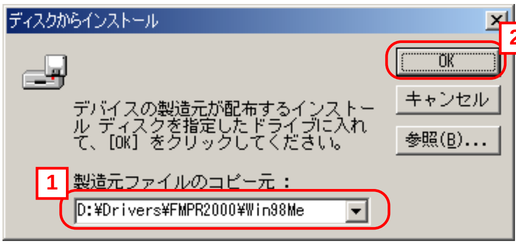
ガイド

- この画面は、パソコンがネットワークに接続されているときのみ表示されます。
- スタンドアロン(パソコンとプリンタを 1 対 1 で接続)のときや、パソコンをプリントサーバとして使うときは、ローカルプリンタを選択します。　印刷先（ポート）を後で変更する場合も、ローカルプリンタを選択してください。ただし、正しい印刷先に設定するまでテストページ等の印刷は行わないでください。
- 「ネットワークプリンタ」を選んでインストールするには、プリントサーバ上に、対応するプリンタドライバがあらかじめインストールされている必要があります。　また、「代替ドライバとネットワークインストール」はサポートしていません。

5 製造元別のプリンタリストが表示されたら、添付のプリンタドライバセットアップディスクをパソコンの CD-ROM ドライブにセットして、〔ディスク使用〕をクリックする



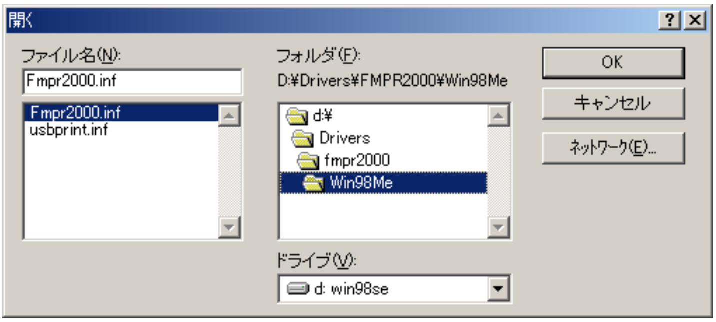
6　「配布ファイルのコピー元」に「D:¥Drivers¥FMPR2000¥Win98Me」と入力するか、〔参照〕をクリックして「D:¥Drivers¥FMPR2000¥Win98Me」を選択する
入力が終わったら〔OK〕をクリックする



注 1）　上記は CD-ROM ドライブが D:のときの入力例です。ご使用の環境に合わせてドライブを変更してください。
注 2）　FMPR3000G のときは、Drivers¥FMPR3000¥Win98Me と入力してください。

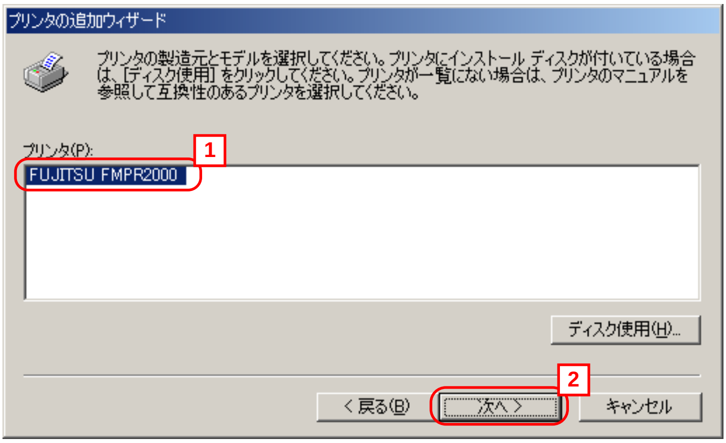
ガイド

- 〔参照〕をクリックしてドライバファイルの場所を指定するときは、“Win98Me”フォルダの“FMPR2000.INF”ファイルを選択してください。



- FMPR3000G プリンタのときは、“FMPR3000¥Win98Me”フォルダの“FMPR3000.INF”を選択してください。

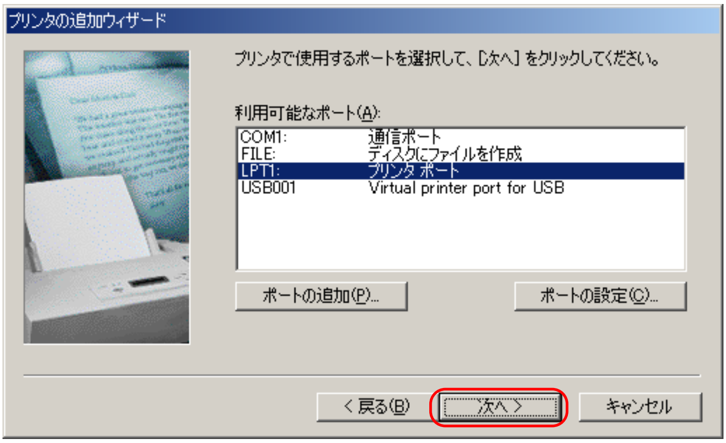
7 プリンタを選択して〔次へ〕をクリックする



ガイド

- 「このプリンタのプリンタドライバが既にインストールされています。既存のドライバを使うか、またはこのドライバを置き換えることができます。」という画面が表示される場合は、「新しいドライバに置き換える」を選択します。

8 「利用できるポート」から、プリンタを接続したポートを選択して、〔次へ〕をクリックする



ガイド

- 使用するポートがまだ作成されていない場合は、仮のポートとしてローカルポート（LPT1）などを選択してください。
  この場合は、正しいポート設定を行うまでテストページ等の印刷は行わないでください。

9 以降の手順は、プラグアンドプレイで検出する場合の手順 *13* から *18* に従って、プリンタドライバをインストールする

■ Windows 98 のとき

ここでは、Windows 98 が動作するパソコンにプリンタドライバをインストールする方法について、Windows 98 の画面を例に説明しています。インストール手順は、プリンタを、プリンタフォルダから手動で指定するか、プラグアンドプレイで検出するかによって異なります。それぞれの手順に従ってください。
プラグアンドプレイでプリンタが検出されない場合は、プリンタフォルダからプリンタドライバをインストールしてください。
以下の手順では、FMPR2000G を例に説明しています。
FMPR3000G をお使いの場合は、“FMPR2000”を“FMPR3000”と読み替えてください。

ガイド

- ご使用のパソコンにインストールされている Windows 98 のバージョンによっては、インストール手順や表示内容が異なる場合があります。このときは、表示内容に従ってインストールしてください。
- プリンタドライバセットアップディスク、および Windows オペレーティングシステムディスクを準備してください。
- 異なるバージョンの FUJITSU FMPR2000 または FUJITSU FMPR3000 プリンタドライバがインストールされている場合は、削除してからインストールしてください。
- ここでは、FUJITSU FMPR2000G または FUJITSU FMPR3000G プリンタがローカル接続されたパソコンにプリンタドライバをインストールする手順を説明しています。ネットワーク接続や共有プリンタ(他のパソコンに接続されているプリンタ)でのインストール方法は、Windows 98 の取扱説明書、ヘルプ、およびプリンタ LAN カード FMPR-LN1G（オプション）のマニュアルを参照してください。
- USB インターフェースの場合、接続ポートを変更すると、「新しいハードウェアの検索ウィザード」が表示されます。接続ポート毎にプリンタドライバをインストールするか、「新しいハードウェアの検索ウィザード」の〔キャンセル〕ボタンをクリックして、既にインストールされているプリンタドライバのポート設定を変更してください。
- インストールの途中で「バージョンの競合（コピーするファイルより新しいファイルがコンピュータに存在します。既存のファイルをそのまま使うことをお勧めします。）」というメッセージが表示される場合があります。
  〔はい〕をクリックしてください。

◆　プラグアンドプレイで検出する場合

ガイド

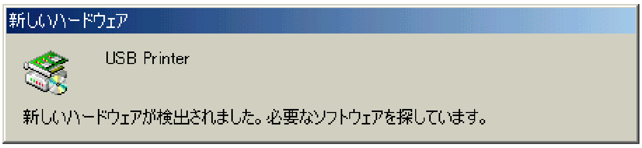
・プラグアンドプレイはプリンタがパソコンに直接つながっている場合のみ行われます。
　プリンタが検出されない場合は、「プリンタフォルダからのインストール」の（323ページ）でインストールしてください。

1 プリンタとパソコンを接続し、プリンタの電源を入れた状態で Windows 98 を起動する

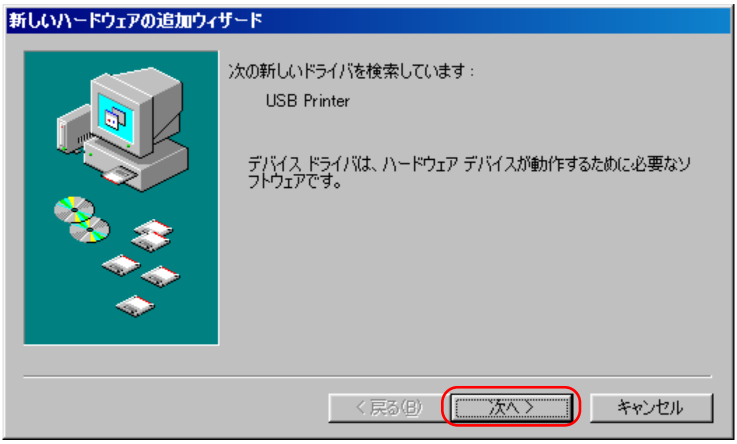
ガイド

・パラレルインターフェースの場合は、手順 *8* に進みます。
　USB インターフェースの場合は、手順 *2* に進みます。

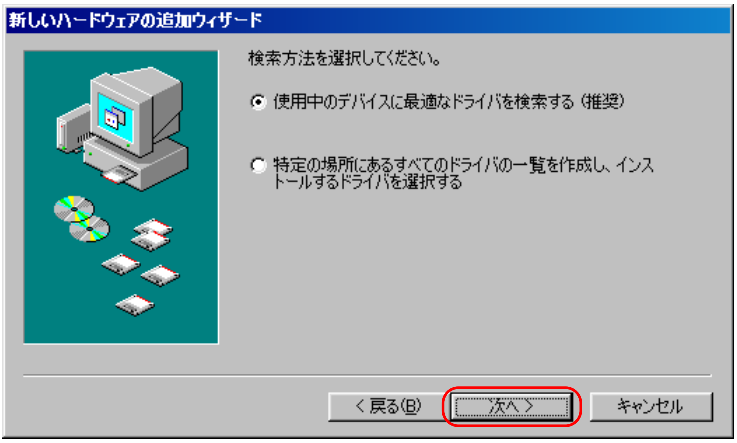
2 「USB Printer　新しいハードウェアが検出されました。必要なソフトウェアを探しています。」の表示を確認する



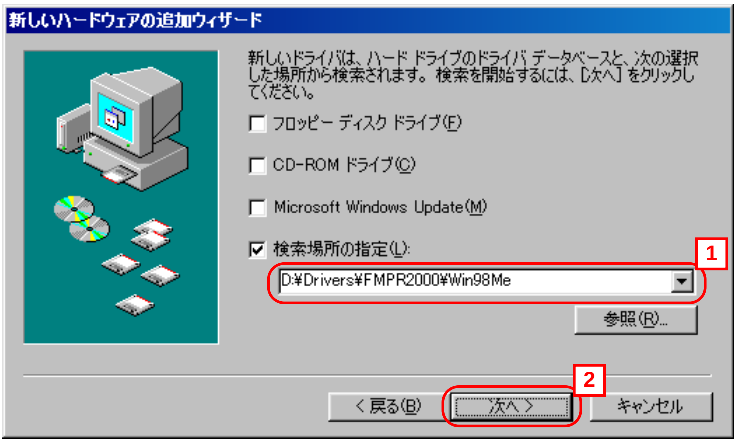
3 「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が表示されたら、〔次へ〕をクリックする



4 「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」を選択して、〔次へ〕をクリックする



5 添付のプリンタドライバセットアップディスクをパソコンの CD-ROM ドライブにセットし、「検索場所の指定」にチェックをつけ、「D:¥Drivers¥FMPR200¥Win98Me」と入力するか、〔参照〕をクリックして「D:¥Drivers¥FMPR2000¥Win98Me」を選択する
入力が終わったら〔次へ〕をクリックする



注 1)　上記は CD-ROM ドライブが D:のときの入力例です。ご使用の環境に合わせてドライブを変更してください。
注 2)　FMPR3000G のときは、Drivers¥FMPR3000¥Win98Me と入力してください。

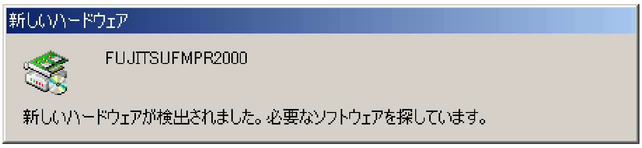
6 USB ドライバが見つかったことを確認して、〔次へ〕をクリックする



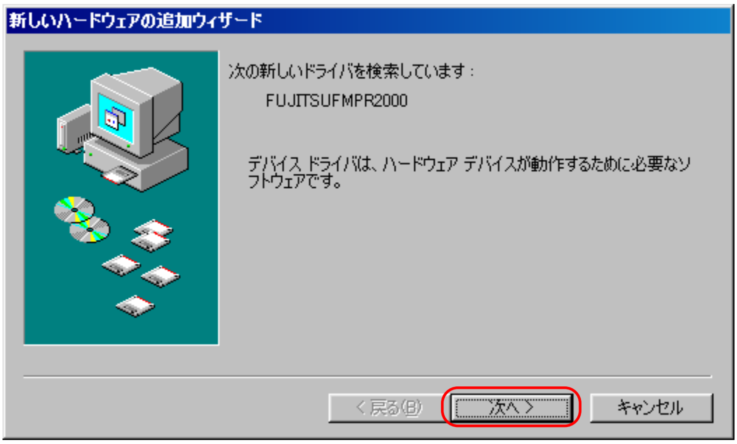
7 「新しいハードウェアのインストールが完了しました。」とメッセージが表示されたら、〔完了〕をクリックする



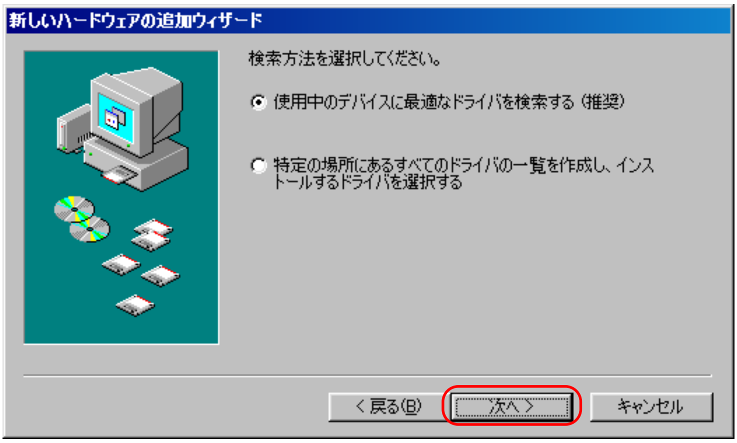
８　「FUJITSU FMPR2000　新しいハードウェアが検出されました。必要なソフトウェアを探しています。」と表示される



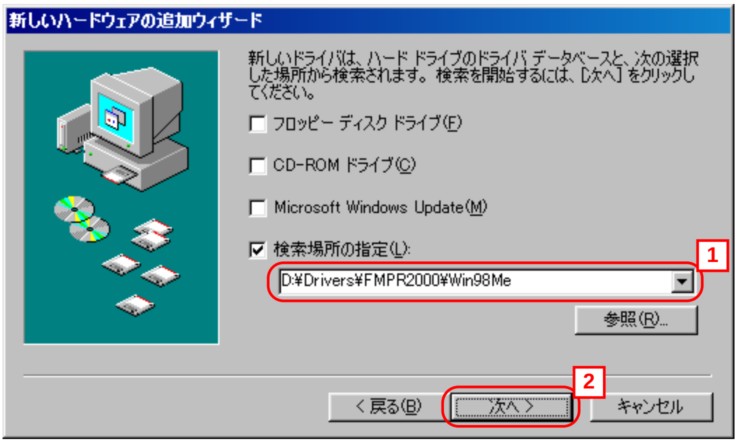
９　「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が表示されたら、〔次へ〕をクリックする



１０　「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」を選択して、〔次へ〕をクリックする



１１ 添付のプリンタドライバセットアップディスクをパソコンの CD-ROM ドライブにセットし、「検索場所の指定」にチェックをつけ、「D:¥Drivers¥FMPR200¥Win98Me」と入力するか、〔参照〕をクリックして「D:¥Drivers¥FMPR2000¥Win98Me」を選択する
入力が終わったら〔次へ〕をクリックする

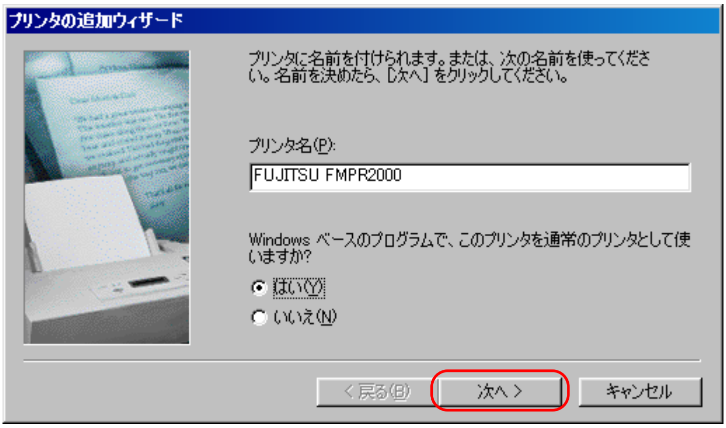


注1）　上記はCD-ROMドライブがD:のときの入力例です。ご使用の環境に合わせてドライブを変更してください。
注2）　FMPR3000GのときはDrivers¥FMPR3000¥Win98Meと入力してください。

１２ プリンタドライバが見つかったことを確認して、〔次へ〕をクリックする



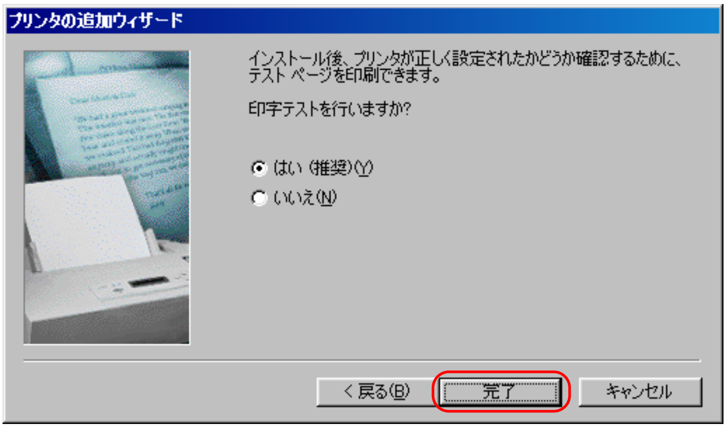
１３　「プリンタ名」に表示されるモデル名を確認し、通常使用するプリンタに設定する場合は、〔はい〕を選択して、〔次へ〕をクリックする



ガイド

・他にインストールされているプリンタが無い場合は、自動的に通常使用するプリンタに設定されます。

１４　テストページ印刷の設定を行い、〔完了〕をクリックする

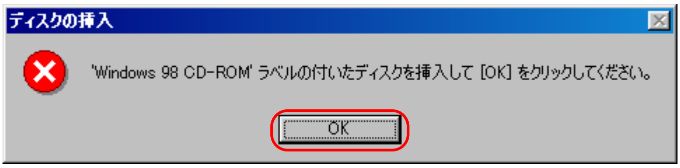


ガイド

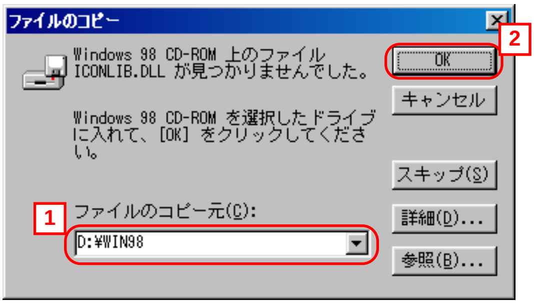
・〔はい（推奨）〕を選択した場合は、プリンタにＡ４タテ以上の用紙をセットしてください。　用紙のセット方法については、『プリンタ編』「第３章　用紙のセット」（53 ページ）を参照してください。

１５ ファイルのコピーが開始される

１６ 〔ディスクの挿入〕ウィンドウが表示されたら、Windows 98 システムディスクをパソコンの CD-ROM ドライブにセットし、〔OK〕をクリックする

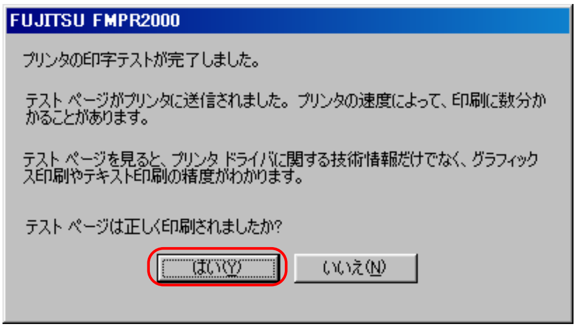


１７ 「ファイルのコピー元」に「D:¥WIN98」と入力するか、〔参照〕をクリックして「D:¥WIN98」を選択する
入力が終わったら〔次へ〕をクリックする



注 1)　上記は CD-ROM ドライブが D:のときの入力例です。ご使用の環境に合わせてドライブを変更してください。

１８ 手順 **１４** のテストページ印刷で〔はい（推奨）〕を選択した場合は、以下の画面が表示されます。テストページが正しく印刷されたら、〔はい〕をクリックする



１９ 「新しいハードウェアデバイスに必要なソフトウェアがインストールされました。」とメッセージが表示されたら、〔完了〕をクリックする



２０ 「プリンタ」フォルダにプリンタ名が表示されていることを確認する

これで、プリンタドライバのインストールは完了です。



◆ プリンタフォルダからのインストール

プリンタドライバのインストールは、以下の手順で行います。

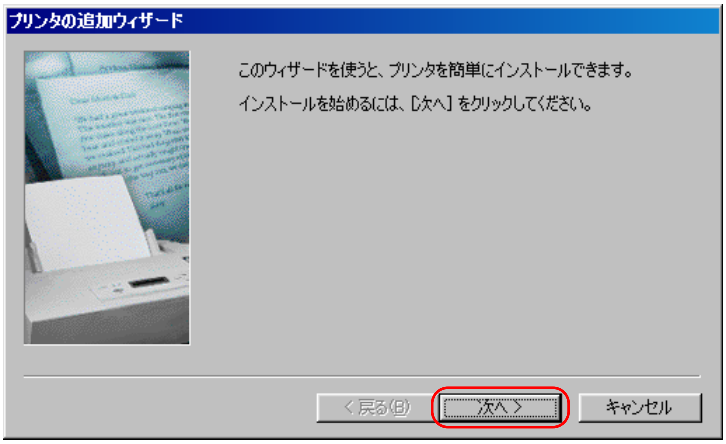
ガイド

・USB インターフェースで接続するときは、「プラグアンドプレイで検出する場合」の手順でインストールしてください。

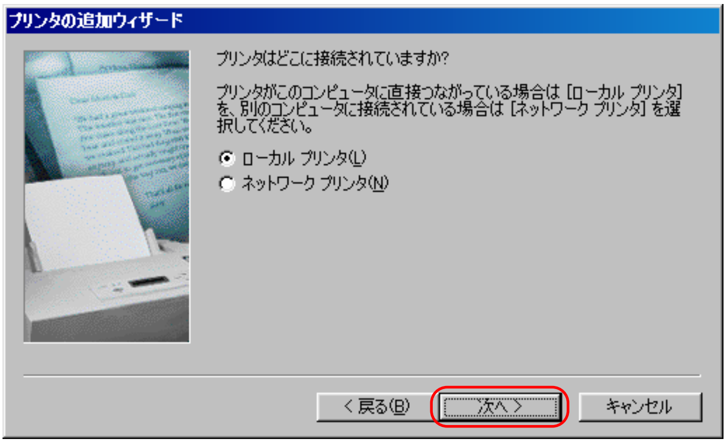
1 Windows 98 を起動する

2 マイコンピュータのコントロールパネルより、〔プリンタ〕をダブルクリックして、次に〔プリンタの追加〕をダブルクリックする

3 「プリンタの追加ウィザード」画面が表示されたら、〔次へ〕をクリックする



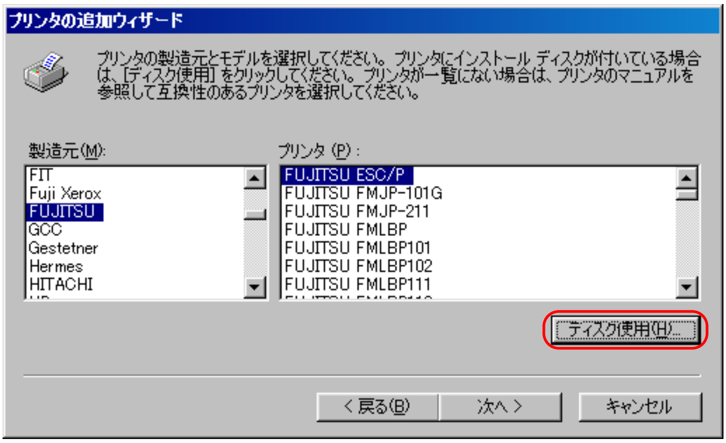
4 「ローカルプリンタまたはネットワークプリンタ」画面が表示されたら、「ローカルプリンタ」を選択し、〔次へ〕をクリックする



ガイド

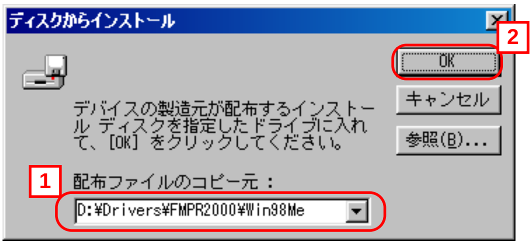
- この画面は、パソコンがネットワークに接続されているときのみ表示されます。
- スタンドアロン（パソコンとプリンタを 1 対 1 で接続）のときや、パソコンをプリントサーバとして使うときは、ローカルプリンタを選択します。
  印刷先（ポート）を後で変更する場合も、ローカルプリンタを選択してください。ただし、正しい印刷先に設定するまでテストページ等の印刷は行わないでください。
- 「ネットワークプリンタ」を選んでインストールするには、プリントサーバ上に、対応するプリンタドライバがあらかじめインストールされている必要があります。
  また、「代替ドライバとネットワークインストール」はサポートしていません。

5 製造元別のプリンタリストが表示されたら、添付のプリンタドライバセットアップディスクをパソコンの CD-ROM ドライブにセットして、〔ディスク使用〕をクリックする



6 「配布ファイルのコピー元」に「D:¥Drivers¥FMPR2000¥Win98Me」と入力するか、〔参照〕をクリックして「D:¥Drivers¥FMPR2000¥Win98Me」を選択する

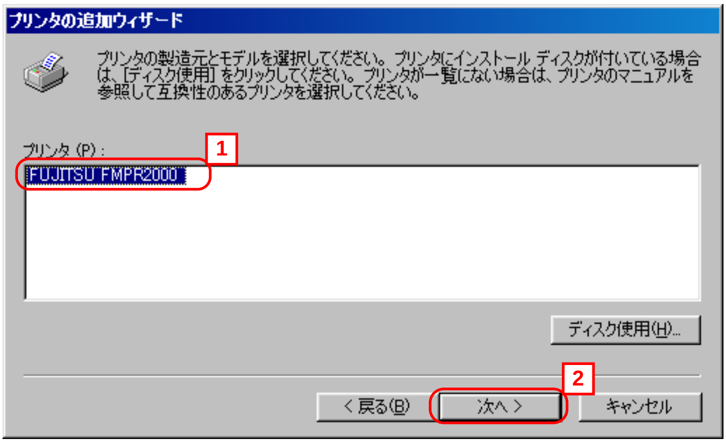
入力が終わったら〔OK〕をクリックする



注 1）　上記は CD-ROM ドライブが D:のときの入力例です。ご使用の環境に合わせてドライブを変更してください。

注 2）　FMPR3000G のときは、Drivers¥FMPR3000¥Win98Me と入力してください。

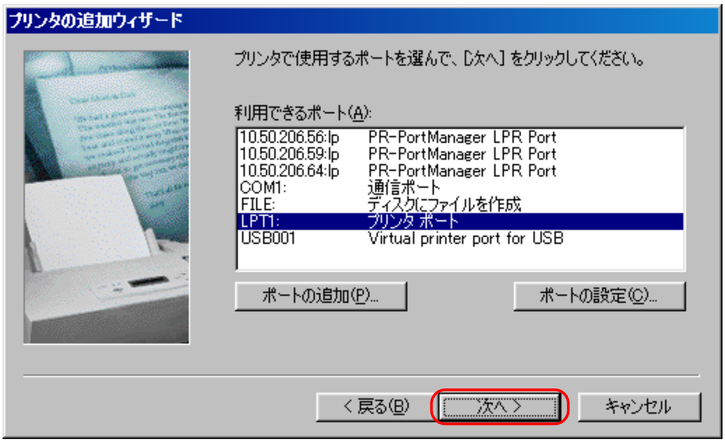
7　プリンタを選択して〔次へ〕をクリックする



ガイド

・「このプリンタのプリンタドライバが既にインストールされています。既存のドライバを使うか、またはこのドライバを置き換えることができます。」という画面が表示される場合は、「新しいドライバに置き換える」を選択します。

8　「利用できるポート」から、プリンタを接続したポートを選択して、〔次へ〕をクリックする



ガイド

・使用するポートがまだ作成されていない場合は、仮のポートとしてローカルポート（LPT1）などを選択してください。
この場合は、正しいポート設定を行うまでテストページ等の印刷は行わないでください。

9　以降の手順は、プラグアンドプレイで検出する場合の手順 **１３** から **２０** に従って、プリンタドライバをインストールする

FMPR プリンタユーティリティのインストール

FMPR ステータスモニタおよびFMPR リモートパネルのインストールは以下の手順で行ってください。

FMPR プリンタユーティリティの機能については、「第３章　FMPR ステータスモニタ」、「第４章　FMPR リモートパネル」を参照してください。

ガイド

- 本ユーティリティは、Windows 98/Me/NT 4.0/2000/XP/2003/Vista/2008/7/2008 R2 に対応しています。
- FMPR ユーティリティをインストールするときは必ず FMPR3000 または FMPR2000 プリンタドライバを先にインストールしてから、ソフトウェアのインストールを行ってください。
- FMPR ステータスモニタは、FMPR2000G プリンタでは動作しません。
- 本ユーティリティを Windows Vista/2008/7/2008 R2 にインストール中、「ユーザーアカウント制御」ダイアログが表示される場合がありますので、〔許可〕または〔はい〕をクリックしてください。

■　初めてインストールするとき

FMPR プリンタユーティリティを初めてインストールするときは、以下の手順で行います。
以下の手順では、FMPR3000G を例に説明しています。
FMPR2000G をお使いの場合は、“FMPR3000”を“FMPR2000”と読み替えてください。

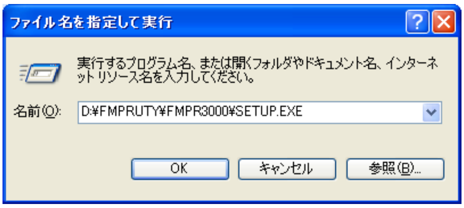
1 **添付の「FMPR セットアップディスク」をパソコンの CD-ROM ドライブに挿入する**

2 **〔スタート〕ボタンをクリックし、スタートメニューから〔ファイル名を指定して実行（R）〕をクリックする**

<名前>に「D:¥FMPRUTY¥FMPR3000¥SETUP.EXE」と入力するか、〔参照〕をクリックして「D:¥FMPRUTY¥FMPR3000¥SETUP.EXE」を選択します。

入力が終わったら〔OK〕ボタンをクリックしてください。

注１） Windows 7/2008 R2 のときは、〔スタート〕ボタンをクリックし、スタートメニューの〔プログラムとファイルの検索〕に、「D:¥FMPRUTY¥FMPR3000¥SETUP.EXE」と入力してください。
Windows Vista/2008 のときは、〔スタート〕ボタンをクリックし、スタートメニューの〔検索の開始〕に、「D:¥FMPRUTY¥FMPR3000¥SETUP.EXE」と入力してください。
注２） CD-ROM ドライブが D:のときの入力例です。ご使用の環境に合わせてドライブを変更してください。
注３） FMPR2000G のときは、D:¥FMPRUTY¥FMPR2000¥SETUP.EXE と入力してください。

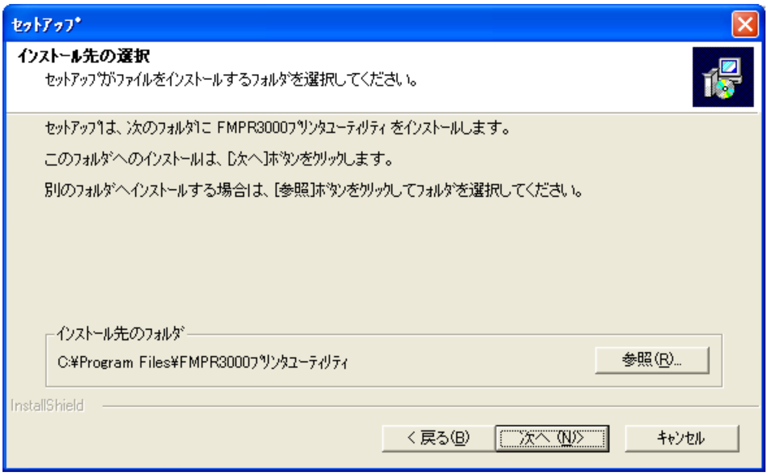


3 **内容を確認し、〔次へ〕をクリックする**



4 プログラムをインストールするフォルダを指定する

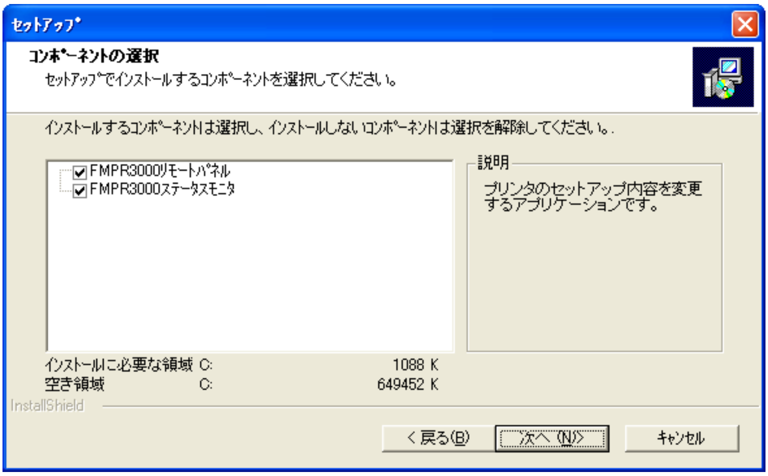
フォルダを変更する場合は、〔参照〕をクリックして、フォルダを選択します。
フォルダを指定したら、〔次へ〕をクリックします。



5 インストールするソフトウェアにチェックを付け、〔次へ〕をクリックする

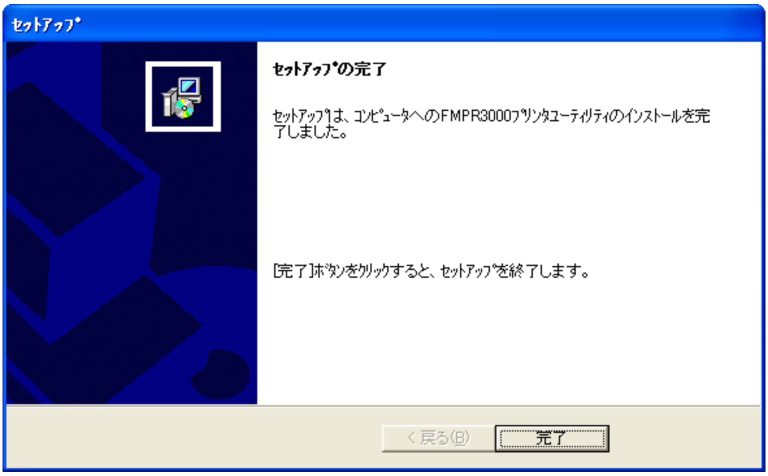
〔次へ〕をクリックすると、インストールが開始されます。

注１）FMPR2000G のときは、「リモートパネル」と表示されます。
ステータスモニタは表示されません。



6 〔完了〕ボタンをクリックする

これで FMPR プリンタユーティリティ（FMPR ステータスモニタ、FMPR リモートパネル）のインストールは終了です。



■　FMPR プリンタユーティリティをメンテナンスするとき

インストールされている FMPR プリンタユーティリティをメンテナンス（プログラムの変更・修正・削除）するときは、以下の手順で行います。
以下の手順では、FMPR3000G を例に説明しています。
FMPR2000G をお使いの場合は、“FMPR3000”を“FMPR2000”と読み替えてください。

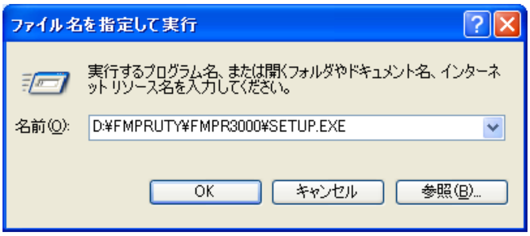
1 **FMPR プリンタユーティリティ（FMPR ステータスモニタ、FMPR リモートパネル）を終了する**

2 **添付の「FMPR セットアップディスク」をパソコンの CD-ROM ドライブに挿入する**

3 **〔スタート〕ボタンをクリックして、スタートメニューから〔ファイル名を指定して実行（R）〕をクリックする**

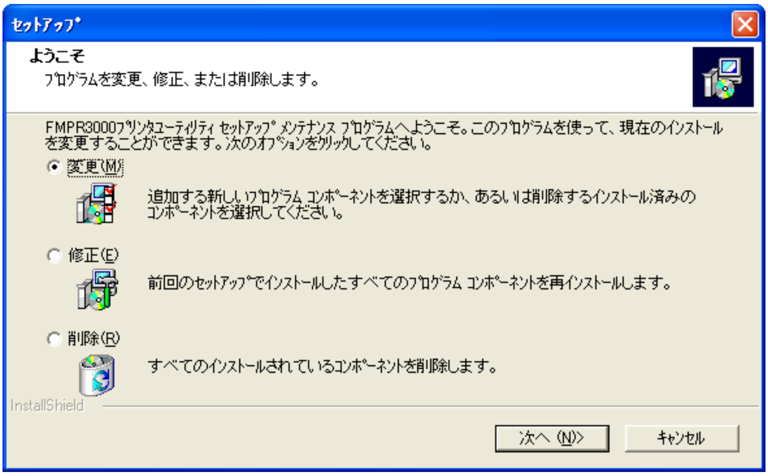
＜名前＞に「D:¥FMPRUTY¥FMPR3000¥SETUP.EXE」と入力するか、〔参照〕をクリックして「D:¥FMPRUTY¥FMPR3000¥SETUP.EXE」を選択します。
入力が終わったら〔OK〕ボタンをクリックしてください。

注１）Windows 7/2008 R2 のときは、〔スタート〕ボタンをクリックし、スタートメニューの〔プログラムとファイルの検索〕に、「D:¥FMPRUTY¥FMPR3000¥SETUP.EXE」と入力してください。
Windows Vista/2008 のときは、〔スタート〕ボタンをクリックし、スタートメニューの〔検索の開始〕に、「D:¥FMPRUTY¥FMPR3000¥SETUP.EXE」と入力してください。
注２）CD-ROM ドライブが D:のときの入力例です。ご使用の環境に合わせてドライブを変更してください。
注３）FMPR2000G のときは、「D:¥FMPRUTY¥FMPR2000¥SETUP.EXE」と入力してください。



4 オプション選択する

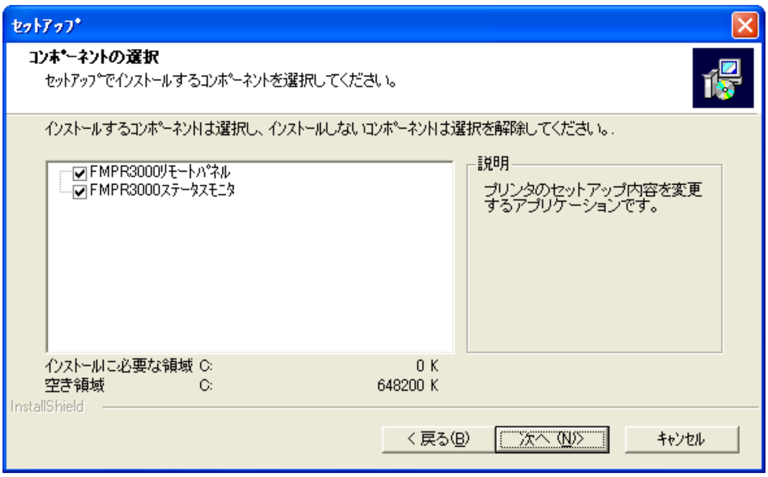
インストール済みの FMPR プリンタユーティリティを変更するときは、「変更」を選択し、〔次へ〕をクリックします。→手順 *5* へ進みます。
前回と同じプログラムを再インストールするときは、「修正」を選択し、〔次へ〕をクリックします。FMPR プリンタユーティリティの再インストールが開始されます。→手順 *7* へ進みます。
インストールされている FMPR プリンタユーティリティを削除するときは、「削除」を選択し、〔次へ〕をクリックします。→手順 *6* へ進みます。



5 変更するプログラムを選択して、〔次へ〕をクリックする

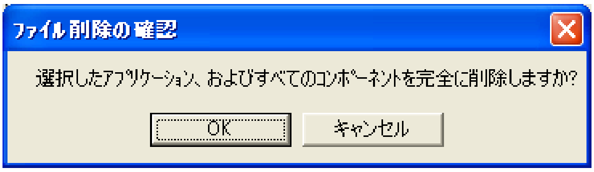
チェックを付けると、プログラムが追加されます。
チェックを外すと、プログラムは削除されます。
〔次へ〕をクリックすると、プログラムの変更が開始されます。→手順 *7* へ進みます。

注１）FMPR2000G のときは、「リモートパネル」と表示されます。
　　　ステータスモニタは表示されません。



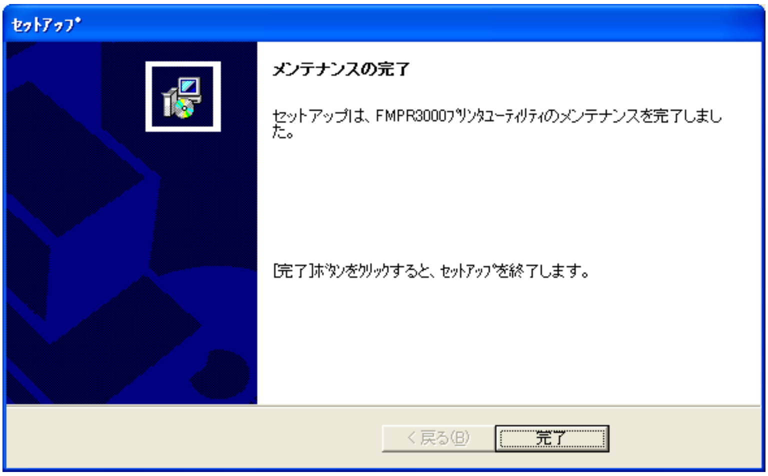
6〔OK〕をクリックする

プログラムのアンインストールが開始されます。



7〔完了〕をクリックする

これで FMPR プリンタユーティリティ（FMPR ステータスモニタ、FMPR リモートパネル）のメンテナンスは終了です。



第2章

プリンタドライバの設定

この章では、プリンタドライバの設定方法や設定項目について説明します。

プリンタドライバの設定

ここでは、プリンタドライバの設定画面について説明します。

■ Windows 7/2008 R2 の設定画面

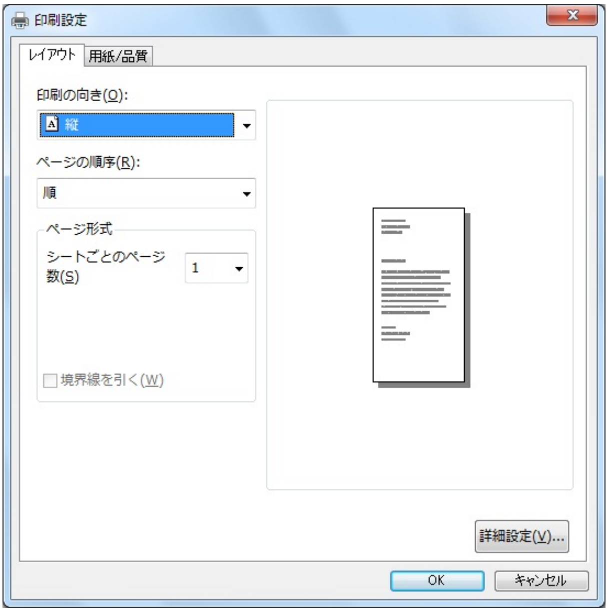
Windows 7/2008 R2 でのプリンタドライバの設定は、「印刷」、「印刷設定」、「プリンタのプロパティ」で行います。

各プロパティで、設定できる項目が変わりますので、ご注意ください。

ガイド

- アプリケーションソフトによっては、データ保存時に印刷に関する設定（プリンタドライバの設定を含む）を保存します。このため、アプリケーションソフト側から変更するまで、保存してある設定値で印刷されることがあります。また、アプリケーション側で用紙サイズなどを設定できるものもあります。
  * アプリケーションソフトによっては、〔全般〕タブが表示されないことがあります。
- ここでは、FUJITSU FMPR3000G の Windows 7 の画面を例に説明しています。FUJITSU FMPR2000G をお使いの場合は、“ FMPR3000 ”を“ FMPR2000 ”と読み替えてください。

◆　アプリケーションからの設定画面（印刷）



各アプリケーションソフトでのプリンタの設定項目から表示するプリンタのプロパティです。
印刷時に用紙サイズや解像度などの印刷に関する設定が行えます。

【設定画面の表示と設定の変更】

プリンタ設定のプロパティを表示する方法、またはプロパティの設定を変更する方法は、アプリケーションソフトごとに異なります。
ここでは、ワードパッドで印刷設定を変更する方法を例に説明します。

1　ワードパッドの〔ファイル〕メニューから、〔印刷〕を選択する

2　印刷画面が表示されたら、設定を変更したいプリンタを選択し〔詳細設定〕を選択する

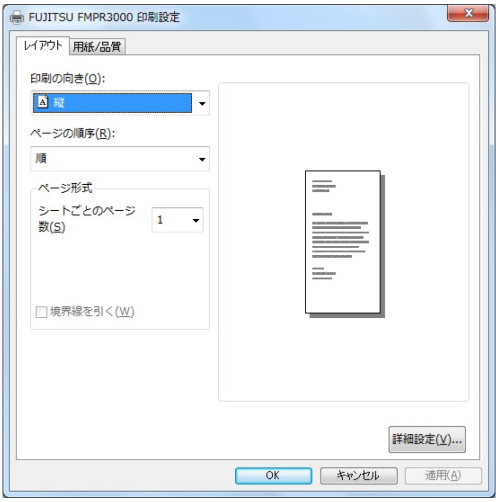
3　目的の項目を含むタブ、または〔詳細設定〕ボタンをクリックし、設定を変更する

〔OK〕をクリックすると変更した設定が保存されます。
〔キャンセル〕をクリックすると、変更した設定を保存しないで「印刷設定」ウィンドウを終了します。

4　〔OK〕をクリックし、〔印刷設定〕ウィンドウを閉じる

〔OK〕をクリックすると変更した設定が保存されます。
〔キャンセル〕をクリックすると、変更した設定を保存しないで「印刷設定」ウィンドウを終了します。

◆　〔スタート〕からの設定画面（印刷設定）



用紙サイズや解像度などの印刷に関する既定値を設定します。
アプリケーションソフトで用紙やプリンタの設定を行わない場合は、この設定値で印刷します。

【設定画面の表示と設定の変更】

1　〔プリンタ〕フォルダを開く

ガイド

・Windows 7/2008 R2 では、〔スタート〕〔デバイスとプリンター〕の順に選択します。

2　FUJITSU FMPR3000 プリンタのアイコンを右クリックし、〔印刷設定〕を選択する

3　目的の項目を含むタブをクリックし、設定を変更する

用紙サイズ、出力部数、印刷品質、オプション機能などに関する詳細な設定を行う場合は、〔詳細設定〕をクリックし、設定を変更します。
〔OK〕をクリックすると、変更した設定を保存して「印刷設定」ウィンドウを終了します。
〔キャンセル〕をクリックすると、変更した設定を保存しないで「印刷設定」ウィンドウを終了します。
〔適用〕をクリックすると、変更した設定を保存します。このときウィンドウを開いたままです。

ガイド

・変更した設定を以前の設定に戻すには以下の方法があります。
　(1)「レイアウト」「用紙/品質」タブの場合、設定を変更した後、変更した項目で右クリックして〔変更したオプションを元に戻す〕ボタンを表示し、クリックします。
　(2)〔詳細設定〕の場合、「FUJITSU FMPR3000 詳細なドキュメントの設定」を右クリックして〔変更したオプションを元に戻す〕ボタンを表示し、クリックします。
・設定内容に変更があった場合のみ、〔適用〕ボタンが有効になります。

◆　プリンタのプロパティ



プリンタドライバやポートの選択などが行えます。

【設定画面の表示と設定の変更】

1　**〔スタート〕から、〔デバイスとプリンター〕の順に選択する**

2　**FUJITSU FMPR3000 プリンタのアイコンを右クリックし、〔プリンターのプロパティ〕を選択する**

3　**目的の項目を含むタブをクリックし、設定を変更する**

〔OK〕をクリックすると、変更した設定を保存してプロパティを終了します。
〔キャンセル〕をクリックすると、変更した設定を保存しないでプロパティを終了します。
〔適用〕をクリックすると、変更した設定を保存します。このときプロパティは開いたままです。

ガイド

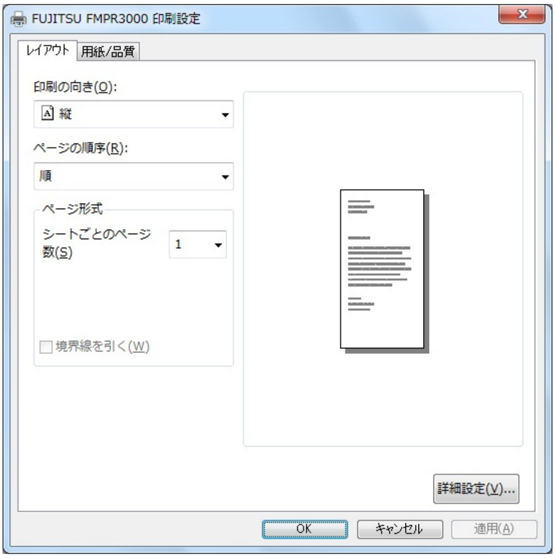
- 変更した設定を以前の設定に戻すには以下の方法があります。
  (1) 設定を変更した後、〔デバイスの設定〕タブの〔FUJITSU FMPR3000 デバイスの設定〕を右クリックします。〔変更したオプションを元に戻す〕ボタンが表示されますので、クリックします。（〔デバイスの設定〕タブのみ有効 ）
- 設定内容に変更があった場合のみ、〔適用〕ボタンが有効になります。

◆　ダイアログ一覧

ガイド

- 本書では、FUJITSU FMPR3000 または FUJITSU FMPR2000 プリンタドライバが提供する機能についてのみ記載しています。
〔全般〕、〔共有〕、〔ポート〕、〔詳細設定〕、〔色の管理〕、〔セキュリティ〕タブの内容については、Windows 7/2008 R2 オペレーティングシステムの取扱説明書、またはヘルプを参照願います。
- （注 1）とあるダイアログは「印刷」または「印刷設定」ダイアログボックスで表示されます。
（注 2）とあるダイアログは「プリンタのプロパティ」ダイアログボックスで表示されます。

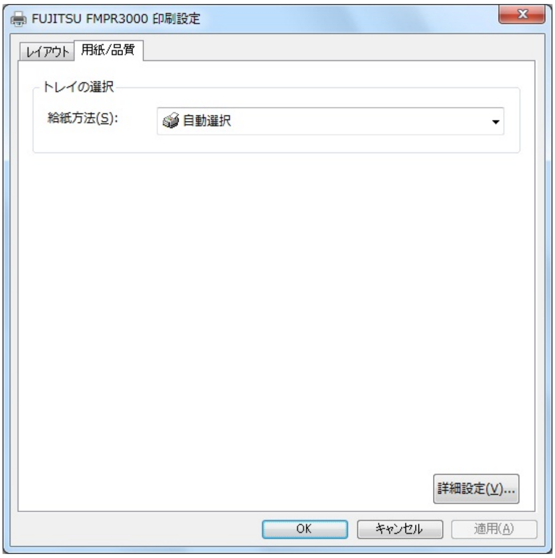
〔レイアウト〕（注 1）



印刷の向き、ページの順序、シートごとの印刷ページなど、レイアウトに関する設定などを行います。

設定項目	内　容
印刷の向き	印刷の向きを指定します。
ページの順序	印刷するページの順序を指定します。
シートごとのページ数	1 枚の用紙に何ページ分印刷するのかを指定します。

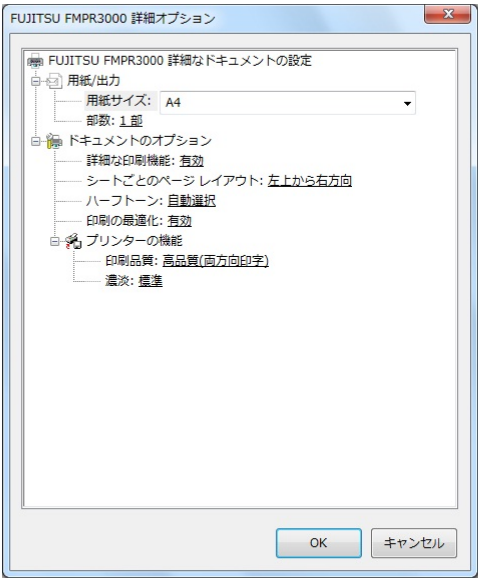
〔用紙/品質〕（注 1）



給紙方法の設定を行います。

設定項目	内　容
給紙方法	用紙の給紙方法を選択します。 ・「自動選択」のまま印刷すると、〔デバイスの設定〕タブで、同じサイズの用紙が割り当てられている給紙方法で印刷します。同じ用紙サイズがどの給紙方法にも割り当てられていない場合は、手差しで印刷します。給紙方法については、「給紙方法」（391ページ）を参照してください。

〔詳細〕（注 1）



次の項目の設定が行えます。

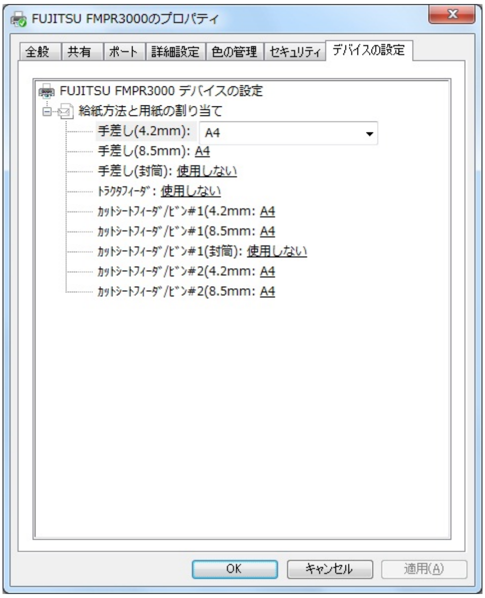
設定項目	設定内容	備　考
用紙/出力	用紙サイズ	用紙サイズを選択します。
	部数	印刷部数を設定します。
ドキュメントのオプション	詳細な印刷機能	印刷機能の設定を有効にするかしないかを設定します。 有効：〔ページの順序〕〔シートごとのページ〕および〔部数〕の設定が有効になります。 無効：〔ページの順序〕〔シートごとのページ〕および〔部数〕の設定が無効になります。
	シートごとのページレイアウト	〔レイアウト〕タブの〔シートごとのページ数〕で[1]以外を選択したときのページ割付け方法を選択します。
	ハーフトーン	ハーフトーンの種類を設定します。プリンタによって最適な品質を決定するには「自動選択」を選択します。
	印刷の最適化	印刷の最適化を有効にするかしないかを設定します。印刷結果が正しくないときは、この機能を「無効」にすることができます。

<table>
<tr><th>設定項目</th><th colspan="2">設定内容</th><th>備　考</th></tr>
<tr><td rowspan="2">ドキュメントのオプション</td><td rowspan="2">プリンタの機能</td><td>印刷品質
(注 1)</td><td>印字品質および印字方向の設定をします。
・高品質（両方向印字）：
高品質モードで両方向印字を行います。
・高品質（片方向印字）：
高品質モードで片方向印字を行います。
・高速（両方向印字）：
高速モードで両方向印字を行います。
・高速（片方向印字）：
高速モードで片方向印字を行います。
・プリンタ設定優先（両方向印字）：
印字方向は両方向、印刷品質はプリンタの設定に従います。
・プリンタ設定優先（片方向印字）：
印字方向は片方向、印刷品質はプリンタの設定に従います。</td></tr>
<tr><td>濃淡
(注 2)</td><td>印字圧の設定をします。
・標準：
標準の印字圧で印刷します。
・高複写：
高複写の印字圧で印刷します。</td></tr>
</table>

注 1）プリンタドライバのプロパティによる印字方向指定は、プリンタの印字方向設定が「両方向」に設定されているときのみ有効になります。プリンタの印字方向が「片方向」に設定されているときは、プリンタドライバのプロパティ設定にかかわらず「片方向印字」となります。

注 2）この項目は FMPR3000G のみ表示されます。
「高複写」は、複写紙の印字能力を上げるときに使用します。
「高複写」に設定すると、印字速度は遅くなります。

〔デバイスの設定〕（注 2）



給紙方法と用紙の割り当ての設定を行います。

設定項目	内　容
給紙方法と用紙の割り当て	給紙方法に対して、用紙を割り当てます。給紙方法で「自動選択」を指定した場合は、同一サイズの用紙を複数の給紙方法に割り当てないでください。 同じ用紙サイズがどの給紙方法にも割り当てられていない場合は、手差しで印刷します。 デバイスの設定で割り当てた給紙方法と用紙サイズが印刷設定プロパティの用紙サイズおよび給紙方法の設定と一致しないときは、印刷中に給紙口が切り替わったり、行ずれや印字切れが発生することがあります。 本設定を必ず行い、印刷設定プロパティの設定と一致させてください。

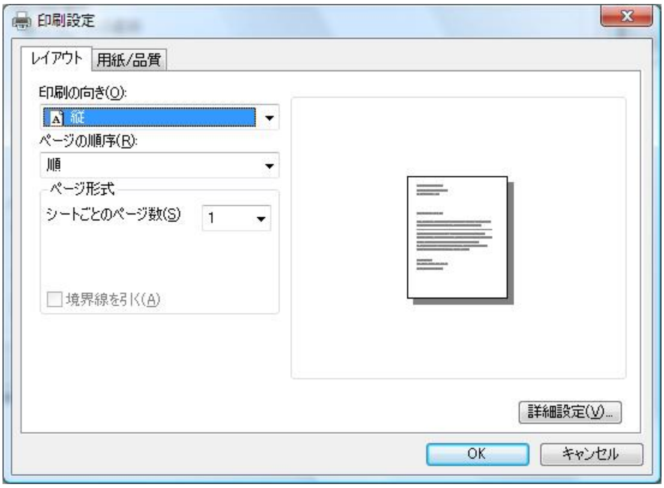
■ Windows Vista/2008 の設定画面

Windows Vista/2008 でのプリンタドライバの設定は、「印刷」、「印刷設定」、「プリンタのプロパティ」で行います。
各プロパティで、設定できる項目が変わりますので、ご注意ください。

ガイド

- アプリケーションソフトによっては、データ保存時に印刷に関する設定（プリンタドライバの設定を含む）を保存します。このため、アプリケーションソフト側から変更するまで、保存してある設定値で印刷されることがあります。また、アプリケーション側で用紙サイズなどを設定できるものもあります。
  ＊ アプリケーションソフトによっては、〔全般〕タブが表示されないことがあります。
- ここでは、FUJITSU FMPR3000G の Windows Vista の画面を例に説明しています。FUJITSU FMPR2000G をお使いの場合は、“ FMPR3000 ”を“ FMPR2000 ”と読み替えてください。

◆　アプリケーションからの設定画面（印刷）



各アプリケーションソフトでのプリンタの設定項目から表示するプリンタのプロパティです。
印刷時に用紙サイズや解像度などの印刷に関する設定が行えます。

注)　アプリケーションによっては、〔全般〕タブが表示されないことがあります。

【設定画面の表示と設定の変更】

プリンタ設定のプロパティを表示する方法、またはプロパティの設定を変更する方法は、アプリケーションソフトごとに異なります。
ここでは、ワードパッドで印刷設定を変更する方法を例に説明します。

1 **ワードパッドの〔ファイル〕メニューから、〔印刷〕を選択する**

2 **印刷画面が表示されたら、設定を変更したいプリンタを選択し〔詳細設定〕を選択する**

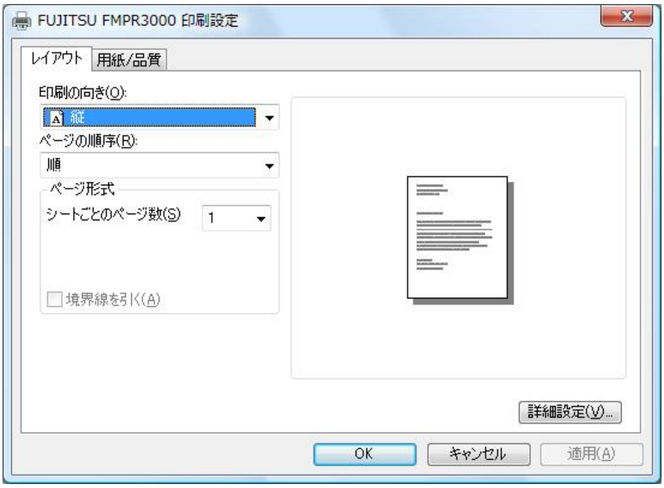
3 **目的の項目を含むタブ、または〔詳細設定〕ボタンをクリックし、設定を変更する**

〔OK〕をクリックすると変更した設定が保存されます。
〔キャンセル〕をクリックすると、変更した設定を保存しないで「印刷設定」ウィンドウを終了します。

4 **〔OK〕をクリックし、〔印刷設定〕ウィンドウを閉じる**

〔OK〕をクリックすると変更した設定が保存されます。
〔キャンセル〕をクリックすると、変更した設定を保存しないで「印刷設定」ウィンドウを終了します。

◆ 〔スタート〕からの設定画面（印刷設定）



用紙サイズや解像度などの印刷に関する既定値を設定します。
アプリケーションソフトで用紙やプリンタの設定を行わない場合は、この設定値で印刷します。

【設定画面の表示と設定の変更】

1 〔プリンタ〕フォルダを開く

ガイド

- Windows Vista では、〔スタート〕〔コントロールパネル〕〔ハードウェアとサウンド〕〔プリンタ〕の順に選択します。
- Windows Server 2008 では、〔スタート〕〔コントロールパネル〕〔プリンタ〕の順に選択します。

2 FUJITSU FMPR3000 プリンタのアイコンを右クリックし、〔印刷設定〕を選択する

3 目的の項目を含むタブをクリックし、設定を変更する

用紙サイズ、出力部数、印刷品質、オプション機能などに関する詳細な設定を行う場合は、〔詳細設定〕をクリックし、設定を変更します。
〔OK〕をクリックすると、変更した設定を保存して「印刷設定」ウィンドウを終了します。
〔キャンセル〕をクリックすると、変更した設定を保存しないで「印刷設定」ウィンドウを終了します。
〔適用〕をクリックすると、変更した設定を保存します。このときウィンドウを開いたままです。

ガイド

- 変更した設定を以前の設定に戻すには以下の方法があります。
  (1) 「レイアウト」「用紙/品質」タブの場合、設定を変更した後、変更した項目で右クリックして〔変更したオプションを元に戻す〕ボタンを表示し、クリックします。
  (2) 〔詳細設定〕の場合、「FUJITSU FMPR3000 詳細なドキュメントの設定」を右クリックして〔変更したオプションを元に戻す〕ボタンを表示し、クリックします。
- 設定内容に変更があった場合のみ、〔適用〕ボタンが有効になります。

◆ プリンタのプロパティ



プリンタドライバやポートの選択などが行えます。

【設定画面の表示と設定の変更】

1 **〔プリンタ〕フォルダを開く**

ガイド

- Windows Vista では、〔スタート〕〔コントロールパネル〕〔ハードウェアとサウンド〕〔プリンタ〕の順に選択します。
- Windows Server 2008 では、〔スタート〕〔コントロールパネル〕〔プリンタ〕の順に選択します。

2 **FUJITSU FMPR3000 プリンタのアイコンを右クリックし、〔印刷設定〕を選択する**

3 **目的の項目を含むタブをクリックし、設定を変更する**

〔OK〕をクリックすると、変更した設定を保存してプロパティを終了します。
〔キャンセル〕をクリックすると、変更した設定を保存しないでプロパティを終了します。
〔適用〕をクリックすると、変更した設定を保存します。このときプロパティは開いたままです。

ガイド

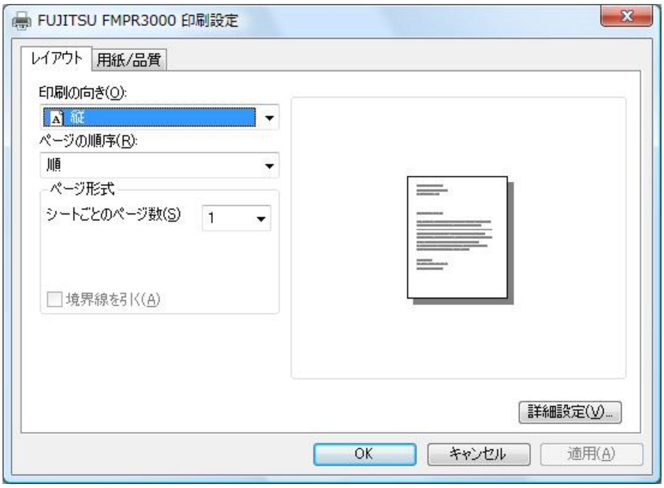
- 変更した設定を以前の設定に戻すには以下の方法があります。
  (1) 設定を変更した後、〔デバイスの設定〕タブの〔FUJITSU FMPR3000 デバイスの設定〕を右クリックします。〔変更したオプションを元に戻す〕ボタンが表示されますので、クリックします。（〔デバイスの設定〕タブのみ有効 ）
- 設定内容に変更があった場合のみ、〔適用〕ボタンが有効になります。

◆ ダイアログ一覧

ガイド

- 本書では、FUJITSU FMPR3000 または FUJITSU FMPR2000 プリンタドライバが提供する機能についてのみ記載しています。〔全般〕、〔共有〕、〔ポート〕、〔詳細設定〕、〔色の管理〕、〔セキュリティ〕タブの内容については、Windows Vista/2008 オペレーティングシステムの取扱説明書、またはヘルプを参照願います。
- （注 1）とあるダイアログは「印刷」または「印刷設定」ダイアログボックスで表示されます。
（注 2）とあるダイアログは「プリンタのプロパティ」ダイアログボックスで表示されます。

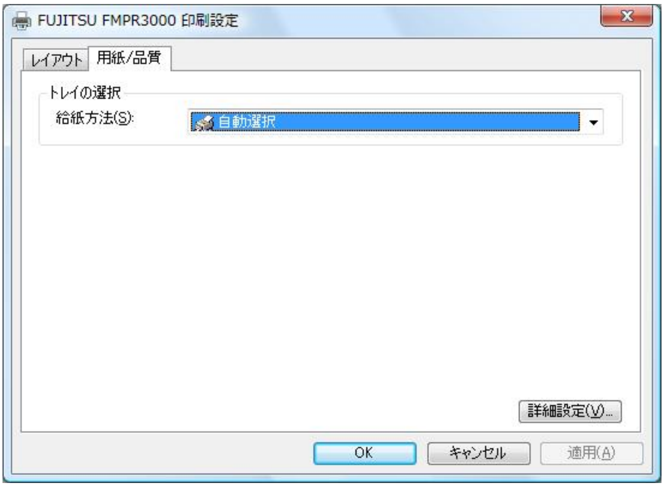
〔レイアウト〕（注 1）



印刷の向き、ページの順序、シートごとの印刷ページなど、レイアウトに関する設定などを行います。

設定項目	内　容
印刷の向き	印刷の向きを指定します。
ページの順序	印刷するページの順序を指定します。
シートごとのページ数	1 枚の用紙に何ページ分印刷するのかを指定します。

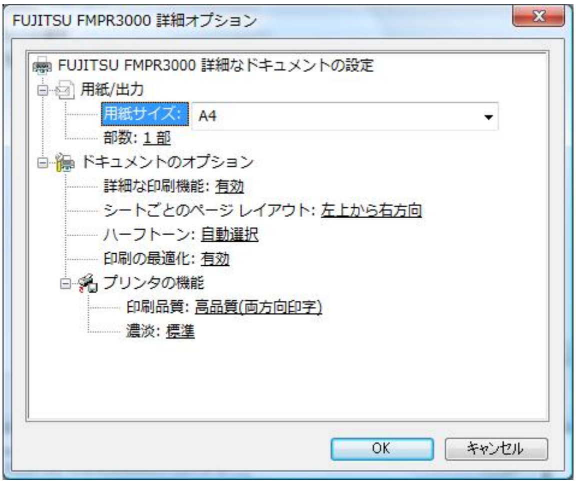
〔用紙/品質〕（注 1）



給紙方法の設定を行います。

設定項目	内　容
給紙方法	用紙の給紙方法を選択します。 ・「自動選択」のまま印刷すると、〔デバイスの設定〕タブで、同じサイズの用紙が割り当てられている給紙方法で印刷します。同じ用紙サイズがどの給紙方法にも割り当てられていない場合は、手差しで印刷します。給紙方法については、「給紙方法」（391ページ）を参照してください。

〔詳細〕（注 1）



次の項目の設定が行えます。

設定項目	設定内容	備　考
用紙/出力	用紙サイズ	用紙サイズを選択します。
	部数	印刷部数を設定します。
ドキュメントのオプション	詳細な印刷機能	印刷機能の設定を有効にするかしないかを設定します。 有効：〔ページの順序〕〔シートごとのページ〕および〔部数〕の設定が有効になります。 無効：〔ページの順序〕〔シートごとのページ〕および〔部数〕の設定が無効になります。
	シートごとのページレイアウト	〔レイアウト〕タブの〔シートごとのページ数〕で[1]以外を選択したときのページ割付け方法を選択します。
	ハーフトーン	ハーフトーンの種類を設定します。プリンタによって最適な品質を決定するには「自動選択」を選択します。
	印刷の最適化	印刷の最適化を有効にするかしないかを設定します。印刷結果が正しくないときは、この機能を「無効」にすることができます。

設定項目	設定内容		備　考
ドキュメントのオプション	プリンタの機能	印刷品質 (注 1)	印字品質および印字方向の設定をします。 ・高品質（両方向印字）： 高品質モードで両方向印字を行います。 ・高品質（片方向印字）： 高品質モードで片方向印字を行います。 ・高速（両方向印字）： 高速モードで両方向印字を行います。 ・高速（片方向印字）： 高速モードで片方向印字を行います。 ・プリンタ設定優先（両方向印字）： 印字方向は両方向、印刷品質はプリンタの設定に従います。 ・プリンタ設定優先（片方向印字）： 印字方向は片方向、印刷品質はプリンタの設定に従います。
		濃淡 (注 2)	印字圧の設定をします。 ・標準： 標準の印字圧で印刷します。 ・高複写： 高複写の印字圧で印刷します。

注1）プリンタドライバのプロパティによる印字方向指定は、プリンタの印字方向設定が「両方向」に設定されているときのみ有効になります。プリンタの印字方向が「片方向」に設定されているときは、プリンタドライバのプロパティ設定にかかわらず「片方向印字」となります。

注2）この項目は FMPR3000G のみ表示されます。
「高複写」は、複写紙の印字能力を上げるときに使用します。
「高複写」に設定すると、印字速度は遅くなります。

〔デバイスの設定〕（注 2）



給紙方法と用紙の割り当ての設定を行います。

設定項目	内　容
給紙方法と用紙の割り当て	給紙方法に対して、用紙を割り当てます。給紙方法で「自動選択」を指定した場合は、同一サイズの用紙を複数の給紙方法に割り当てないでください。 同じ用紙サイズがどの給紙方法にも割り当てられていない場合は、手差しで印刷します。 デバイスの設定で割り当てた給紙方法と用紙サイズが印刷設定プロパティの用紙サイズおよび給紙方法の設定と一致しないときは、印刷中に給紙口が切り替わったり、行ずれや印字切れが発生することがあります。 本設定を必ず行い、印刷設定プロパティの設定と一致させてください。

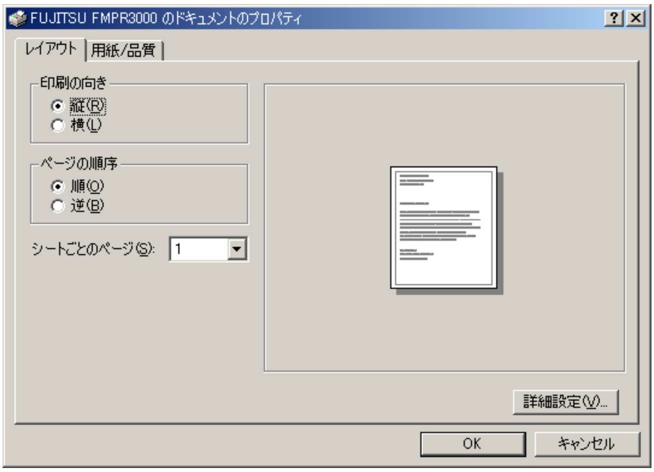
■　Windows 2000/XP/2003 の設定画面

Windows 2000/XP/2003 でのプリンタドライバの設定は、「印刷」、「印刷設定」、「プリンタのプロパティ」で行います。
各プロパティで、設定できる項目が変わりますので、ご注意ください。

ガイド

・アプリケーションソフトによっては、データ保存時に印刷に関する設定（プリンタドライバの設定を含む）を保存します。このため、アプリケーションソフト側から変更するまで、保存してある設定値で印刷されることがあります。また、アプリケーション側で用紙サイズなどを設定できるものもあります。
　* アプリケーションソフトによっては、〔全般〕タブが表示されないことがあります。
・ここでは、FUJITSU FMPR3000G の Windows 2000 の画面を例に説明しています。FUJITSU FMPR2000G をお使いの場合は、“ FMPR3000 ”を“ FMPR2000 ”と読み替えてください。

◆ アプリケーションからの設定画面（印刷）



各アプリケーションソフトでのプリンタの設定項目から表示するプリンタのプロパティです。
印刷時に用紙サイズや解像度などの印刷に関する設定が行えます。

注)　アプリケーションによっては、〔全般〕タブが表示されないことがあります。

【設定画面の表示と設定の変更】

プリンタ設定のプロパティを表示する方法、またはプロパティの設定を変更する方法は、アプリケーションソフトごとに異なります。
ここでは、ワードパッドで印刷設定を変更する方法を例に説明します。

1 ワードパッドの〔ファイル〕メニューから、〔ページ設定〕を選択する

2 ページ設定画面が表示されたら、〔プリンタの設定〕を選択する

3 プリンタ名を確認し、〔プロパティ〕を選択する

この画面で表示されるプリンタ名は、プリンタフォルダで「通常使うプリンタ」に設定されているプリンタが表示されます。
プリンタ名を確認し、設定を変更したいプリンタを選択してください。

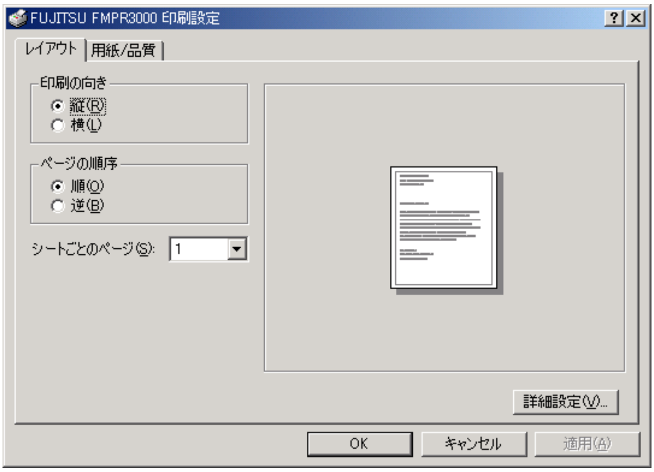
4 目的の項目を含むタブをクリックし、設定を変更する

〔OK〕をクリックすると変更した設定が保存されます。
〔キャンセル〕をクリックすると、変更した設定を保存しないで「ドキュメントのプロパティ」ウィンドウを終了します。

5 〔OK〕をクリックし、〔ページ設定〕ウィンドウを閉じる

〔OK〕をクリックすると変更した設定が保存されます。
〔キャンセル〕をクリックすると、変更した設定を保存しないで「ページ設定」ウィンドウを終了します。
印刷を行うときは、ワードパッドの〔ファイル〕メニューから〔印刷〕を選択します。

◆　〔スタート〕からの設定画面（印刷設定）



用紙サイズや解像度などの印刷に関する既定値を設定します。
アプリケーションソフトで用紙やプリンタの設定を行わない場合は、この設定値で印刷します。

【設定画面の表示と設定の変更】

1　〔スタート〕から、〔設定〕〔プリンタ〕の順に選択する

2　FUJITSU FMPR3000 プリンタのアイコンをクリックし、〔ファイル〕メニューから〔印刷設定〕を選択する

3　目的の項目を含むタブをクリックし、設定を変更する

用紙サイズ、出力部数、印刷品質、オプション機能などに関する詳細な設定を行う場合は、〔詳細設定〕をクリックし、設定を変更します。
〔OK〕をクリックすると、変更した設定を保存して「印刷設定」ウィンドウを終了します。
〔キャンセル〕をクリックすると、変更した設定を保存しないで「印刷設定」ウィンドウを終了します。
〔適用〕をクリックすると、変更した設定を保存します。このときウィンドウを開いたままです。

ガイド

- 変更した設定を以前の設定に戻すには以下の方法があります。
  (1)　「レイアウト」「用紙/品質」タブの場合、設定を変更した後、変更した項目で右クリックして〔変更したオプションを元に戻す〕ボタンを表示し、クリックします。
  (2)　〔詳細設定〕の場合、「FUJITSU FMPR3000 詳細なドキュメントの設定」を右クリックして〔変更したオプションを元に戻す〕ボタンを表示し、クリックします。
- 設定内容に変更があった場合のみ、〔適用〕ボタンが有効になります。

◆　プリンタのプロパティ



プリンタドライバやポートの選択などが行えます。

【設定画面の表示と設定の変更】

1　**〔スタート〕から、〔設定〕〔プリンタ〕の順に選択する**

2　**FUJITSU FMPR3000 プリンタのアイコンをクリックし、〔ファイル〕メニューから〔プロパティ〕を選択する**

3　**目的の項目を含むタブをクリックし、設定を変更する**

〔OK〕をクリックすると、変更した設定を保存してプロパティを終了します。

〔キャンセル〕をクリックすると、変更した設定を保存しないでプロパティを終了します。

〔適用〕をクリックすると、変更した設定を保存します。このときプロパティは開いたままです。

ガイド

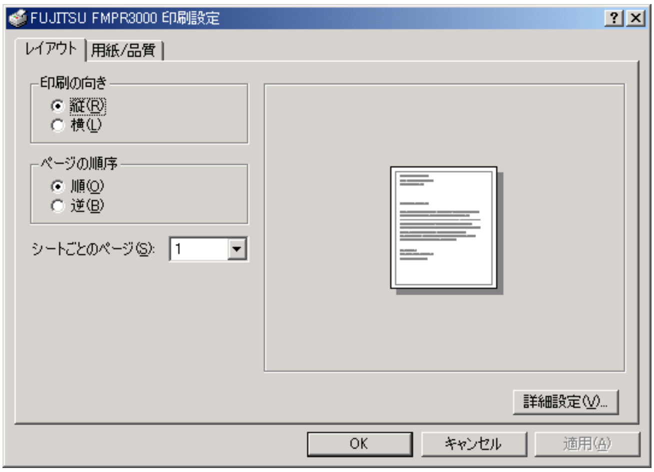
- 変更した設定を以前の設定に戻すには以下の方法があります。
  (1) 設定を変更した後、〔デバイスの設定〕タブの〔FUJITSU FMPR3000 デバイスの設定〕を右クリックします。〔変更したオプションを元に戻す〕ボタンが表示されますので、クリックします。（〔デバイスの設定〕タブのみ有効 ）
- 設定内容に変更があった場合のみ、〔適用〕ボタンが有効になります。

◆　ダイアログ一覧

ガイド

- 本書では、FUJITSU FMPR3000 または FUJITSU FMPR2000 プリンタドライバが提供する機能についてのみ記載しています。〔全般〕，〔共有〕，〔ポート〕，〔詳細設定〕，〔セキュリティ〕タブの内容については、Windows 2000/XP/2003 オペレーティングシステムの取扱説明書、またはヘルプを参照願います。
- （注 1）とあるダイアログは「印刷」または「印刷設定」ダイアログボックスで表示されます。
  （注 2）とあるダイアログは「プリンタのプロパティ」ダイアログボックスで表示されます。

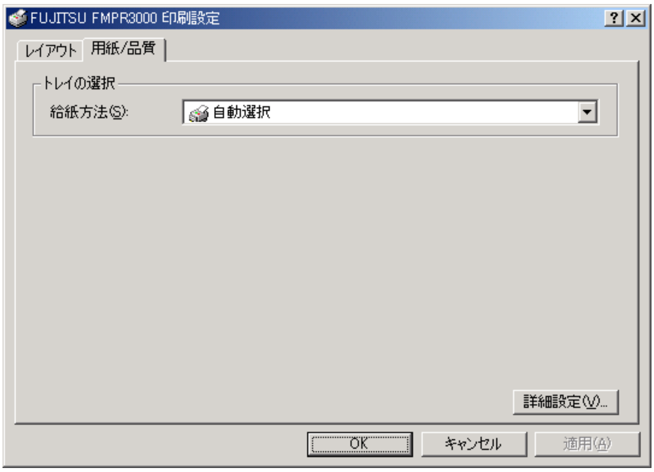
〔レイアウト〕（注 1）



印刷の向き、ページの順序、シートごとの印刷ページなど、レイアウトに関する設定などを行います。

設定項目	内　容
印刷の向き	印刷の向きを指定します。
ページの順序	印刷するページの順序を指定します。
シートごとのページ	1 枚の用紙に何ページ分印刷するのかを指定します。

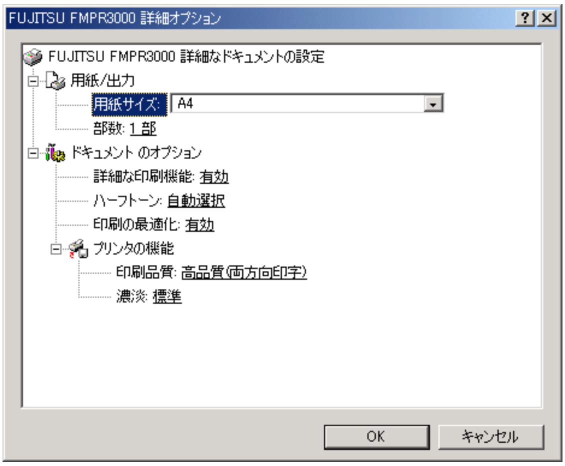
〔用紙/品質〕（注 1）



給紙方法の設定を行います。

設定項目	内　容
給紙方法	用紙の給紙方法を選択します。 ・「自動選択」のまま印刷すると、〔デバイスの設定〕タブで、同じサイズの用紙が割り当てられている給紙方法で印刷します。同じ用紙サイズがどの給紙方法にも割り当てられていない場合は、手差しで印刷します。給紙方法については、「給紙方法」（391ページ）を参照してください。

〔詳細〕（注 1）



次の項目の設定が行えます。

設定項目	設定内容	備　考
用紙/出力	用紙サイズ	用紙サイズを選択します。
	部数	印刷部数を設定します。
ドキュメントのオプション	詳細な印刷機能	印刷機能の設定を有効にするかしないかを設定します。 有効：〔ページの順序〕〔シートごとのページ〕および〔部数〕の設定が有効になります。 無効：〔ページの順序〕〔シートごとのページ〕および〔部数〕の設定が無効になります。
	ハーフトーン	ハーフトーンの種類を設定します。プリンタによって最適な品質を決定するには「自動選択」を選択します。
	印刷の最適化	印刷の最適化を有効にするかしないかを設定します。印刷結果が正しくないときは、この機能を「無効」にすることができます。

設定項目	設定内容		備　考
ドキュメントのオプション	プリンタの機能	印刷品質 (注 1)	印字品質および印字方向の設定をします。 ・高品質（両方向印字）： 高品質モードで両方向印字を行います。 ・高品質（片方向印字）： 高品質モードで片方向印字を行います。 ・高速（両方向印字）： 高速モードで両方向印字を行います。 ・高速（片方向印字）： 高速モードで片方向印字を行います。 ・プリンタ設定優先（両方向印字）： 印字方向は両方向、印刷品質はプリンタの設定に従います。 ・プリンタ設定優先（片方向印字）： 印字方向は片方向、印刷品質はプリンタの設定に従います。
		濃淡 (注 2)	印字圧の設定をします。 ・標準： 標準の印字圧で印刷します。 ・高複写： 高複写の印字圧で印刷します。

注 1）プリンタドライバのプロパティによる印字方向指定は、プリンタの印字方向設定が「両方向」に設定されているときのみ有効になります。プリンタの印字方向が「片方向」に設定されているときは、プリンタドライバのプロパティ設定にかかわらず「片方向印字」となります。

注 2）この項目は FMPR3000G のみ表示されます。
「高複写」は、複写紙の印字能力を上げるときに使用します。
「高複写」に設定すると、印字速度は遅くなります。

〔デバイスの設定〕（注 2）



給紙方法と用紙の割り当ての設定を行います。

設定項目	内　容
給紙方法と用紙の割り当て	給紙方法に対して、用紙を割り当てます。給紙方法で「自動選択」を指定した場合は、同一サイズの用紙を複数の給紙方法に割り当てないでください。 同じ用紙サイズがどの給紙方法にも割り当てられていない場合は、手差しで印刷します。 デバイスの設定で割り当てた給紙方法と用紙サイズが印刷設定プロパティの用紙サイズおよび給紙方法の設定と一致しないときは、印刷中に給紙口が切り替わったり、行ずれや印字切れが発生することがあります。 本設定を必ず行い、印刷設定プロパティの設定と一致させてください。

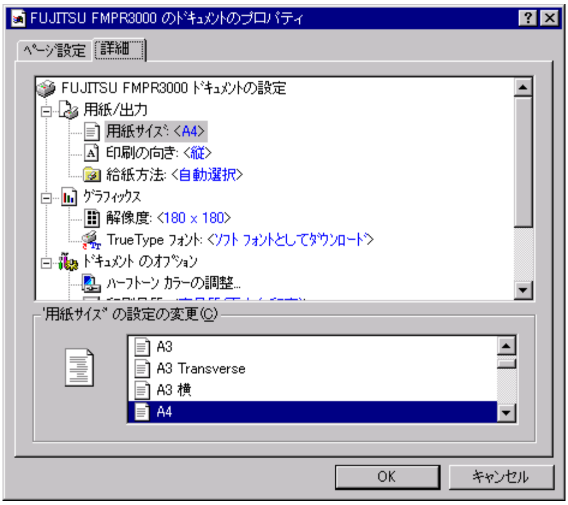
■ Windows NT 4.0 の設定画面

Windows NT 4.0 でのプリンタドライバの設定は、「プリンタ設定のプロパティ」、「ドキュメントの既定値」、「プリンタのプロパティ」の 3 つのプロパティで行います。
プロパティによって設定できる項目が変わりますので、ご注意ください。

ガイド

・一般ユーザーは、アプリケーションソフトからのプリンタ設定のプロパティのみ変更できます。
　また、サーバー共有のプリンタの全ての設定値をクライアントから変更するには、サーバーとクライアントの両方で管理者権限が必要です。
・アプリケーションソフトによっては、データ保存時に印刷に関する設定（プリンタドライバの設定を含む）を保存します。このため、アプリケーションソフト側から変更するまで、保存してある設定値で印刷されることがあります。また、アプリケーション側で用紙サイズなどを設定できるものもあります。
・ここでは、FUJITSU FMPR3000G の Windows NT 4.0 の画面を例に説明しています。FUJITSU FMPR2000G をお使いの場合は、“ FMPR3000 ”を“ FMPR2000 ”と読み替えてください。

◆　アプリケーションからの設定画面（プリンタ設定のプロパティ）



各アプリケーションソフトでのプリンタの設定項目から表示するプリンタのプロパティです。
印刷時の用紙サイズや解像度などの印刷に関する設定が行えます。

【設定画面の表示と設定の変更】

プリンタ設定のプロパティを表示する方法は、アプリケーションソフトごとに異なります。
ここでは、ワードパットを例に説明します。

1. **ワードパッドの〔ファイル〕メニューから、〔ページ設定〕を選択する**
2. **ページ設定画面が表示されたら、〔プリンタの設定〕を選択する**
3. **プリンタ名を確認し、〔プロパティ〕を選択する**
   この画面で表示されるプリンタ名は、プリンタフォルダで「通常使うプリンタ」に設定されているプリンタが表示されます。
   プリンタ名を確認し、設定を変更したいプリンタを選択してください。
4. **目的の項目を含むタブをクリックし、設定を変更する**
   〔OK〕をクリックすると変更した設定が保存されます。
   〔キャンセル〕をクリックすると、変更した設定を保存しないで「ドキュメントのプロパティ」ウィンドウを終了します。
5. **〔OK〕をクリックし、〔ページ設定〕ウィンドウを閉じる**
   〔OK〕をクリックすると変更した設定が保存されます。
   〔キャンセル〕をクリックすると、変更した設定を保存しないで「ページ設定」ウィンドウを終了します。
   印刷を行うときは、ワードパッドの〔ファイル〕メニューから〔印刷〕を選択します。

◆　〔スタート〕からの設定画面（ドキュメントの既定値）



用紙サイズや解像度などの印刷に関する既定値を設定します。
アプリケーションソフトで用紙やプリンタの設定を行わない場合は、この設定値で印刷します。

【設定画面の表示と設定の変更】

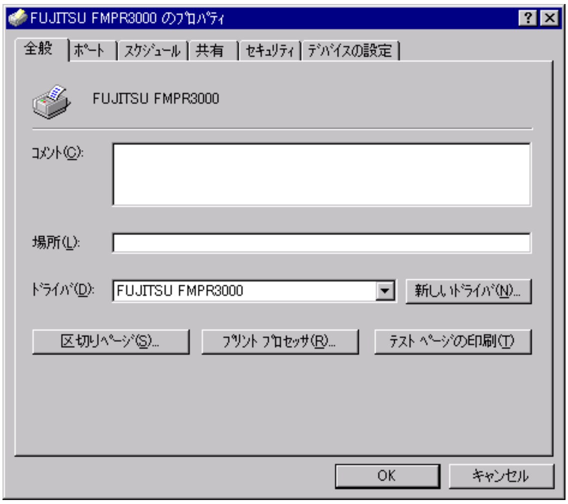
1　**〔スタート〕から、〔設定〕〔プリンタ〕の順に選択する**

2　**FUJITSU FMPR3000 プリンタのアイコンをクリックし、〔プリンタ〕フォルダの〔ファイル〕メニューから〔ドキュメントの規定値〕を選択する**

3　**目的の項目を含むタブをクリックし、設定を変更する**

〔OK〕をクリックすると、変更した設定を保存してプロパティを終了します。
〔キャンセル〕をクリックすると、変更した設定を保存しないでプロパティを終了します。

◆ 〔スタート〕からの設定画面（プリンタのプロパティ）



プリンタドライバやポートの選択などが行えます。
また、給紙口毎の用紙の割り当てなど設定が行えます。

【設定画面の表示と設定の変更】

1 **〔スタート〕から、〔設定〕〔プリンタ〕の順に選択する**

2 **FUJITSU FMPR3000 プリンタのアイコンをクリックし、〔プリンタ〕フォルダの〔ファイル〕メニューから〔プロパティ〕を選択する**

3 **目的の項目を含むタブをクリックし、設定を変更する**

〔OK〕をクリックすると、変更した設定を保存してプロパティを終了します。
〔キャンセル〕をクリックすると、変更した設定を保存しないでプロパティを終了します。

◆ ダイアログ一覧

ガイド

- 本書では、FUJITSU FMPR3000 または FUJITSU FMPR2000 プリンタドライバが提供する機能についてのみ記載しています。
  〔全般〕，〔ポート〕，〔スケジュール〕，〔共有〕，〔セキュリティ〕タブの内容については、Windows NT 4.0 オペレーティングシステムの取扱説明書、またはヘルプを参照願います。
- （注 1）とあるダイアログは「プリンタ設定のプロパティ」または「ドキュメントの既定値」でのみ表示されます。
  （注 2）とあるダイアログは「プリンタのプロパティ」でのみ表示されます。

〔ページ設定〕（注 1）



用紙サイズ、印刷の向き、給紙方法などの用紙に関する設定を行います。

設定項目	内　容
用紙サイズ	用紙サイズを選択します。 ・選択できる用紙サイズについては、「印刷可能領域」（380ページ）を参照してください。 ・特別なサイズの用紙を使う場合、〔プリンタ〕フォルダの〔ファイル〕メニューから〔サーバーのプロパティ〕を選択し、〔用紙〕タブの「新しい用紙を作成する」によって登録した用紙名を選択してください。用紙の幅と長さは『プリンタ編』「第 4 章 用紙について」の「用紙サイズおよび印字領域」の範囲で使用してください。 ・用紙の登録方法については、本ページの「ガイド」を参照してください。

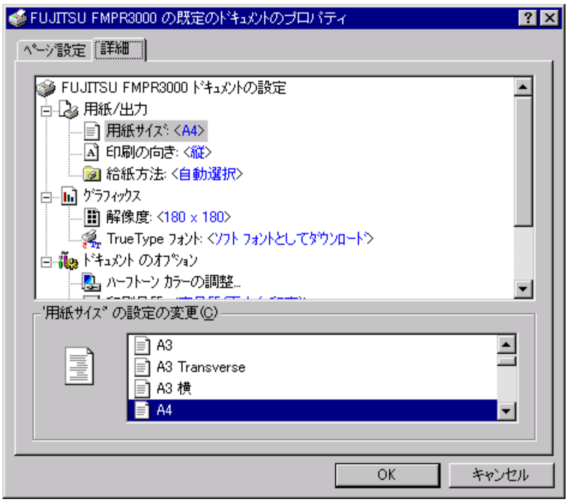
設定項目	内　容
給紙方法	用紙の給紙方法を選択します。 ・「自動選択」のまま印刷すると、〔デバイスの設定〕タブで、同じサイズの用紙が割り当てられている給紙方法で印刷します。同じ用紙サイズがどの給紙方法にも割り当てられていない場合は、手差しで印刷します。 給紙方法については、「給紙方法」（391ページ）を参照してください。
印刷の向き	印刷の向きを選択します。 ・縦　：用紙を縦長に使って印刷します。 ・横　：用紙を横長に使って印刷します。 印刷の向きについては、「印刷の向き」（390ページ）を参照してください。

ガイド

・用紙の登録方法は以下の通りです。

1. 「プリンタ」フォルダで「ファイル」-「サーバーのプロパティを選択して、「プリントサーバーのプロパティ」を開きます。
2. 「プリントサーバーのプロパティ」の「用紙」プロパティシートの「新しい用紙を作成する」をチェックします。
3. 用紙名とサイズを入力して、「用紙の保存」をクリックします。

〔**詳細**〕（注 1）



次の項目の設定が行えます。

設定項目	**設定内容**	**備　考**
用紙/出力	用紙サイズ	用紙サイズを選択します。
	印刷の向き	印刷の向きを指定します。
	給紙方法	用紙の給紙方法を選択します。 「自動選択」のまま印刷すると、[デバイスの設定]タブで同じサイズの用紙が割り当てられている給紙方法で印刷します。同じ用紙サイズがどの給紙方法にも割り当てられていない場合は、手差しで印刷します。 給紙方法については、「給紙方法」（391ページ）を参照してください。
グラフィックス	解像度	解像度を設定します。180×180dpi のみとなります。
ドキュメントのオプション	ハーフトーンカラーの調整	ハーフトーンカラーを設定します。 「ハーフトーンカラーの調整」ボタンをクリックすると「ハーフトーンカラーの調整」ウィンドウが表示されます。

設定項目	設定内容	備　考
ドキュメントのオプション	印刷品質 (注 1)	印字品質および印字方向の設定をします。 ・高品質（両方向印字）： 高品質モードで両方向印字を行います。 ・高品質（片方向印字）： 高品質モードで片方向印字を行います。 ・高速（両方向印字）： 高速モードで両方向印字を行います。 ・高速（片方向印字）： 高速モードで片方向印字を行います。 ・プリンタ設定優先（両方向印字）： 印字方向は両方向、印刷品質はプリンタの設定に従います。 ・プリンタ設定優先（片方向印字）： 印字方向は片方向、印刷品質はプリンタの設定に従います。
	濃淡 (注 2)	印字圧の設定をします。 ・標準　：標準の印字圧で印刷します。 ・高複写：高複写の印字圧で印刷します。
	テキストをグラフックスとして印刷	テキストをグラフィックスとして印刷するかどうかの設定をします。 ・オフ ：テキストを設定されているフォントで印刷します。 ・オン ：プリンタフォントを使用せず、グラフィックスでテキストを印刷します。
	メタファイルスプーリング	メタファイルのスプーリングの設定をします。 ・オフ ：印刷データをスプールしてから印刷します。 ・オン ：印刷データを直接プリンタに送ります。

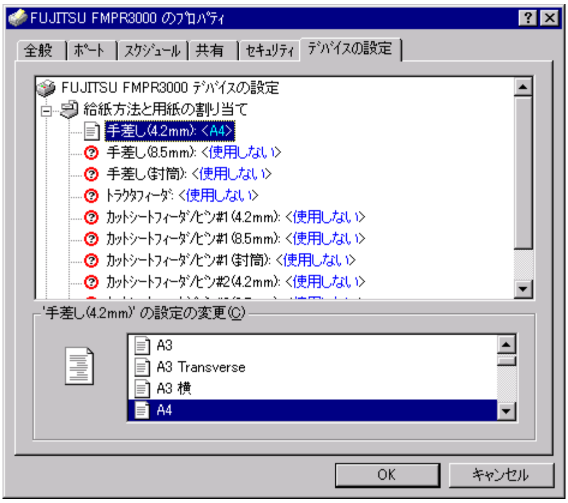
注1）プリンタドライバのプロパティによる印字方向指定は、プリンタの印字方向設定が「両方向」に設定されているときのみ有効になります。プリンタの印字方向が「片方向」に設定されているときは、プリンタドライバのプロパティ設定にかかわらず「片方向印字」となります。

注2）この項目は FMPR3000G のみ表示されます。
「高複写」は、複写紙の印字能力を上げるときに使用します。
「高複写」に設定すると、印字速度は遅くなります。

「FUJITSU FMPR3000 ドキュメントの設定」を選択すると、次のボタンが表示されます。

変更したオプションを元に戻す	変更した設定をプロパティシートを開いたときの状態に戻します。
ラスタプリンタドライバのバージョン情報	本プリンタに関する情報を表示します。

〔デバイスの設定〕（注 2）



給紙方法と用紙の割り当て、ハーフトーンの設定を行います。

設定項目	内　容
給紙方法と用紙の割り当て	給紙方法に対して、用紙を割り当てます。ドキュメントのプロパティの給紙方法で「自動選択」を指定した場合は、同一サイズの用紙を複数の給紙方法に割り当てないでください。 同じ給紙方法がどの給紙方法にも割り当てられていない場合は、手差しで印刷します。 デバイスの設定で割り当てた給紙方法と用紙サイズがドキュメントのプロパティの用紙サイズおよび給紙方法の設定と一致しないときは、印刷中に給紙口が切り替わったり、行ずれや印字切れが発生することがあります。 本設定を必ず行い、ドキュメントのプロパティの設定と一致させてください。
ハーフトーンセットアップ	「ハーフトーンセットアップ」ボタンをクリックすると「デバイスカラー/ハーフトーンのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

「FUJITSU FMPR3000 デバイスの設定」を選択すると、次のボタンが表示されます。

変更したオプションを元に戻す	変更した設定をプロパティシートを開いたときの状態に戻します。
ラスタプリンタドライバのバージョン情報	本プリンタに関する情報を表示します。

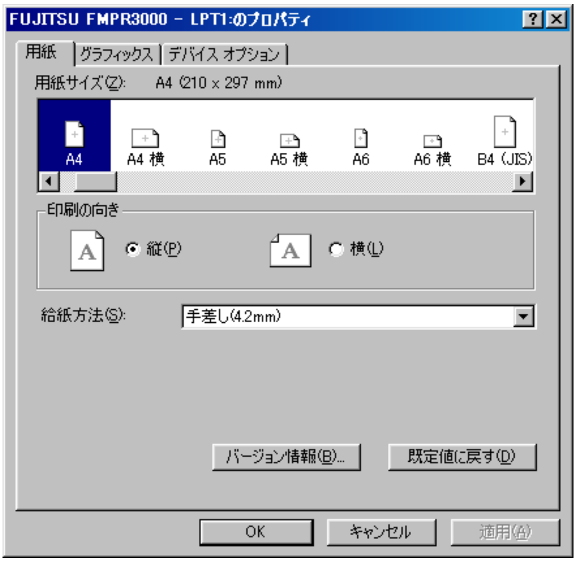
■ Windows 98/Me の設定画面

Windows 98/Me でのプリンタドライバの設定は、「プリンタのプロパティ」で行います。
プリンタのプロパティは、アプリケーションソフトから表示させる方法と、Windows のスタートメニューから表示させる方法があります。
表示方法によって設定できる項目が変わりますので、ご注意ください。

ガイド

- アプリケーションソフトによっては、データ保存時に印刷に関する設定（プリンタドライバの設定を含む）を保存します。このため、アプリケーションソフト側から変更するまで、保存してある設定値で印刷されることがあります。また、アプリケーション側で用紙サイズなどを設定できるものもあります。
- ここでは、FUJITSU FMPR3000G の Windows 98 を例に説明しています。FUJITSU FMPR2000G をお使いの場合は、“ FMPR3000 ”を“ FMPR2000 ”と読み替えてください。

◆ アプリケーションソフトからの設定画面（プリンタ設定のプロパティ）



各アプリケーションソフトでのプリンタの設定項目から表示するプリンタのプロパティです。
印刷時の用紙サイズや解像度などの印刷に関する設定が行えます。

【設定画面の表示と設定の変更】

プリンタ設定のプロパティを表示する方法は、アプリケーションソフトごとに異なります。

ここでは、ワードパッドを例に説明します。

1　ワードパッドの〔ファイル〕メニューから、〔ページ設定〕を選択する

2　ページ設定画面が表示されたら、〔プリンタ〕を選択する

3　プリンタ名を確認し、〔プロパティ〕を選択する

この画面で表示されるプリンタ名は、プリンタフォルダで「通常使うプリンタ」に設定されているプリンタが表示されます。
プリンタ名を確認し、設定を変更したいプリンタを選択してください。

4 目的の項目を含むタブをクリックし、設定を変更する

〔OK〕をクリックすると変更した設定が保存されます。
〔キャンセル〕をクリックすると、変更した設定を保存しないで「ドキュメントのプロパティ」ウィンドウを終了します。
〔規定値に戻す〕のあるウィンドウでは、これをクリックすると現在設定中のウィンドウの内容を標準値に戻します。

5 〔OK〕をクリックし、〔ページ設定〕ウィンドウを閉じる

〔OK〕をクリックすると変更した設定が保存されます。
〔キャンセル〕をクリックすると、変更した設定を保存しないで「ページ設定」ウィンドウを終了します。
印刷を行うときは、ワードパッドの〔ファイル〕メニューから〔印刷〕を選択します。

◆　〔スタート〕からの設定画面（プリンタのプロパティ）



プリンタドライバやポートの選択などが行えます。
また、用紙サイズや解像度などの印刷に関する既定値の設定が行えます。アプリケーションソフトで用紙やプリンタなどの印刷に関する設定を行わない場合は、この設定値で印刷します。

ガイド

・本書では、FUJITSU FMPR3000 または FMPR2000 プリンタドライバが提供する機能についてのみ記載しています。
〔全般（または情報）〕，〔詳細〕，〔共有〕タブの内容については、Windows 98/Me オペレーティングシステムの取扱説明書、またはヘルプを参照願います。

【設定画面の表示と設定の変更】

1　**〔スタート〕から、〔設定〕〔プリンタ〕の順に選択する**

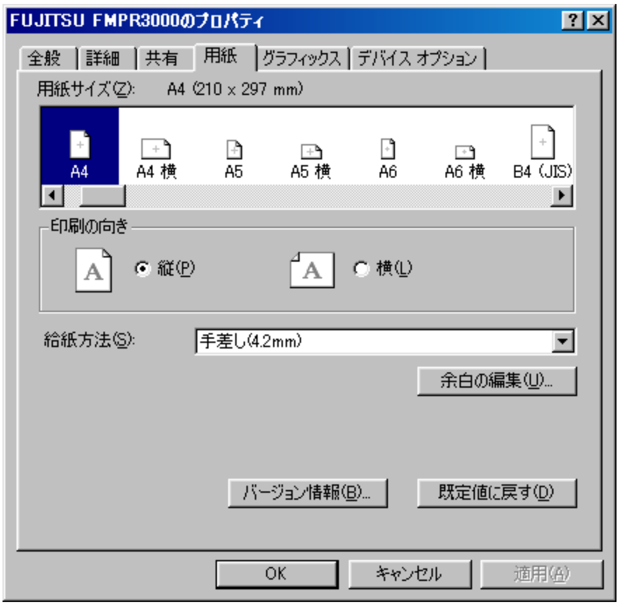
2　**FUJITSU FMPR3000 プリンタのアイコンをクリックし、〔ファイル〕メニューから〔プロパティ〕を選択する**

3　**目的の項目を含むタブをクリックし、設定を変更する**

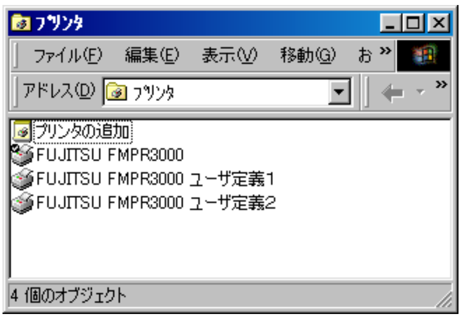
〔OK〕をクリックすると、変更した設定を保存してプロパティを終了します。
〔キャンセル〕をクリックすると、変更した設定を保存しないでプロパティを終了します。
〔既定値に戻す〕のあるウィンドウでは、これをクリックすると現在設定中のウィンドウの内容を標準値に戻します。

◆　ダイアログ一覧

〔用紙〕



用紙サイズ、印刷の向き、給紙方法などの用紙に関する設定を行います。

設定項目	内　容
用紙サイズ	用紙サイズを選択します。 ・特別なサイズの用紙を使う場合、ユーザー定義サイズを選択し、用紙の幅と長さを設定します。用紙の幅、長さについては、『プリンタ編』「第４章　用紙について」の「用紙サイズおよび印字領域」の範囲で使用してください。 ・複数のユーザー定義サイズの用紙を使いたい場合は、プリンタドライバをユーザー定義サイズごとにインストールしてください。ドライバの名前にサイズ名を指定すれば、ドライバの切り替えで使用できます。  ・選択できる用紙サイズについては、「印刷可能領域」（380ページ）を参照してください。

設定項目	内　容
印刷の向き	印刷の向きを選択します。 ・縦　：　用紙を縦長に使って印刷します。 ・横　：　用紙を横長に使って印刷します。 詳細は「印刷の向き」（390ページ）を参照してください。
給紙方法	用紙の給紙方法を選択します。詳細は「給紙方法」（391ページ）を参照してください。
余白の編集	余白の編集を行います。 選択した用紙サイズに最適な値が設定されています。設定を変更すると印刷位置がずれる場合があります。 本機能はアプリケーションソフトからは設定できません。
バージョン情報	本プリンタドライバに関する情報を表示します。
標準に戻す	現在開いているプロパティ内のすべての設定を標準の状態に戻します。

〔グラフィックス〕



解像度やディザパターンなどを設定します。

設定項目	内　容
解像度	印刷するデータの解像度を次の中から指定します FMPR3000 および FMPR2000 プリンタドライバは、180×180dpi のみとなります。
ディザリング	ディザリングとは、中間色をドットの組み合わせで表現することです。選んだディザリングの設定によって、グラフィックイメージがどの程度に細かく印刷されるかが決まります。 なし　　　　：ディザリングをおこないません。 粗く　　　　：グラフィックイメージを粗いパターンで表現します。 細かく　　　：グラフィックイメージを細かいパターンで表現します。（既定値） ラインアート：グラフィックイメージを線の太さで表現します。印刷をするグラフィックイメージの、黒・白・グレーの間にはっきりした境界線がある場合に指定してください。 誤差拡散法　：はっきりした境界のない写真や絵を印刷するときに指定します。
濃度	濃度を変えると、印刷濃度が調整できます。

〔デバイスオプション〕



印刷品質の設定を行います。

設定項目	内　容
印刷密度 (注1)	印刷密度(印字圧)の設定をします。 ・標準　：標準の印字圧で印刷します。 ・高複写：高複写の印字圧で印刷します。
印刷品質 (注2)	印字品質および印字方向の設定をします。 ・高品質(両方向印字)：高品質モードで両方向印字を行います。（規定値） ・高品質(片方向印字)：高品質モードで片方向印字を行います。（規定値） ・高速(両方向印字)：高速モードで両方向印字を行います。 ・高速(片方向印字)：高速モードで片方向印字を行います。 ・プリンタ設定優先(両方向印字)：印字方向は両方向、印字品質はプリンタの設定に従います。 ・プリンタ設定優先(片方向印字)：印字方向は片方向、印字品質はプリンタの設定に従います。

注1）プリンタドライバのプロパティによる印字方向指定は、プリンタの印字方向設定が「両方向」に設定されているときのみ有効になります。プリンタの印字方向が「片方向」に設定されているときは、プリンタドライバのプロパティ設定にかかわらず「片方向印字」となります。

注2）この項目はFMPR3000Gのみ表示されます。
「高複写」は、複写紙の印字能力を上げるときに使用します。
「高複写」に設定すると、印字速度は遅くなります。

印刷可能領域

このプリンタドライバで使用できる用紙サイズおよび印刷範囲は、次のようになっています。

◆ FMPR3000G 用紙サイズ

単位：mm

用紙	縦（ポートレート）		横（ランドスケープ）	
	用紙幅	用紙長	用紙幅	用紙長
A3	297.00	420.00	420.00	297.00
A4	210.00	297.00	297.00	210.00
A5	148.00	210.00	210.00	148.00
A6	105.00	148.00	148.00	105.00
B4(JIS)	257.00	364.00	364.00	257.00
B5(JIS)	182.00	257.00	257.00	182.00
レター	215.90	279.40	279.40	215.90
リーガル	215.90	355.60	355.60	215.90
はがき	100.00	148.00	148.00	100.00
往復はがき	―	―	148.00	200.00
封筒(長形 4 号)	―	―	205.00	90.00
封筒(長形 3 号)	―	―	235.00	120.00
封筒(洋形 2 号)	―	―	162.00	114.00
封筒(US10)	―	―	239.00	105.00
封筒(German Type)	―	―	220.00	111.00
10×10inch 連続紙(136 桁)	254.00	254.00	―	―
10×11inch 連続紙(136 桁)	254.00	279.40	―	―
10×12inch 連続紙(136 桁)	254.00	304.80	―	―
12×11inch 連続紙(136 桁)	304.80	279.40	―	―
15×10inch 連続紙(136 桁)	381.00	254.00	―	―
15×11inch 連続紙(136 桁)	381.00	279.40	―	―
15×12inch 連続紙(136 桁)	381.00	304.80	―	―
縦 1 ｲﾝﾁ(25.4mm) 連続紙	381.00	25.40	―	―
縦 2 ｲﾝﾁ(50.8mm) 連続紙	381.00	50.80	―	―
縦 2.5 ｲﾝﾁ(63.5mm) 連続紙	381.00	63.50	―	―
縦 3 ｲﾝﾁ(76.2mm) 連続紙	381.00	76.20	―	―
縦 3 1/3 ｲﾝﾁ(84.7mm) 連続紙	381.00	84.67	―	―
縦 3 2/3 ｲﾝﾁ(93.1mm) 連続紙	381.00	93.14	―	―
縦 4 ｲﾝﾁ(101.6mm) 連続紙	381.00	101.60	―	―
縦 4 1/3 ｲﾝﾁ(110.1mm) 連続紙	381.00	110.06	―	―
縦 4.5 ｲﾝﾁ(114.3mm) 連続紙	381.00	114.30	―	―
縦 4 2/3 ｲﾝﾁ(118.5mm) 連続紙	381.00	118.53	―	―
縦 5 ｲﾝﾁ(127.0mm) 連続紙	381.00	127.00	―	―

用紙	縦（ポートレート）		横（ランドスケープ）	
	用紙幅	用紙長	用紙幅	用紙長
縦 5 1/3 ｲﾝﾁ(135.5㎜) 連続紙	381.00	135.46	―	―
縦 5 2/3 ｲﾝﾁ(143.9㎜) 連続紙	381.00	143.93	―	―
縦 6 ｲﾝﾁ(152.4㎜) 連続紙	381.00	152.40	―	―
縦 7 ｲﾝﾁ(177.8㎜) 連続紙	381.00	177.80	―	―
縦 8 ｲﾝﾁ(203.2㎜) 連続紙	381.00	203.20	―	―
縦 9 ｲﾝﾁ(228.6㎜) 連続紙	381.00	228.60	―	―
縦 10 ｲﾝﾁ(254.0㎜) 連続紙	381.00	254.00	―	―
縦 10.5 ｲﾝﾁ(266.7㎜) 連続紙	381.00	266.70	―	―
縦 11 ｲﾝﾁ(279.4㎜) 連続紙	381.00	279.40	―	―
縦 11.5 ｲﾝﾁ(292.1㎜) 連続紙	381.00	292.10	―	―
縦 12 ｲﾝﾁ(304.8㎜) 連続紙	381.00	304.80	―	―
縦 13 ｲﾝﾁ(330.2㎜) 連続紙	381.00	330.20	―	―
縦 14 ｲﾝﾁ(355.6㎜) 連続紙	381.00	355.60	―	―
縦 5.5 ｲﾝﾁ(139.7㎜) 連続紙	381.00	139.70	―	―
縦 6.5 ｲﾝﾁ(165.1㎜) 連続紙	381.00	165.10	―	―
縦 6 2/3 ｲﾝﾁ(169.3㎜) 連続紙	381.00	169.33	―	―
縦 7.5 ｲﾝﾁ(190.5㎜) 連続紙	381.00	190.50	―	―
縦 8.5 ｲﾝﾁ(215.9㎜) 連続紙	381.00	215.90	―	―
縦 9.5 ｲﾝﾁ(241.3㎜) 連続紙	381.00	241.30	―	―
縦 10inch(3 等分)連続紙(136 桁)	381.00	84.67	―	―
縦 10inch(4 等分)連続紙(136 桁)	381.00	63.50	―	―
縦 10inch(5 等分)連続紙(136 桁)	381.00	50.80	―	―
縦 11inch(3 等分)連続紙(136 桁)	381.00	93.14	―	―
縦 11inch(4 等分)連続紙(136 桁)	381.00	69.85	―	―
縦 11inch(5 等分)連続紙(136 桁)	381.00	55.88	―	―
縦 11inch(6 等分)連続紙(136 桁)	381.00	46.57	―	―
縦 12.5 ｲﾝﾁ(317.5㎜) 連続紙	381.00	317.50	―	―
ユーザー定義サイズ　　注１	100.00	25.40	―	―

注 1)　この値はデフォルト値です。設定可能範囲 (mm) は、用紙幅が 100.00～420.00 で、用紙長が 25.40～420.00 です。

注 2)　Windows NT 4.0/2000/XP/2003/Vista/2008/7/2008 R2 でのユーザー定義サイズ用紙はプリンタフォルダを開いて、〔ファイル〕メニューの〔サーバーのプロパティ〕または〔プリントサーバーのプロパティ〕で作成します。

注 3)　「縦 5.5 インチ (139.7mm) 連続紙」から「縦 12.5 インチ (317.5mm) 連続紙」までの連帳用紙は、Windows 98/Me プリンタドライバのみのサポートとなります。

注 4)　プリンタドライバのバージョンによっては、連帳用紙名が異なる場合があります。

ガイド

ユーザー定義サイズ用紙について

・用紙幅はプリンタにセットできる用紙の最大幅（約 420.0mm まで）設定できますが、印刷可能範囲内（最大 345.44mm）で使用してください。最大印刷可能範囲を越えると、正しく印刷されない場合があります。
・ユーザー定義サイズ用紙を使用する場合、Windows オペレーティングシステムの演算誤差により用紙送りの累積で印字ずれが発生することがあります。その場合は、ユーザー定義サイズ用紙の高さ(Windows のバージョンによっては長さと表示されます)を調整するか、複数ページを１つの単位とした用紙を作成してください。
・単票印刷の場合、用紙の最小長が 75.9mm 設定まで印刷できますが、規格は 76.0mm ですので 76.0mm 以上に設定してください。
・ユーザー定義サイズ用紙の作成方法については、本章の394ページを参照してください。

◆　**FMPR3000G 印刷領域**

単位：mm

給紙方法	余白（既定値）	
	上端	下端
手差し(4.2mm)	4.23	4.23
手差し(8.5mm)	8.47	4.23
手差し(封筒)	25.40	25.40
トラクタフィーダ	0.00	0.00
カットシートフィーダ/ビン＃１(4.2mm)	4.23	4.23
カットシートフィーダ/ビン＃１(8.5mm)	8.47	4.23
カットシートフィーダ/ビン＃１(封筒)	25.40	25.40
カットシートフィーダ/ビン＃２(4.2mm)	4.23	4.23
カットシートフィーダ/ビン＃２(8.5mm)	8.47	4.23

単位：mm

用紙	余白（既定値）	
	左端	右端
A3	5.08	5.08
A3 横	37.96	36.69
A4，A4 横	5.08	5.08
A5，A5 横	5.08	5.08
A6，A6 横	5.08	5.08
B4(JIS)	5.08	5.08
B4(JIS)横	5.08	13.55
B5(JIS)，B5(JIS)横	5.08	5.08
レター	5.08	5.08
リーガル	5.08	5.08
はがき	5.08	5.08
往復はがき	5.08	5.08
封筒(長形 4 号)	5.08	5.08
封筒(長形 3 号)	5.08	5.08
封筒(洋形 2 号)	5.08	5.08
封筒(US10)	5.08	5.08
封筒(German Type)	5.08	5.08
10×10inch 連続紙(136 桁)	0.00	0.00
10×11inch 連続紙(136 桁)	0.00	0.00
10×12inch 連続紙(136 桁)	0.00	0.00
12×11inch 連続紙(136 桁)	0.00	0.00
15×10inch 連続紙(136 桁)	0.00	35.56
15×11inch 連続紙(136 桁)	0.00	35.56
15×12inch 連続紙(136 桁)	0.00	35.56
縦 1ｲﾝﾁ(25.4mm) 連続紙	0.00	35.56
縦 2ｲﾝﾁ(50.8mm) 連続紙	0.00	35.56
縦 2.5ｲﾝﾁ(63.5mm) 連続紙	0.00	35.56

用紙	余白（既定値）	
	左端	右端
縦 3 ｲﾝﾁ(76.2mm) 連続紙	0.00	35.56
縦 3 1/3 ｲﾝﾁ(84.7mm) 連続紙	0.00	35.56
縦 3 2/3 ｲﾝﾁ(93.1mm) 連続紙	0.00	35.56
縦 4 ｲﾝﾁ(101.6mm) 連続紙	0.00	35.56
縦 4 1/3 ｲﾝﾁ(110.1mm) 連続紙	0.00	35.56
縦 4.5 ｲﾝﾁ(114.3mm) 連続紙	0.00	35.56
縦 4 2/3 ｲﾝﾁ(118.5mm) 連続紙	0.00	35.56
縦 5 ｲﾝﾁ(127.0mm) 連続紙	0.00	35.56
縦 5 1/3 ｲﾝﾁ(135.5mm) 連続紙	0.00	35.56
縦 5 2/3 ｲﾝﾁ(143.9mm) 連続紙	0.00	35.56
縦 6 ｲﾝﾁ(152.4mm) 連続紙	0.00	35.56
縦 7 ｲﾝﾁ(177.8mm) 連続紙	0.00	35.56
縦 8 ｲﾝﾁ(203.2mm) 連続紙	0.00	35.56
縦 9 ｲﾝﾁ(228.6mm) 連続紙	0.00	35.56
縦 10 ｲﾝﾁ(254.0mm) 連続紙	0.00	35.56
縦 10.5 ｲﾝﾁ(266.7mm) 連続紙	0.00	35.56
縦 11 ｲﾝﾁ(279.4mm) 連続紙	0.00	35.56
縦 11.5 ｲﾝﾁ(292.1mm) 連続紙	0.00	35.56
縦 12 ｲﾝﾁ(304.8mm) 連続紙	0.00	35.56
縦 13 ｲﾝﾁ(330.2mm) 連続紙	0.00	35.56
縦 14 ｲﾝﾁ(355.6mm) 連続紙	0.00	35.56
縦 5.5 ｲﾝﾁ(139.7mm) 連続紙	0.00	35.56
縦 6.5 ｲﾝﾁ(165.1mm) 連続紙	0.00	35.56
縦 6 2/3 ｲﾝﾁ(169.3mm) 連続紙	0.00	35.56
縦 7.5 ｲﾝﾁ(190.5mm) 連続紙	0.00	35.56
縦 8.5 ｲﾝﾁ(215.9mm) 連続紙	0.00	35.56
縦 9.5 ｲﾝﾁ(241.3mm) 連続紙	0.00	35.56
縦 10inch(3 等分)連続紙(136 桁)	0.00	35.56
縦 10inch(4 等分)連続紙(136 桁)	0.00	35.56
縦 10inch(5 等分)連続紙(136 桁)	0.00	35.56
縦 11inch(3 等分)連続紙(136 桁)	0.00	35.56
縦 11inch(4 等分)連続紙(136 桁)	0.00	35.56
縦 11inch(5 等分)連続紙(136 桁)	0.00	35.56
縦 11inch(6 等分)連続紙(136 桁)	0.00	35.56
縦 12.5 ｲﾝﾁ(317.5mm) 連続紙	0.00	35.56
ユーザー定義サイズ	5.08	5.08

注 1）上端、下端余白は給紙方法によって異なります。
注 2）プリンタドライバのバージョンによっては、連帳用紙名が異なる場合があります。

お願い

- 封筒を使用する場合の余白量については、『プリンタ編』「第 4 章　用紙について」（79 ページ）の用紙規格に合わせて調整してください。
- 「縦 1 ｲﾝﾁ（25.4㎜）連続紙」～「縦 12.5 ｲﾝﾁ（317.5㎜）連続紙」の連続紙については、用紙幅を全て 15inch に規定してありますので、使用する場合には『プリンタ編』「第 4 章　用紙について」（79 ページ）の用紙規格を参照し、規格範囲内で右端余白を適宜設定してください。また、これらの連続紙を使用する場合、アプリケーションによりヘッダ、フッタの位置がずれる場合があります。この場合、アプリケーションでヘッダ、フッダの位置を調節して印刷してください。

◆　FMPR2000G 用紙サイズ

単位：mm

用紙	縦（ポートレート）		横（ランドスケープ）	
	用紙幅	用紙長	用紙幅	用紙長
A4	210.00	297.00	―	―
A5	148.00	210.00	210.00	148.00
A6	105.00	148.00	148.00	105.00
B4(JIS)	257.00	364.00	―	―
B5(JIS)	182.00	257.00	257.00	182.00
レター	215.90	279.40	―	―
リーガル	215.90	355.60	―	―
はがき	100.00	148.00	148.00	100.00
往復はがき	―	―	148.00	200.00
封筒(長形４号)	―	―	205.00	90.00
封筒(長形３号)	―	―	235.00	120.00
封筒(洋形２号)	―	―	162.00	114.00
封筒(US10)	―	―	239.00	105.00
封筒(German Type)	―	―	220.00	111.00
10×11inch 連続紙(80 桁)	254.00	279.40	―	―
縦　1 ｲﾝﾁ(25.4mm)　連続紙(80 桁)	254.00	25.40	―	―
縦　2 ｲﾝﾁ(50.8mm)　連続紙(80 桁)	254.00	50.80	―	―
縦　2.5 ｲﾝﾁ(63.5mm)　連続紙(80 桁)	254.00	63.50	―	―
縦　3 ｲﾝﾁ(76.2mm)　連続紙(80 桁)	254.00	76.20	―	―
縦　3　1/3 ｲﾝﾁ(84.7mm)　連続紙(80 桁)	254.00	84.67	―	―
縦　3　2/3 ｲﾝﾁ(93.1mm)　連続紙(80 桁)	254.00	93.14	―	―
縦　4 ｲﾝﾁ(101.6mm)　連続紙(80 桁)	254.00	101.60	―	―
縦　4　1/3 ｲﾝﾁ(110.1mm)　連続紙(80 桁)	254.00	110.06	―	―
縦　4.5 ｲﾝﾁ(114.3mm)　連続紙(80 桁)	254.00	114.30	―	―
縦　4　2/3 ｲﾝﾁ(118.5mm)　連続紙(80 桁)	254.00	118.53	―	―
縦　5 ｲﾝﾁ(127.0mm)　連続紙(80 桁)	254.00	127.00	―	―
縦　5　1/3 ｲﾝﾁ(135.5mm)　連続紙(80 桁)	254.00	135.46	―	―
縦　5　2/3 ｲﾝﾁ(143.9mm)　連続紙(80 桁)	254.00	143.93	―	―
縦　6 ｲﾝﾁ(152.4mm)　連続紙(80 桁)	254.00	152.40	―	―
縦　7 ｲﾝﾁ(177.8mm)　連続紙(80 桁)	254.00	177.80	―	―
縦　8 ｲﾝﾁ(203.2mm)　連続紙(80 桁)	254.00	203.20	―	―
縦　9 ｲﾝﾁ(228.6mm)　連続紙(80 桁)	254.00	228.60	―	―
縦　10 ｲﾝﾁ(254.0mm)　連続紙(80 桁)	254.00	254.00	―	―
縦　10.5 ｲﾝﾁ(266.7mm)　連続紙(80 桁)	254.00	266.70	―	―
縦　11 ｲﾝﾁ(279.4mm)　連続紙(80 桁)	254.00	279.40	―	―
縦　11.5 ｲﾝﾁ(292.1mm)　連続紙(80 桁)	254.00	292.10	―	―
縦　12 ｲﾝﾁ(304.8mm)　連続紙(80 桁)	254.00	304.80	―	―
縦　13 ｲﾝﾁ(330.2mm)　連続紙(80 桁)	254.00	330.20	―	―
縦　14 ｲﾝﾁ(355.6mm)　連続紙(80 桁)	254.00	355.60	―	―
縦　5.5 ｲﾝﾁ(139.7mm)　連続紙(80 桁)	254.00	139.70	―	―

用紙	縦（ポートレート）		横（ランドスケープ）	
	用紙幅	用紙長	用紙幅	用紙長
縦 6.5インチ(165.1mm) 連続紙(80桁)	254.00	165.10	―	―
縦 6 2/3インチ(169.3mm) 連続紙(80桁)	254.00	169.33	―	―
縦 7.5インチ(190.5mm) 連続紙(80桁)	254.00	190.50	―	―
縦 8.5インチ(215.9mm) 連続紙(80桁)	254.00	215.90	―	―
縦 9.5インチ(241.3mm) 連続紙(80桁)	254.00	241.30	―	―
縦 10inch(3等分)連続紙(80桁)	254.00	84.67	―	―
縦 10inch(4等分)連続紙(80桁)	254.00	63.50	―	―
縦 10inch(5等分)連続紙(80桁)	254.00	50.80	―	―
縦 11inch(3等分)連続紙(80桁)	254.00	93.14	―	―
縦 11inch(4等分)連続紙(80桁)	254.00	69.85	―	―
縦 11inch(5等分)連続紙(80桁)	254.00	55.88	―	―
縦 11inch(6等分)連続紙(80桁)	254.00	46.57	―	―
縦 12.5インチ(317.5mm) 連続紙(80桁)	254.00	317.50	―	―
ユーザー定義サイズ　注1	101.60	25.40	―	―

注1)　この値はデフォルト値です。設定可能範囲（mm）は、用紙幅が 101.60～266.70 で、用紙長が 25.40～364.00 です。

注2)　Windows NT 4.0/2000/XP/2003/Vista/2008/7/2008 R2 でのユーザー定義サイズ用紙はプリンタフォルダを開いて、［ファイル］メニューの［サーバーのプロパティ］で作成します。

注3)　「縦 5.5インチ（139.7mm）連続紙(80桁)」から「縦 12.5インチ（317.5mm）連続紙(80桁)」までの連帳用紙は、Windows 98/Me プリンタドライバのみのサポートとなります。

注4)　プリンタドライバのバージョンによっては、連帳用紙名が異なる場合があります。

ガイド

ユーザー定義サイズ用紙について

- 用紙幅はプリンタにセットできる用紙の最大幅（約266.7mmまで）設定できますが、印刷可能範囲内（最大 203.20mm）で使用してください。最大印刷可能範囲を越えると、正しく印刷されない場合があります。
- ユーザー定義サイズ用紙を使用する場合、Windows オペレーティングシステムの演算誤差により用紙送りの累積で印字ずれが発生することがあります。その場合は、ユーザー定義サイズ用紙の高さ(Windows のバージョンによっては長さと表示されます)を調整するか、複数ページを１つの単位とした用紙を作成してください。
- ユーザー定義サイズ用紙の作成方法については、本章の394ページを参照してください。

◆　FMPR2000G 印刷領域

単位：mm

給紙方法	余白（既定値）	
	上端	下端
手差し	4.23	4.23
手差し(封筒)	25.40	25.40
トラクタフィーダ(オートティアオフ無効)	0.00	0.00
トラクタフィーダ(オートティアオフ有効)	0.00	0.00

単位：mm

用紙	余白（既定値）	
	左端	右端
A4	5.08	5.08
A5	5.08	5.08
A6	5.08	5.08
B4(JIS)	13.40	40.43
B5(JIS)	5.08	5.08
レター	5.08	7.62
リーガル	5.08	7.62
はがき	5.08	5.08
往復はがき	5.08	5.08
封筒（長形４号）	5.08	5.08
封筒（長形３号）	5.08	26.67
封筒（洋形２号）	5.08	5.08
封筒（US10）	5.08	30.70
封筒（German Type）	5.08	11.71
10×11inch 連続紙(80 桁)	0.00	50.80
縦 1ｲﾝﾁ(25.4mm) 連続紙(80 桁)	0.00	50.80
縦 2ｲﾝﾁ(50.8mm) 連続紙(80 桁)	0.00	50.80
縦 2.5ｲﾝﾁ(63.5mm) 連続紙(80 桁)	0.00	50.80
縦 3ｲﾝﾁ(76.2mm) 連続紙(80 桁)	0.00	50.80
縦 3 1/3ｲﾝﾁ(84.7mm) 連続紙(80 桁)	0.00	50.80
縦 3 2/3ｲﾝﾁ(93.1mm) 連続紙(80 桁)	0.00	50.80
縦 4ｲﾝﾁ(101.6mm) 連続紙(80 桁)	0.00	50.80
縦 4 1/3ｲﾝﾁ(110.1mm) 連続紙(80 桁)	0.00	50.80
縦 4.5ｲﾝﾁ(114.3mm) 連続紙(80 桁)	0.00	50.80
縦 4 2/3ｲﾝﾁ(118.5mm) 連続紙(80 桁)	0.00	50.80
縦 5ｲﾝﾁ(127.0mm) 連続紙(80 桁)	0.00	50.80
縦 5 1/3ｲﾝﾁ(135.5mm) 連続紙(80 桁)	0.00	50.80
縦 5 2/3ｲﾝﾁ(143.9mm) 連続紙(80 桁)	0.00	50.80
縦 6ｲﾝﾁ(152.4mm) 連続紙(80 桁)	0.00	50.80
縦 7ｲﾝﾁ(177.8mm) 連続紙(80 桁)	0.00	50.80
縦 8ｲﾝﾁ(203.2mm) 連続紙(80 桁)	0.00	50.80
縦 9ｲﾝﾁ(228.6mm) 連続紙(80 桁)	0.00	50.80

用紙	余白（既定値）	
	左端	右端
縦 10ｲﾝﾁ(254.0㎜) 連続紙(80 桁)	0.00	50.80
縦 10.5ｲﾝﾁ(266.7㎜) 連続紙(80 桁)	0.00	50.80
縦 11ｲﾝﾁ(279.4㎜) 連続紙(80 桁)	0.00	50.80
縦 11.5ｲﾝﾁ(292.1㎜) 連続紙(80 桁)	0.00	50.80
縦 12ｲﾝﾁ(304.8㎜) 連続紙(80 桁)	0.00	50.80
縦 13ｲﾝﾁ(330.2㎜) 連続紙(80 桁)	0.00	50.80
縦 14ｲﾝﾁ(355.6㎜) 連続紙(80 桁)	0.00	50.80
縦 5.5ｲﾝﾁ(139.7㎜) 連続紙(80 桁)	0.00	50.80
縦 6.5ｲﾝﾁ(165.1㎜) 連続紙(80 桁)	0.00	50.80
縦 6 2/3ｲﾝﾁ(169.3㎜) 連続紙(80 桁)	0.00	50.80
縦 7.5ｲﾝﾁ(190.5㎜) 連続紙(80 桁)	0.00	50.80
縦 8.5ｲﾝﾁ(215.9㎜) 連続紙(80 桁)	0.00	50.80
縦 9.5ｲﾝﾁ(241.3㎜) 連続紙(80 桁)	0.00	50.80
縦 10inch(3 等分)連続紙(80 桁)	0.00	50.80
縦 10inch(4 等分)連続紙(80 桁)	0.00	50.80
縦 10inch(5 等分)連続紙(80 桁)	0.00	50.80
縦 11inch(3 等分)連続紙(80 桁)	0.00	50.80
縦 11inch(4 等分)連続紙(80 桁)	0.00	50.80
縦 11inch(5 等分)連続紙(80 桁)	0.00	50.80
縦 11inch(6 等分)連続紙(80 桁)	0.00	50.80
縦 12.5ｲﾝﾁ(317.5㎜) 連続紙(80 桁)	0.00	50.80
ユーザー定義サイズ	5.08	5.08

注 1）上端、下端余白は給紙方法によって異なります。

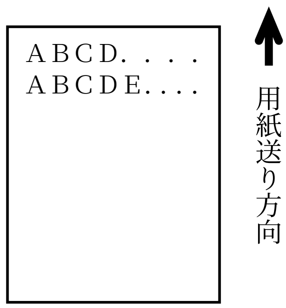
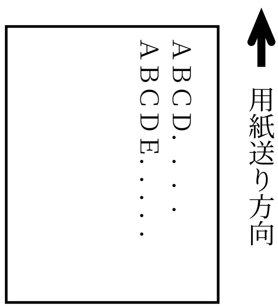
注 2）プリンタドライバのバージョンによっては、連帳用紙名が異なる場合があります。

お願い

- 封筒を使用する場合の余白量については、『プリンタ編』「第 4 章　用紙について」（79 ページ）の用紙規格に合わせて調整してください。
- 「縦 1ｲﾝﾁ（25.4㎜）連続紙（80 桁）」～「縦 12.5ｲﾝﾁ（317.5㎜）連続紙(80 桁)」の連続紙については、用紙幅を全て 10inch に規定してありますので、使用する場合には『プリンタ編』「第 4 章　用紙について」（79 ページ）の用紙規格を参照し、規格範囲内で右端余白を適宜設定してください。また、これらの連続紙を使用する場合、アプリケーションによりヘッダ、フッタの位置がずれる場合があります。この場合、アプリケーションでヘッダ、フッタの位置を調節して印刷してください。

印刷の向き

印刷方向は、プリンタドライバの設定画面の「印刷の向き」の設定により次のようになります。

印刷方向：縦	印刷方向：横
	

ガイド

・　アプリケーションにより、Windows 画面への表示方法や印刷方法が異なる場合があります。

給紙方法

印刷のときに、どこから用紙を給紙するかを指定します。次のいずれかを指定することができます。

◆ FMPR3000G

- **手差し(4.2㎜)**
  手差し単票給紙口から給紙します。
  封筒用紙以外の単票用紙を使用するときに指定します。
  吸入した用紙の上端余白量は、4.2㎜となります。
- **手差し(8.5㎜)**
  手差し単票給紙口から給紙します。
  封筒用紙以外の単票用紙を使用するときに指定します。
  吸入した用紙の上端余白量は、8.5㎜となります。
- **手差し(封筒)**
  手差し単票給紙口から給紙します。
  封筒用紙を使用するときに指定します。
  吸入した用紙の上端余白量は、25.4㎜となります。
- **トラクタフィーダ**
  用紙送りトラクタから給紙します。
  用紙吸入直後の上端余白量は4.2㎜となります。
- **カットシートフィーダ/ビン＃１(4.2㎜)**
  カットシートフィーダ　１ビンから給紙します。
  封筒用紙以外の単票用紙を使用するときに指定します。
  吸入した用紙の上端余白量は、4.2㎜となります。
- **カットシートフィーダ/ビン＃１(8.5㎜)**
  カットシートフィーダ　１ビンから給紙します。
  封筒用紙以外の単票用紙を使用するときに指定します。
  吸入した用紙の上端余白量は、8.5㎜となります。
- **カットシートフィーダ/ビン＃１(封筒)**
  カットシートフィーダ　１ビンから給紙します。
  封筒用紙を使用するときに指定します。
  吸入した用紙の上端余白量は、25.4㎜となります。
- **カットシートフィーダ/ビン＃２(4.2㎜)**
  カットシートフィーダ　２ビンから給紙します。
  封筒用紙以外の単票用紙を使用するときに指定します。
  吸入した用紙の上端余白量は、4.2㎜となります。
- **カットシートフィーダ/ビン＃２(8.5㎜)**
  カットシートフィーダ　２ビンから給紙します。
  封筒用紙以外の単票用紙を使用するときに指定します。
  吸入した用紙の上端余白量は、8.5㎜となります。

◆ FMPR2000G

・手差し
手差し単票給紙口から給紙します。
封筒用紙以外の単票用紙を使用するときに指定します。

・手差し（封筒）
手差し単票給紙口から給紙します。
封筒用紙を使用するときに指定します。

・トラクタフィーダ（オートティアオフ無効）
用紙送りトラクタから給紙します。

・トラクタフィーダ（オートティアオフ有効）
用紙送りトラクタから給紙します。
印刷終了時にミシン目カット位置まで搬送します。

ガイド

・プリンタの機能設定の上端余白量指定をセットアップ優先にしている場合は、プリンタの共通設定の上端余白量で設定してある余白量になります。（『プリンタ編』「第 2 章　プリンタの機能と使い方」「機能設定の変更」(34 ページ)参照)。正しい印刷結果を得るには、プリンタの機能設定を給紙方法に合わせる必要があります。

・Windows NT4.0/2000/XP/2003/Vista/2008/7/2008 R2 の給紙方法には、「自動選択」が追加されますが、使用する給紙方法とは異なった給紙方法が指定される場合があります。印刷に使用する用紙に合わせ、自動選択以外の給紙方法を指定してください。

印刷品質

印刷の品位を設定します。

- **高品質（両方向印字）**
  高品質モードで両方向印字を行います。
- **高品質（片方向印字）**
  高品質モードで片方向印字を行います。
- **高速（両方向印字）**
  高速モードで両方向印字を行います。
- **高速（片方向印字）**
  高速モードで片方向印字を行います。
- **プリンタ設定優先（両方向印字）**
  印字方向は両方向、印刷品質はプリンタの設定に従います。
- **プリンタ設定優先（片方向印字）**
  印字方向は片方向、印刷品質はプリンタの設定に従います。

ガイド

・プリンタドライバのプロパティによる印字方向指定は、プリンタの印字方向設定が「両方向」に設定されているときのみ有効になります。プリンタの印字方向が「片方向」に設定されているときは、プリンタドライバのプロパティ設定にかかわらず「片方向印字」となります。

印字圧

印字圧を設定します。この項目は FMPR3000G のみ表示されます。
お使いの OS により、印刷密度または濃淡と表示されます。
本項目は、FMPR3000G のみ表示されます。

- **標準**
  標準の印字圧で印刷します。
- **高複写**
  高複写の印字圧で印刷します。

ガイド

・「高複写」は、複写紙の印字能力を上げるときに使用します。「高複写」に設定すると、印字速度は遅くなります。

ユーザー定義サイズ用紙の作成方法

ここでは、ユーザー定義サイズ用紙を作成する方法について、Windows XP Professional の画面を例に説明します。

ガイド

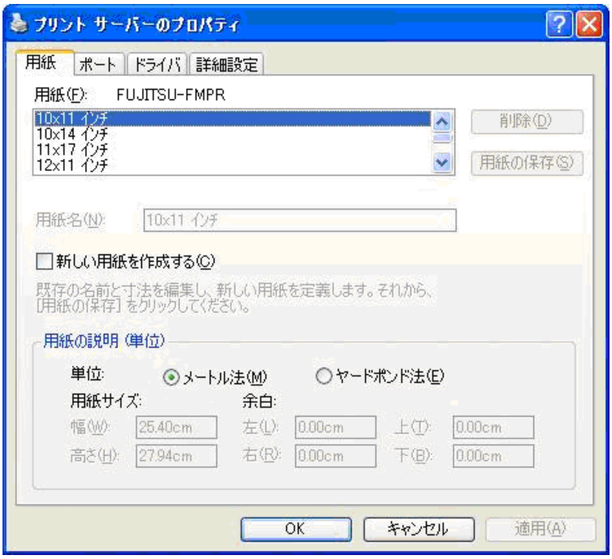
- ご使用の Windows のバージョンによっては、作成手順や表示内容が異なる場合があります。そのときは、表示内容に従って作成して頂くか、お使いの Windows の取扱説明書、ヘルプを参照してください。
- Windows Vista/2008 では、下記手順で〔サーバーのプロパティ〕を選択してください。
  (1) ビルトインアカウントの Administrator や[ユーザーアカウント制御（UAC）]を無効でログオンしているときは、〔ファイル〕メニューから〔サーバーのプロパティ〕を選択してください。
  (2) Administrator グループのアカウントでログオンしているときは、〔ファイル〕メニューから〔管理者として実行〕の〔サーバーのプロパティ〕を選択してください。
  〔ファイル〕メニューの〔サーバーのプロパティ〕では、ユーザー定義サイズ用紙を作成することができません。
  また、「ユーザーアカウント制御」ダイアログが表示されたときは、〔続行〕をクリックしてください。
- Windows 7/2008 R2 で、ユーザー定義サイズ用紙を作成するときは、〔プリントサーバーのプロパティ〕の〔用紙〕タブで〔用紙設定の変更〕ボタンをクリックしてください。
  ** ビルトインアカウントの Administrator でログオンしているときや、[ユーザーアカウント制御（UAC）]を「通知しない」設定にしているときは、本ボタンは表示されません。

1 〔スタート〕→〔設定〕→〔プリンタ〕の順にクリックする

注1）プリンタフォルダを開く方法は、Windows 毎に異なります。
プリンタフォルダを開く方法は、「第1章　ソフトウェアの概要」―「プリンタドライバのインストール」の各 Windows の「プリンタフォルダからのインストール」を参照してください。

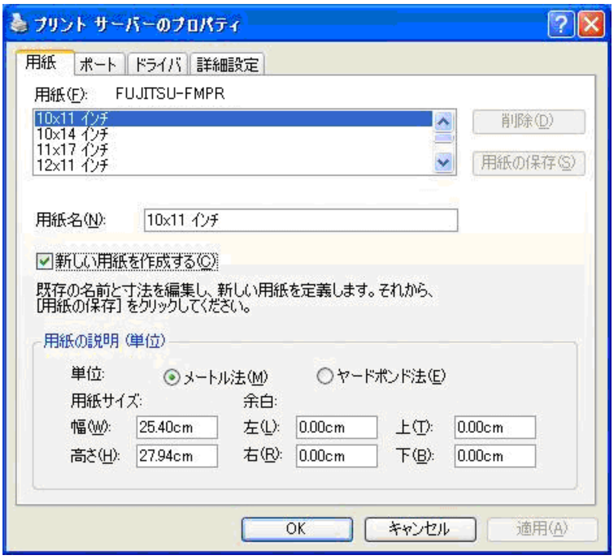
2 〔ファイル〕メニューから〔サーバーのプロパティ〕を選択する

注1）Windows 98/Me のときは、プリンタプロパティの「用紙サイズ」から「ユーザー定義サイズ」を選択します。



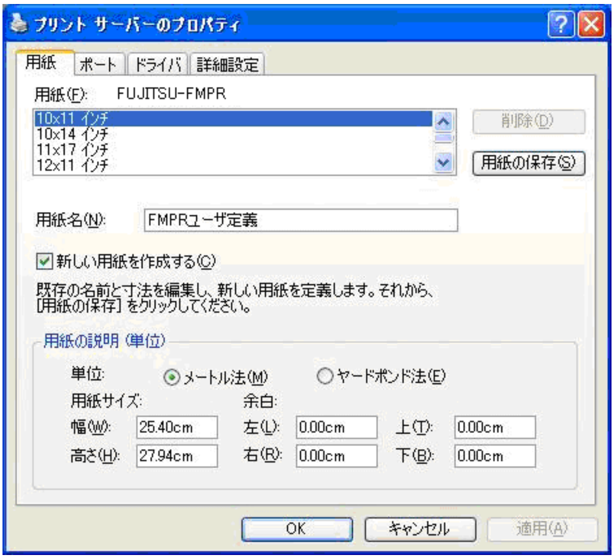
3 〔新しい用紙を作成する〕をチェックする

「用紙の説明」や「寸法」のグレーアウトが解除されます。



4 〔用紙の説明〕に作成する用紙名を入力する

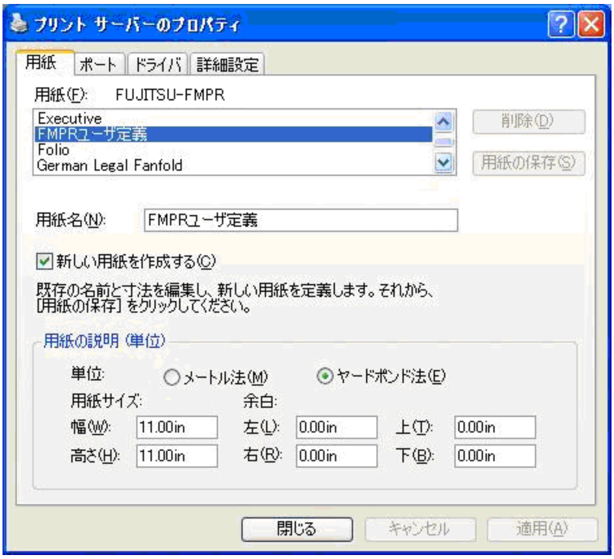
ここでは、「FMPR ユーザ定義」と言う名前の用紙を作成します。
用紙名は、ユニークな名前を付けることができます。



5 〔単位〕を選択し、用紙の幅と高さを入力する

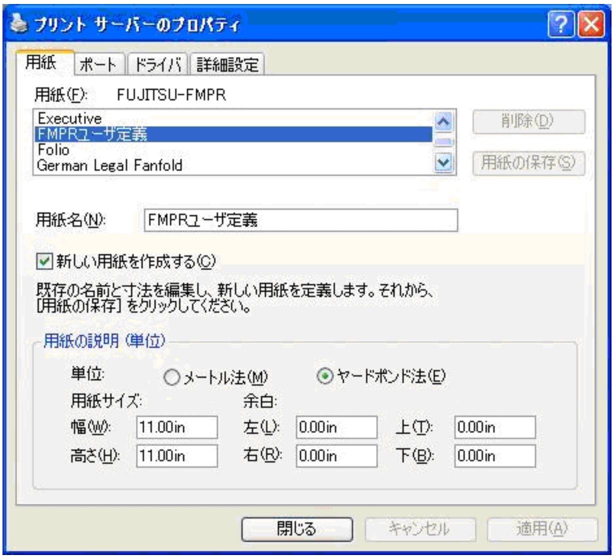
ここでは、幅 11 インチ、高さ 11 インチの用紙を作成します。

注1）「余白」を設定しても、正しく反映されない場合があります。
　　アプリケーションの〔ページ設定〕で余白を編集してください。
注2）作成可能な用紙幅、高さについては、『プリンタ編』「第4章　用紙について」、
　　または本章の「印刷可能領域」を参照してください。



6 〔用紙の保存〕をクリックする

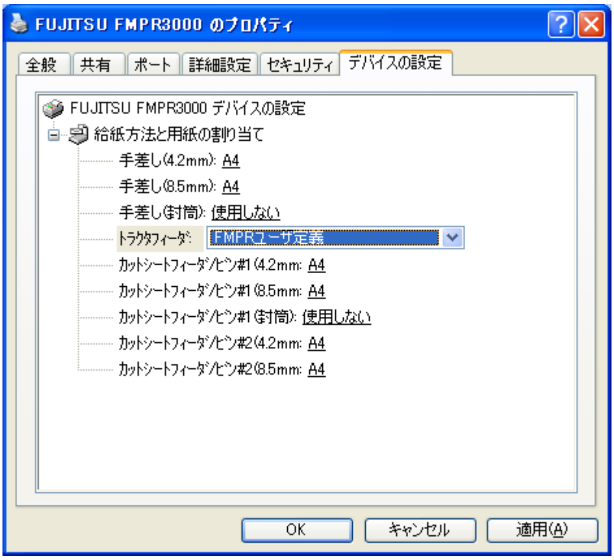
「用紙の説明」に入力した用紙名が、「用紙」欄に追加されます。



7 〔閉じる〕をクリックし、〔サーバーのプロパティ〕を閉じる

8 インストールされているプリンタドライバを右クリックしプロパティを開く

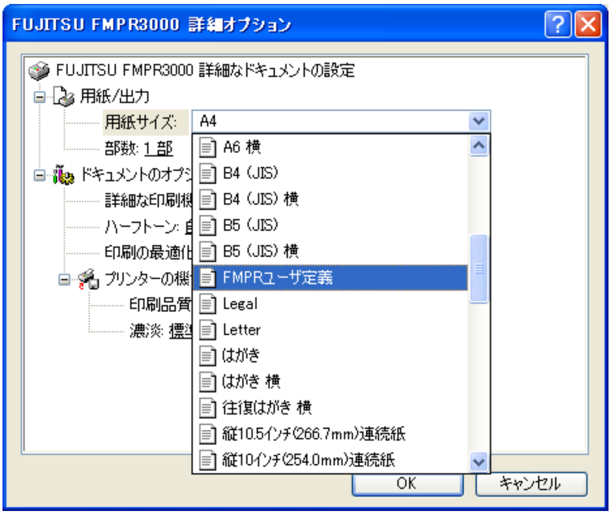
9 「デバイスの設定」を選択して、使用する給紙口に作成した用紙サイズを設定する



10 インストールされているプリンタドライバ右クリックし、〔印刷設定〕から〔詳細設定〕選択する

「用紙サイズ」に作成したユーザー定義サイズ用紙がリストされていることを確認します。

注1）作成したユーザー定義サイズ用紙が設定可能範囲外のときは、「用紙サイズ」に表示されません。
再度、「サーバーのプロパティ」を開いて、作成したユーザー定義サイズ用紙の幅または高さを変更するか、新しい用紙を作成してください。



ガイド

・3 ページで用紙長が 10,11,13,14,16 または 17 インチになる特殊な連続帳票用紙は、ユーザー定義サイズで設定すると誤差が発生して印字ずれとなる場合がありますのでドライバで指定できる用紙サイズ（3 ページで用紙長が 13 インチの場合は「縦 4 1/3 インチ（110.1mm）連続紙」）を設定してください。

・連帳の用紙長はできるだけインチ単位で設定してください。
例えば用紙長 4.5 インチの連続帳票用紙において 11.4cm を用紙の高さに設定すると、プリンタのドットピッチ(1/180 インチ)に従いドットに変換され、807 ドット(Windows 2000/XP/2003/Vista/2008/7/2008 R2 では少数点以下第一位切り捨て)となるため、4.5 インチの 810 ドットとは合わなくなります。

第3章

FMPR ステータスモニタ

この章では、FMPR ステータスモニタについて説明します。

FMPR ステータスモニタのインストール

『ソフトウェア編』－「第１章　ソフトウェアの概要」－「FMPR プリンタユーティリティのインストール」（327 ページ）をお読みください。

FMPR ステータスモニタの機能

ここでは、FMPR ステータスモニタの機能について説明します。
FMPR ステータスモニタは、プリンタ装置の状態（ステータス）を表示するユーティリティプログラムです。
プログラム起動時は最小化（タスクトレイ内のアイコン表示）されており、印刷中にエラーが発生すると、ポップアップ表示（ウィンドウ表示）されます。
Windows の印刷ジョブがないときは、最小化されているアイコンをポップアップさせたときにプリンタの状態を取得し、表示します。（プリンタの状態が変わっても、FMPR ステータスモニタの表示は自動的には更新されません。）

■ FMPR ステータスモニタの起動

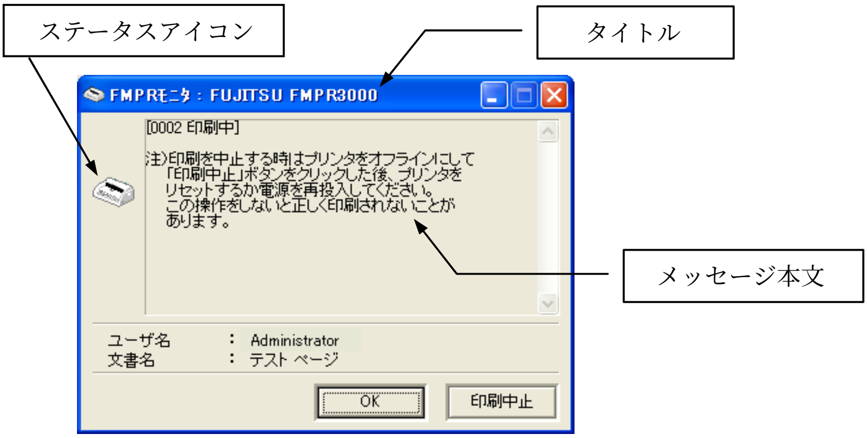
FMPR ステータスモニタをインストールすると、Windows の「スタートアップ」に登録されます。
Windows を起動すると、FMPR ステータスモニタは自動的に起動されます。
ただし、印刷を実行しても、自動的には起動しません。FMPR ステータスモニタを利用するには、印刷実行前にあらかじめ FMPR ステータスモニタを起動しておく必要があります。
FMPR ステータスモニタを表示させるには、プリンタとの接続インターフェースを双方向通信に設定する必要があります。プリンタドライバで双方向通信機能を有効に設定してください。

お願い

- FMPR ステータスモニタは、FMPR3000G でのみ動作します。
  FMPR2000G では動作しません。
- FMPR ステータスモニタを使用するときは、FMPR3000 プリンタを「通常使うプリンタ」に設定し、プリンタドライバの双方向通信機能を有効に設定してください。
- FMPR ステータスモニタは、パラレルまたは USB インターフェース接続時に使用してください。以下の環境では、FMPR ステータスモニタを使用できません。
  1. プリンタドライバのポート設定がパラレルまたは USB ポート以外の場合
  2. USB 変換ケーブルで接続している場合
- FMPR ステータスモニタを使用するときは、プリンタの「エラー監視機能」を「有効」に設定してください。
  設定方法は、『プリンタ編』－「第２章　プリンタの機能とその使いかた」－「機能設定」－「機能設定の変更」（34 ページ）、または『ソフトウェア編』－「第４章　FMPR リモートパネル」（405 ページ）をお読みください。
- FMPR ステータスモニタを使用しているときに、プリンタエラーにより印刷をキャンセルするときは FMPR ステータスモニタの〔印刷中止〕ボタンをクリックしてください。
  FMPR ステータスモニタが起動されている状態で、プリンタフォルダから印刷をキャンセルすると、その後プリンタをリセットしてもデータが削除されず、プリンタが正常に動作しなくなる（プリンタの電源再投入で復旧）場合があります。

■　ステータス表示ウィンドウ

◆　ポップアップ表示

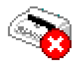


表示項目	内　　容
タイトル	FMPR モニタ：プリンタ名
メッセージ本文（注）	［ステータス番号　プリンタ状態名］ プリンタ状態の説明 処置方法
ステータスアイコン	 印刷中、または印刷可能状態であることを示す。（エラーなし状態）  印刷中、または印刷可能状態であることを示す。（ワーニングメッセージ有り※）  エラー発生状態であることを示す。（復旧可能なエラー）  エラー発生状態であることを示す。（復旧不可能なエラー）  エラー発生状態であることを示す。（ハードエラー） ※ワーニングメッセージについて 　印字ヘッドの交換時期が近づくと表示されます。
ユーザ名	印刷要求を行ったユーザ名
文書名	印刷中の文書名（印刷ジョブ名）
OK ボタン	［OK］ボタンを押下することにより、本ウィンドウは最小化されタスクトレイ内にアイコンとして格納される。
印刷中止ボタン	ステータス表示中の印刷ジョブの印刷中止を行う場合に押下する。 「印刷中止」ボタンを押下することにより、該当印刷ジョブの印刷中止を行い、本ウィンドウを消去する。

注）　ステータス番号、プリンタ状態名、プリンタ状態の説明の一覧については、「FMPR ステータスモニタ状態表示一覧表」（443 ページ）を参照してください。

◆ アイコン表示



表示項目	内　　容
ステータスアイコン	 印刷中、または印刷可能状態であることを示す。（エラーなし状態）  印刷中、または印刷可能状態であることを示す。（ワーニングメッセージ有り※）  エラー発生状態であることを示す。（復旧可能なエラー）  エラー発生状態であることを示す。（復旧不可能なエラー）  エラー発生状態であることを示す。（ハードエラー） ※ワーニングメッセージについて 印字ヘッドの交換時期が近づくと表示されます。
ツールチップ表示	マウスポインタをタスクトレイ内のステータス表示アイコンに合わせることにより、ツールチップによる動作概要表示が行われる。

◆ アイコン表示時のマウス操作

左ボタンダブルクリック：	ステータス表示をポップアップ
右ボタンシングルクリック：	ポップアップメニューの表示を行う。 メニュー内の選択項目を以下に示す。
〔元のサイズに戻す（R）〕	マウス左ボタンダブルクリックと同じ機能である。
〔印刷中止（C）〕	印刷中止ボタンと同じ機能である。
〔ステータス表示の終了（X）〕	FMPRステータスモニタプログラムを終了する。

第4章

FMPR リモートパネル

この章では、FMPR リモートパネルについて説明します。

FMPR リモートパネルのインストール

『ソフトウェア編』－「第１章　ソフトウェアの概要」－「FMPR プリンタユーティリティのインストール」(327 ページ) をお読みください。

FMPR リモートパネルの機能

ここでは、FMPR リモートパネルの機能について説明します。
FMPR リモートパネルは、プリンタの機能設定を行うユーティリティソフトです。

ガイド

・エミュレーションモードやインターフェースなどの一部の設定は、FMPR リモートパネルから行うことはできません。一部の項目の設定は、プリンタのオフラインセットアップをお使いください。オフラインセットアップの方法は、『プリンタ編』「第２章プリンタの機能と使い方」の「機能設定」－「機能設定の変更」(34 ページ)を参照してください。
FMPR2000G リモートパネルは、LAN 接続には対応していません。

■ FMPR リモートパネルの起動

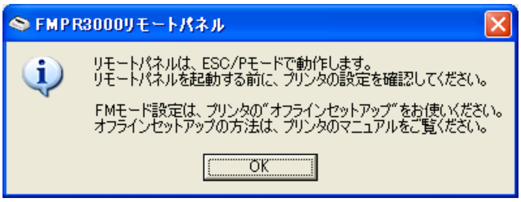
ここでは、FMPR3000G リモートパネルを例に説明しています。
FMPR2000G をお使いの場合は、“ FMPR3000 ”を“ FMPR2000 ”と読み替えてください。

1 〔スタート〕→〔すべてのプログラム〕→〔FMPR3000 ﾌﾟﾘﾝﾀﾕｰﾃｨﾘﾃｨ〕→〔FMPR3000 ﾘﾓｰﾄﾊﾟﾈﾙ〕の順にクリックする

ガイド

・ お使いのオペレーティングシステムによっては、〔スタート〕→〔プログラム〕→〔FMPR3000 ﾌﾟﾘﾝﾀﾕｰﾃｨﾘﾃｨ〕→〔FMPR3000 ﾘﾓｰﾄﾊﾟﾈﾙ〕の順にクリックしてください。

2 メッセージを確認し、〔OK〕をクリックする



3 プリンタを選択し、〔OK〕をクリックする

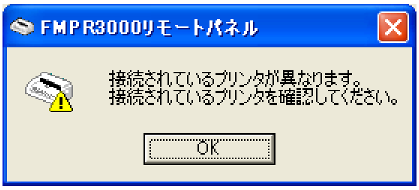


お願い

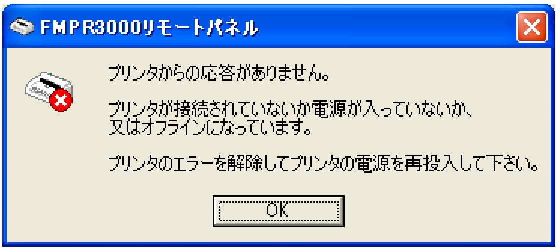
・ FMPR3000G リモートパネルは、パラレル、USB または LAN（オプションの FMPR-LN1G 使用時）接続時に使用してください。
FMPR2000G リモートパネルは、パラレル、USB 接続時に使用してください。
・ パラレル、USB 接続時は、プリンタドライバの双方向通信機能を有効に設定してください。
FMPR3000G リモートパネルを LAN（オプションの FMPR-LN1G 使用時）接続で使用するときは、プリンタドライバの双方向通信機能を無効に設定してください。
・ 以下の環境では FMPR リモートパネルを使用できません。
- プリンタドライバのポート設定が、パラレル、USB、LAN（オプションの FMPR-LN1G 使用時）以外の場合

ガイド

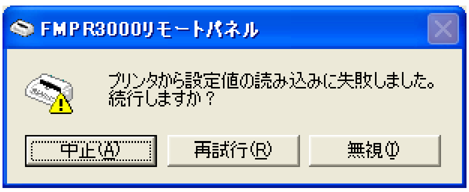
- リモートパネルがご使用いただけないプリンタには、警告マークが付加されて表示されます。
  警告マークの付いていないプリンタを選択してください。
- リモートパネル起動時に、選択したプリンタと異なるプリンタが接続されていたときは、下記メッセージが表示されます。〔OK〕をクリックして、再度接続されているプリンタを選択してください。



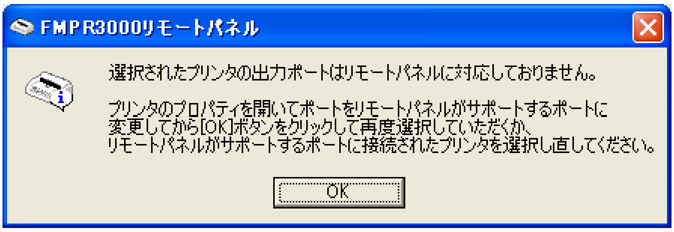
- LAN インターフェース（オプションの FMPR-LN1G 使用時）で使用するときは、PR-PortManager で作成した LPR ポートでデフォルトのポート名（xxx.xxx.xxx.xxx:lp（注 1））としてください。デフォルトのポート名以外に設定されている場合や IPP ポート、Windows Standard TCP/IP ポート、Windows LPR ポートでは動作しません。
  注 1：xxx.xxx.xxx.xxx には IP アドレスが入ります。
- FMPR リモートパネルは、プログラム起動時に、プリンタ装置から機能設定情報を読み込みます。プリンタからの情報読み込みに失敗すると、下記のようにメッセージが表示されますので、〔OK〕をクリックしてください。



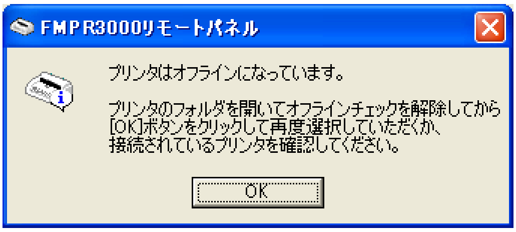
  〔OK〕をクリックすると、下記メッセージが表示されますので、FMPR リモートパネルの使用を中止する場合は〔中止〕をクリックしてください。　プリンタからの情報読み込みをやり直す場合は〔再試行〕をクリックしてください。　プリンタからの情報を読み込まないでリモートパネルを起動する場合は〔無視〕をクリックしてください。



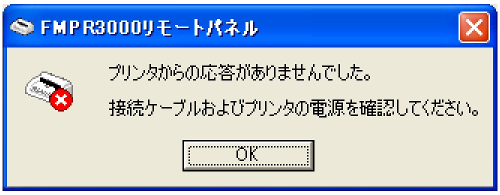
・ 接続ポートが異なるときは、下記メッセージが表示されます。
〔OK〕をクリックして、接続を確認してください。



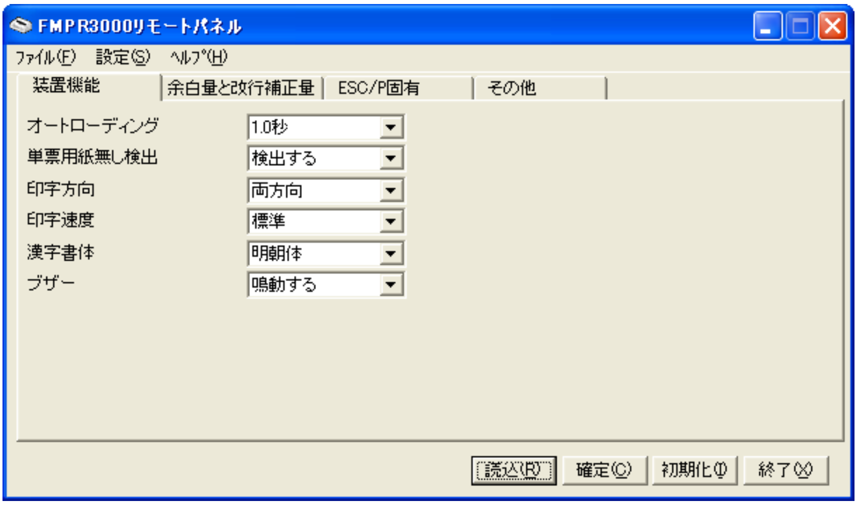
・ USB インターフェースで接続しているとき、プリンタの電源が入っていないか、プリンタフォルダのプリンタドライバがオフライン状態のときは、下記メッセージが表示されます。
〔OK〕をクリックして、接続を確認してください。



・ LAN インターフェース（オプションの FMPR-LN1G 使用時）のとき、プリンタの電源が入ってイいないか、接続されていないときは下記メッセージが表示されます。
〔OK〕をクリックして、接続を確認してください。



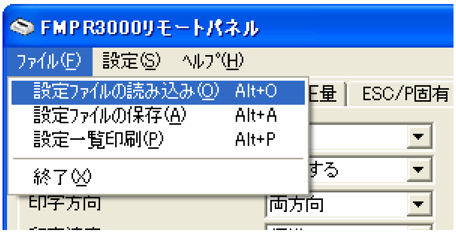
■ プリンタの機能設定



〔リモートパネルの起動画面〕

◆ メニューの説明

【ファイル】メニュー



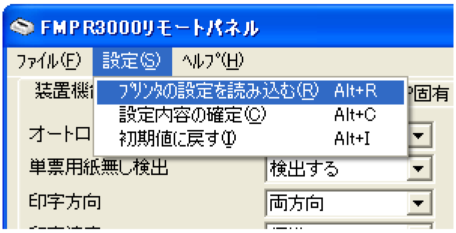
・設定ファイルの読み込み（O）　Alt＋O
　ディスクに保存されている設定値ファイルを読み込み、リモートパネル上の各項目の設定値表示を設定値ファイルの内容に更新します。

・設定ファイルの保存（A）　Alt＋A
　リモートパネル上の各項目の設定値表示内容を、設定値ファイルとしてディスクに保存します。

・設定一覧印刷（P）　Alt＋P
　設定内容の一覧印刷を行います。

・終了（X）
　リモートパネルを終了します。

【設定】メニュー

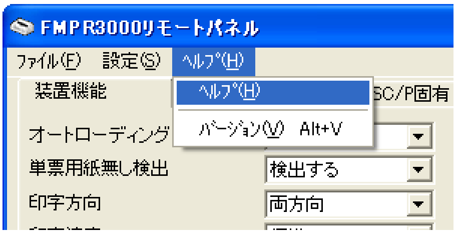


・プリンタの設定を読み込む（R）　Alt+R
　プリンタ装置から設定値を読み込み、リモートパネル上の各項目の設定値表示をプリンタの設定値に合わせます。

・設定内容の確定（C）　Alt+C
　リモートパネルで設定した内容をプリンタに送信します。

・初期値に戻す（**I**）　Alt+**I**
　リモートパネル上の設定値表示を工場出荷時の値に戻します。
　また、プリンタ装置の設定を初期値にします。

【ヘルプ】メニュー



・ヘルプ（H）
　リモートパネルのヘルプを起動します。

・バージョン（V）　Alt+V
　リモートパネルのソフトウェアバージョンを表示します。

◆ ボタンの説明

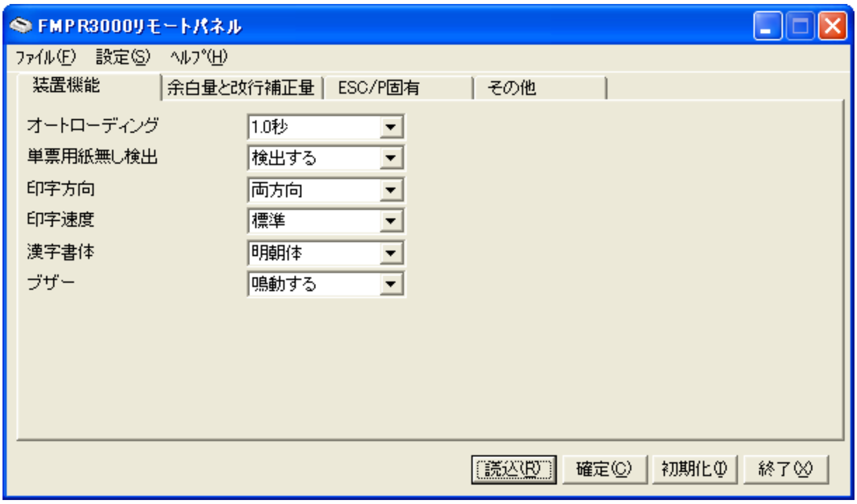
【読込（R）】
“ 設定 ” メニューの「プリンタの設定を読み込む（R）」と同等機能です。

【確定（C）】
“ 設定 ” メニューの「設定内容の確定（C）」と同等機能です。

【初期化（I）】
“ 設定 ” メニューの「初期値に戻す（I）」と同等機能です。

【終了（X）】
リモートパネルプログラムを終了します。

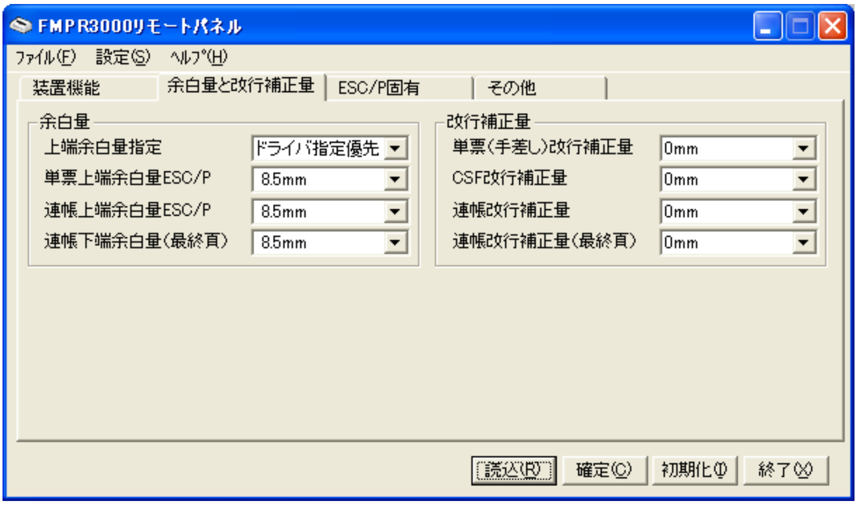
◆ 装置機能の設定



〔装置機能〕シートでは、オートローディング（用紙吸入開始時間）や印字方向など、装置機能に関する項目の設定を行います。

各設定項目については、『プリンタ編』「第 2 章　プリンタの機能とその使いかた」の「機能設定の種類」－「装置機能設定」(36 ページ) を参照してください。

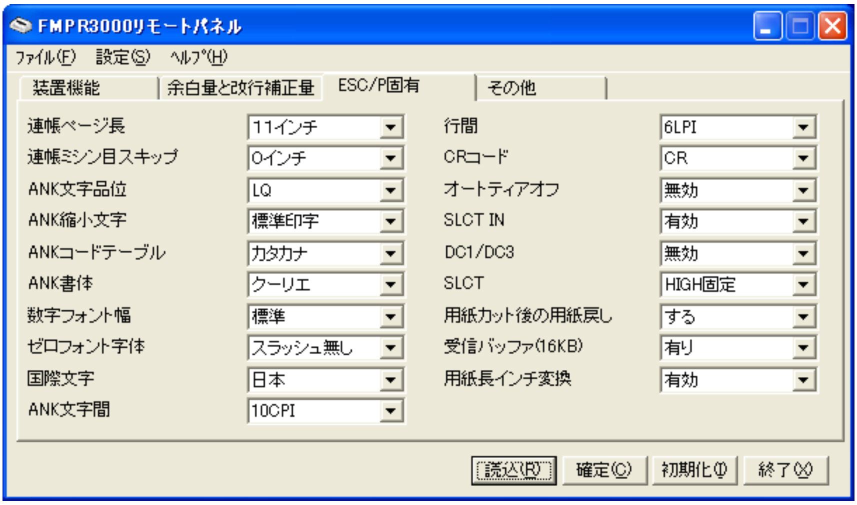
◆ 余白量と改行補正量の設定



〔余白量と改行補正量〕シートでは、余白量と改行補正量に関する項目の設定を行います。

各設定項目については、『プリンタ編』「第２章　プリンタの機能とその使いかた」の「機能設定の種類」－「余白量設定」(37 ページ)、および「機能設定の種類」－「補正量設定」(40 ページ)を参照してください。

◆ ESC/P 固有の設定



〔ESC/P 固有〕シートでは、ESC/P モード固有項目の設定を行います。

各設定項目については、『プリンタ編』「第２章　プリンタの機能とその使いかた」の「機能設定の種類」－「ESC/P 設定」(38 ページ)を参照してください。

◆　その他の設定



〔その他〕シートでは、プリンタの制御方法に関する項目の設定を行います。

各設定項目については、『プリンタ編』「第 2 章　プリンタの機能とその使いかた」の「機能設定の種類」－「その他の設定」(41 ページ) をご覧ください。

第 5 章

こんなときは

この章では、プリンタドライバなどソフトウェアに関するトラブルシューティングや留意事項について説明します。

ソフトウェアに関する留意事項

ここでは、プリンタを使用しているときに発生するソフトウェアの留意事項について、現象と対処方法を説明します。

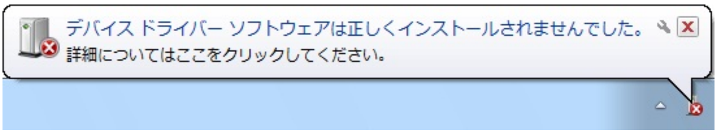
■ プリンタドライバをインストールする前に プリンタとパソコンを接続したとき

Windows 7/2008 R2 で、プリンタドライバをインストールする前に、プリンタとパソコンを USB またはパラレルインターフェースケーブルで接続してしまい、「このデバイスドライバーソフトウェアは正しくインストールされませんでした。」と表示されたときは、下記の手順でプリンタドライバをインストールし直してください。

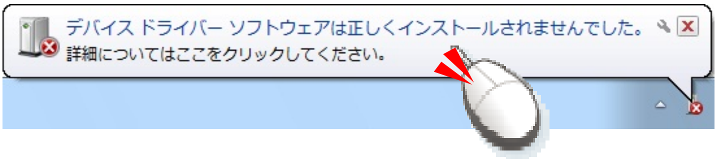
以下の手順では、FMPR3000G を例に説明しています。
FMPR2000G プリンタをお使いの場合は、“ FMPR3000 ”を“ FMPR2000 ”と読み替えてください。

◆ Windows 7 のとき

Windows 7 では、事前にプラグアンドプレイの準備をせずにプリンタとパソコンを接続すると、「デバイスドライバーソフトウェアは正しくインストールされませんでした。」と表示されます。
この場合には、次の手順でプリンタドライバをインストールしてください。

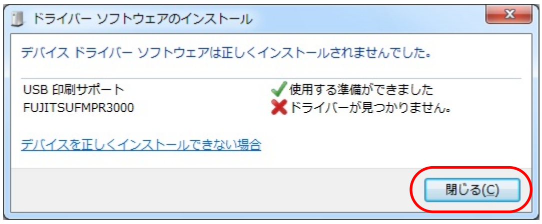


1 **「デバイスドライバーソフトウェアは正しくインストールされませんでした。」と表示されている吹き出しのスペース(空白部)を左クリックします。**
エラーの詳細が表示されますので、内容を確認し、〔閉じる〕ボタンをクリックします。

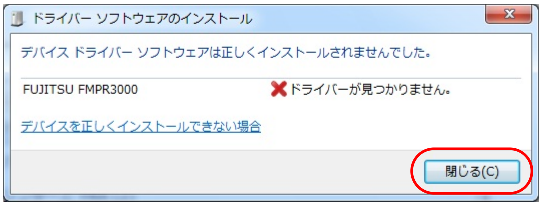


ガイド

・吹き出しをクリックすると、下記画面が表示されます。
内容を確認したら、〔閉じる〕ボタンをクリックしてください。
① USB インターフェースのとき



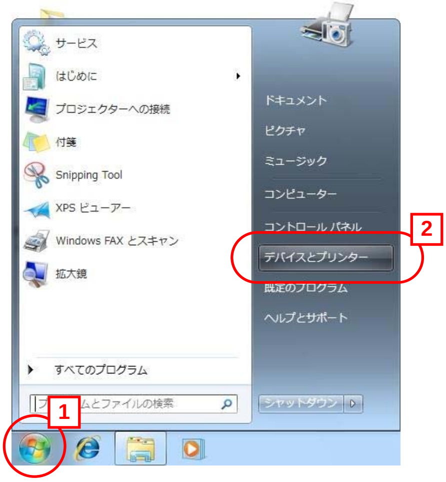
② パラレルインターフェースのとき



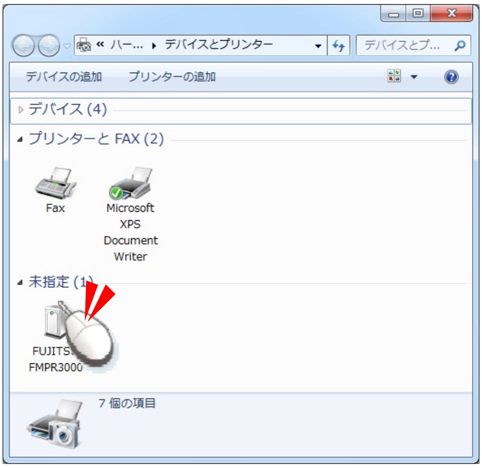
・プリンタは、”FUJITSU FMPR3000”として表示されます。
FMPR2000G プリンタをお使いの場合は、“FMPR3000”を“FMPR2000”と読み替えてください。

2 **『ソフトウェア編』「第１章 プリンタドライバのインストール」「Windows 7/2008 R2 のとき」の手順 *1* から手順 *10* に従って、プリンタドライバをインストールします。**

3 〔スタート〕→〔デバイスとプリンター〕を選択します。



4 〔デバイスとプリンター〕フォルダの「未指定」部に表示されている、接続したプリンタのアイコンを右クリックしてメニューを開きます。

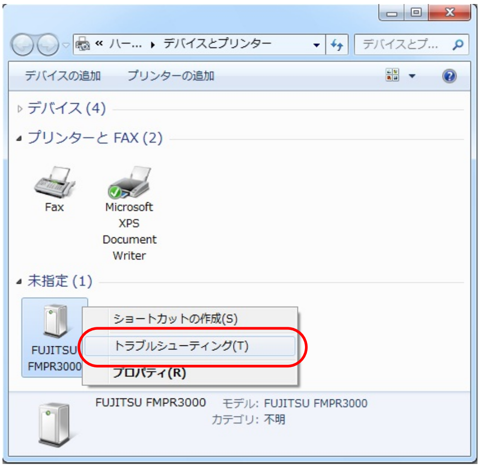


ガイド

- パラレルインターフェースで接続したときは、機種名が表示されます。
- USB インターフェースで接続したときは、「USB Printer」と表示されます。

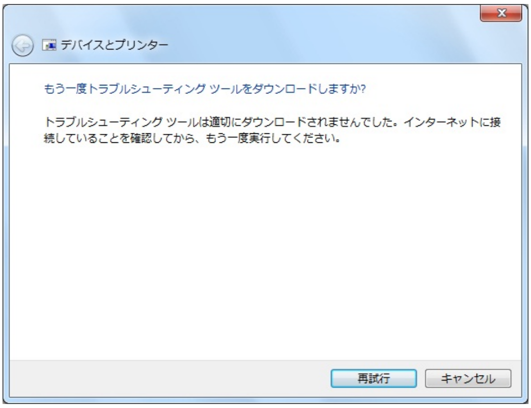


5 **表示メニューから、「トラブルシューティング」を選択します。**



ガイド

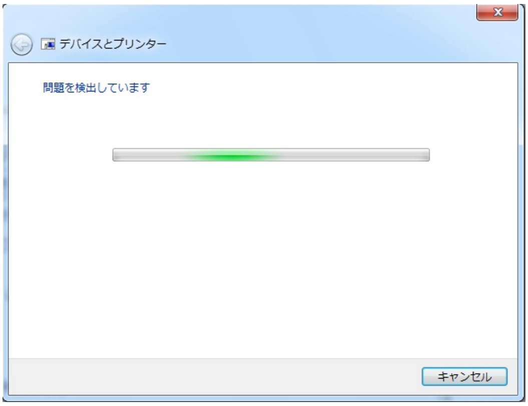
・お使いの環境によっては、「トラブルシューティング」を実行したときに、下記画面が表示される場合があります。



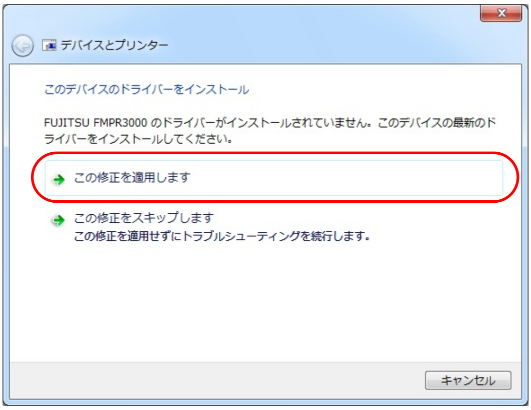
本画面が表示されたときは、次の順序で設定を変更してください。

1．上記画面の〔キャンセル〕をクリックし、「トラブルシューティング」を一旦終了します。
2．〔スタート〕→〔コントロールパネル〕を選択し、「システムとセキュリティ」内にある「問題の発見と解決」をクリックします。
3．「コンピューターの問題のトラブルシーティング」画面が開きますので、本画面の一番下にある「Windows オンライントラブルシューティングサービスから最新のトラブルシューティングツールを取得する」のチェックを外します。
4．画面右上の〔閉じる〕ボタンをクリックし、「コンピューターの問題のトラブルシーティング」画面を閉じます。
5．本項の手順 *3* から再度実行します。

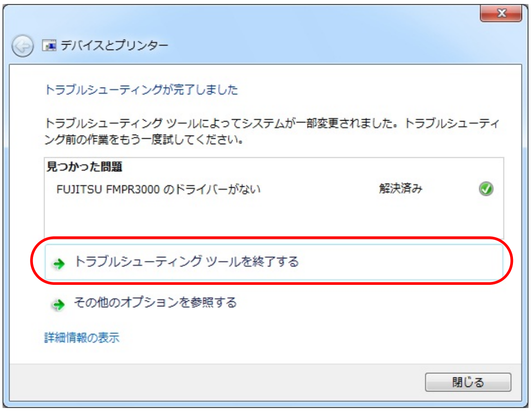
6 デバイスに関する情報を収集します。



7 接続されているプリンタのプリンタドライバが見つかりますので、「この修正を適用します」をクリックします。



8 プリンタドライバのインストールが完了します。
「トラブルシューティング ツールを終了する」または〔閉じる〕ボタンをクリックします。

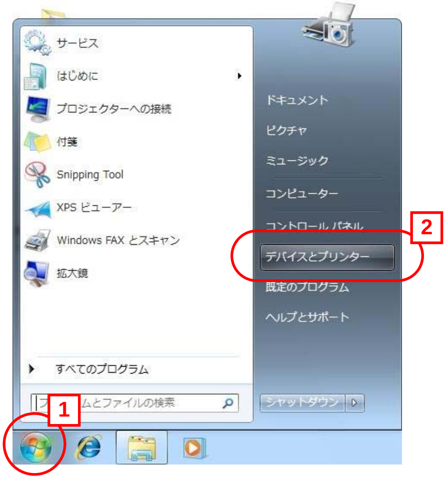


9 再度、〔スタート〕→〔デバイスとプリンター〕を選択し、「プリンターと FAX」部にプリンタアイコンが追加されていることを確認します。
これで、プリンタドライバのインストールは完了です。



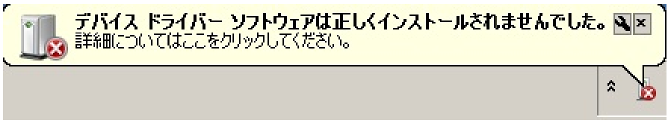
ガイド

・〔デバイスとプリンター〕を開く順序は、下記の通りです。

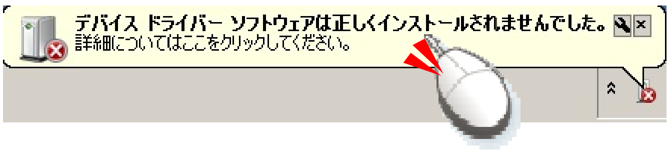


◆ Windows Server 2008 R2 のとき

Windows Server 2008 R2 では、事前にプラグアンドプレイの準備をせずにプリンタとパソコンを接続すると、「デバイスドライバーソフトウェアは正しくインストールされませんでした。」と表示されます。
この場合には、次の手順でプリンタドライバをインストールしてください。

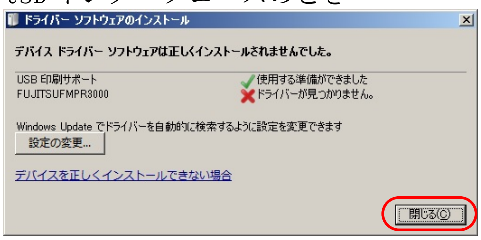


1 「デバイスドライバーソフトウェアは正しくインストールされませんでした。」と表示されている吹き出しのスペース(空白部)を左クリックします。
エラーの詳細が表示されますので、内容を確認し、〔閉じる〕ボタンをクリックします。

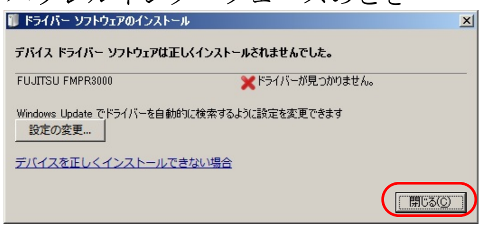


ガイド

- 吹き出しをクリックすると、下記画面が表示されます。
  内容を確認したら、〔閉じる〕ボタンをクリックしてください。
  ① USB インターフェースのとき



  ② パラレルインターフェースのとき

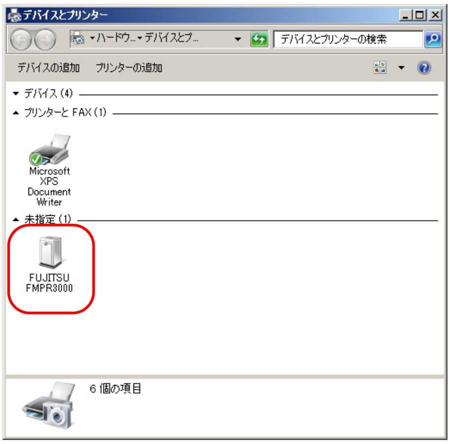


- プリンタは、”FUJITSU FMPR3000”として表示されます。
  FMPR2000G プリンタをお使いの場合は、“FMPR3000”を“FMPR2000”と読み替えてください。

2 **〔スタート〕→〔デバイスとプリンター〕を選択します。**



3 **〔デバイスとプリンター〕フォルダの「未指定」部に接続したプリンタが表示されていることを確認します。**



ガイド

- パラレルインターフェースで接続したときは、機種名が表示されます。
- USB インターフェースで接続したときは、「USB Printer」と表示されます。

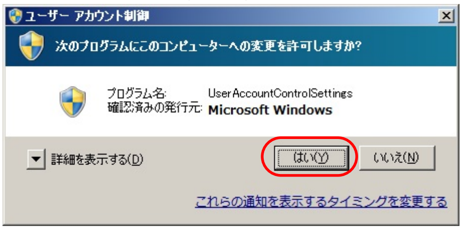


4 〔デバイスとプリンター〕フォルダの、空白部分をマウスの右ボタンでクリックし、表示メニューから「デバイスマネージャー」を選択します。

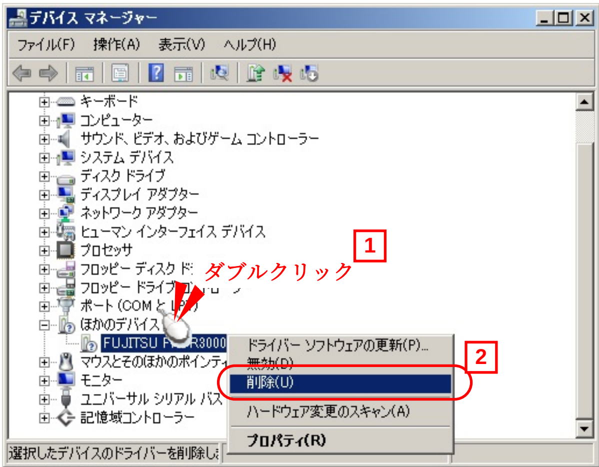


ガイド

・[ユーザーアカウント制御]ダイアログに、「次のプログラムにこのコンピューターへの変更を許可しますか？」と表示されたときは、〔はい〕をクリックします。



5 「デバイスマネージャー」が起動します。
「 ほかのデバイス」をダブルクリックして、表示されたプリンタ(接続したプリンタ)をマウスの右ボタンでクリックし、表示メニューから、「削除」を選択します。



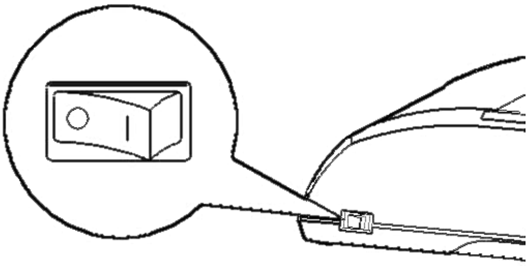
6 **「デバイスのアンインストールの確認」画面が表示されますので、〔OK〕ボタンをクリックします。**



ガイド

・〔OK〕ボタンをクリックしたら、デバイスマネージャー画面右上の〔閉じる〕 をクリックして、デバイスマネージャーを終了します。

7 **プリンタの電源を ○ 側に倒し、電源を切ります。**



8 **Windows Server 2008 R2 を再起動します。**
これで、プリンタドライバをインストールする前に、プリンタとパソコンを接続したときのトラブルシューティングは完了です。

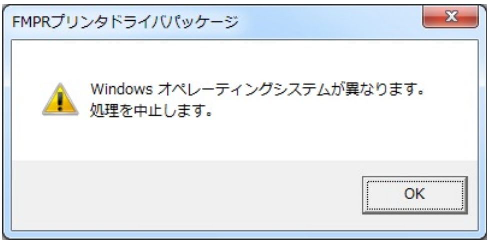
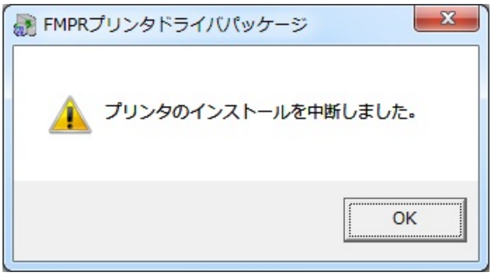
9 **『ソフトウェア編』「第１章 プリンタドライバのインストール」「Windows 7/2008 R2 のとき」の手順 *1* から手順 *1 2* に従って、プリンタドライバをインストールします。**

1 0 **再度、〔スタート〕→〔デバイスとプリンター〕を選択し、「プリンターと FAX」部にプリンタアイコンが追加されていることを確認します。これで、プリンタドライバのインストールは完了です。**

■　セットアッププログラム実行中にエラーが表示されたとき

Windows 7/2008 R2 で、セットアッププログラム実行中にエラーが表示されたときは、「対処」に記載された方法でご対応ください。

◆　現象と処置内容

現　象	対　処
セットアッププログラムを実行したら下記画面が表示されました。 	セットアッププログラムが、Windows 7/2008 R2 以外のオペレーティングシステムで実行されました。 セットアッププログラムを起動したオペレーティングシステムを確認してください。 セットアッププログラムは、Windows 7/2008 R2 専用です。
セットアッププログラムを実行したら下記画面が表示されました。 	セットアッププログラム実行中の[Windows セキュリティ]画面で、「このドライバーソフトウェアをインストールしない」などを選択しました。 再度、セットアッププログラムを実行してください。

■ Windows をアップグレードするとき

現在お使いの Windows オペレーティングシステムを、Windows 7/2008 R2 へアップグレードするときは、プリンタドライバおよび FMPR プリンタユーティリティを削除してからアップグレードしてください。
アップグレード終了後、再度プリンタドライバおよび FMPR ユーティリティのセットアップを行ってください。
プリンタドライバおよび FMPR プリンタユーティリティがインストールされた状態で Windows のアップグレードを行うと、アップグレード前のプリンタドライバや FMPR プリンタユーティリティが登録されたままとなり、正しい印刷が行えない、FMPR プリンタユーティリティが提供している機能が使用できないなどの現象が発生する場合があります。

プリンタがうまく動かないとき

ここでは、プリンタを使用しているときに発生する現象のうち、セットしている用紙とプリンタドライバの設定について説明します。

■ プリンタがうまく動かないとき

印字中に以下の現象が発生した場合は、セットしている用紙とプリンタドライバの設定が合っていない可能性があります。
保守員をコールされる前に、処置内容に従ってプリンタドライバが正しく設定されているかお確かめください。

◆ 現象と処置内容

<table>
<tr><th>現　象</th><th>処　置　内　容</th></tr>
<tr><td>印刷指示で給紙口が切り替わってしまう</td><td rowspan="4">「給紙口/用紙名を正しく設定する」(431ページ)でプリンタドライバの設定を確認してください。</td></tr>
<tr><td>印刷指示で用紙なしになってしまう</td></tr>
<tr><td>用紙の右側が印刷されない</td></tr>
<tr><td>印字が左右に約5mmずれる</td></tr>
<tr><td>連続帳票用紙カット後の印刷開始位置がずれる</td><td rowspan="5">「用紙サイズを正しく設定する」(434ページ)でプリンタドライバの設定を確認してください。</td></tr>
<tr><td>連続帳票用紙カットを押してもミシン目がカット位置にこない</td></tr>
<tr><td>連続帳票印刷の開始位置がずれる</td></tr>
<tr><td>ページ長がおかしい</td></tr>
<tr><td>連続帳票を複数枚印刷していくうちに印字位置がずれる</td></tr>
</table>

■ 給紙口/用紙名を正しく設定する

用紙サイズが既知で、そのサイズが既にプリンタドライバに登録されているときは、以下の手順で選択設定してください。
プリンタドライバに未登録のときや、用紙サイズがわからないときは先に「用紙サイズを正しく設定する」(434ページ)以降を確認してください。
ここでは、FUJITSU FMPR3000 プリンタドライバを例に説明しています。FUJITSU FMPR2000 プリンタドライバをお使いの場合は、“ FMPR3000 ”を“ FMPR2000 ”と読み替えてください。

◆ 給紙方法と用紙名の設定

以下の手順でプリンタドライバの給紙方法と用紙サイズ(用紙名)を正しく設定してください。

ガイド

・ここでは、以下の場合を例に説明します。

OS　　　　：Windows XP
給紙方法　：トラクタフィーダ
用紙サイズ：縦 10.5 ｲﾝﾁ(266.7㎜)連続紙

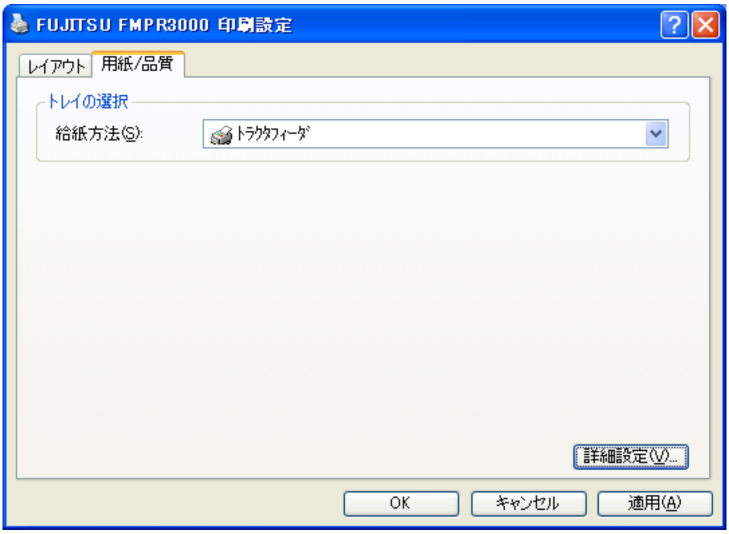
* プリンタドライバのバージョンによっては、用紙サイズが「縦 10.5inch 連続紙(136 桁)」と表示されます。

・設定項目右横の「 」ボタンをクリックすると、一覧が表示されます。

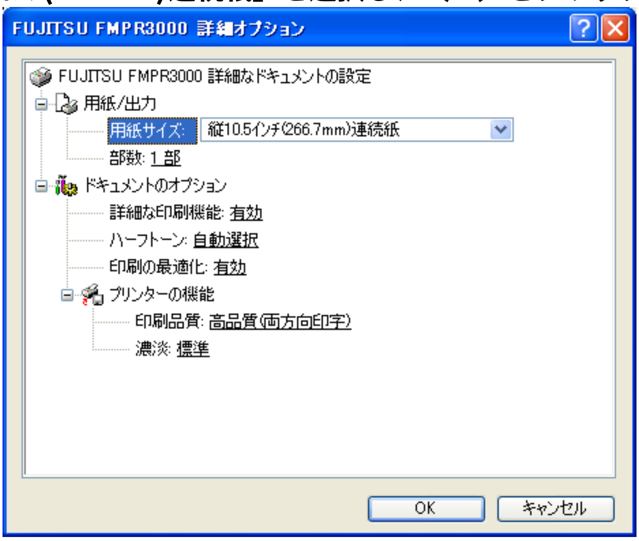
1 **〔スタート〕→〔プリンタとFAX〕の順にクリックし、プリンタフォルダを表示する**

2 **FMPR3000 プリンタのアイコンをマウスの右ボタンでクリックし、〔プロパティ〕を選択する**

3 〔印刷設定〕をクリックし、「用紙/品質」タブを表示させ、”給紙方法”から、”トラクタフィーダ”を選択する



4 〔詳細設定〕ボタンをクリックし、”用紙サイズ”から、「縦 10.5 ｲﾝﾁ(266.7mm)連続紙」を選択し、〔OK〕をクリックする

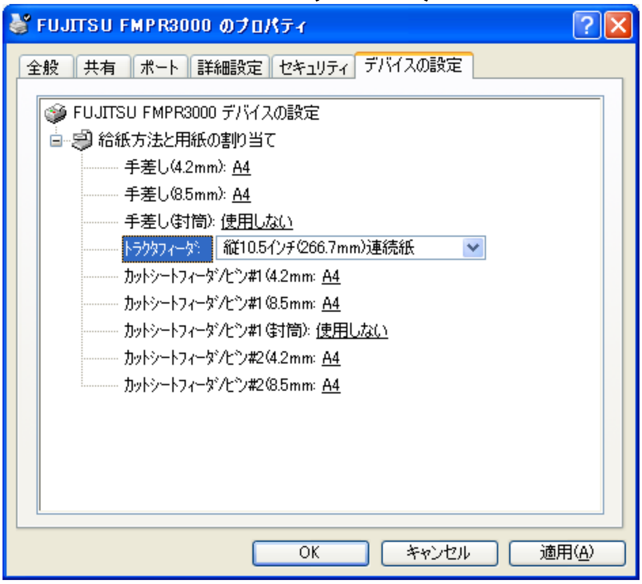


ガイド

- 〔OK〕をクリックすると、印刷設定画面に戻ります。
  再度、〔OK〕ボタンをクリックし、印刷設定画面を閉じ、FUJITSU FMPR3000 のプロパティ画面に戻ります。
- プリンタドライバのバージョンによっては、用紙サイズが「縦 10.5inch 連続紙(136 桁)」と表示されます。

5 **「デバイスの設定」タブを選択する**

6 **”給紙方法と用紙の割り当て”から、「トラクタフィーダ」をクリックし、「縦 10.5 ｲﾝﾁ(266.7㎜)連続紙」を選択する**



ガイド

・プリンタドライバのバージョンによっては、用紙サイズが「縦 10.5inch 連続紙(136 桁)」と表示されます。

7 **〔OK〕をクリックし、「FUJITSU FMPR3000 のプロパティ」閉じる**

■ 用紙サイズを正しく設定する

ここでは、印刷に使用する連帳用紙の用紙サイズ確認手順と、プリンタドライバへの設定手順を説明します。

◆ 用紙サイズの確認

プリンタドライバに未登録のときや、用紙サイズがわからないときは以下の手順で、確認してください。

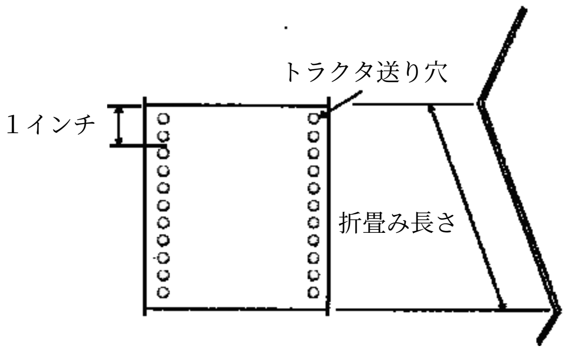
ガイド

・連帳用紙の用紙サイズは、特例を除きセンチメートルまたはインチ(１ｲﾝﾁ＝2.54㎝)で設定します。

・印刷に使用する用紙の設定相違や用紙長に誤差があると、印刷位置がずれますので注意してください。

1 用紙長さ（高さ）を確認する

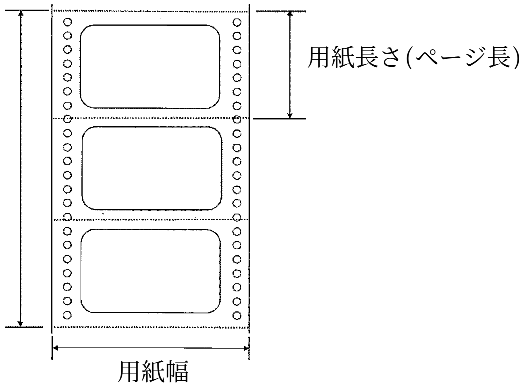
手順１：折り畳み長さと１ページの長さが同じとき
折り畳み長さに入る用紙の送り穴数を数えます。
送り穴数を２で割り、用紙長さ（高さ）を求めます。
用紙長さ(高さ)＝折畳み長さ(インチ)＝用紙送り穴数÷２



ガイド

・上図の場合、用紙長さ（高さ）は5.5インチ（11穴÷2）となります。
メートル法では、13.97ｃｍ（5.5ｲﾝﾁ×2.54）となります。

手順２：折り畳み長さの中に複数ページあるとき
　折り畳み長さ内のページ数を数えます。
　折り畳み長さをページ数で割り、用紙長さ（高さ）を求めます。
　　用紙長さ（高さ）＝折り畳み長さ÷ページ数

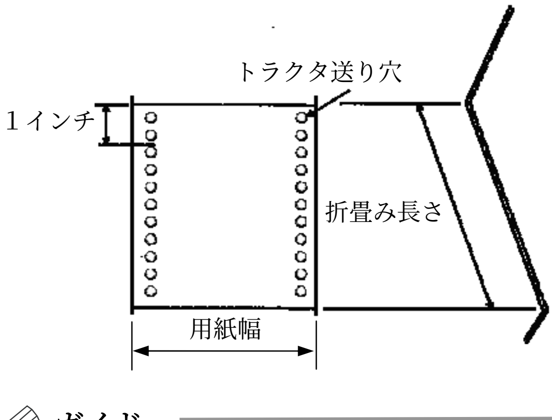


ガイド

・通常、連帳用紙は１ページ毎に横ミシン目が入れてあり、ミシン目で分割されるページ数を確認します。
・上図の用紙長さ（高さ）の求め方は、以下の通りです。
　メートル法では、小数点以下第３位を切り上げてください。
　用紙長さ（高さ）＝折り畳み長さ÷ページ数
　　　　　　　　　＝１１インチ÷３ページ
　　　　　　　　　＝１１／３
　　　　　　　　　＝３＋２／３インチ
　　　　　　　　　＝（３＋２／３）×２．５４
　　　　　　　　　＝９．３１３３・・・　ｃｍ
　　　　　　　　　＝９．３２ｃｍ

2 用紙幅を確認する

用紙幅を測定します。
ヤードポンド法で設定するときは、インチに換算します。



ガイド

・用紙幅の求め方は、以下の通りです。
　　用紙幅(インチ) ＝ 用紙幅測定値(cm) ÷ ２．５４
　上図の場合、用紙幅測定値を 20cm とすると、用紙幅は７．８７インチとなります。

3 以下の手順で、FUJITSU FMPR3000 プリンタドライバの用紙サイズ設定を確認する

手順１： 標準で登録されている用紙で使用できるものが無いか確認します。FUJITSU FMPR3000 プリンタドライバでは、下表の用紙を基本サイズとして用意しています。また、用紙長を幅×長さで表わした、７種類の連続帳票用紙を用意しています。

- ・10 x 10 inch 連続紙(136 桁)
- ・10 x 11 inch 連続紙(136 桁)
- ・10 x 12 inch 連続紙(136 桁)
- ・12 x 11 inch 連続紙(136 桁)
- ・15 x 10 inch 連続紙(136 桁)
- ・15 x 11 inch 連続紙(136 桁)
- ・15 x 12 inch 連続紙(136 桁)

ガイド

・FUJITSU FMPR2000 プリンタドライバでは、「10 x 11 inch 連続紙(80 桁)」、「12 x 11 inch 連続紙(80 桁)」、「15 x 11 inch 連続紙(80 桁)」の３種類となります。

・測定した用紙長とプリンタドライバの基本サイズ、新しい用紙サイズの対応表

【FUJITSU FMPR3000 プリンタドライバ】

測定した用紙長	プリンタドライバの基本サイズ	新しい用紙サイズ	
		メートル法	ヤードポンド法
1 ｲﾝﾁ	縦 1 ｲﾝﾁ(25.4mm)連続紙	2.54 cm	1.00 in
2 ｲﾝﾁ	縦 2 ｲﾝﾁ(50.8mm)連続紙	5.08 cm	2.00 in
2+1/6 ｲﾝﾁ	―	5.51 cm	2.17 in
2+1/3 ｲﾝﾁ	―	5.93 cm	―
2.5 ｲﾝﾁ	縦 2.5 ｲﾝﾁ(63.5mm)連続紙	6.35 cm	2.50 in
2+2/3 ｲﾝﾁ	―	6.78 cm	2.67 in
3 ｲﾝﾁ	縦 3 ｲﾝﾁ(76.2mm)連続紙	7.62 cm	3.00 in
3+1/6 ｲﾝﾁ	―	8.05 cm	3.17 in
3+1/3 ｲﾝﾁ	縦 3 1/3 ｲﾝﾁ(84.7mm)連続紙	8.47 cm	―
3.5 ｲﾝﾁ	―	8.89 cm	3.50 in
3+2/3 ｲﾝﾁ	縦 3 2/3 ｲﾝﾁ(93.1mm)連続紙	9.32 cm	3.67 in
4 ｲﾝﾁ	縦 4 ｲﾝﾁ(101.6mm)連続紙	10.16 cm	4.00 in
4+1/6 ｲﾝﾁ	―	10.59 cm	4.17 in
4+1/3 ｲﾝﾁ	縦 4 1/3 ｲﾝﾁ(110.1mm)連続紙	11.01 cm	―
4.5 ｲﾝﾁ	縦 4.5 ｲﾝﾁ(114.3mm)連続紙	11.43 cm	4.50 in
4+2/3 ｲﾝﾁ	縦 4 2/3 ｲﾝﾁ(118.5mm)連続紙	11.86 cm	4.67 in
5 ｲﾝﾁ	縦 5 ｲﾝﾁ(127.0mm)連続紙	12.70 cm	5.00 in
5+1/6 ｲﾝﾁ	―	13.13 cm	5.17 in
5+1/3 ｲﾝﾁ	縦 5 1/3 ｲﾝﾁ(135.5mm)連続紙	13.55 cm	―
5.5 ｲﾝﾁ	―	13.97 cm	5.50 in
5+2/3 ｲﾝﾁ	縦 5 2/3 ｲﾝﾁ(143.9mm)連続紙	14.40 cm	5.67 in
6 ｲﾝﾁ	縦 6 ｲﾝﾁ(152.4mm)連続紙	15.24 cm	6.00 in
7 ｲﾝﾁ	縦 7 ｲﾝﾁ(177.8mm)連続紙	17.78 cm	7.00 in

測定した用紙長	プリンタドライバの基本サイズ	新しい用紙サイズ	
		メートル法	ヤードポンド法
8 ｲﾝﾁ	縦 8 ｲﾝﾁ(203.2mm)連続紙	20.32 cm	8.00 in
9 ｲﾝﾁ	縦 9 ｲﾝﾁ(228.6mm)連続紙	22.86 cm	9.00 in
10 ｲﾝﾁ	縦 10 ｲﾝﾁ(254.0mm)連続紙	25.40 cm	10.00 in
10.5 ｲﾝﾁ	縦 10.5 ｲﾝﾁ(266.7mm)連続紙	26.67 cm	10.50 in
11 ｲﾝﾁ	縦 11 ｲﾝﾁ(279.4mm)連続紙	27.94 cm	11.00 in
12 ｲﾝﾁ	縦 12 ｲﾝﾁ(304.8mm)連続紙	30.48 cm	12.00 in
13 ｲﾝﾁ	縦 13 ｲﾝﾁ(330.2mm)連続紙	33.02 cm	13.00 in
14 ｲﾝﾁ	縦 14 ｲﾝﾁ(355.6mm)連続紙	35.56 cm	14.00 in

【FUJITSU FMPR2000 プリンタドライバ】

測定した用紙長	プリンタドライバの基本サイズ	新しい用紙サイズ	
		メートル法	ヤードポンド法
1 ｲﾝﾁ	縦 1 ｲﾝﾁ(25.4mm)連続紙(80 桁)	2.54 cm	1.00 in
2 ｲﾝﾁ	縦 2 ｲﾝﾁ(50.8mm)連続紙(80 桁)	5.08 cm	2.00 in
2+1/6 ｲﾝﾁ	―	5.51 cm	2.17 in
2+1/3 ｲﾝﾁ	―	**5.93 cm**	―
2.5 ｲﾝﾁ	縦 2.5 ｲﾝﾁ(63.5mm)連続紙(80 桁)	6.35 cm	2.50 in
2+2/3 ｲﾝﾁ	―	6.78 cm	2.67 in
3 ｲﾝﾁ	縦 3 ｲﾝﾁ(76.2mm)連続紙(80 桁)	7.62 cm	3.00 in
3+1/6 ｲﾝﾁ	―	8.05 cm	3.17 in
3+1/3 ｲﾝﾁ	縦 3 1/3 ｲﾝﾁ(84.7mm)連続紙(80 桁)	**8.47 cm**	―
3.5 ｲﾝﾁ	―	8.89 cm	3.50 in
3+2/3 ｲﾝﾁ	縦 3 2/3 ｲﾝﾁ(93.1mm)連続紙(80 桁)	9.32 cm	3.67 in
4 ｲﾝﾁ	縦 4 ｲﾝﾁ(101.6mm)連続紙(80 桁)	10.16 cm	4.00 in
4+1/6 ｲﾝﾁ	―	10.59 cm	4.17 in
4+1/3 ｲﾝﾁ	縦 4 1/3 ｲﾝﾁ(110.1mm)連続紙(80 桁)	**11.01 cm**	―
4.5 ｲﾝﾁ	縦 4.5 ｲﾝﾁ(114.3mm)連続紙(80 桁)	11.43 cm	4.50 in
4+2/3 ｲﾝﾁ	縦 4 2/3 ｲﾝﾁ(118.5mm)連続紙(80 桁)	11.86 cm	4.67 in
5 ｲﾝﾁ	縦 5 ｲﾝﾁ(127.0mm)連続紙(80 桁)	12.70 cm	5.00 in
5+1/6 ｲﾝﾁ	―	13.13 cm	5.17 in
5+1/3 ｲﾝﾁ	縦 5 1/3 ｲﾝﾁ(135.5mm)連続紙(80 桁)	**13.55 cm**	―
5.5 ｲﾝﾁ	―	13.97 cm	5.50 in
5+2/3 ｲﾝﾁ	縦 5 2/3 ｲﾝﾁ(143.9mm)連続紙(80 桁)	14.40 cm	5.67 in
6 ｲﾝﾁ	縦 6 ｲﾝﾁ(152.4mm)連続紙(80 桁)	15.24 cm	6.00 in
7 ｲﾝﾁ	縦 7 ｲﾝﾁ(177.8mm)連続紙(80 桁)	17.78 cm	7.00 in
8 ｲﾝﾁ	縦 8 ｲﾝﾁ(203.2mm)連続紙(80 桁)	20.32 cm	8.00 in
9 ｲﾝﾁ	縦 9 ｲﾝﾁ(228.6mm)連続紙(80 桁)	22.86 cm	9.00 in
10 ｲﾝﾁ	縦 10 ｲﾝﾁ(254.0mm)連続紙(80 桁)	25.40 cm	10.00 in
10.5 ｲﾝﾁ	縦 10.5 ｲﾝﾁ(266.7mm)連続紙(80 桁)	26.67 cm	10.50 in
11 ｲﾝﾁ	縦 11 ｲﾝﾁ(279.4mm)連続紙(80 桁)	27.94 cm	11.00 in
12 ｲﾝﾁ	縦 12 ｲﾝﾁ(304.8mm)連続紙(80 桁)	30.48 cm	12.00 in
13 ｲﾝﾁ	縦 13 ｲﾝﾁ(330.2mm)連続紙(80 桁)	33.02 cm	13.00 in
14 ｲﾝﾁ	縦 14 ｲﾝﾁ(355.6mm)連続紙(80 桁)	35.56 cm	14.00 in

手順２：適切な用紙名が無かった場合は、新しい用紙（任意の用紙サイズ）を作成し、幅と長さ（高さ）をセンチメートル単位またはインチ単位で設定・登録します。
ただし、前表の中でヤードポンド法の欄が「－」となっている用紙長は必ずセンチメートル単位で登録してください。
新しい用紙の作成方法は、「新しい用紙（任意の用紙サイズ）の設定方法（439ページ）、または『ソフトウェア編』「第２章　プリンタドライバの設定」「ユーザー定義サイズ用紙の作成方法」（394 ページ）を参照してください。

ガイド

- 用紙長の設定に誤差があったり、メートル法／ヤードポンド法の選択が誤っていると、複数ページ印刷する間に誤差が累積し印刷位置が上下方向に徐々にずれていきますので注意が必要です。
- データの作成が正確である場合、実際の印刷領域より狭くならない用紙幅を設定したり、用紙長のみで表現される用紙を選択してもかまいません。その場合、実際の用紙幅を超えた文書の印刷指示があると、はみだした領域の印刷は行われません（用紙外印字防止機能が有効のとき）。
- プリンタドライバのバージョンによっては、連帳用紙名が異なる場合があります。
- 登録済の用紙サイズであっても、運用時にわかりやすくするために同サイズで別名（お使いの伝票名など）の用紙として追加登録してください。

◆ プリンタドライバの基本サイズの設定方法

「給紙口/用紙名を正しく設定する」(431ページ)の手順で設定してください。
プリンタドライバの基本サイズに無い用紙長(前表のプリンタドライバの基本サイズで「ー」表示の用紙)のときは、「新しい用紙(任意の用紙サイズ)の設定方法」(439ページ)、または『ソフトウェア編』「第２章　プリンタドライバの設定」「ユーザー定義サイズ用紙の作成方法」(394ページ)を参照して、印刷に使用する用紙を追加してください。

◆ 新しい用紙(任意の用紙サイズ)の設定方法

新しい用紙の作成とプリンタドライバへの設定は、下記手順で行います。
ここでは、FUJITSU FMPR3000 プリンタドライバの Windows XP の画面を例に説明します。FUJITSU FMPR2000 プリンタドライバをお使いの場合は、“ FMPR3000 ”を“ FMPR2000 ”と読み替えてください。

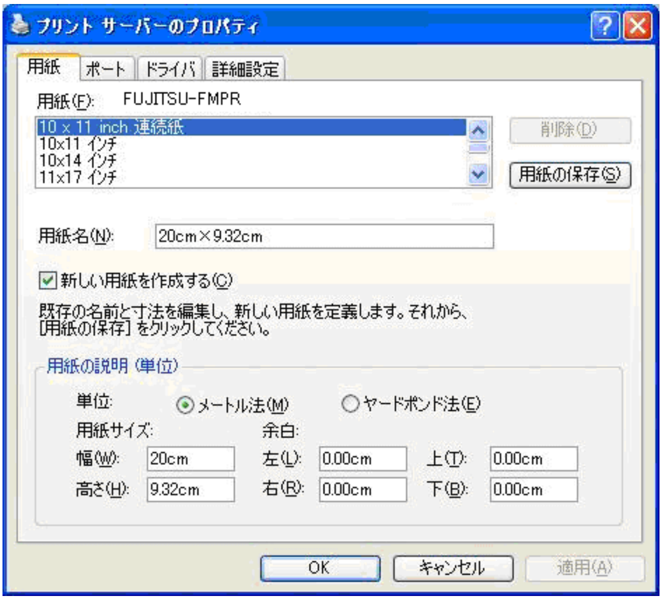
1 **〔スタート〕→〔プリンタとFAX〕の順にクリックし、プリンタフォルダを表示する**

2 **〔ファイル〕メニューから〔サーバーのプロパティ〕を選択する**

3 **「新しい用紙を作成する」をチェックする**

「用紙名」や説明のグレーアウトが解除され、用紙名が入力できる状態になります。
ここでは、「20cm×9.32cm」という名前の用紙を作成します。

4 **「用紙の説明(単位)」で、”メートル法”を選択し、〔幅〕および〔高さ〕を入力する**



ガイド

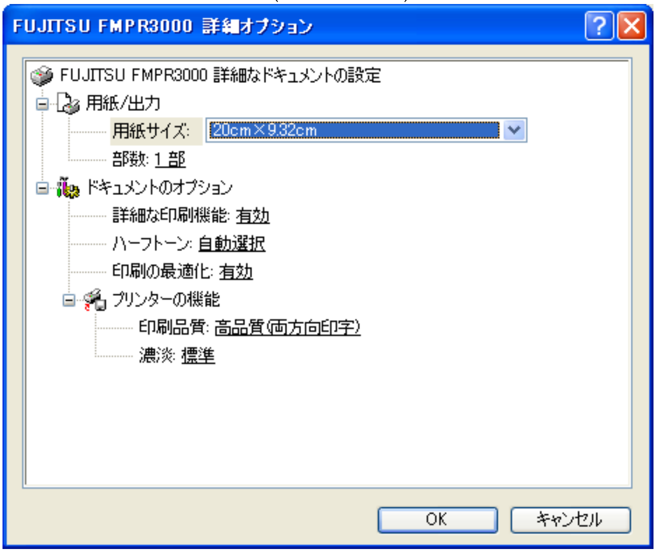
- 〔高さ〕は用紙長となります。
  一部の長さに限り、メートル法で入力してください。
- 〔高さ〕には、小数点以下第３位を切り上げ、「測定した用紙長とプリンタドライバの基本サイズ、新しい用紙サイズの対応表」（436ページ）に示す、小数点以下第２位の値で入力します。
- 「余白」を設定しても、正しく反映されない場合があります。
  アプリケーションの〔ページ設定〕で余白を編集してください。
- 作成可能な用紙幅、高さについては、オンラインマニュアル(Index.pdf)の『プリンタ編』　「第４章　用紙について」、または『ソフトウェア編』「第２章　プリンタドライバの設定」の「印刷可能領域」を参照してください。

5 **「用紙の保存(S)」をクリックし、作成した用紙を保存する**

作成した用紙を保存したら、〔OK〕をクリックして〔プリントサーバーのプロパティ〕を閉じます。

6 **新しく作成した用紙を FUJITSU FMPR3000 プリンタドライバに設定する**

FUJITSU FMPR3000 プリンタドライバへの設定方法は、「給紙口/用紙名を正しく設定する」(431ページ)を参照してください。



ガイド

・新しく作成した用紙が設定可能範囲外のときは、「用紙サイズ」に表示されません。
　再度、「サーバーのプロパティ」を開いて、作成した用紙の幅または高さを変更するか、新しく用紙を作成してください。

付　録

FMPR ステータスモニタ状態表示一覧表

ｽﾃｰﾀｽ番号	プリンタ状態名	プリンタ状態の説明
0002	印刷中	印刷中です。
0300	オフライン	プリンタがオフラインです。
0301	用紙なし (カットシートフィーダ)	選択されているカットシートフィーダに用紙がありません。
0302	用紙なし	用紙がありません。
0305	連帳後退エラー	後退させる用紙が長過ぎます。
0307	吸入ジャム(手差し)	用紙の吸入中に紙づまりが発生しました。
0308	吸入ジャム (カットシートフィーダ)	用紙の吸入中に紙づまりが発生しました。
0309	吸入ジャム(トラクタ)	用紙の吸入中に紙づまりが発生しました。
0310	カバーオープン	フロントカバーが開いています。
0402	排出ジャム(手差し)	用紙の排出中に紙づまりが発生しました。
0403	排出ジャム (カットシートフィーダ)	用紙の排出中に紙づまりが発生しました。
0404	排出ジャム（トラクタ）	用紙の排出中に紙づまりが発生しました。
0700	ROM/RAM アラーム	ROM/RAM の異常を検出しました。
0705	LES アラーム	印字キャリアホームポジション検出に失敗しました。
0710	OVERLOAD アラーム	電源電圧の異常を検出しました。
0711	LOW VOL アラーム	電源電圧の異常を検出しました。
0712	HIGH VOL アラーム	電源電圧の異常を検出しました。
0713	ヘッドアラーム	印字ヘッドのドライバで異常を検出しました。
0714	LF アラーム	LF モータおよびトラクタモータのドライバで異常を検出しました。
0715	SP アラーム	スペースモータのドライバで異常を検出しました。
1500	応答なし	プリンタからの応答がありません。

ガイド

・エラーが発生したときは、ステータスウィンドウ内のメッセージに従って、エラーを解除してください。

索　引～プリンタ編

索　引～ソフトウェア編

漢字プリンタ-15(FMPR3000G)
漢字プリンタ-10(FMPR2000G)

オンラインマニュアル

B5WY-1251-04 Z0-00

発行日　　2010年8月

発行責任　富士通株式会社